

東大和市
第9期介護保険事業計画準備調査

報告書

令和5年3月
東大和市

目次

第1章 調査の概要等	
1 調査の種類と目的	3
2 調査対象及び回収状況	3
3 調査期間及び調査方法	3
4 集計結果の表し方	4
5 標本誤差	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果	
1 あなたについて	9
2 あなたのご家族や生活状況について	13
3 からだを動かすことについて	21
4 食べることについて	29
5 毎日の生活について	36
6 地域での活動について	49
7 たすけあいについて	57
8 健康について	66
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	73
10 自由回答	75
11 生活機能評価等について	77
第3章 介護保険事業計画準備調査 集計結果	
記入者について	89
1 ご本人について	89
2 生活の状況・今後の生活等について	92
3 高齢者の福祉サービス等について	106
4 自由回答	108
第4章 在宅介護実態調査 集計結果	
A票 調査対象者本人について	111
記入者について	111
1 ご本人について	111
2 介護保険サービス等の利用について	119
3 医療の状況・今後の生活等について	130
B票 主な介護者について	136
記入者について	136
1 主な介護者について	136
2 主な介護者の就労の状況と今後の意向について	142
自由回答	145
第5章 事業者に対する調査 集計結果	
1 事業所について	149
2 人材確保・定着等について	153
3 経営状態や課題等について	162

4 利用者のニーズ等について	167
5 共生型サービスについて	169
6 市に望むこと.....	170
自由回答	171

第6章 調査結果のまとめ

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のまとめ.....	175
2 介護保険事業計画準備調査結果のまとめ	176
3 在宅介護実態調査結果のまとめ	177
4 事業者に対する調査結果のまとめ.....	178

第1章

調査の概要等

1 調査の種類と目的

本調査は、令和6年度を初年度とする東大和市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者等のご意見・ご要望等を把握し、計画策定及び今後の施策の推進に役立てるため、次の4種類のアンケート調査を実施しました。

種類	目的と概要
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資することなどを目的として実施するものです。 からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査します。
②介護保険事業計画準備調査【市調査】	地域の高齢者がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を把握し、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映することを目的として実施するものです。
③在宅介護実態調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施するものです。
④事業者に対する調査【市調査(一部国の調査)】	市内で事業を実施している事業所における、従業員の確保や育成、事業運営上の課題等に対する取り組み状況から、市内の事業所の実態を把握することを目的に実施するものです。 なお、一部項目は国から示された調査(介護人材実態調査)の項目とします。

2 調査対象及び回収状況

種類	調査対象	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】	要支援認定を受けている 65 歳以上の市民(施設入所者を除く)の中から無作為抽出(A)	800 人	1,389 人	69.5%
	要介護(要支援)認定を受けていない 65 歳以上の市民の中から無作為抽出(B)	1,200 人		
②介護保険事業計画準備調査【市調査】	要介護(要支援)認定を受けていない 65 歳以上の市民の中から無作為抽出(Bで抽出した者を除く)	1,200 人	734 人	61.2%
③在宅介護実態調査【国調査】	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている者(Aで抽出した者を除く)	850 人	457 人	53.8%
④事業者に対する調査【市調査(一部国の調査)】	市内の介護保険サービス事業所	105 か所	63 か所	60.0%

3 調査期間及び調査方法

- 調査期間：2022(令和4)年12月9日(金)～12月26日(月)
- 調査方法：郵送配布・郵送回収

4 集計結果の表し方

- 設問は単一回答(○はひとつ、1つを選択)、複数回答(いくつでも、複数選択可、特に望むこと3つまでに○等)の2種類があります。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率(%)で表しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しており、単一回答は、比率の合計が100.0%となるように調整しています。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していません。よって、<回答者数>の「全体」と各項目の和が一致しない場合があります。
- 値や回答者数が少ない項目については、グラフ中の%表記、コメントを省略しているものがあります。

5 標本誤差

全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差といい、その誤差を数学的に計算したのが、次の表です。

この表の見方としては、例えば、「ある設問中の選択肢の回答率が50%であった場合、その回答率の誤差の範囲は最高でも±2.5%以内(47.5%～52.5%)である」とみることができます。

- 信頼度95%(同一の調査を100回行えば95回まではこの結果になるであろうという推定)における標本誤差算出式

$$\varepsilon = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間の1/2幅	信頼区間	
23,410	1,389	50%	2.60	50%		±2.6%	47.4% ~ 52.6%	
		45%	2.50	45%	55%	±2.5%	42.5% ~ 47.5%	52.5% ~ 57.5%
		40%	2.50	40%	60%	±2.5%	37.5% ~ 42.5%	57.5% ~ 62.5%
		35%	2.40	35%	65%	±2.4%	32.6% ~ 37.4%	62.6% ~ 67.4%
		30%	2.30	30%	70%	±2.3%	27.7% ~ 32.3%	67.7% ~ 72.3%
		25%	2.20	25%	75%	±2.2%	22.8% ~ 27.2%	72.8% ~ 77.2%
		20%	2.00	20%	80%	±2.0%	18.0% ~ 22.0%	78.0% ~ 82.0%
		15%	1.80	15%	85%	±1.8%	13.2% ~ 16.8%	83.2% ~ 86.8%
		10%	1.50	10%	90%	±1.5%	8.5% ~ 11.5%	88.5% ~ 91.5%
5%	1.10	5%	95%	±1.1%	3.9% ~ 6.1%	93.9% ~ 96.1%		

※令和4年12月1日現在の65歳以上人口(住民基本台帳人口)

②介護保険事業計画準備調査【市調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
23,410	734	50%	3.60	50%		±3.6%	46.4% ~ 53.6%			
		45%	3.50	45%	55%	±3.5%	41.5% ~ 48.5%	51.5% ~ 58.5%		
		40%	3.50	40%	60%	±3.5%	36.5% ~ 43.5%	56.5% ~ 63.5%		
		35%	3.40	35%	65%	±3.4%	31.6% ~ 38.4%	61.6% ~ 68.4%		
		30%	3.30	30%	70%	±3.3%	26.7% ~ 33.3%	66.7% ~ 73.3%		
		25%	3.10	25%	75%	±3.1%	21.9% ~ 28.1%	71.9% ~ 78.1%		
		20%	2.80	20%	80%	±2.8%	17.2% ~ 22.8%	77.2% ~ 82.8%		
		15%	2.50	15%	85%	±2.5%	12.5% ~ 17.5%	82.5% ~ 87.5%		
		10%	2.10	10%	90%	±2.1%	7.9% ~ 12.1%	87.9% ~ 92.1%		
		5%	1.60	5%	95%	±1.6%	3.4% ~ 6.6%	93.4% ~ 96.6%		

※令和4年12月1日現在の65歳以上人口(住民基本台帳人口)

③在宅介護実態調査【国調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
4,151	457	50%	4.30	50%		±4.3%	45.7% ~ 54.3%			
		45%	4.30	45%	55%	±4.3%	40.7% ~ 49.3%	50.7% ~ 59.3%		
		40%	4.20	40%	60%	±4.2%	35.8% ~ 44.2%	55.8% ~ 64.2%		
		35%	4.10	35%	65%	±4.1%	30.9% ~ 39.1%	60.9% ~ 69.1%		
		30%	4.00	30%	70%	±4.0%	26.0% ~ 34.0%	66.0% ~ 74.0%		
		25%	3.70	25%	75%	±3.7%	21.3% ~ 28.7%	71.3% ~ 78.7%		
		20%	3.50	20%	80%	±3.5%	16.5% ~ 23.5%	76.5% ~ 83.5%		
		15%	3.10	15%	85%	±3.1%	11.9% ~ 18.1%	81.9% ~ 88.1%		
		10%	2.60	10%	90%	±2.6%	7.4% ~ 12.6%	87.4% ~ 92.6%		
		5%	1.90	5%	95%	±1.9%	3.1% ~ 6.9%	93.1% ~ 96.9%		

※令和4年11月末日現在の要支援・要介護認定者数から施設入所者数を除いた人数(介護保険事業状況報告月報)

④事業者に対する調査【市調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
105	63	50%	7.80	50%		±7.8%	42.2% ~ 57.8%			
		45%	7.80	45%	55%	±7.8%	37.2% ~ 52.8%	47.2% ~ 62.8%		
		40%	7.70	40%	60%	±7.7%	32.3% ~ 47.7%	52.3% ~ 67.7%		
		35%	7.50	35%	65%	±7.5%	27.5% ~ 42.5%	57.5% ~ 72.5%		
		30%	7.20	30%	70%	±7.2%	22.8% ~ 37.2%	62.8% ~ 77.2%		
		25%	6.80	25%	75%	±6.8%	18.2% ~ 31.8%	68.2% ~ 81.8%		
		20%	6.30	20%	80%	±6.3%	13.7% ~ 26.3%	73.7% ~ 86.3%		
		15%	5.60	15%	85%	±5.6%	9.4% ~ 20.6%	79.4% ~ 90.6%		
		10%	4.70	10%	90%	±4.7%	5.3% ~ 14.7%	85.3% ~ 94.7%		
		5%	3.40	5%	95%	±3.4%	1.6% ~ 8.4%	91.6% ~ 98.4%		

※市内介護保険サービス事業所数

第2章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

集計結果

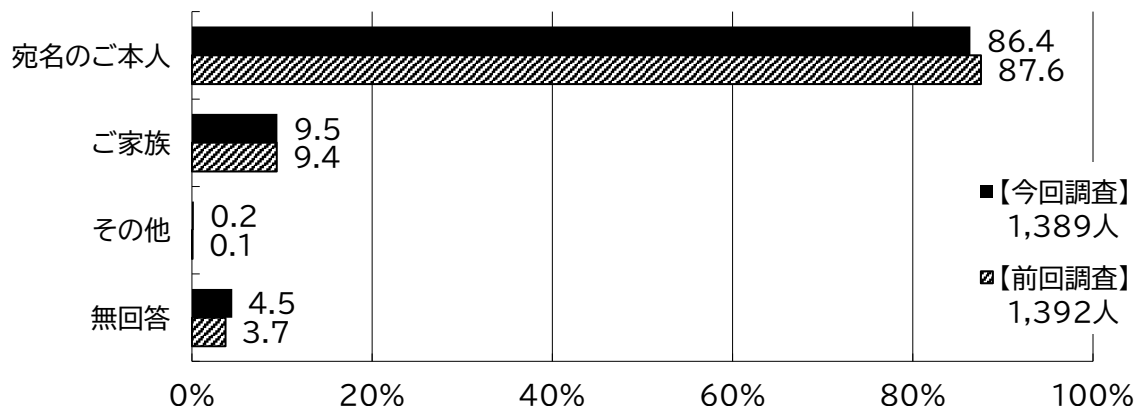
【調査の対象者】

介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、介護保険の要支援認定を受けている方及び要介護・要支援認定を受けていない方

1 あなたについて

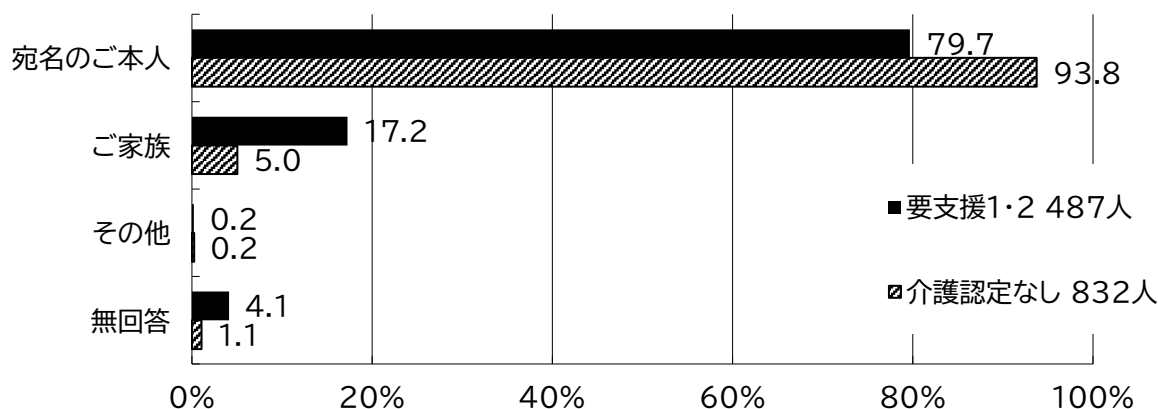
①この調査票をご記入されるのはどなたですか。番号に○をつけてください。

- 「宛名のご本人」が 86.4%と最も高く、次いで「ご家族」が 9.5%、「その他」が 0.2%と続いています。



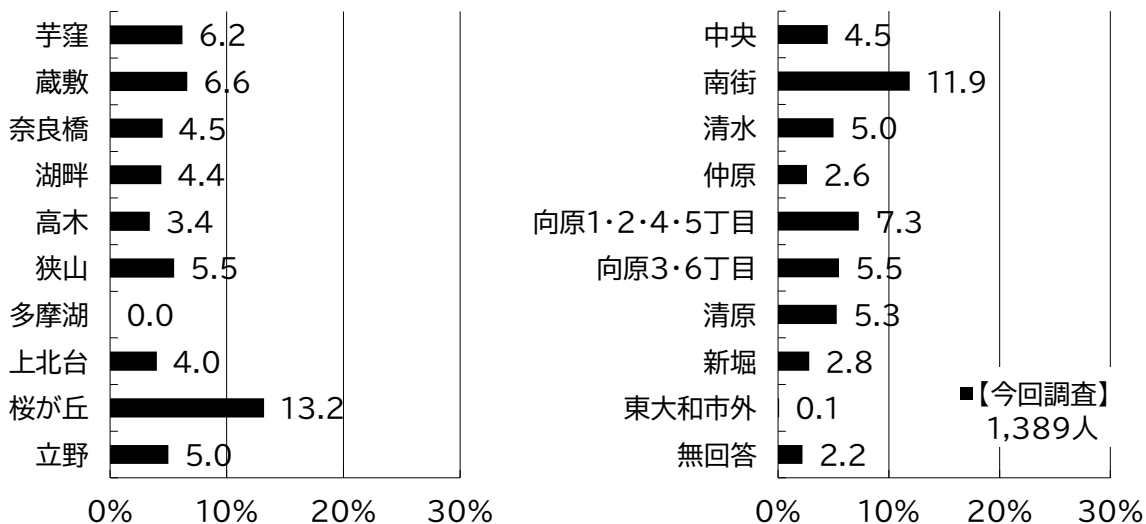
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「宛名のご本人」が 79.7%と最も高く、次いで「ご家族」が 17.2%、「その他」が 0.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「宛名のご本人」が 93.8%と最も高く、次いで「ご家族」が 5.0%、「その他」が 0.2%と続いています。

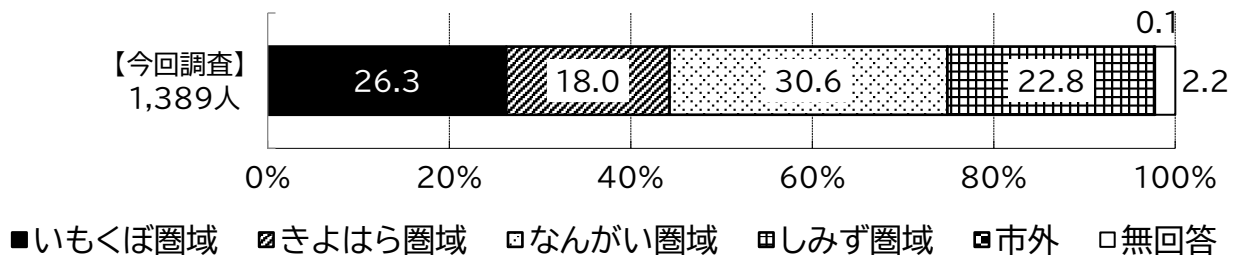


②あなたの居住区をお教えてください。

- 「桜が丘」が 13.2%、「南街」が 11.9%とこれらが上位2つで、次いで「向原1・2・4・5丁目」が 7.3%と続いています。

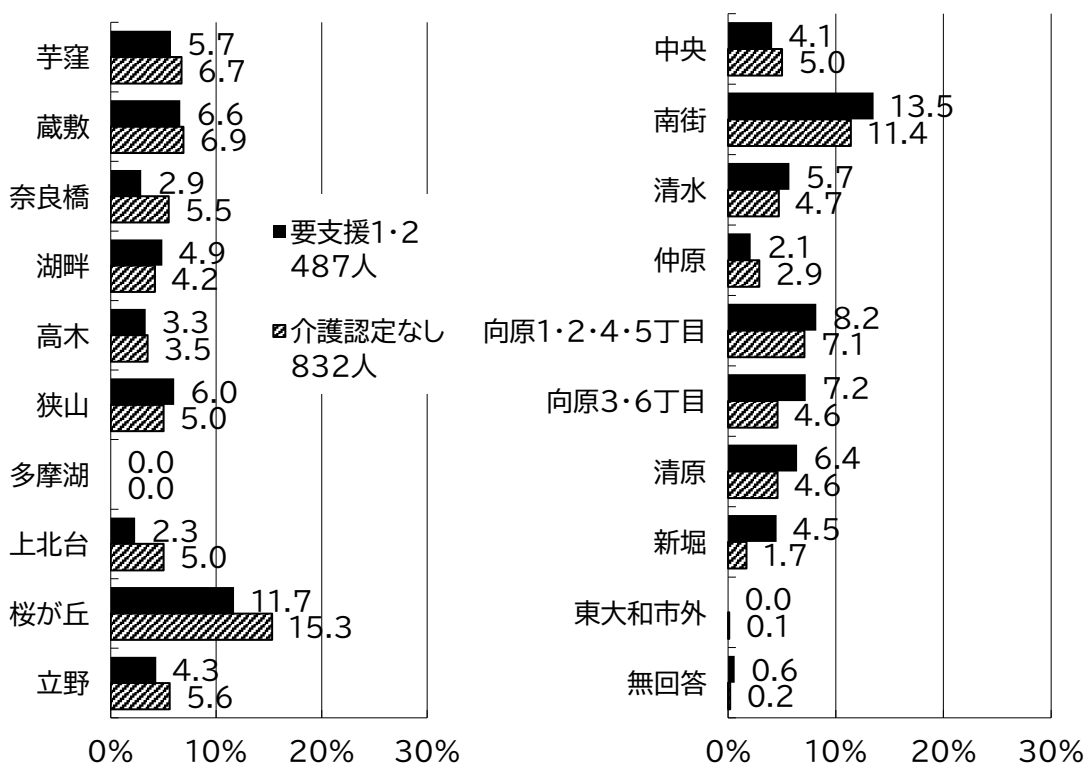


- 日常生活圏域で見ると、「なんがい圏域」が 30.6%、「いもくぼ圏域」が 26.3%とこれらが上位2つで、次いで「しみず圏域」が 22.8%と続いています。



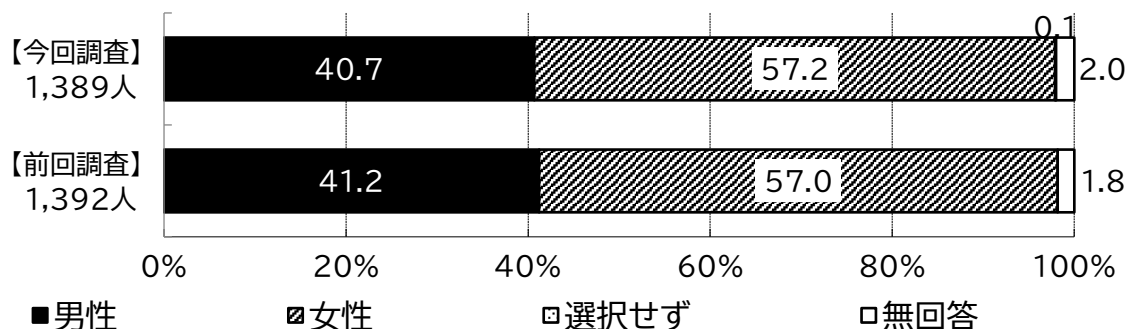
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「南街」が 13.5%、「桜が丘」が 11.7%とこれらが上位2つで、次いで「向原1・2・4・5丁目」が 8.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「桜が丘」が 15.3%、「南街」が 11.4%とこれらが上位2つで、次いで「向原1・2・4・5丁目」が 7.1%と続いています。



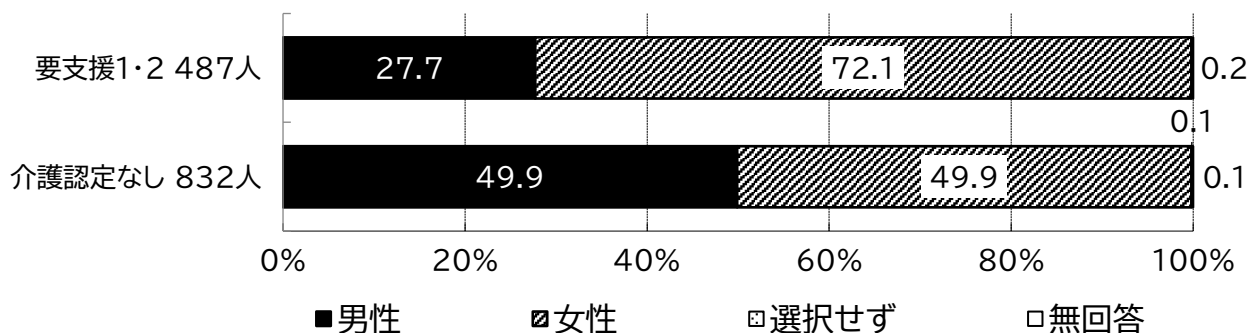
③令和4年12月1日現在のあなたの性別をお教えてください。

- 「女性」が 57.2%と最も高く、次いで「男性」が 40.7%、「選択せず」が 0.1%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「女性」が72.1%と最も高く、次いで「男性」が27.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「男性」、「女性」ともに49.9%で、次いで「選択せず」が0.1%と続いています。



【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「女性」が70.7%となっています。

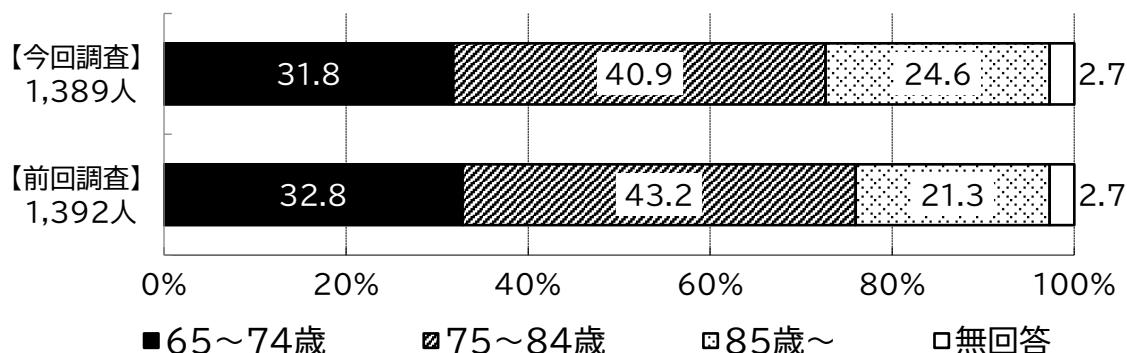
(単位:%)

		男性	女性	選択せず	無回答
全体 1389人		40.7	57.2	0.1	2.0
2-問1 家族構成	1人暮らし 338人	25.7	71.9	0.3	2.1
	夫婦2人暮らし 615人	53.0	45.0	0.0	2.0
	息子・娘との2世帯 226人	34.5	64.2	0.0	1.3

※網掛けは、各属性において最も回答率が高いもの(以降も同様)

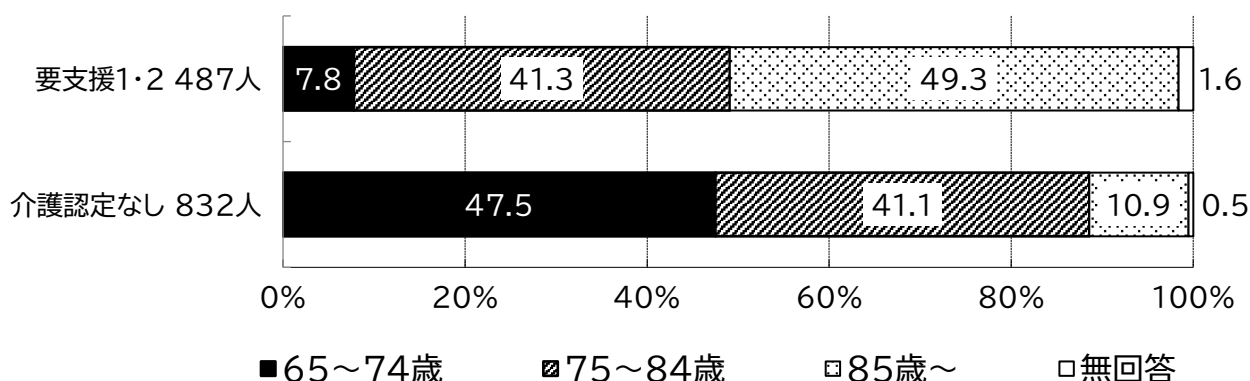
④令和4年12月1日現在のあなたの満年齢をお教えてください。

- 「75～84歳」が40.9%と最も高く、次いで「65～74歳」が31.8%、「85歳～」が24.6%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「85歳～」が49.3%と最も高く、次いで「75～84歳」が41.3%、「65～74歳」が7.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「65～74歳」が47.5%と最も高く、次いで「75～84歳」が41.1%、「85歳～」が10.9%と続いています。



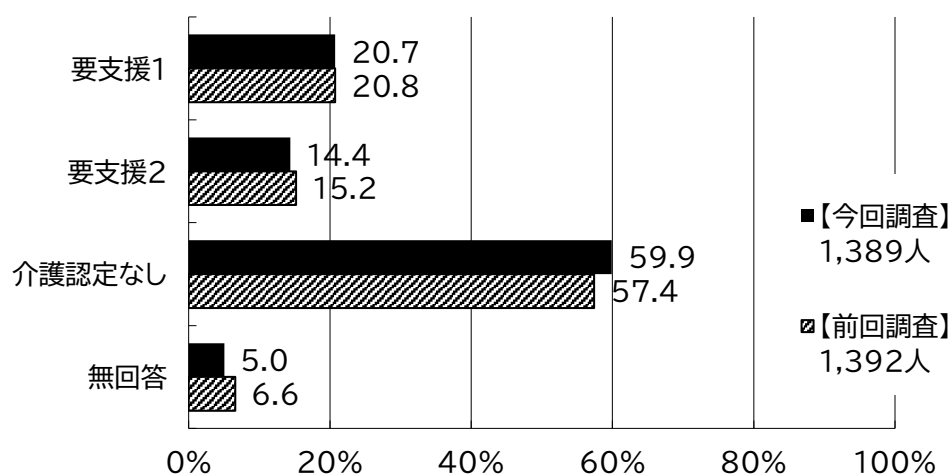
【日常生活圏域別】

- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は75歳以上の後期高齢者の割合が72.0%と比較的高くなっています。
(単位:%)

		65~74歳	75~84歳	85歳~	無回答
全体 1389人		31.8	40.9	24.6	2.7
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	35.8	46.5	17.2	0.5
	きよはら圏域 250人	27.2	44.0	28.0	0.8
	なんがい圏域 425人	34.6	37.8	26.4	1.2
	しみず圏域 316人	30.4	39.3	29.4	0.9

⑤あなたの現在の要介護度をお教えてください。

- 「介護認定なし」が59.9%と最も高く、次いで「要支援1」が20.7%、「要支援2」が14.4%と続いています。



【年齢別等】

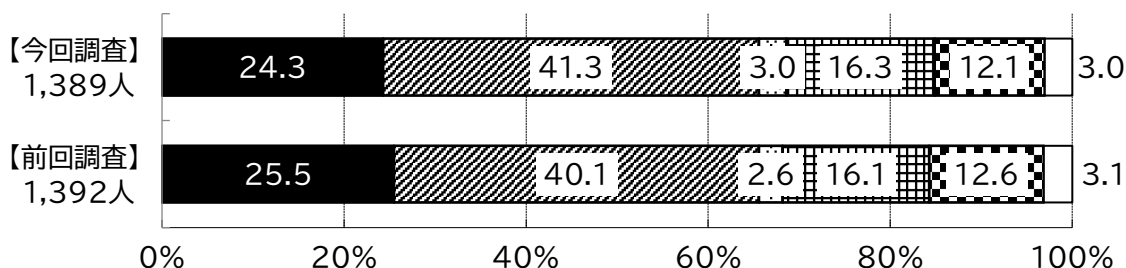
- 年齢別で見ると、85歳~は「要支援1」が38.1%、「要支援2」が32.3%と、要支援認定者が70.4%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は要支援認定者が41.2%と比較的高くなっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは47.0%、息子・娘との2世帯は46.5%が要支援認定者となっています。
(単位:%)

		要支援1	要支援2	介護認定なし	無回答
全体 1389人		20.7	14.4	59.9	5.0
1-④ 年齢	65~74歳 442人	5.4	3.4	89.4	2.0
	75~84歳 568人	23.1	12.3	60.2	4.4
	85歳~ 341人	38.1	32.3	26.7	2.9
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	16.9	12.0	67.8	3.3
	きよはら圏域 250人	25.6	15.6	54.0	4.8
	なんがい圏域 425人	22.8	14.6	60.9	1.9
	しみず圏域 316人	19.9	17.1	59.2	3.8
2-問1 家族構成	1人暮らし 338人	26.9	20.1	48.2	4.7
	夫婦2人暮らし 615人	18.2	9.4	66.7	5.7
	息子・娘との2世帯 226人	26.1	20.4	50.9	3.1

2 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください。

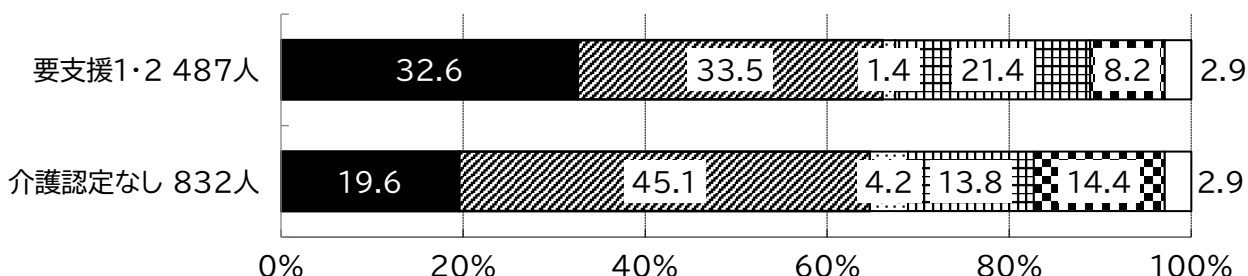
- 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.3%と最も高く、次いで「1人暮らし」が24.3%、「息子・娘との2世帯」が16.3%と続いています。



- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▩ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▧ 息子・娘との2世帯
- ▦ その他
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.5%、「1人暮らし」が32.6%とこれらが上位2つで、次いで「息子・娘との2世帯」が21.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」が19.6%、「その他」が14.4%と続いています。



- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▩ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▧ 息子・娘との2世帯
- ▦ その他
- 無回答

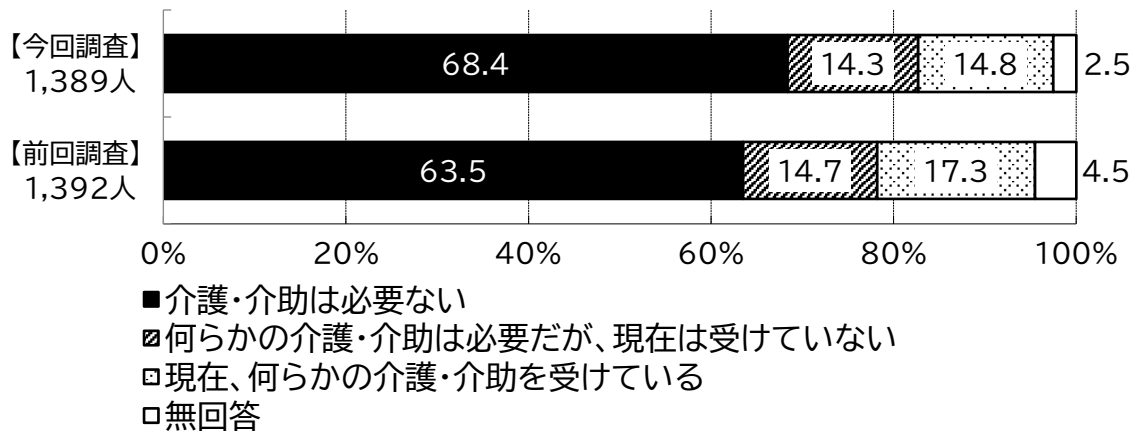
【年齢別等】

- 年齢別で見ると、85歳～は「1人暮らし」が34.6%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.6%、「息子・娘との2世帯」が23.5%と続いています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は30.8%、なんがい圏域は30.6%が「1人暮らし」となっています。
(単位:%)

		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
	全体 1389人	24.3	41.3	3.0	16.3	12.1	3.0
1-④ 年齢	65～74歳 442人	17.4	44.3	7.7	11.3	17.0	2.3
	75～84歳 568人	23.9	45.8	0.9	16.0	10.4	3.0
	85歳～ 341人	34.6	29.6	0.9	23.5	8.2	3.2
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	18.6	44.5	2.7	18.9	12.8	2.5
	きよはら圏域 250人	30.8	39.6	1.6	12.4	12.8	2.8
	なんがい圏域 425人	30.6	38.4	2.8	14.1	11.3	2.8
	しみず圏域 316人	17.7	42.1	5.1	19.9	12.0	3.2

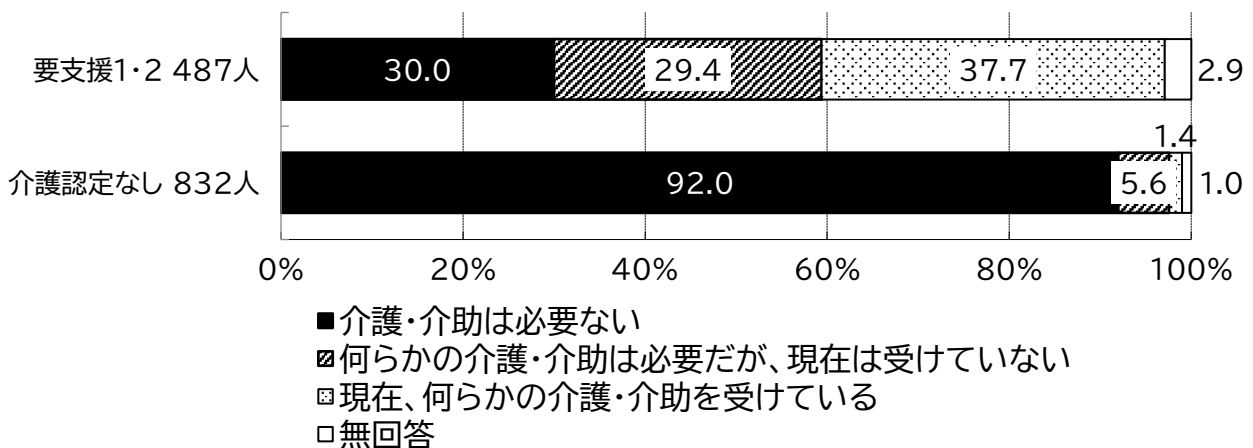
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- 「介護・介助は必要ない」が 68.4%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 14.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 14.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 37.7%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」が 30%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 29.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「介護・介助は必要ない」が 92.0%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 5.6%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 1.4%と続いています。



【年齢別等】

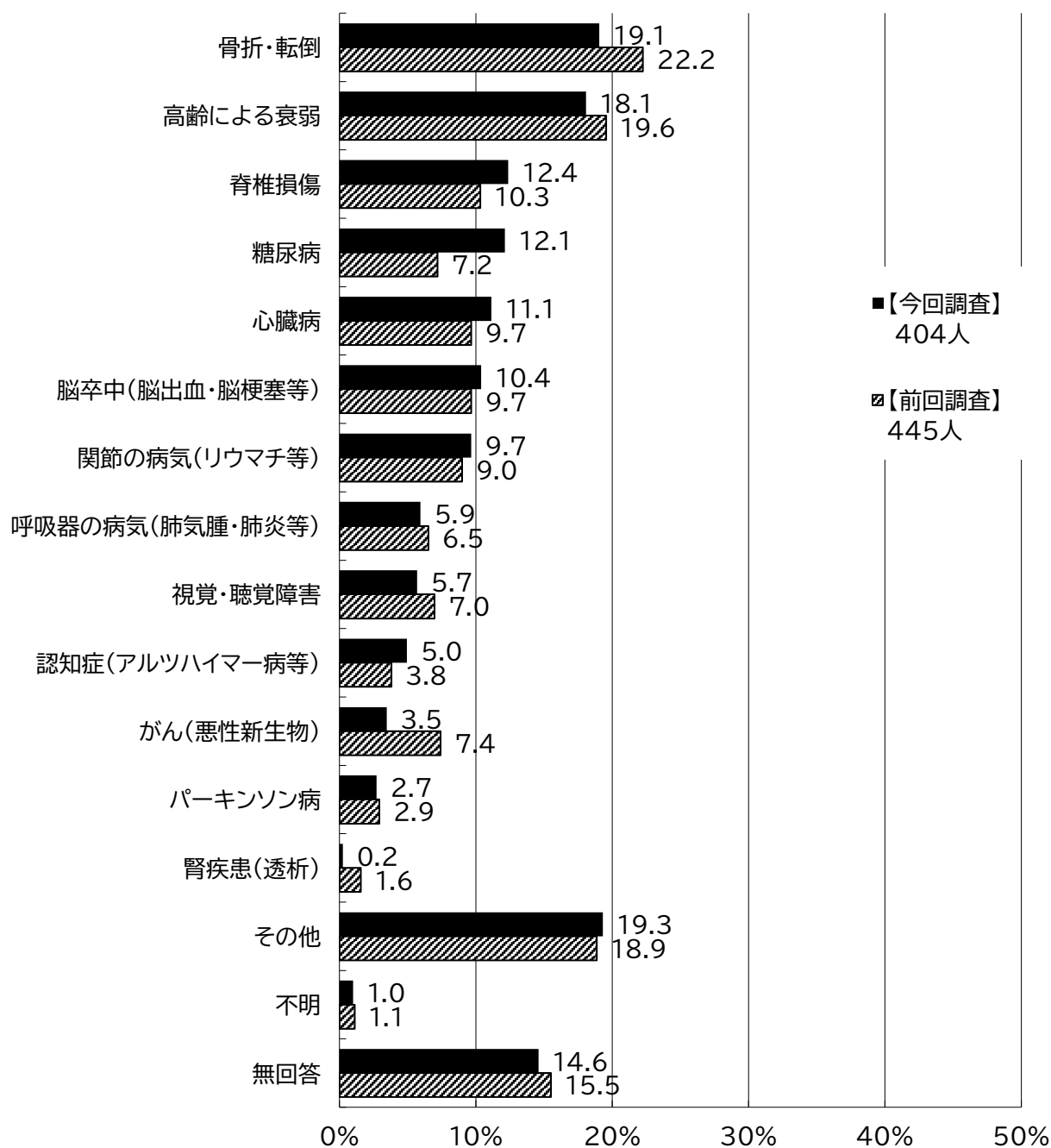
- 年齢別で見ると、85歳～は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 29.6%と比較的高くなっています。
- 要介護度別で見ると、要支援1は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 34.4%、要支援2は同回答が 43.0%となっています。

(単位:%)

		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護・介助を受けている	無回答
	全体 1389人	68.4	14.3	14.8	2.5
1-④ 年齢	65～74歳 442人	90.7	4.1	3.8	1.4
	75～84歳 568人	68.7	13.9	14.8	2.6
	85歳～ 341人	40.2	27.6	29.6	2.6
	要支援1 288人	33.7	28.8	34.4	3.1
1-⑤ 要介護度	要支援2 200人	24.5	30.0	43.0	2.5
	介護認定なし 832人	92.0	5.6	1.4	1.0

問2-1 【問2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(いくつでも)

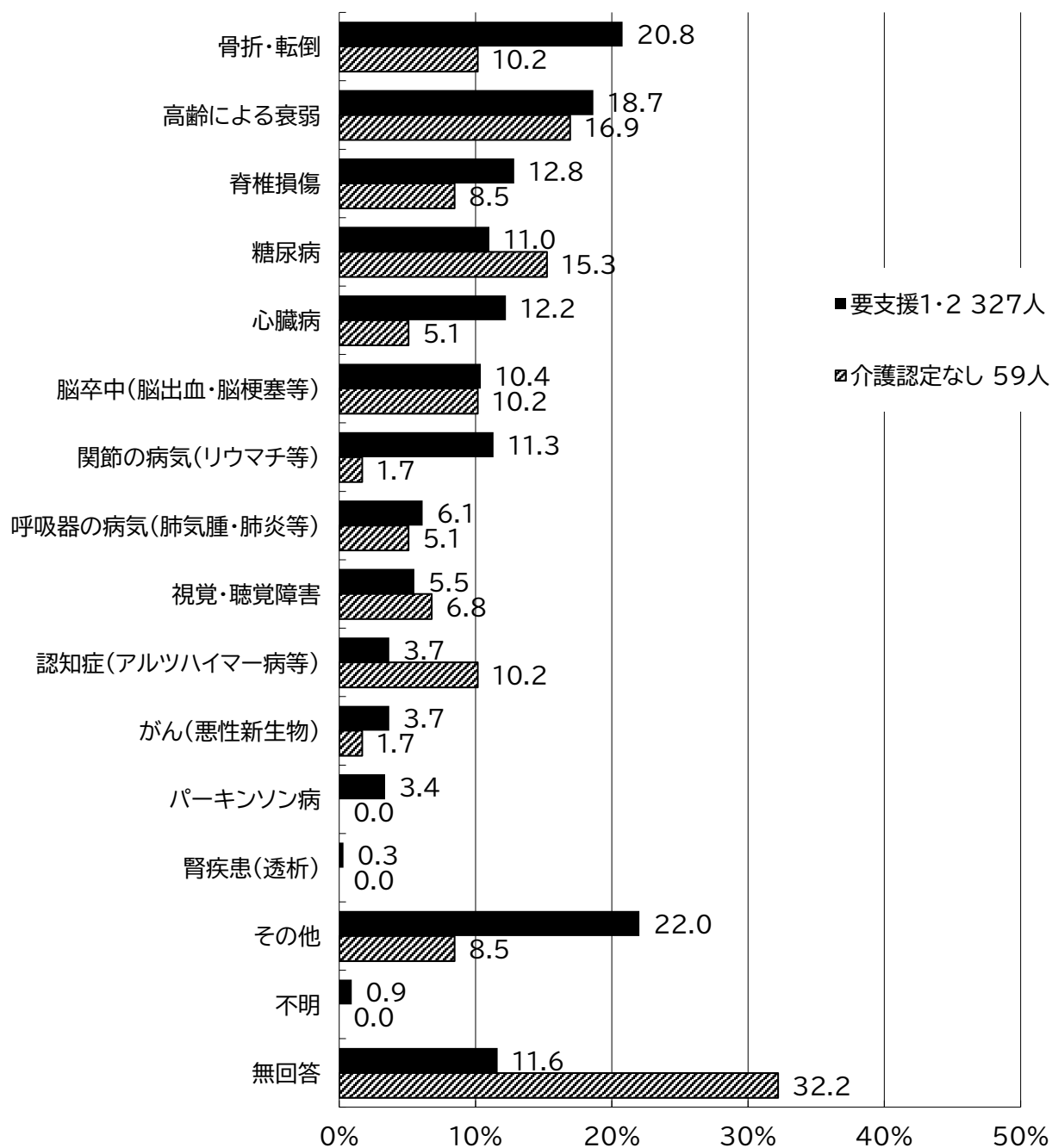
- 「その他」が 19.3%、「骨折・転倒」が 19.1%とこれらが上位2つで、次いで「高齢による衰弱」が 18.1%と続いています。



※複数回答(いくつでも 等)の設問のグラフは、【今回調査】の回答率の降順で並び替え(以降のグラフも同様)

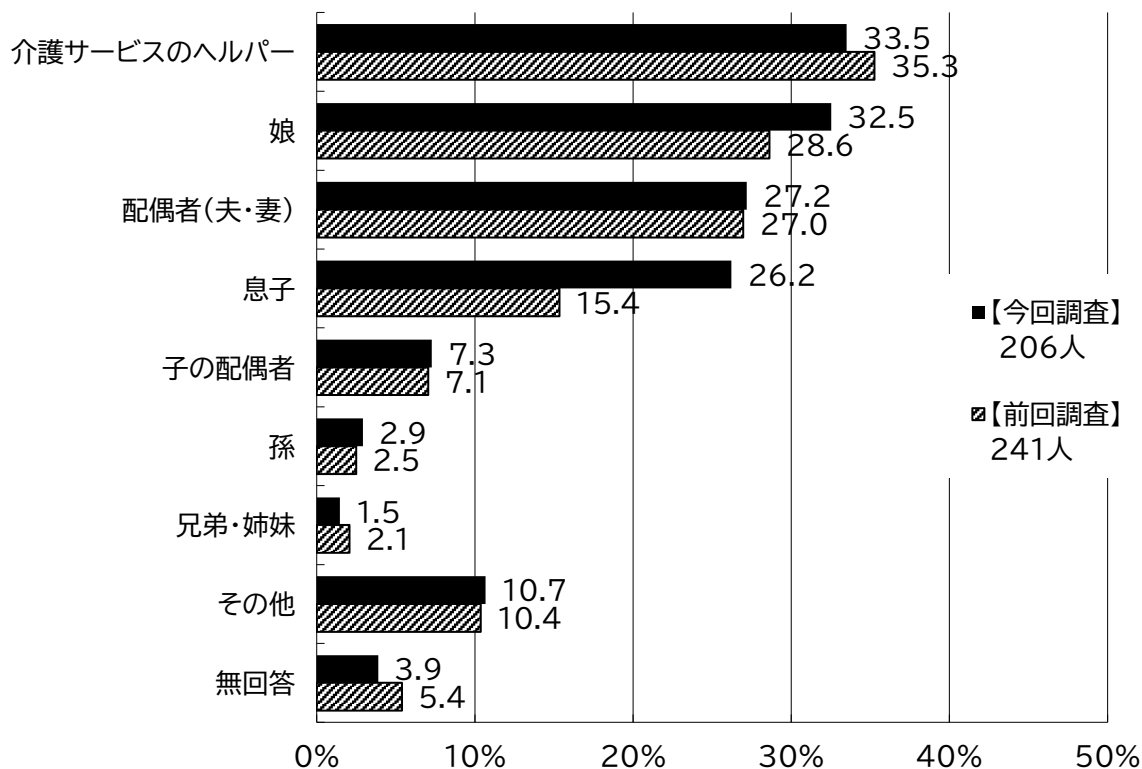
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「その他」が 22.0%、「骨折・転倒」が 20.8%とこれらが上位2つで、次いで「高齢による衰弱」が 18.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「高齢による衰弱」が 16.9%、「糖尿病」が 15.3%とこれらが上位2つで、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が 10.2%と続いています。



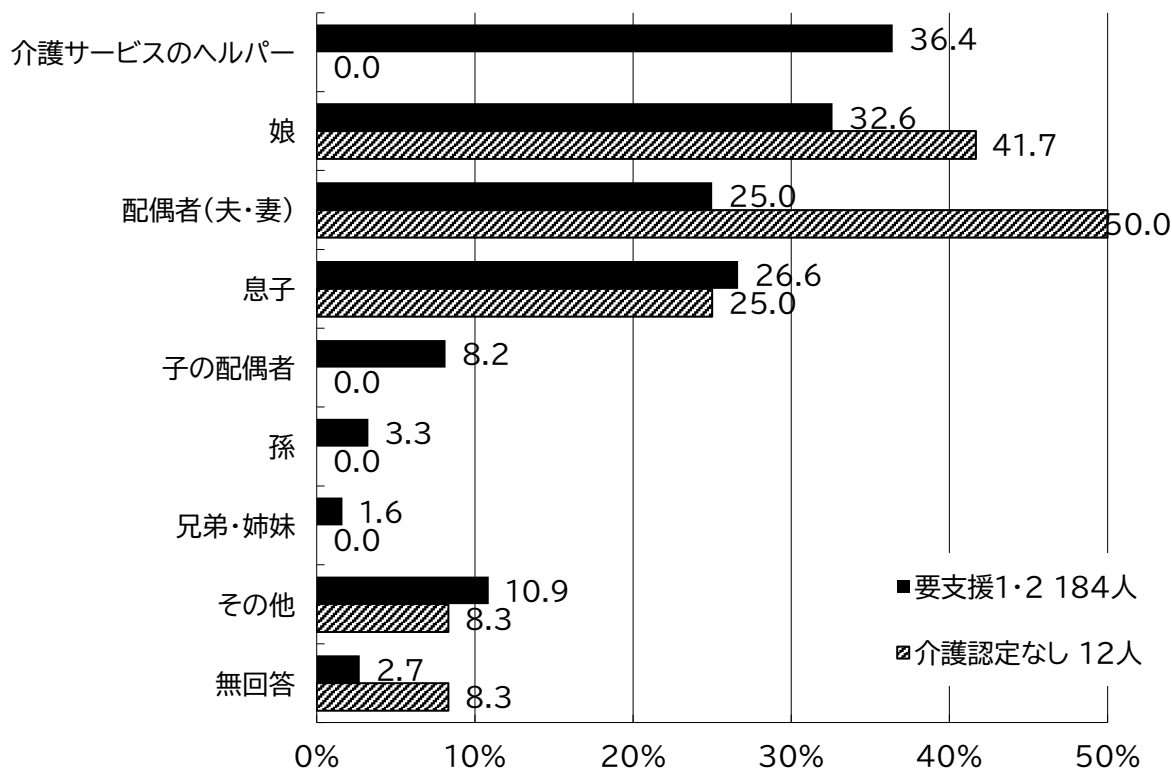
問2-2 【問2において「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】
主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

- 「介護サービスのヘルパー」が 33.5%、「娘」が 32.5%とこれらが上位2つで、次いで「配偶者(夫・妻)」が 27.2%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「介護サービスのヘルパー」が 36.4%、「娘」が 32.6%とこれらが上位2つで、次いで「息子」が 26.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「配偶者(夫・妻)」が 50.0%と最も高く、次いで「娘」が 41.7%、「息子」が 25.0%と続いています。



【年齢別等】

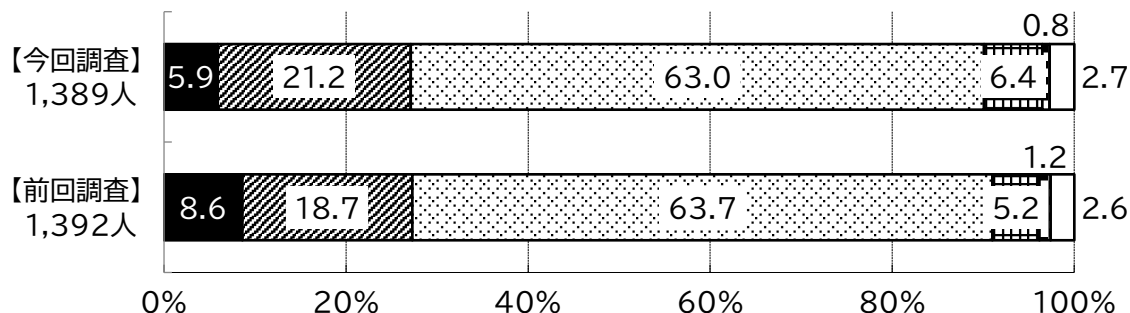
- 年齢別で見ると、85歳～は「娘」が37.6%、次いで「介護サービスのヘルパー」が31.7%と続いています。
- 要介護度別で見ると、要支援1は「娘」が37.4%、要支援2は「介護サービスのヘルパー」が40.7%と最も高くなっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「介護サービスのヘルパー」が56.8%、夫婦2人暮らしは「配偶者(夫・妻)」が68.7%と最も高くなっています。

(単位:%)

		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配 偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無回答
	全体 206人	27.2	26.2	32.5	7.3	2.9	1.5	33.5	10.7	3.9
1-④ 年齢	65～74歳 17人	58.8	17.6	29.4	0.0	0.0	0.0	17.6	11.8	5.9
	75～84歳 84人	34.5	23.8	28.6	7.1	3.6	1.2	38.1	4.8	3.6
	85歳～ 101人	14.9	29.7	37.6	8.9	3.0	2.0	31.7	14.9	4.0
1-⑤ 要介護度	要支援1 99人	27.3	26.3	37.4	7.1	2.0	2.0	32.3	9.1	2.0
	要支援2 86人	22.1	26.7	27.9	9.3	4.7	1.2	40.7	12.8	3.5
	介護認定なし 12人	50.0	25.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
2-① 家族構成	1人暮らし 74人	0.0	25.7	33.8	4.1	2.7	2.7	56.8	13.5	4.1
	夫婦2人暮らし 67人	68.7	10.4	19.4	3.0	0.0	1.5	23.9	9.0	6.0
	息子・娘との2世帯 38人	15.8	39.5	52.6	18.4	5.3	0.0	13.2	7.9	2.6

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

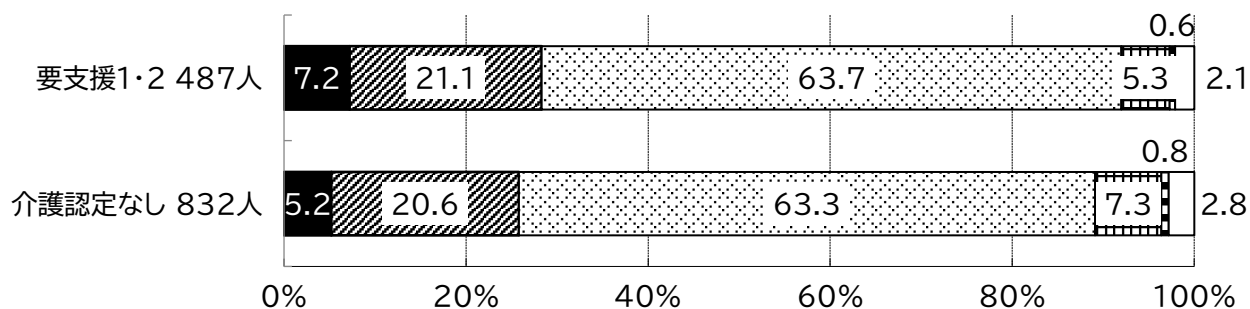
- 「ふつう」が63.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が21.2%、「ややゆとりがある」が6.4%と続いています。



■ 大変苦しい ■ やや苦しい □ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「ふつう」が63.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」が21.1%、「大変苦しい」が7.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ふつう」が63.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.6%、「ややゆとりがある」が7.3%と続いています。



■ 大変苦しい ■ やや苦しい □ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答

【家族構成別等】

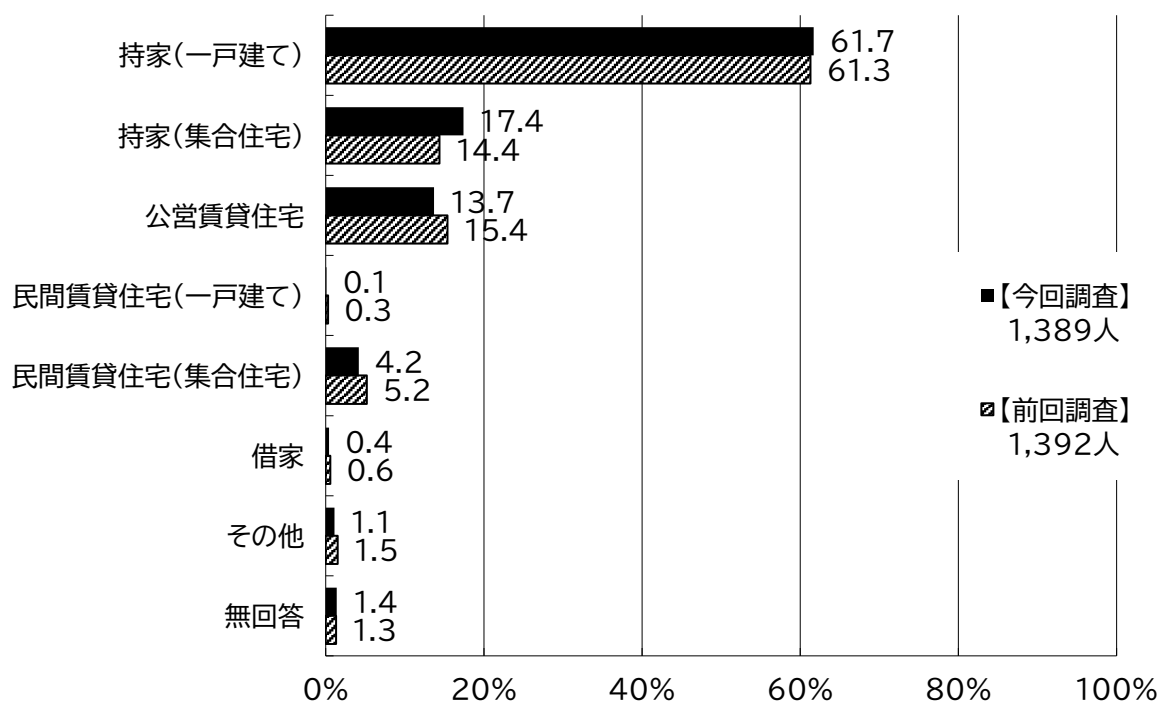
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「大変苦しい」、「やや苦しい」が合わせて33.2%と比較的高くなっています。
- お住まい別で見ると、賃貸・借家は「大変苦しい」、「やや苦しい」が合わせて43.9%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
	全体 1389人	5.9	21.2	63.0	6.4	0.8	2.7
2-問1 家族構成	1人暮らし 338人	8.9	24.3	55.2	7.4	0.9	3.3
	夫婦2人暮らし 615人	5.7	20.5	63.8	7.2	1.0	1.8
	息子・娘との2世帯 226人	3.5	16.4	72.6	6.2	0.0	1.3
2-問4 お住まい	持ち家 1100人	4.2	18.8	66.8	7.5	1.0	1.7
	賃貸・借家 255人	12.5	31.4	50.7	2.7	0.0	2.7

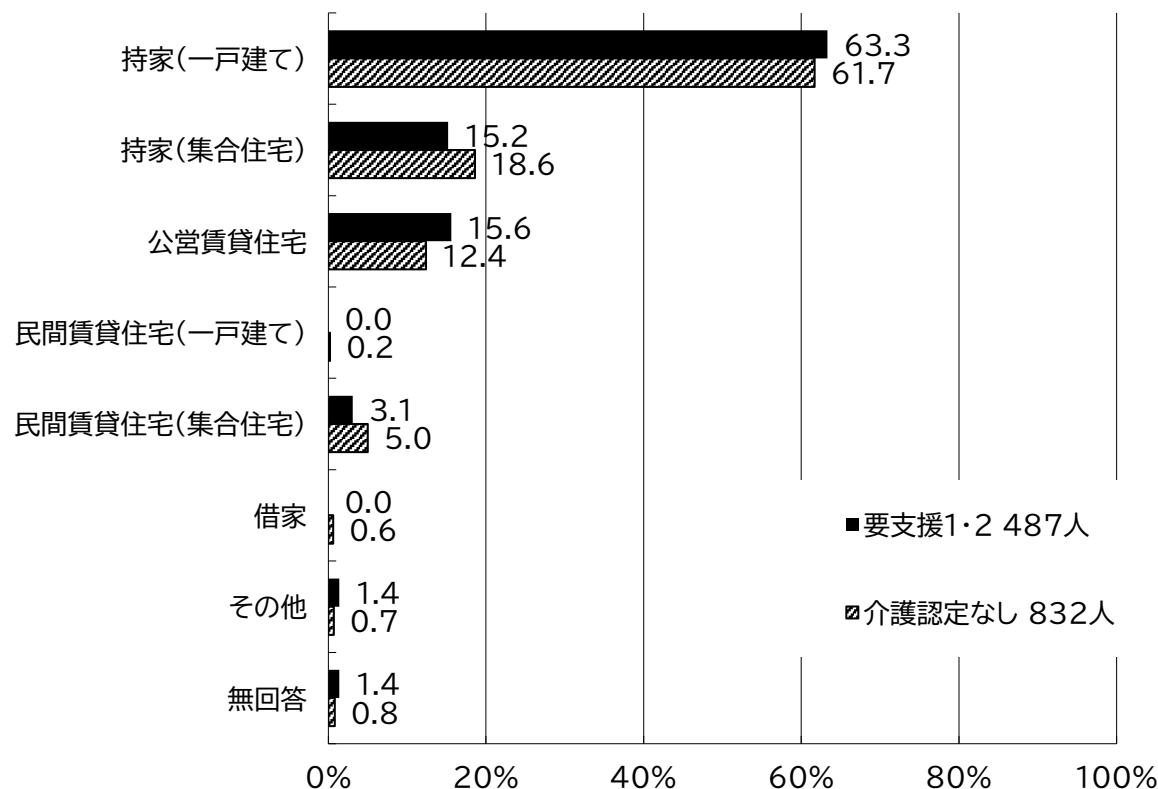
問4 お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

- 「持家(一戸建て)」が61.7%と最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が17.4%、「公営賃貸住宅」が13.7%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「持家(一戸建て)」が63.3%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が15.6%、「持家(集合住宅)」が15.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「持家(一戸建て)」が61.7%と最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が18.6%、「公営賃貸住宅」が12.4%と続いています。



【日常生活圏域別等】

- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「持家(一戸建て)」が最も高い一方、きよはら圏域は「公営賃貸住宅」が26.8%、なんがい圏域は「持家(集合住宅)」が35.8%と、それぞれ比較的高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれの圏域も「持家(一戸建て)」が最も高い一方、1人暮らしは「公営賃貸住宅」が25.7%と比較的高くなっています。

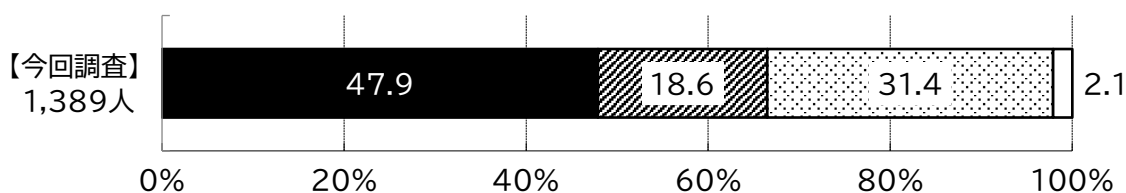
(単位:%)

		持家 (一戸 建て)	持家 (集合 住宅)	公営賃 貸住宅	民間賃 貸住宅 (一戸 建て)	民間賃 貸住宅 (集合 住宅)	借家	その他	無回答
	全体 1389人	61.7	17.4	13.7	0.1	4.2	0.4	1.1	1.4
1-② 日 常生活圏 域	いもくぼ圏域 366人	60.0	18.9	14.8	0.3	4.4	0.3	0.5	0.8
	きよはら圏域 250人	60.8	4.4	26.8	0.0	5.2	0.8	0.4	1.6
	なんがい圏域 425人	41.6	35.8	13.9	0.0	4.0	0.5	2.6	1.6
	しみず圏域 316人	93.8	0.9	0.9	0.3	3.2	0.0	0.0	0.9
2-① 家 族構成	1人暮らし 338人	44.4	19.2	25.7	0.0	8.0	0.0	1.8	0.9
	夫婦2人暮らし 615人	64.6	18.2	11.9	0.3	3.4	0.7	0.2	0.7
	息子・娘との2世帯 226人	81.9	12.8	2.7	0.0	0.9	0.0	1.3	0.4

3 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

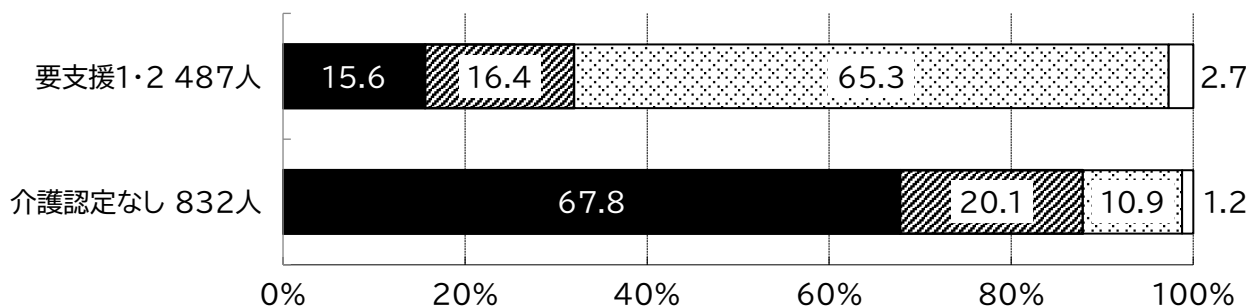
- 「できるし、している」が47.9%と最も高く、次いで「できない」が31.4%、「できるけれどしていない」が18.6%と続いています。



■できるし、している ■できるけれどしていない □できない □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

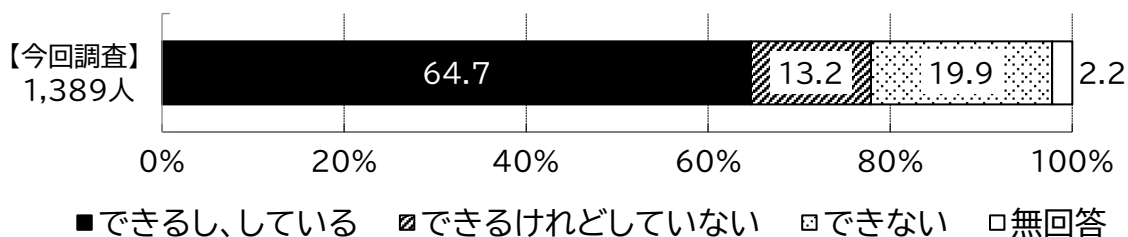
- 要支援1・2では、「できない」が65.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が16.4%、「できるし、している」が15.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が67.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が20.1%、「できない」が10.9%と続いています。



■できるし、している ■できるけれどしていない □できない □無回答

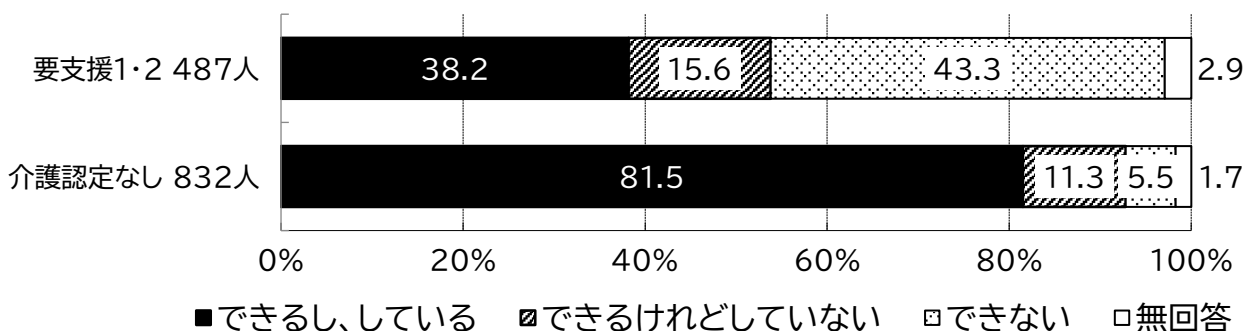
問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- 「できるし、している」が64.7%と最も高く、次いで「できない」が19.9%、「できるけれどしていない」が13.2%と続いています。



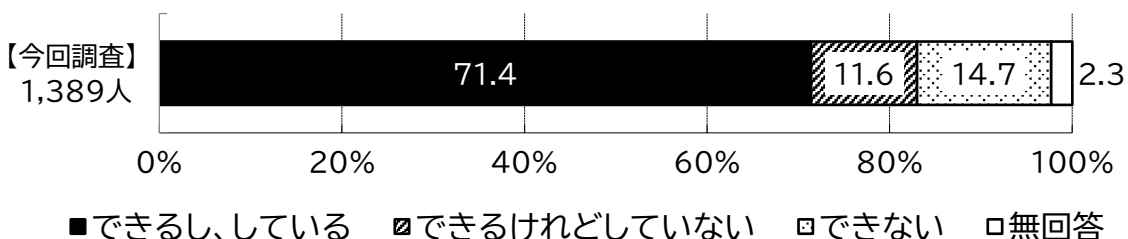
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できない」が43.3%と最も高く、次いで「できるし、している」が38.2%、「できるけれどしていない」が15.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が81.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が11.3%、「できない」が5.5%と続いています。



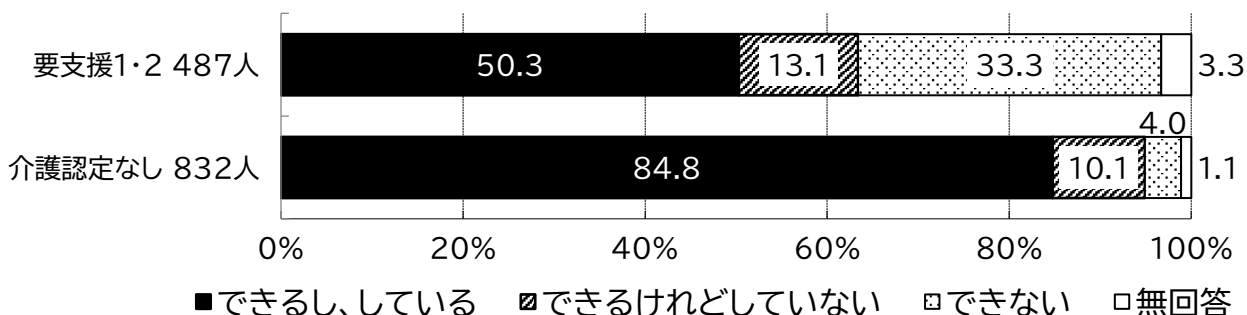
問3 15分位続けて歩いていますか。

- 「できるし、している」が71.4%と最も高く、次いで「できない」が14.7%、「できるけれどしていない」が11.6%と続いています。



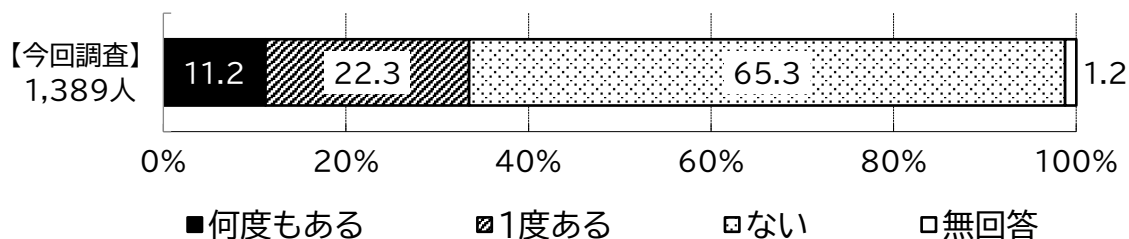
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が50.3%と最も高く、次いで「できない」が33.3%、「できるけれどしていない」が13.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が84.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が10.1%、「できない」が4.0%と続いています。



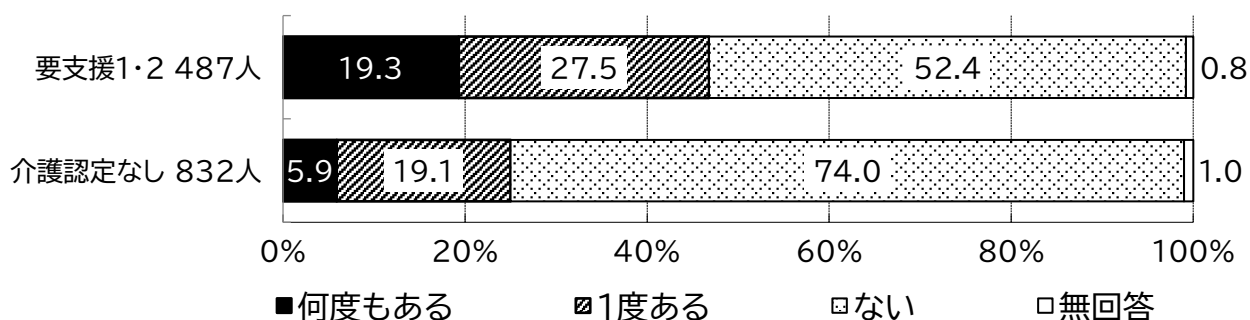
問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 「ない」が65.3%と最も高く、次いで「1度ある」が22.3%、「何でもある」が11.2%と続いています。



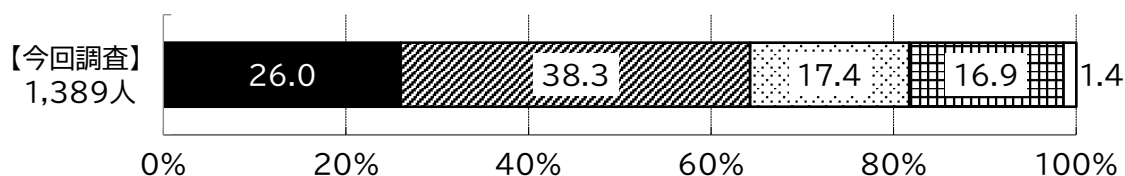
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「ない」が52.4%と最も高く、次いで「1度ある」が27.5%、「何でもある」が19.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ない」が74.0%と最も高く、次いで「1度ある」が19.1%、「何でもある」が5.9%と続いています。



問5 転倒に対する不安は大きいですか。

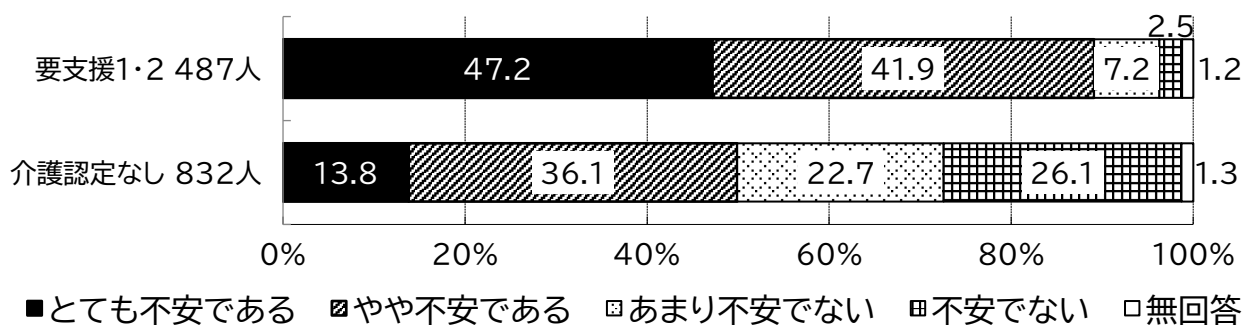
- 「やや不安である」が38.3%と最も高く、次いで「とても不安である」が26%、「あまり不安でない」が17.4%と続いています。



- とても不安である ▨やや不安である □あまり不安でない ▩不安でない □無回答

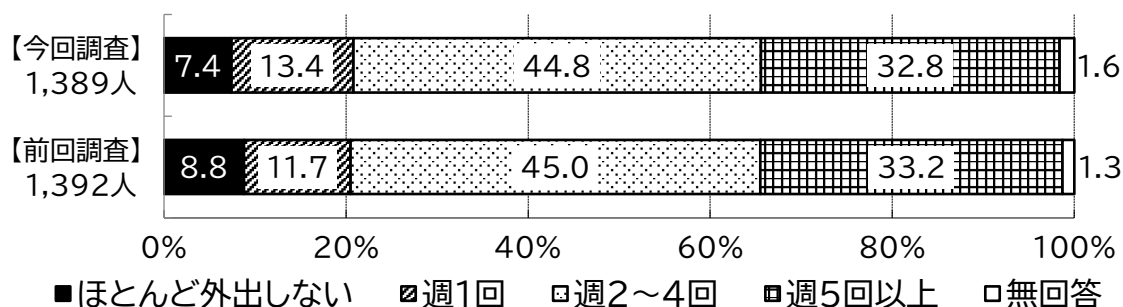
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「とても不安である」が47.2%と最も高く、次いで「やや不安である」が41.9%、「あまり不安でない」が7.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「やや不安である」が36.1%と最も高く、次いで「不安でない」が26.1%、「あまり不安でない」が22.7%と続いています。



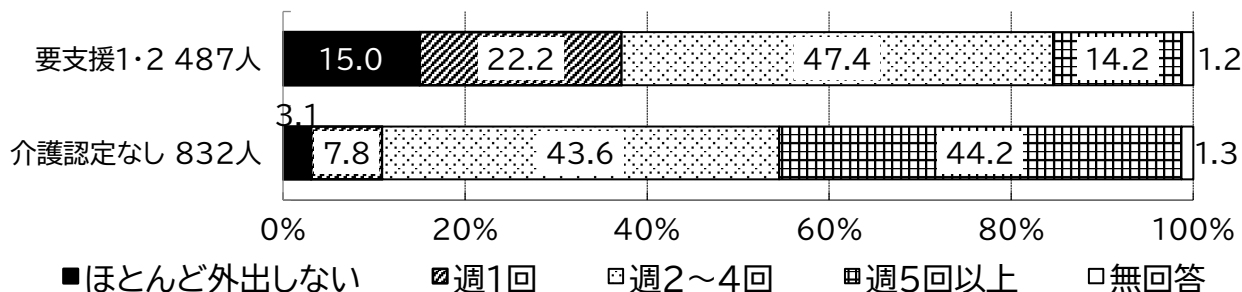
問6 週に1回以上は外出していますか。

- 「週2～4回」が44.8%と最も高く、次いで「週5回以上」が32.8%、「週1回」が13.4%と続いています。



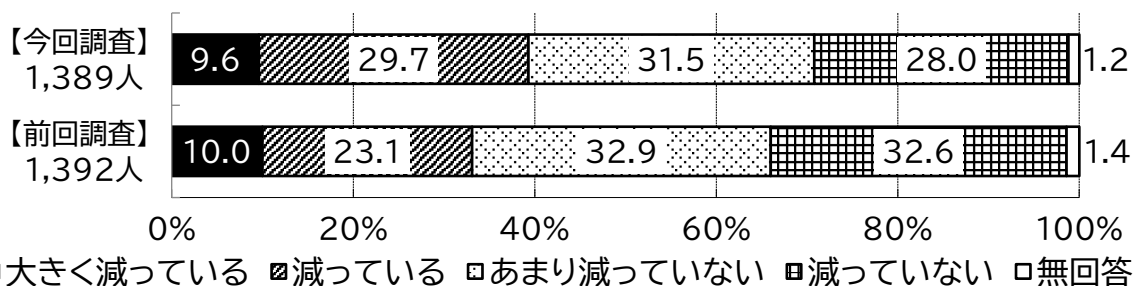
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「週2～4回」が47.4%と最も高く、次いで「週1回」が22.2%、「ほとんど外出しない」が15.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「週5回以上」が44.2%、「週2～4回」が43.6%とこれらが上位2つで、次いで「週1回」が7.8%と続いています。



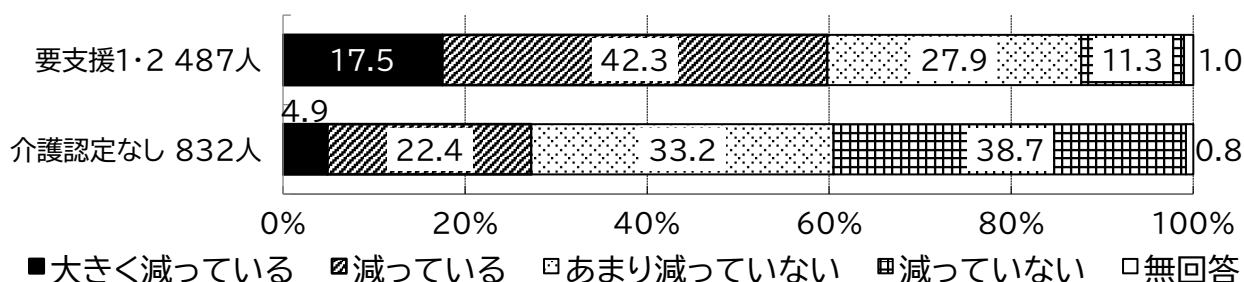
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

- 「あまり減っていない」が31.5%、「減っている」が29.7%とこれらが上位2つで、次いで「減っていない」が28.0%と続いています。



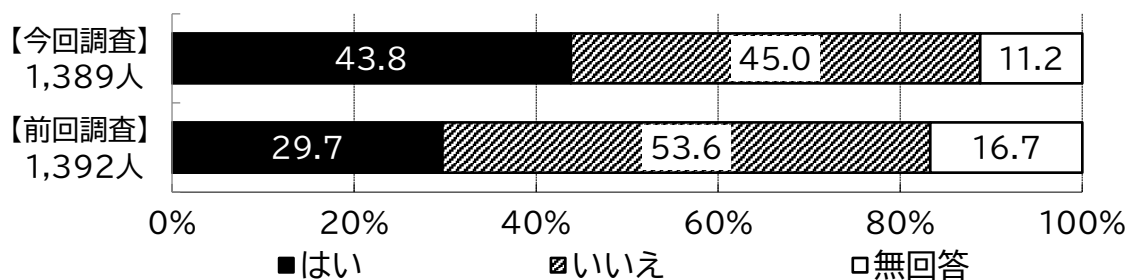
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「減っている」が42.3%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が27.9%、「大きく減っている」が17.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「減っていない」が38.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が33.2%、「減っている」が22.4%と続いています。



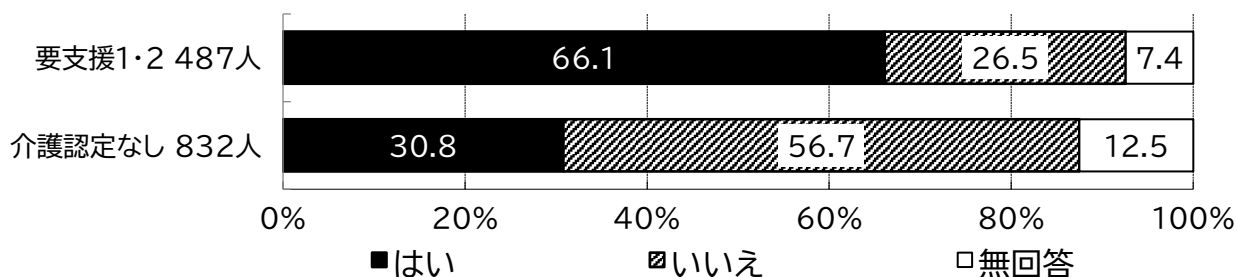
問8 外出を控えていますか。

- 「いいえ」が45%、「はい」が43.8%となっています。



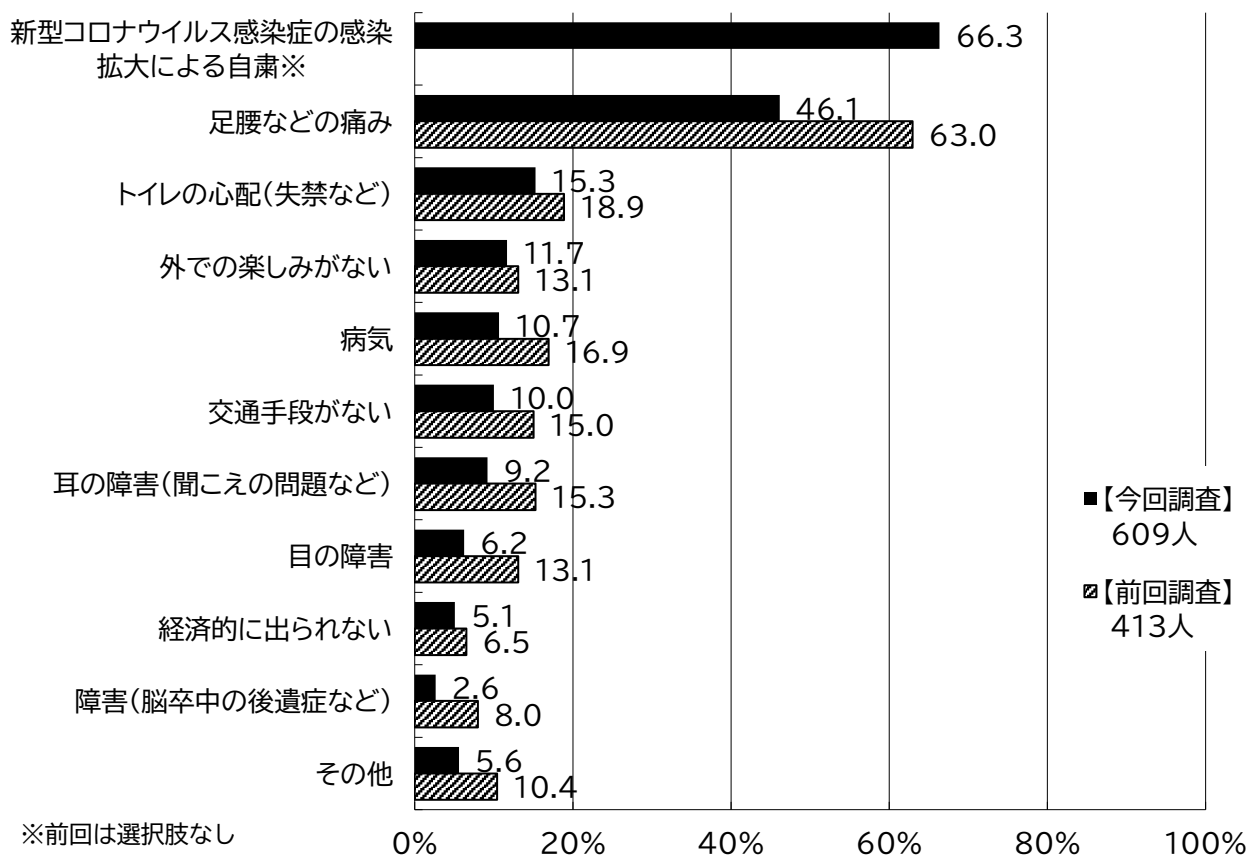
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が66.1%、「いいえ」が26.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が56.7%、「はい」が30.8%となっています。



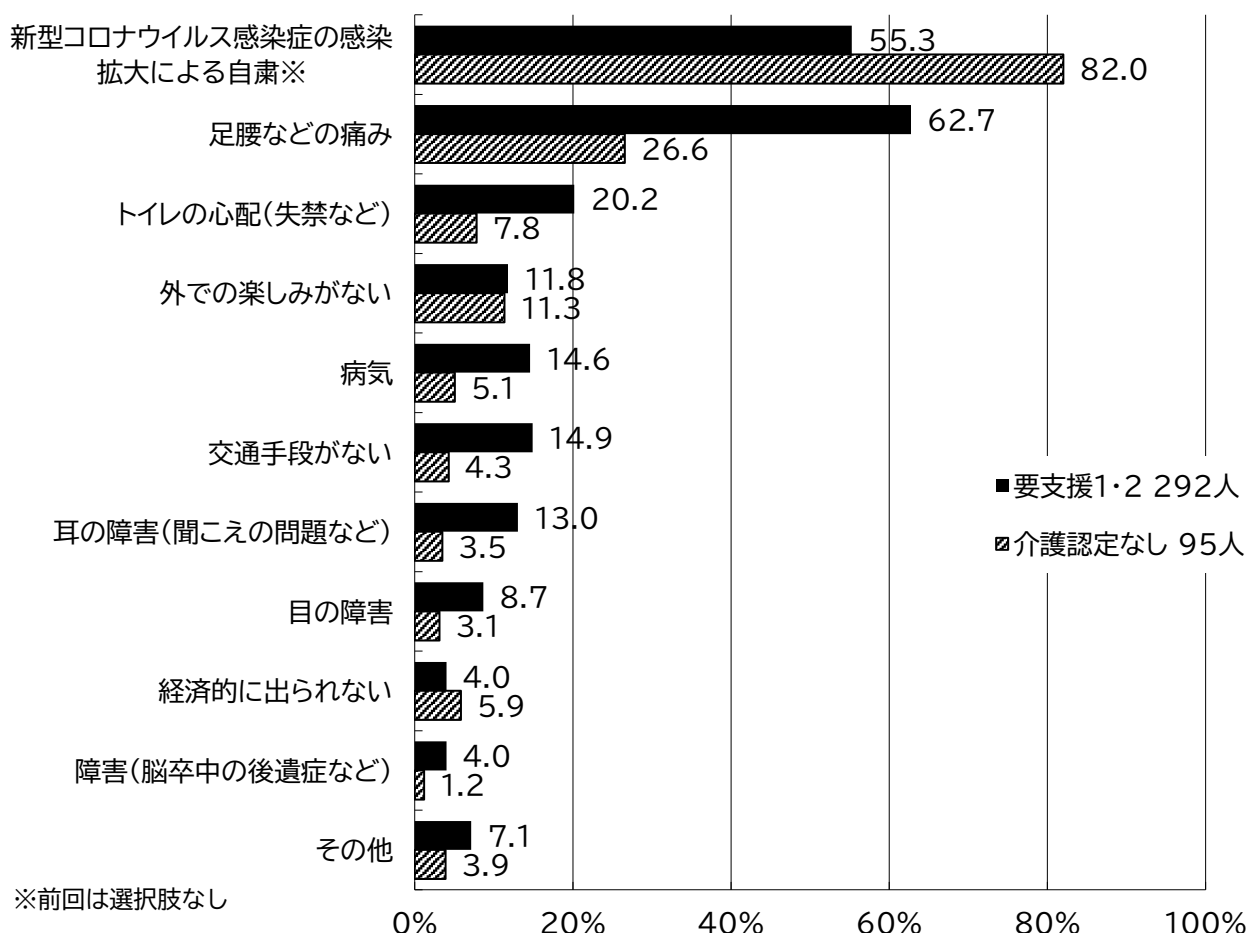
問8-1 【問8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛※」が66.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が46.1%、「トイレの心配(失禁など)」が15.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「足腰などの痛み」が62.7%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛」が55.3%、「トイレの心配(失禁など)」が20.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛」が82.0%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が26.6%、「外での楽しみがない」が11.3%と続いています。



【暮らしの経済的な状況別】

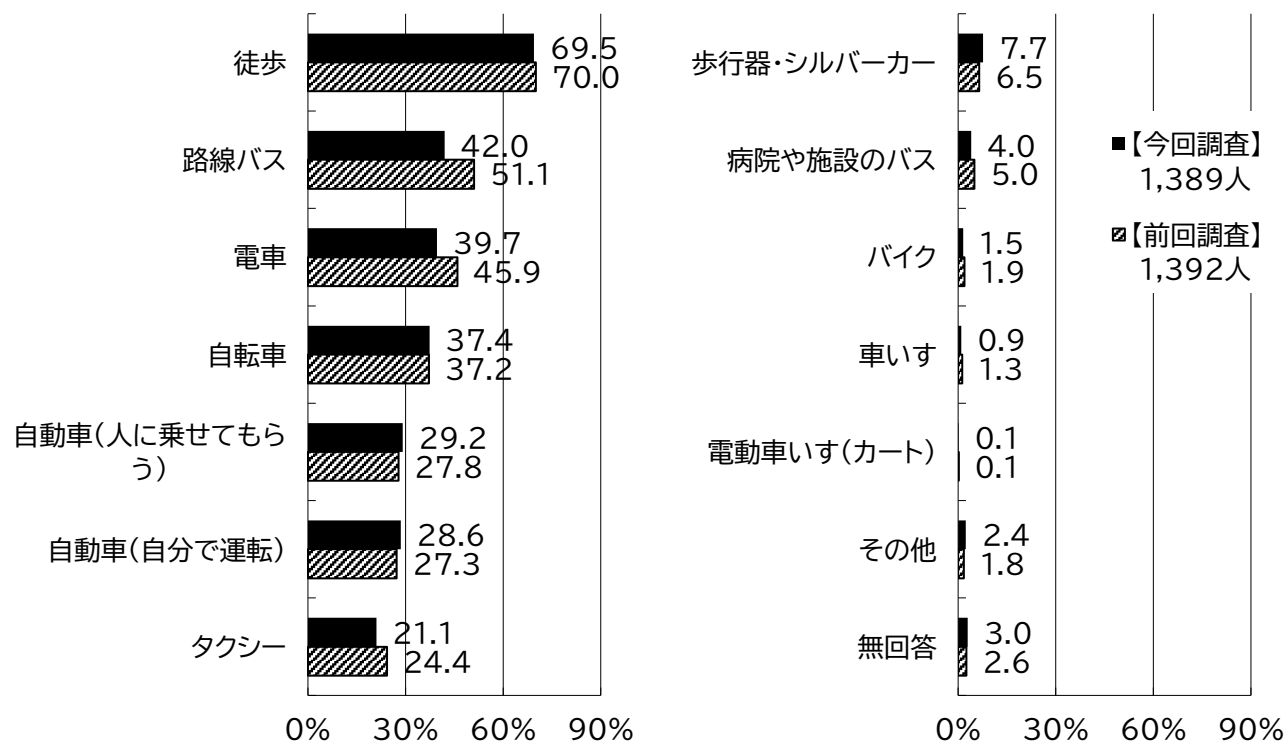
- 暮らしの経済的な状況別で見ると、いずれの状況も「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛」が最も高い一方、大変苦しい・やや苦しいという場合は「足腰などの痛み」が53.7%、「トイレの心配(失禁など)」が23.4%、「経済的に出られない」が16.6%と、それぞれ比較的高くなっています。

(単位:%)

		病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛	その他	無回答
	全体 609人	10.7	2.6	46.1	15.3	9.2	6.2	11.7	5.1	10.0	66.3	5.6	0.5
2-問2暮らしの経済的な状況	大変苦しい・やや苦しい 175人	13.1	4.0	53.7	23.4	13.1	9.1	14.3	16.6	12.0	61.7	4.6	0.6
	ふつう 383人	9.7	2.3	42.8	12.3	6.8	5.2	10.4	0.3	9.4	68.7	5.5	0.5
	ややゆとりがある・大変ゆとりがある 36人	5.6	0.0	38.9	13.9	13.9	5.6	11.1	0.0	2.8	75.0	11.1	0.0

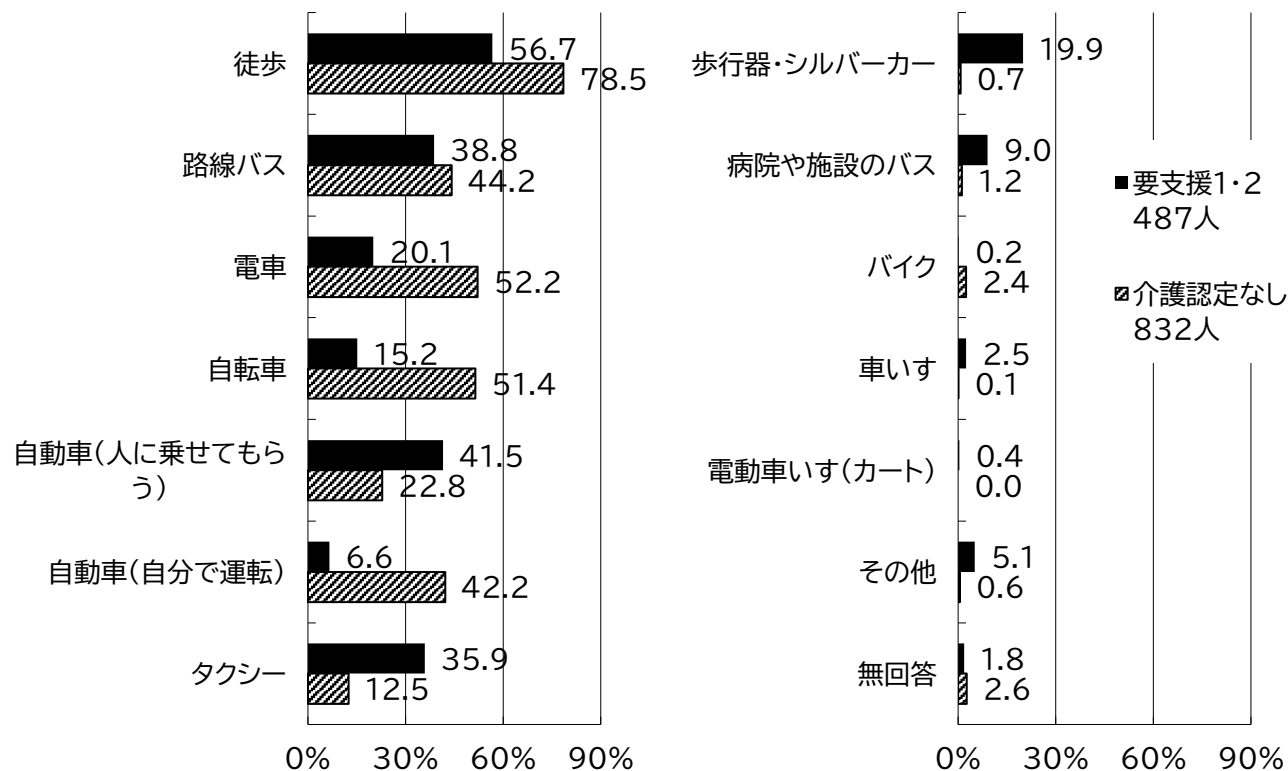
問9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 「徒歩」が69.5%と最も高く、次いで「路線バス」が42.0%、「電車」が39.7%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「徒歩」が56.7%と最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が41.5%、「路線バス」が38.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「徒歩」が78.5%と最も高く、次いで「電車」が52.2%、「自転車」が51.4%と続いています。



【年齢別等】

- 年齢で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、85歳～は「タクシー」が32.6%と比較的高くなっています。
- 性別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、男性は「自動車(自分で運転)」が48.1%、女性は同回答が14.7%と男女で差が見られます。
- 要介護度別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、要支援1と要支援2は「タクシー」が比較的高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、1人暮らしは「タクシー」が26.6%と比較的高くなっています。

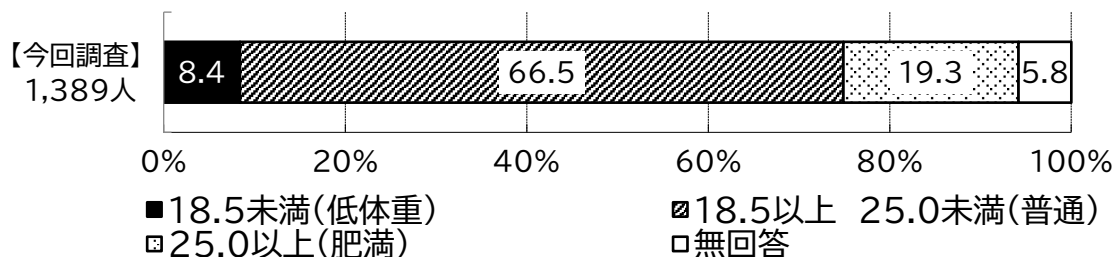
(単位:%)

		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器シルバーカー	タクシー	その他	無回答
	全体 1389人	69.5	37.4	1.5	28.6	29.2	39.7	42.0	4.0	0.9	0.1	7.7	21.1	2.4	3.0
1-④ 年齢	65～74歳 442人	79.6	52.7	3.8	52.5	23.1	56.8	40.5	1.1	0.5	0.0	0.2	8.6	1.4	2.5
	75～84歳 568人	70.6	37.7	0.5	22.7	27.1	38.0	47.9	3.7	0.7	0.0	6.0	24.1	2.1	2.8
	85歳～ 341人	55.7	18.2	0.3	7.9	41.3	21.1	34.9	8.2	2.1	0.6	20.5	32.6	3.8	2.9
1-③ 性別	男性 565人	73.1	44.2	2.8	48.1	16.1	45.5	36.6	2.3	0.9	0.4	3.0	16.6	1.2	3.7
	女性 795人	67.4	32.7	0.6	14.7	39.2	35.7	46.0	5.2	1.0	0.0	11.1	24.5	3.1	1.9
1-⑤ 要介護度	要支援1 288人	61.5	18.1	0.0	6.3	35.4	23.3	47.2	7.3	2.1	0.3	17.0	36.8	5.2	1.7
	要支援2 200人	50.0	11.0	0.5	7.0	50.0	16.0	27.0	12.0	3.0	0.5	24.0	34.5	5.5	2.0
	介護認定なし 832人	78.5	51.4	2.4	42.2	22.8	52.2	44.2	1.2	0.1	0.0	0.7	12.5	0.6	2.6
2-問1 家族構成	1人暮らし 338人	66.6	32.8	0.9	14.8	26.0	37.9	50.3	6.8	0.3	0.3	12.1	26.6	3.3	3.0
	夫婦2人暮らし 615人	71.5	41.0	1.8	37.2	24.9	44.2	42.6	2.6	0.8	0.2	3.7	19.0	1.6	3.3
	息子・娘との2世帯 226人	64.6	32.3	1.3	23.0	45.1	27.4	31.0	4.0	2.7	0.0	14.2	20.4	3.5	1.3

4 食べることについて

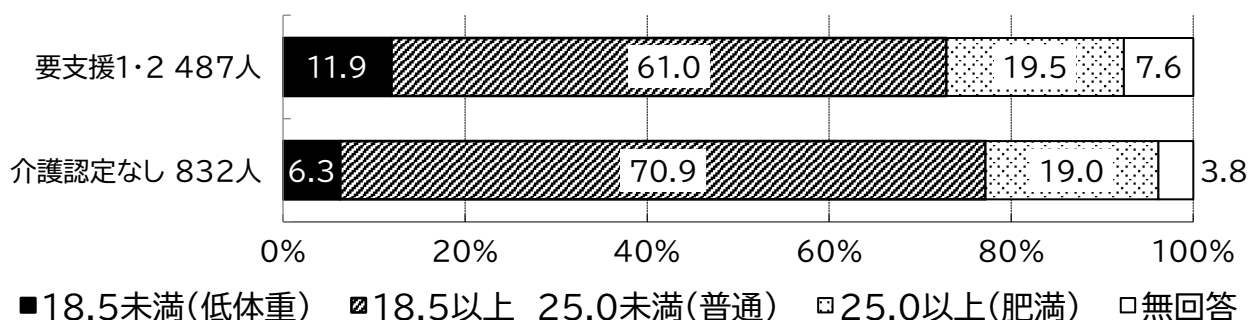
問1 身長・体重を教えてください。(身長・体重からBMIを算出)

- 身長・体重から算出したBMIは、「18.5以上 25.0未満(普通)」が66.5%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」が19.3%、「18.5未満(低体重)」が8.4%と続いています。



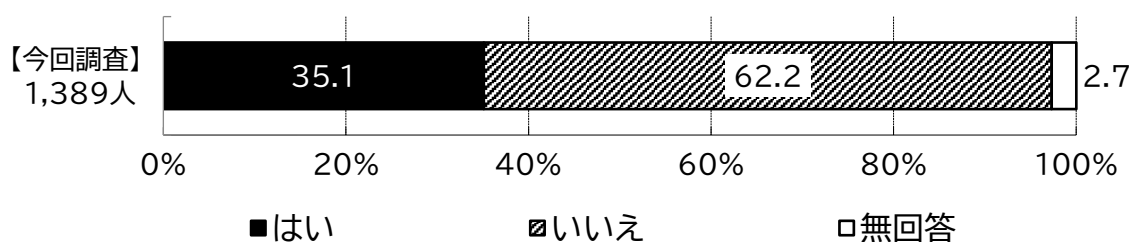
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「18.5以上 25.0未満(普通)」が61.0%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」が19.5%、「18.5未満(低体重)」が11.9%と続いています。
- 介護認定なしでは、「18.5以上 25.0未満(普通)」が70.9%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」が19.0%、「18.5未満(低体重)」が6.3%と続いています。



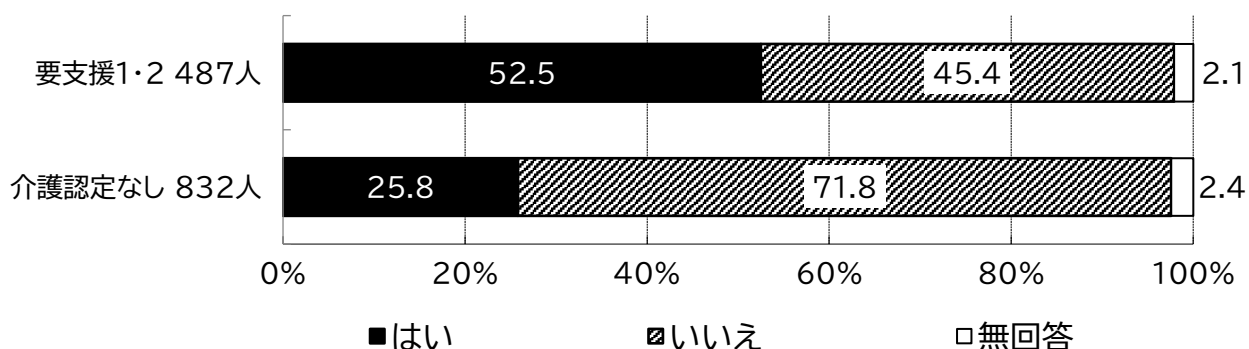
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- 「いいえ」が62.2%、「はい」が35.1%となっています。



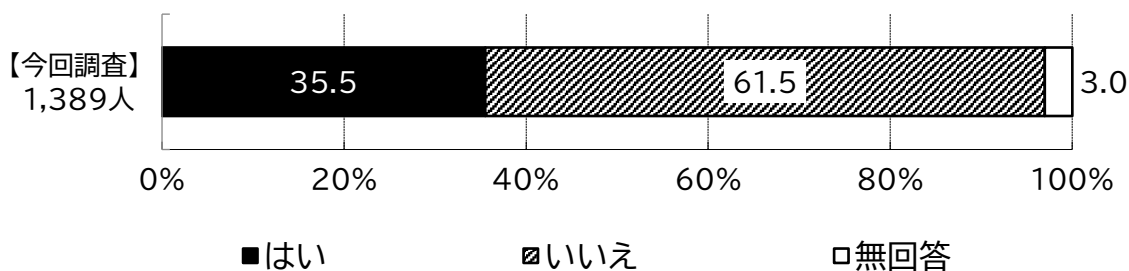
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が52.5%、「いいえ」が45.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が71.8%、「はい」が25.8%となっています。



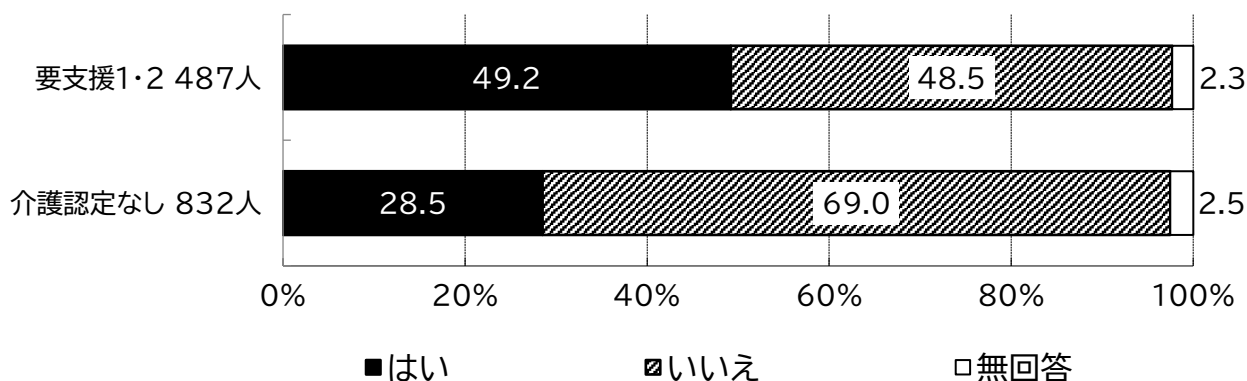
問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。

- 「いいえ」が61.5%、「はい」が35.5%となっています。



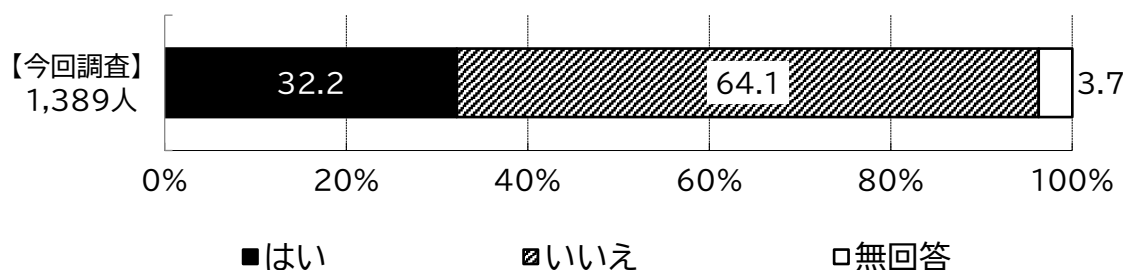
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が49.2%、「いいえ」が48.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が69.0%、「はい」が28.5%となっています。



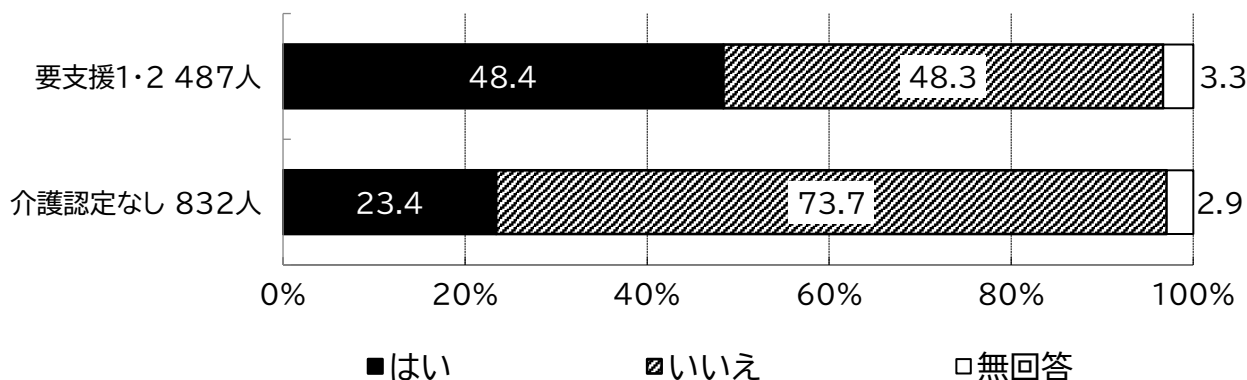
問4 口の渇きが気になりますか。

- 「いいえ」が64.1%、「はい」が32.2%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が48.4%、「いいえ」が48.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が73.7%、「はい」が23.4%となっています。



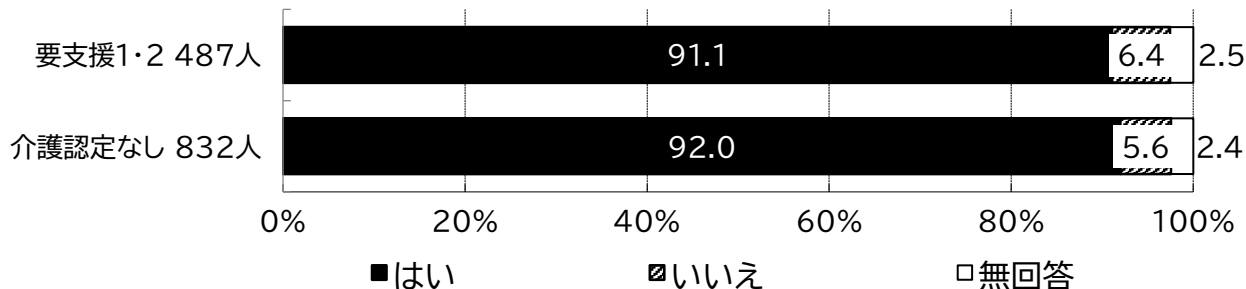
問5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。

- 「はい」が90.7%、「いいえ」が6.2%となっています。



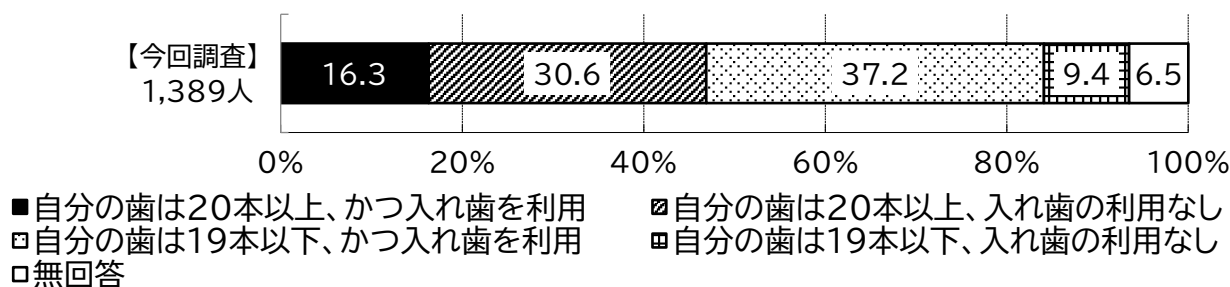
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が91.1%、「いいえ」が6.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が92.0%、「いいえ」が5.6%となっています。



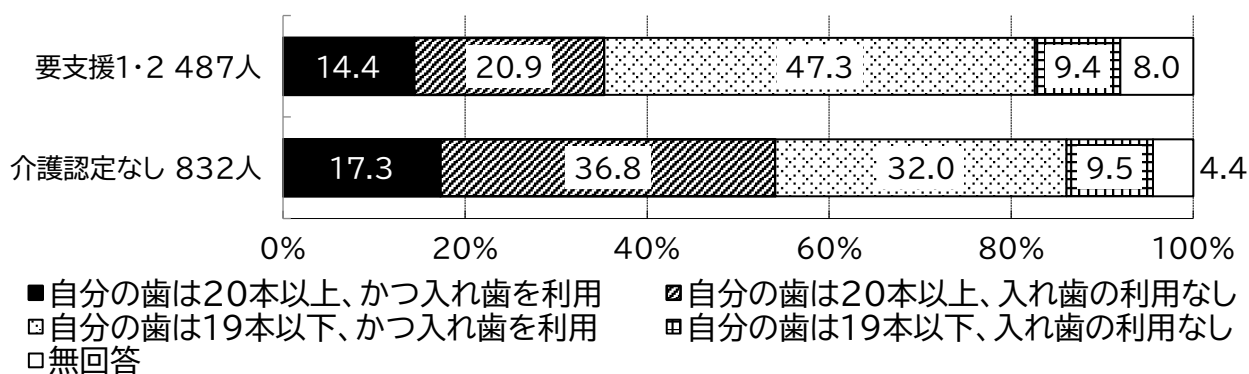
問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

- 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.2%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が47.3%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が20.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.8%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.0%とこれらが上位2つで、次いで「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.3%と続いています。



【年齢別】

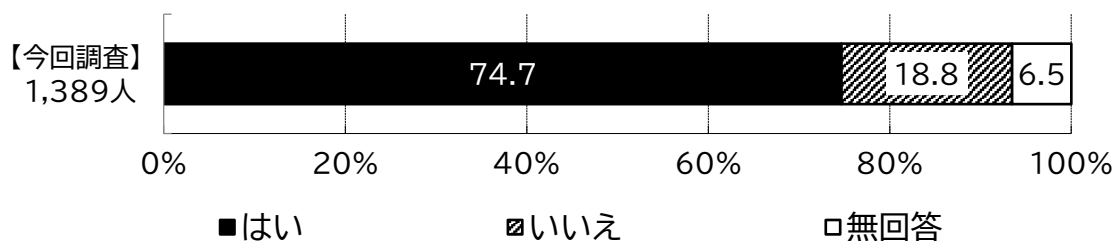
- 年齢別で見ると、自分の歯が20本以上の割合は65～74歳で58.9%、75～84歳で46.7%、85歳～で33.4%となっています。

(単位:%)

		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
	全体 1389人	16.3	30.6	37.2	9.4	6.5
1-④ 年齢	65～74歳 442人	15.2	43.7	25.1	13.3	2.7
	75～84歳 568人	18.0	28.7	38.3	6.9	8.1
	85歳～ 341人	15.2	18.2	51.4	7.6	7.6

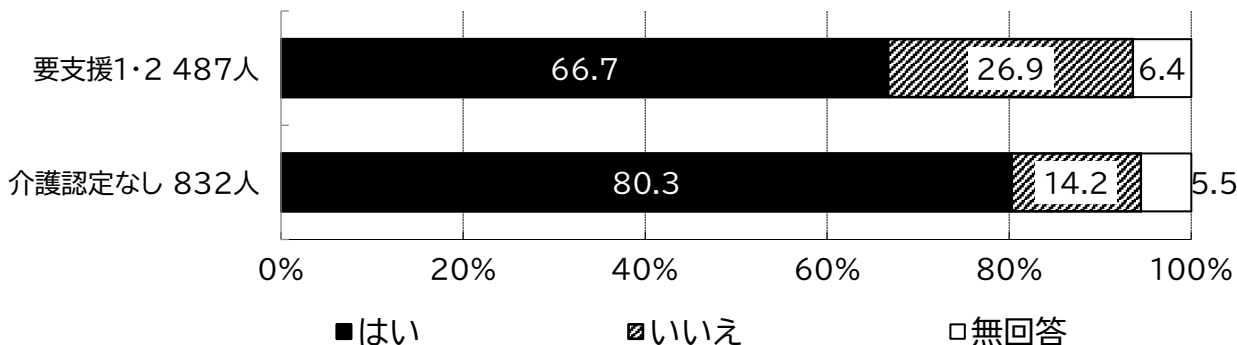
問6-1 噛み合わせは良いですか。

- 「はい」が74.7%、「いいえ」が18.8%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

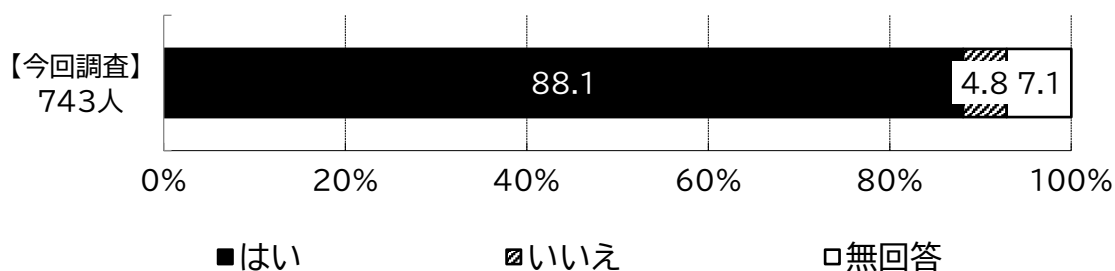
- 要支援1・2では、「はい」が66.7%、「いいえ」が26.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が80.3%、「いいえ」が14.2%となっています。



問6-2 【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

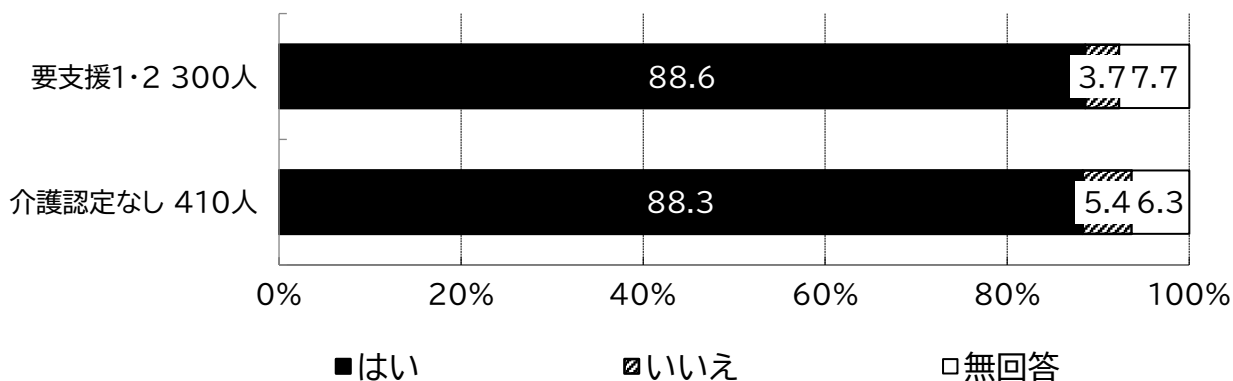
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

- 「はい」が88.1%、「いいえ」が4.8%となっています。



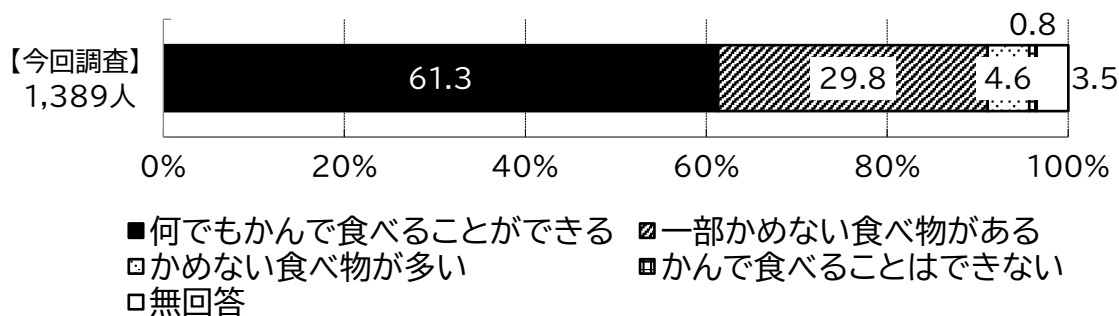
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が88.6%、「いいえ」が3.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が88.3%、「いいえ」が5.4%となっています。



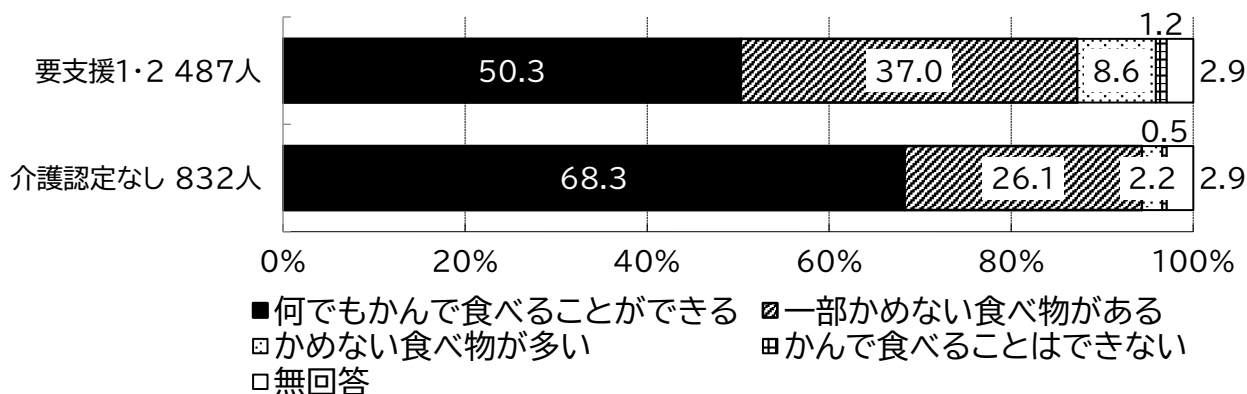
問7 何でもよくかんで食べられますか。

- 「何でもかんで食べることができる」が61.3%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が29.8%、「かめない食べ物が多い」が4.6%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「何でもかんで食べることができる」が50.3%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が37.0%、「かめない食べ物が多い」が8.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「何でもかんで食べることができる」が68.3%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が26.1%、「かめない食べ物が多い」が2.2%と続いています。



【年齢別等】

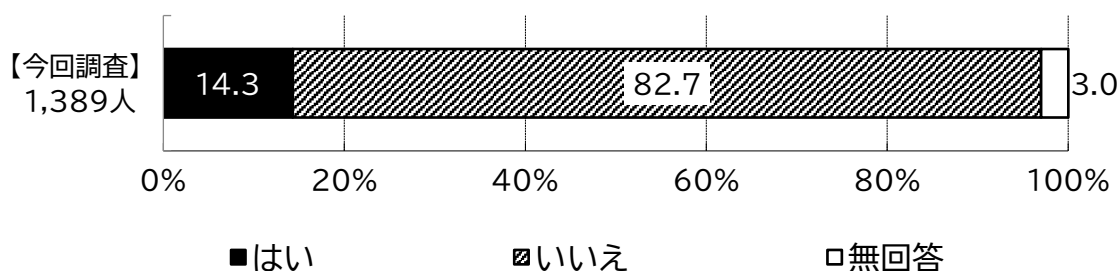
- 年齢別で見ると、「何でもかんで食べることができる」という割合は 65～74 歳で 69.3%、75～84 歳で 59.6%、85 歳～で 54.8%となっています。
- 要介護度別で見ると、「何でもかんで食べることができる」という割合は要支援1で 53.5%、要支援2で 45.5%、介護認定なしで 68.3%となっています。

(単位:%)

		何でもかんで食べることができる	一部かめない食べ物がある	かめない食べ物が 多い	かんで食べることができない	無回答
	全体 1389 人	61.3	29.8	4.6	0.8	3.5
1-④ 年齢	65～74 歳 442 人	69.3	26.2	2.0	0.2	2.3
	75～84 歳 568 人	59.6	31.2	4.0	1.2	4.0
	85 歳～ 341 人	54.8	32.3	8.8	0.9	3.2
1-⑤ 要介護度	要支援1 288 人	53.5	36.1	8.0	0.7	1.7
	要支援2 200 人	45.5	38.5	9.5	2.0	4.5
	介護認定なし 832 人	68.3	26.1	2.2	0.5	2.9

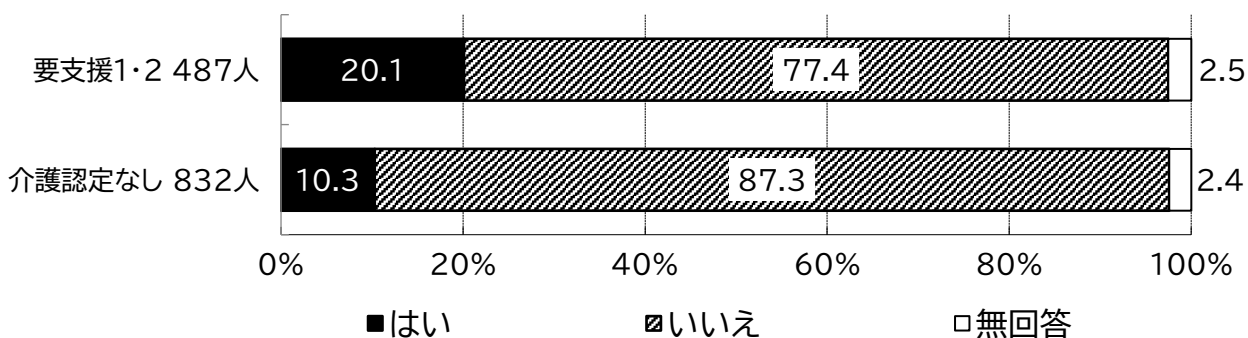
問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

- 「いいえ」が 82.7%、「はい」が 14.3%となっています。



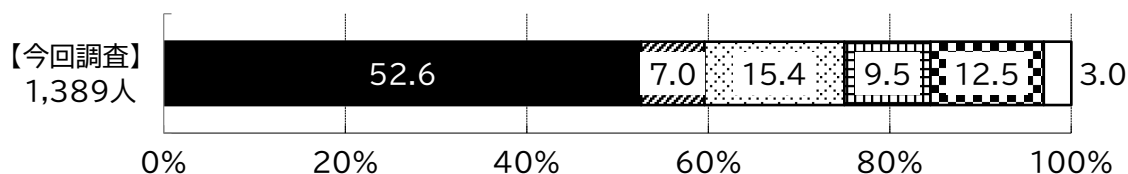
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が 77.4%、「はい」が 20.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が 87.3%、「はい」が 10.3%となっています。



問9 どなたかと食事をとる機会がありますか。

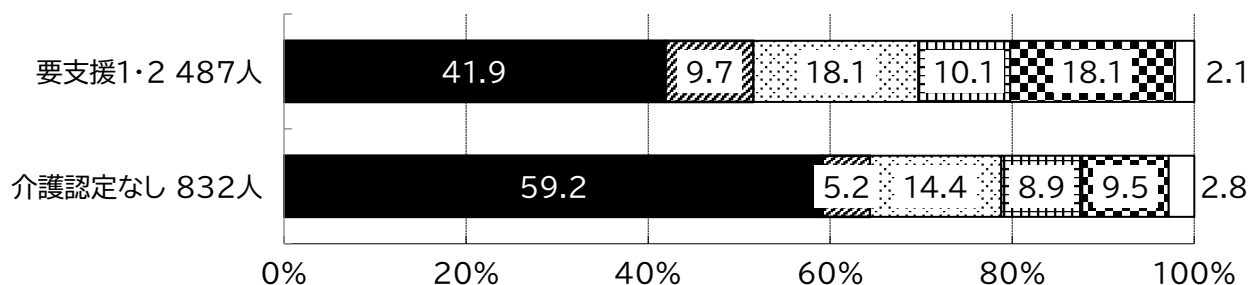
- 「毎日ある」が 52.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 15.4%、「ほとんどない」が 12.5%と続いています。



■ 毎日ある ■ 週に何度かある □ 月に何度かある ■ 年に何度かある □ ほとんどない □ 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「毎日ある」が 41.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 18.1%、「ほとんどない」が 18.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「毎日ある」が 59.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 14.4%、「ほとんどない」が 9.5%と続いています。



■ 毎日ある ■ 週に何度かある □ 月に何度かある ■ 年に何度かある □ ほとんどない □ 無回答

【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「月に何度かある」が 35.5%と最も高く、「ほとんどない」が 23.1%と比較的高くなっています。

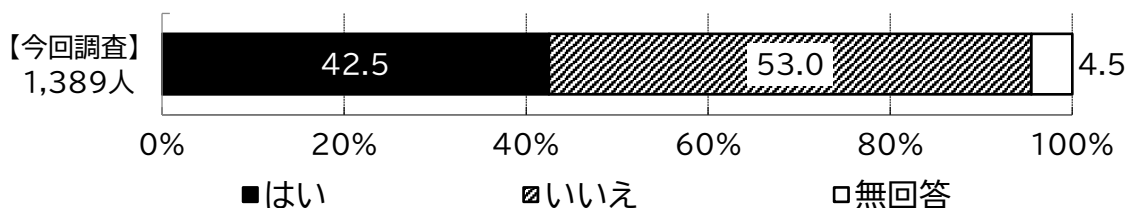
(単位:%)

		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
	全体 1389人	52.6	7.0	15.4	9.5	12.5	3.0
2-1 家族構成	1人暮らし 338人	4.1	13.3	35.5	20.4	23.1	3.6
	夫婦2人暮らし 615人	67.5	2.6	9.1	6.8	10.7	3.3
	息子・娘との2世帯 226人	72.0	4.9	10.2	4.9	6.2	1.8

5 毎日の生活について

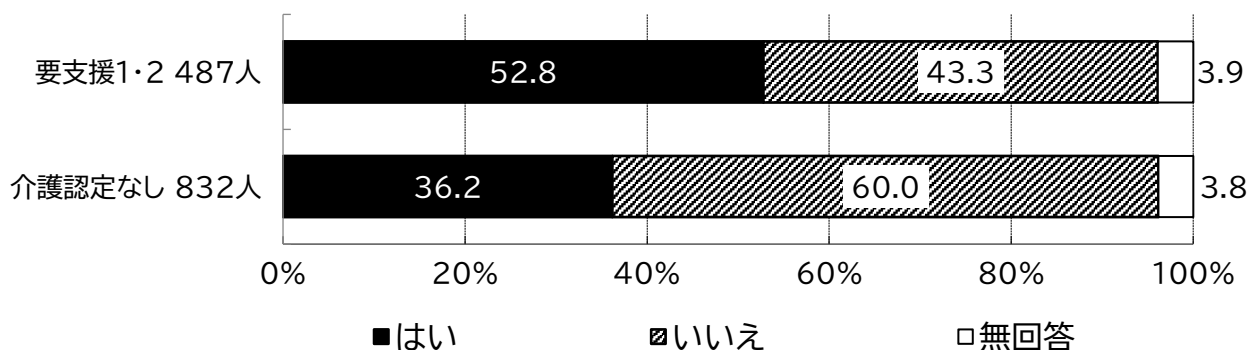
問1 物忘れが多いと感じますか。

- 「いいえ」が53.0%、「はい」が42.5%となっています。



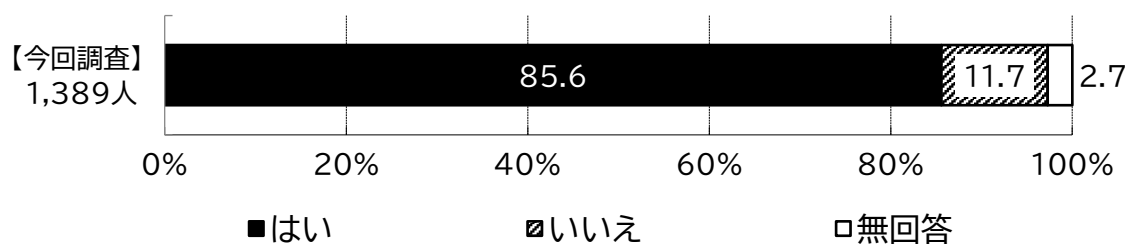
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が52.8%、「いいえ」が43.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が60.0%、「はい」が36.2%となっています。



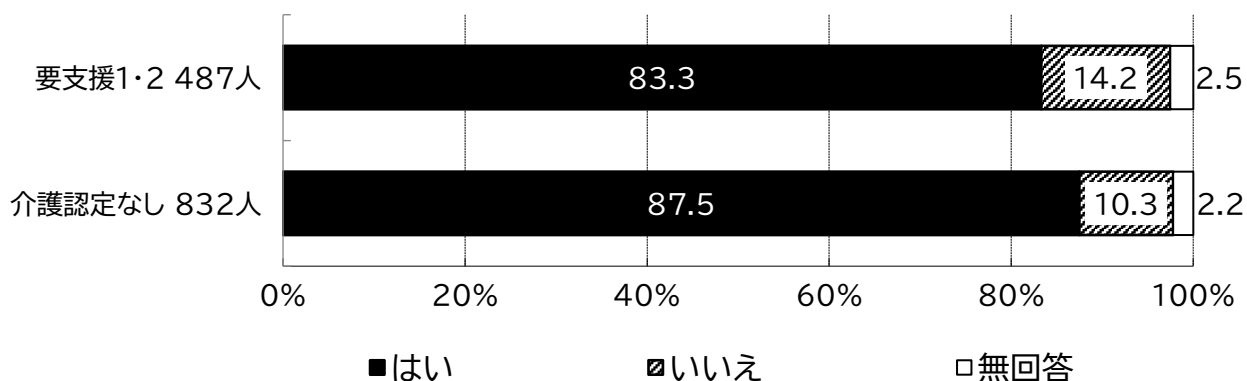
問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

- 「はい」が85.6%、「いいえ」が11.7%となっています。



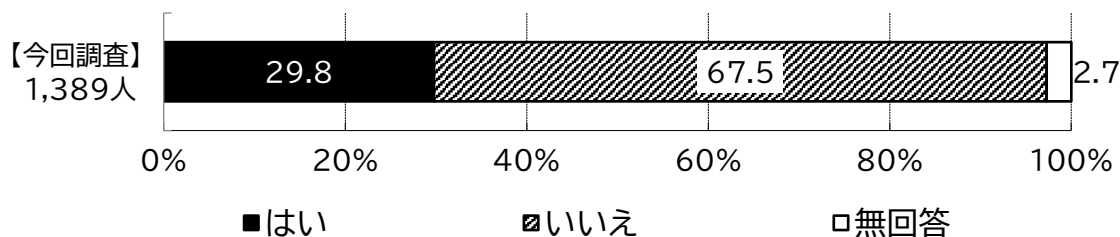
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が83.3%、「いいえ」が14.2%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が87.5%、「いいえ」が10.3%となっています。



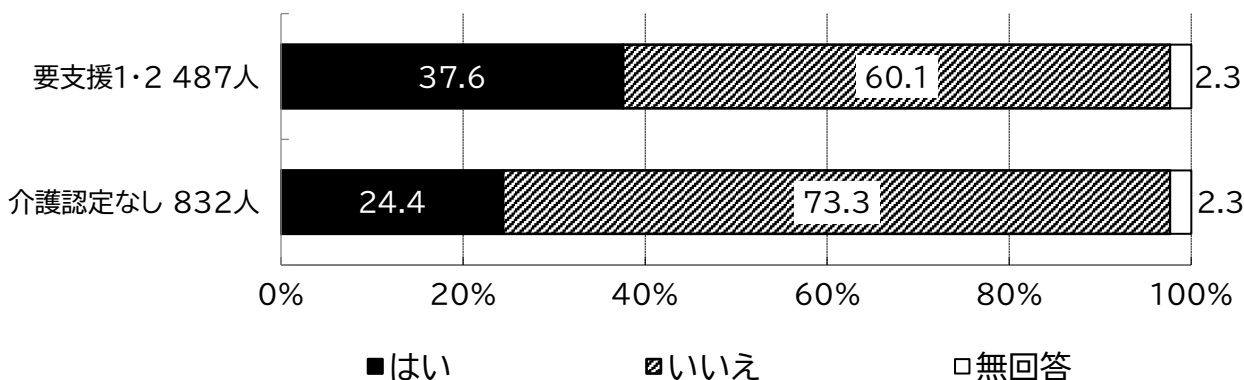
問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

- 「いいえ」が67.5%、「はい」が29.8%となっています。



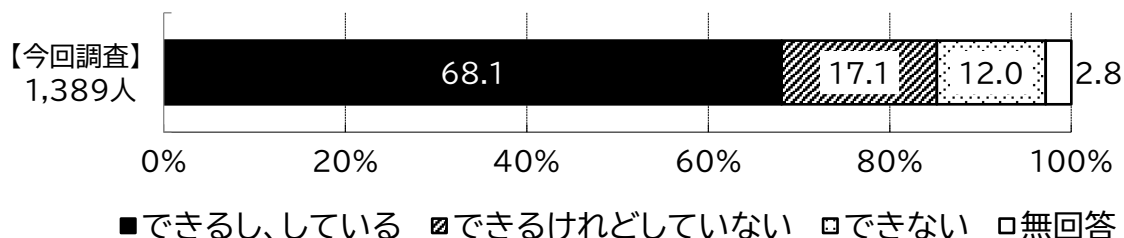
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が60.1%、「はい」が37.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が73.3%、「はい」が24.4%となっています。



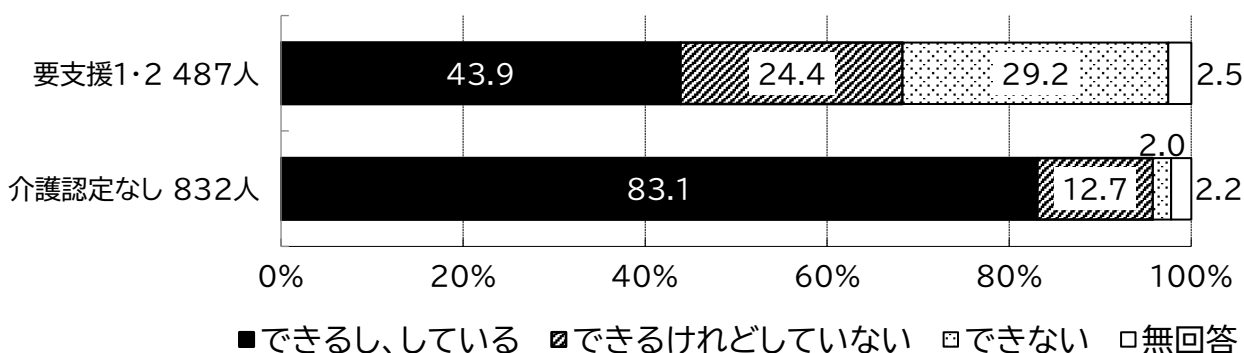
問4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

- 「できるし、している」が68.1%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が17.1%、「できない」が12.0%と続いています。



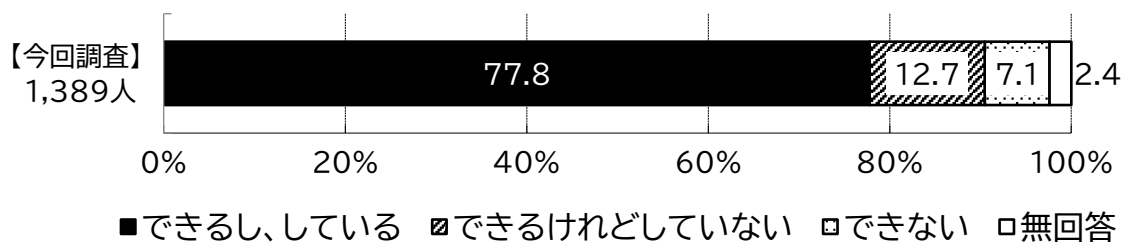
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が43.9%と最も高く、次いで「できない」が29.2%、「できるけれどしていない」が24.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が83.1%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が12.7%、「できない」が2.0%と続いています。



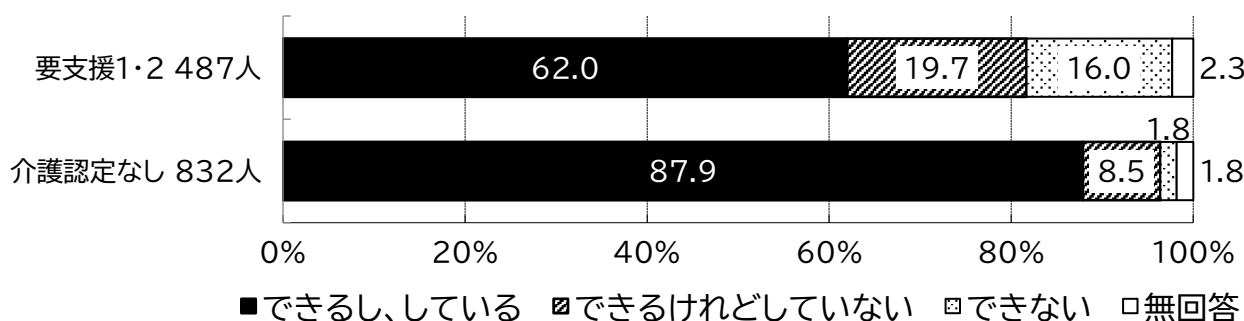
問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

- 「できるし、している」が 77.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 12.7%、「できない」が 7.1%と続いています。



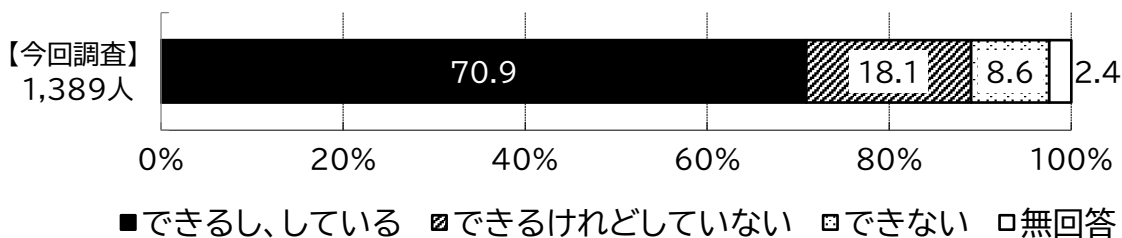
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が 62.0%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 19.7%、「できない」が 16.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 87.9%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 8.5%、「できない」が 1.8%と続いています。



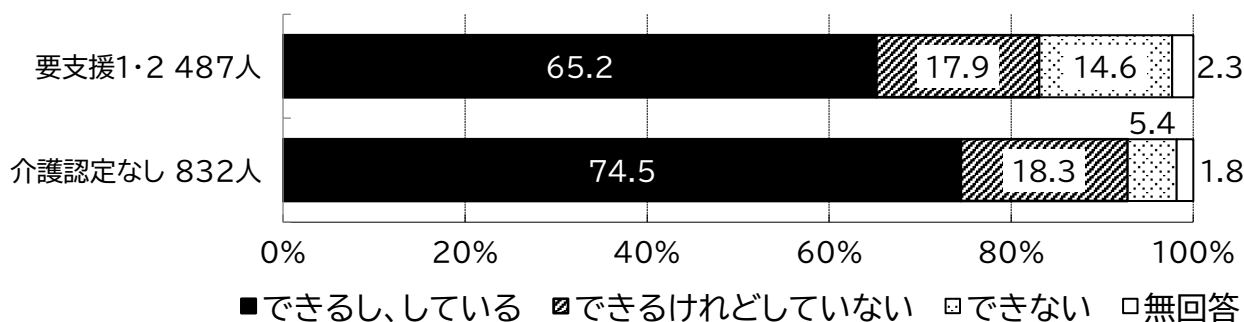
問6 自分で食事の用意をしていますか。

- 「できるし、している」が 70.9%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 18.1%、「できない」が 8.6%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が 65.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 17.9%、「できない」が 14.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 74.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 18.3%、「できない」が 5.4%と続いています。



【現在治療中、又は後遺症のある病気別】

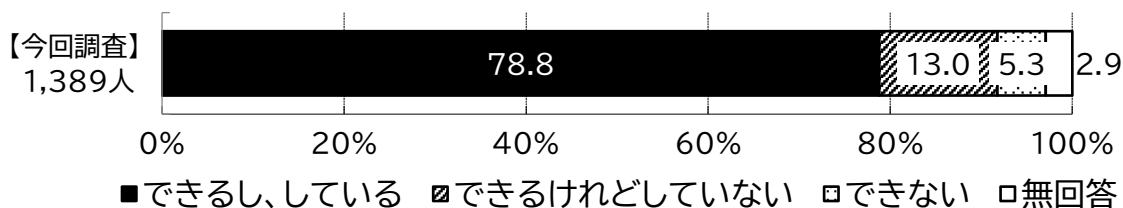
- 現在治療中、又は後遺症のある病気別で見ると、ない場合は「できるし、している」が 77.3%となっている一方、同回答は脳卒中(脳出血・脳梗塞等)、腎臓・前立腺の病気、パーキンソン病等の場合で比較的低い回答率となっています。

(単位:%)

		できるし、 している	できるけ れどして いない	できない	無回答
	全体 1389人	70.9	18.1	8.6	2.4
8-問7 現在治療中、 又は後遺症 のある病気	ない 158人	77.3	17.7	4.4	0.6
	高血圧 657人	67.4	19.8	9.6	3.2
	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 61人	47.5	34.4	14.8	3.3
	心臓病 163人	55.7	30.1	11.7	2.5
	糖尿病 202人	63.3	22.8	9.9	4.0
	高脂血症(脂質異常) 230人	78.2	13.5	6.1	2.2
	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 84人	59.5	21.4	17.9	1.2
	胃腸・肝臓・胆のうの病気 65人	76.9	16.9	6.2	0.0
	腎臓・前立腺の病気 117人	49.5	27.4	18.8	4.3
	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 279人	79.9	10.8	7.9	1.4
	外傷(転倒・骨折等) 72人	69.4	16.7	11.1	2.8
	がん(悪性新生物) 58人	60.4	22.4	17.2	0.0
	血液・免疫の病気 31人	74.2	16.1	9.7	0.0
	うつ病 20人	60.0	10.0	25.0	5.0
	認知症(アルツハイマー病等) 23人	56.5	26.1	17.4	0.0
	パーキンソン病 18人	55.6	33.3	11.1	0.0
	目の病気 285人	72.6	14.7	10.2	2.5
耳の病気 90人	64.5	18.9	13.3	3.3	
その他 167人	74.2	17.4	7.8	0.6	

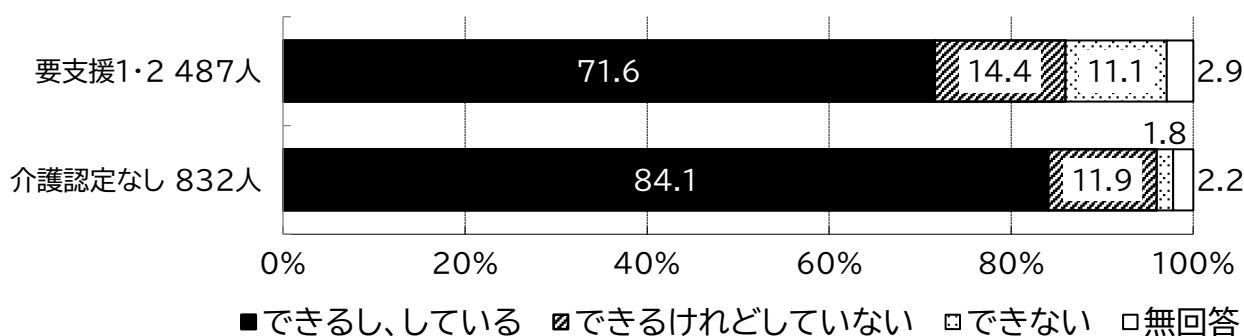
問7 自分で請求書の支払いをしていますか。

- 「できるし、している」が 78.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 13.0%、「できない」が 5.3%と続いています。



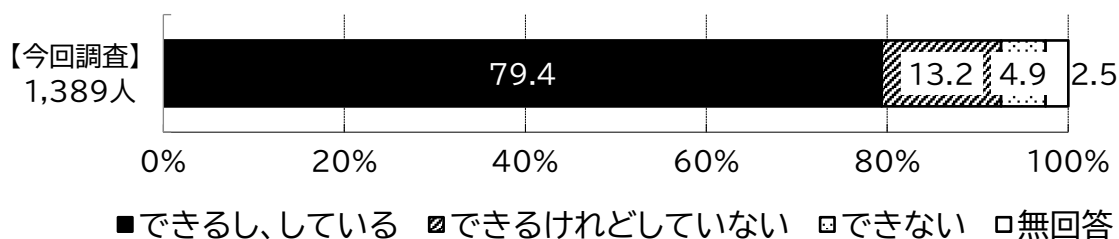
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が 71.6%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 14.4%、「できない」が 11.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 84.1%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 11.9%、「できない」が 1.8%と続いています。



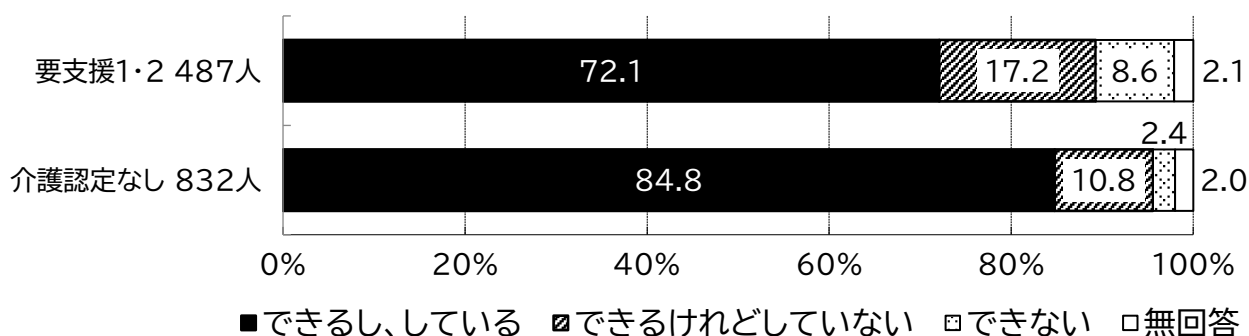
問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- 「できるし、している」が 79.4%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 13.2%、「できない」が 4.9%と続いています。



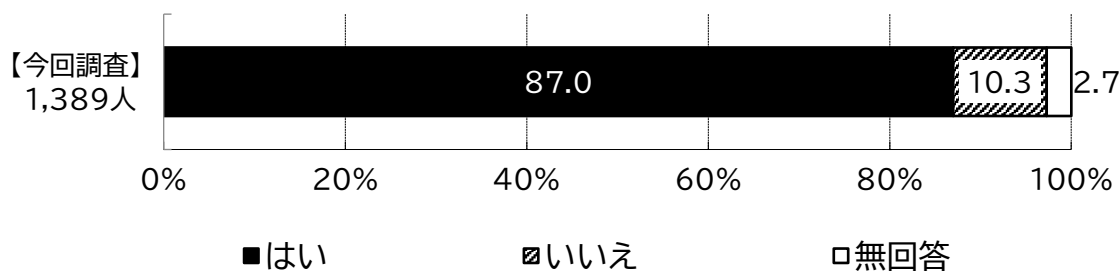
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「できるし、している」が 72.1%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 17.2%、「できない」が 8.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 84.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 10.8%、「できない」が 2.4%と続いています。



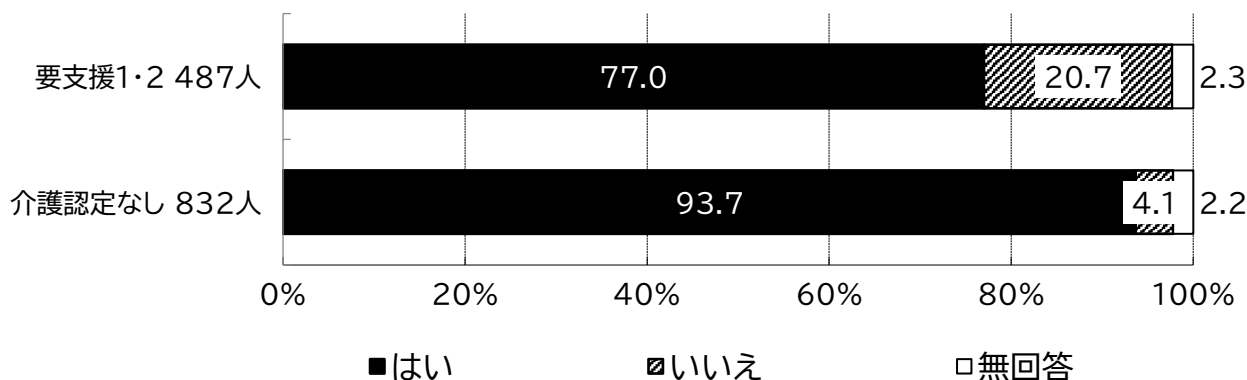
問9 年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか。

- 「はい」が87.0%、「いいえ」が10.3%となっています。



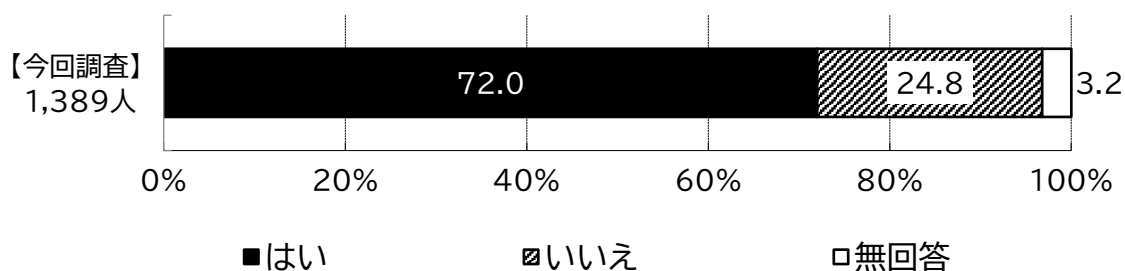
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が77.0%、「いいえ」が20.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が93.7%、「いいえ」が4.1%となっています。



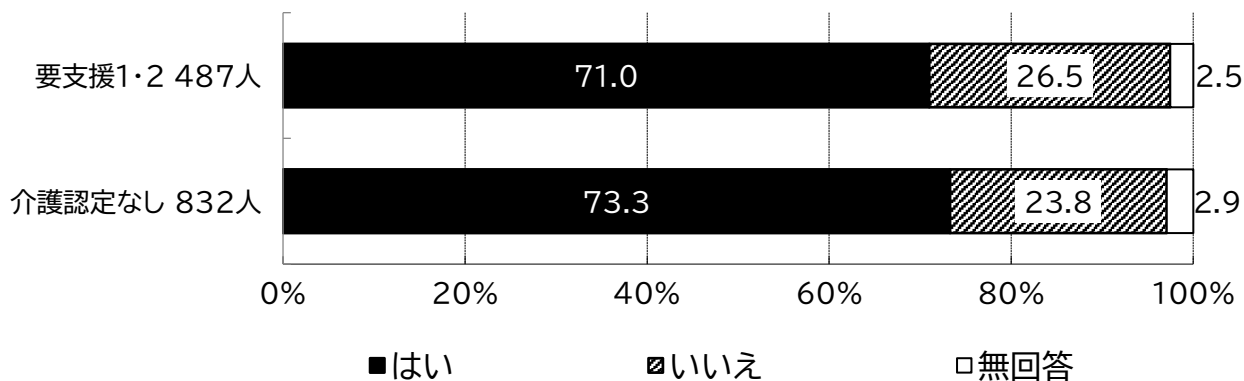
問10 新聞を読んでいますか。

- 「はい」が72.0%、「いいえ」が24.8%となっています。



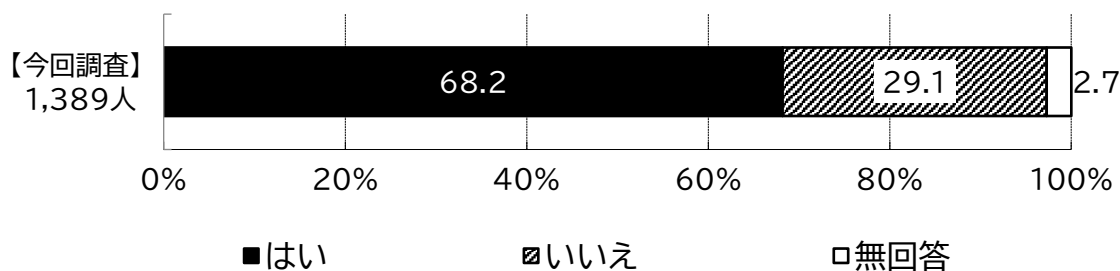
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が71.0%、「いいえ」が26.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が73.3%、「いいえ」が23.8%となっています。



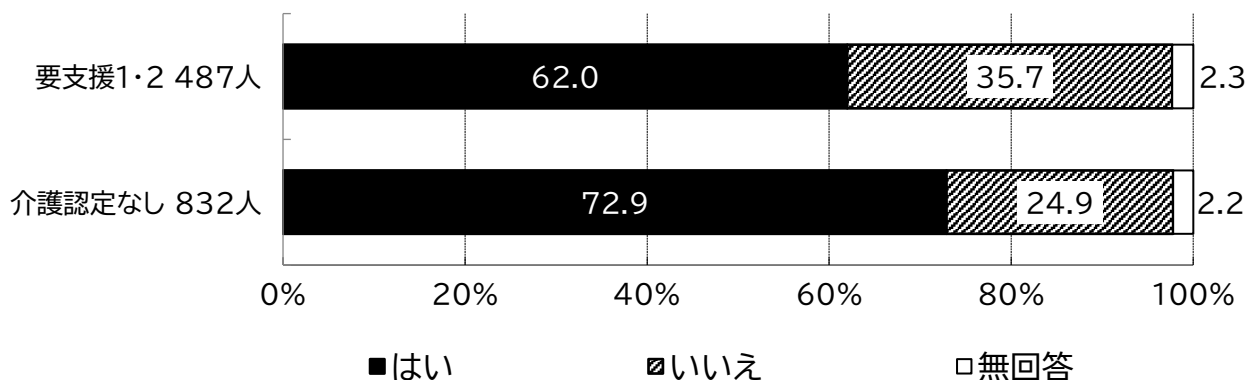
問11 本や雑誌を読んでいますか。

- 「はい」が68.2%、「いいえ」が29.1%となっています。



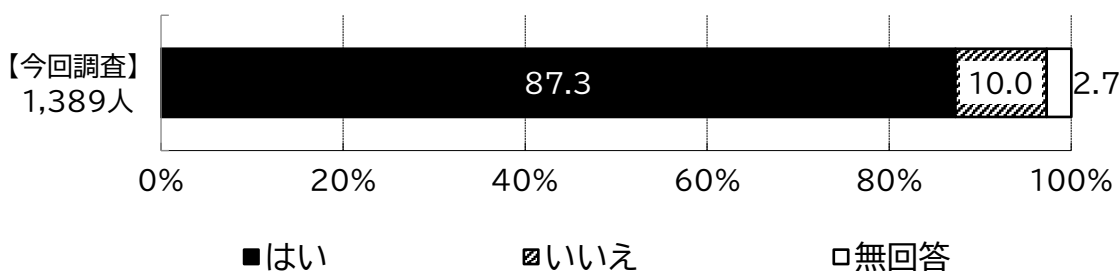
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が62.0%、「いいえ」が35.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が72.9%、「いいえ」が24.9%となっています。



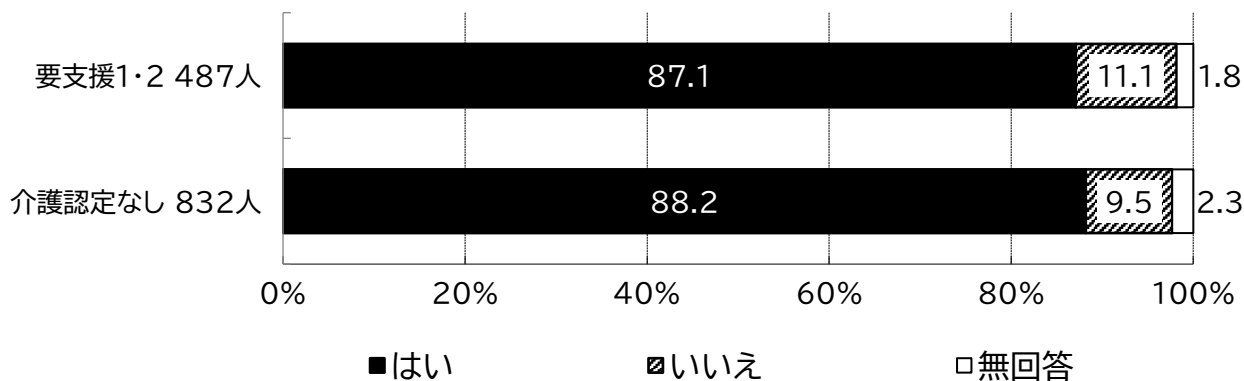
問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

- 「はい」が87.3%、「いいえ」が10.0%となっています。



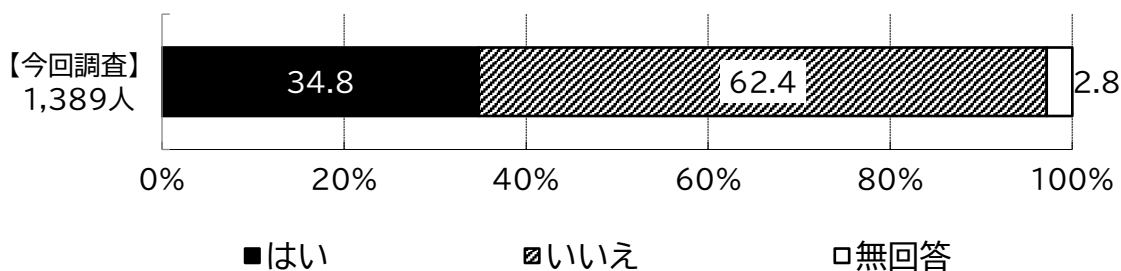
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が87.1%、「いいえ」が11.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が88.2%、「いいえ」が9.5%となっています。



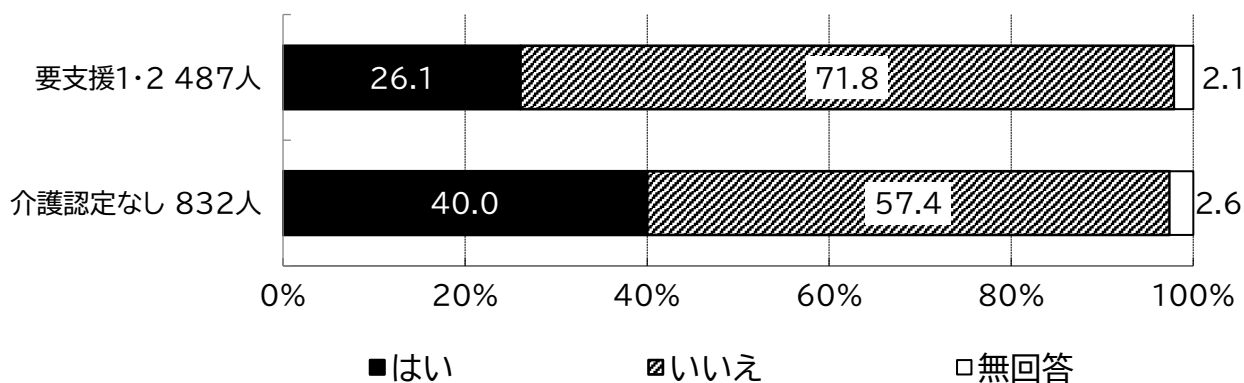
問13 友人の家を訪ねていますか。

- 「いいえ」が62.4%、「はい」が34.8%となっています。



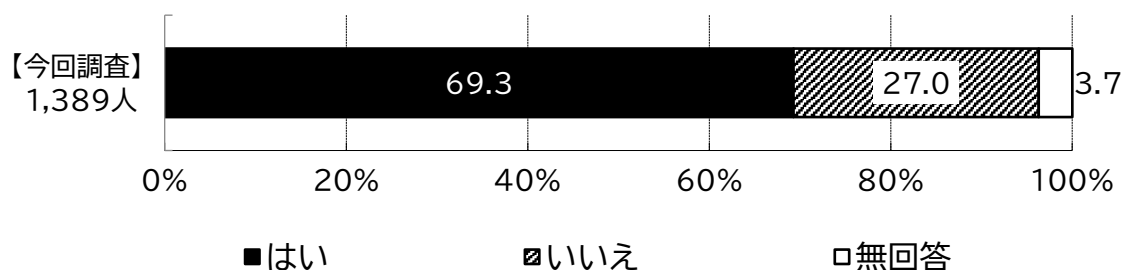
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が71.8%、「はい」が26.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が57.4%、「はい」が40.0%となっています。



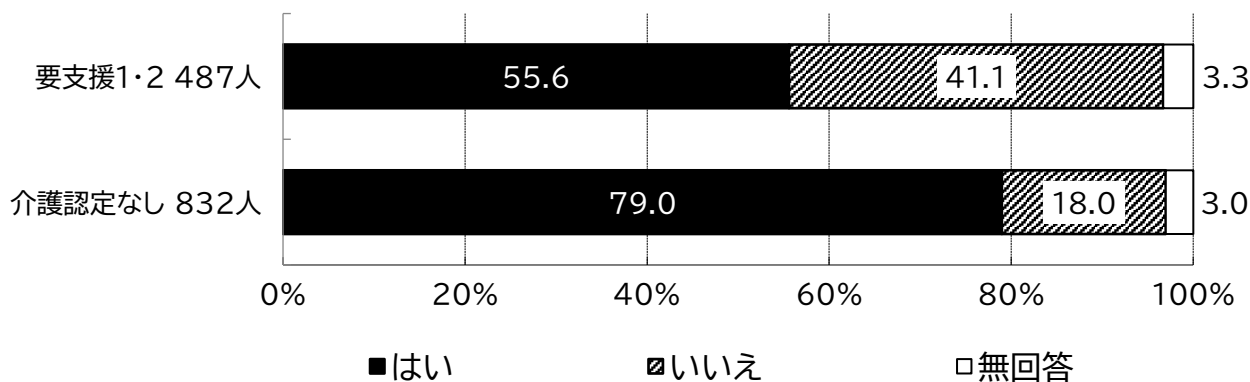
問14 家族や友人の相談にのっていますか。

- 「はい」が69.3%、「いいえ」が27.0%となっています。



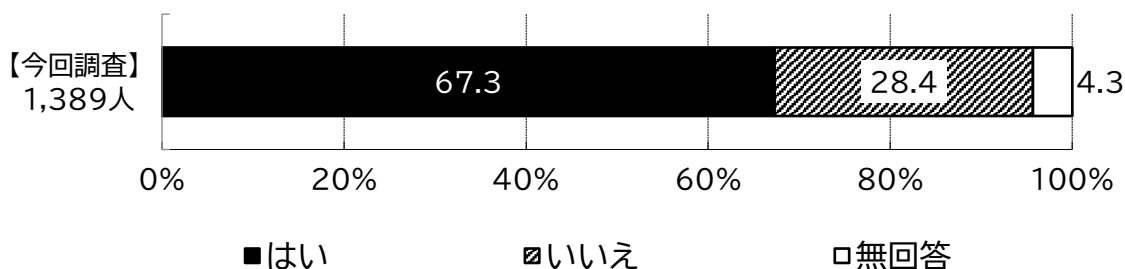
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が55.6%、「いいえ」が41.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が79.0%、「いいえ」が18.0%となっています。



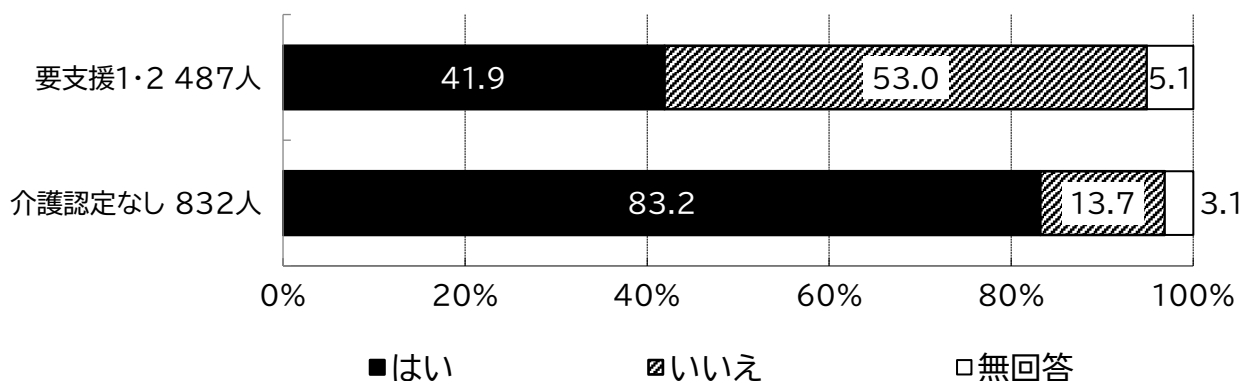
問15 病人を見舞うことができますか。

- 「はい」が67.3%、「いいえ」が28.4%となっています。



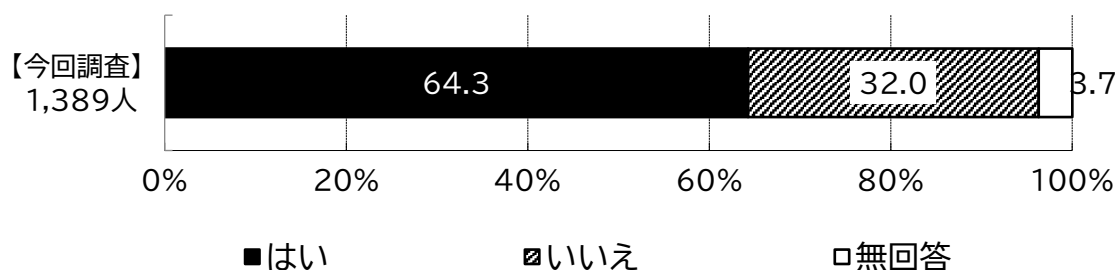
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が53.0%、「はい」が41.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が83.2%、「いいえ」が13.7%となっています。



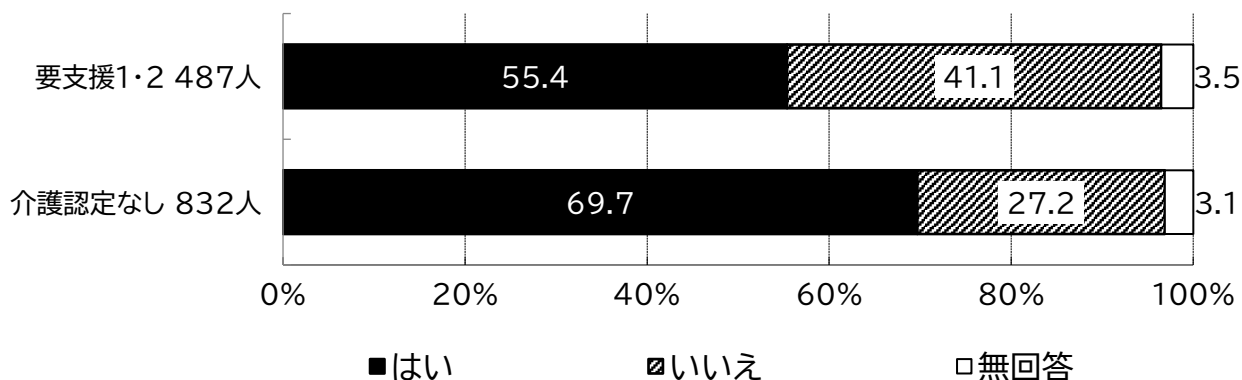
問16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

- 「はい」が64.3%、「いいえ」が32.0%となっています。



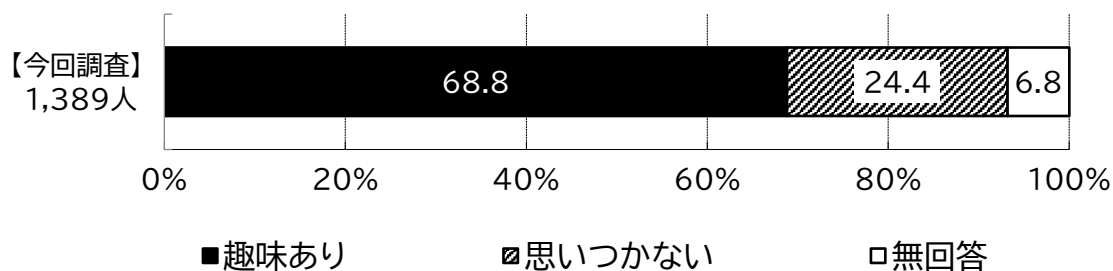
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が55.4%、「いいえ」が41.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が69.7%、「いいえ」が27.2%となっています。



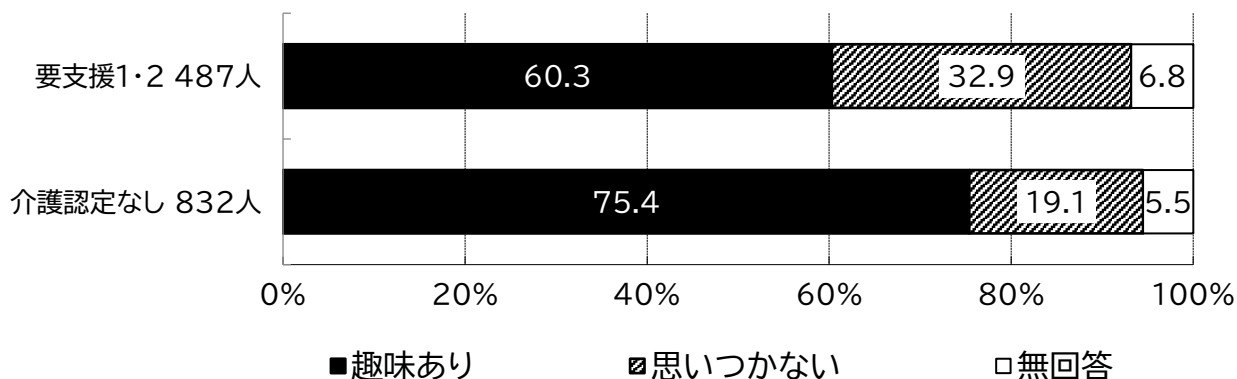
問17 趣味はありますか。

- 「趣味あり」が68.8%、「思いつかない」が24.4%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「趣味あり」が60.3%、「思いつかない」が32.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「趣味あり」が75.4%、「思いつかない」が19.1%となっています。



【年齢別等】

- 年齢別で見ると、「趣味あり」の割合は65～74歳で76.3%、75～84歳で68.0%、85歳～で61.0%となっています。
- 性別で見ると、男女で「趣味あり」の割合に大きな差は見られません。
- 生きがいの有無別で見ると、生きがいありの場合は「趣味あり」が77.6%、思いつかない場合は同回答が41.9%と、大きな差が見られます。

(単位:%)

		趣味あり	思いつかない	無回答
	全体 1389人	68.8	24.4	6.8
1-④ 年齢	65～74歳 442人	76.3	19.2	4.5
	75～84歳 568人	68.0	24.3	7.7
	85歳～ 341人	61.0	31.7	7.3
1-③ 性別	男性 565人	69.1	23.5	7.4
	女性 795人	68.7	25.3	6.0
5-問18 生きがい	生きがいあり 1073人	77.6	17.6	4.8
	思いつかない 267人	41.9	54.7	3.4

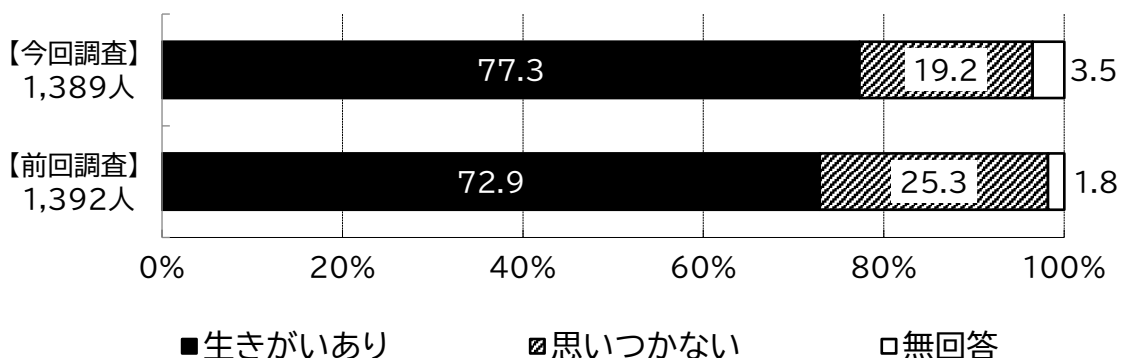
【具体的な趣味 上位10】

スポーツ・体操・釣り・スポーツ観戦	220件
音楽・歌・カラオケ・コーラス・楽器	161件
花・庭木の手入れ・ガーデニング・園芸・野菜・畑	158件
読書	148件
DIY・手芸・編み物・洋裁・パッチワーク・小物づくり	108件

散歩・ウォーキング・ジョギング・山歩き	82件
絵・絵手紙・書道・華道・茶道	68件
旅行・ドライブ	59件
映画・テレビ・観劇	55件
囲碁・将棋・麻雀	40件

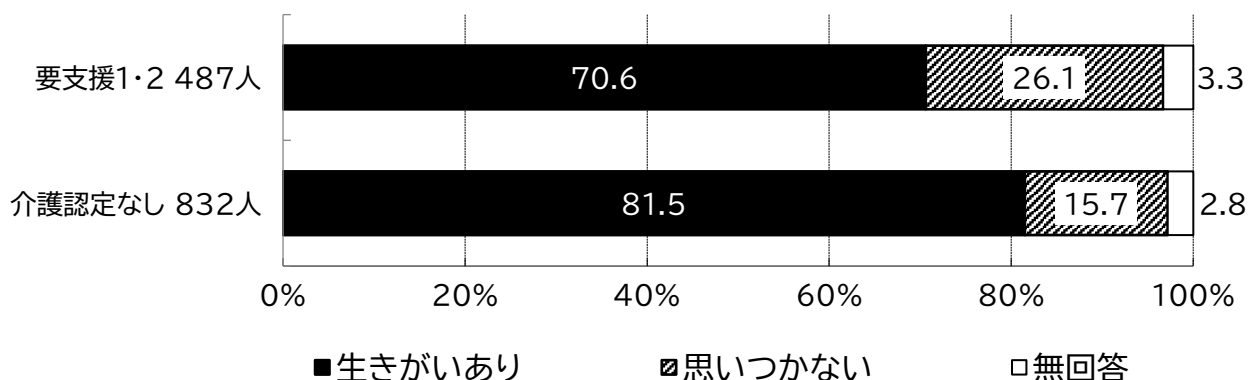
問18 生きがいがありますか。

- 「生きがいあり」が77.3%、「思いつかない」が19.2%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「生きがいあり」が70.6%、「思いつかない」が26.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「生きがいあり」が81.5%、「思いつかない」が15.7%となっています。



【年齢別等】

- 年齢別で見ると、「生きがいあり」の割合は65～74歳で82.6%、75～84歳で77.6%、85歳～で70.7%となっています。
- 性別で見ると、男女で「生きがいあり」の割合に大きな差は見られません。
- 趣味の有無別で見ると、趣味ありの場合は「生きがいあり」が87.1%、思いつかない場合は同回答が55.7%と、大きな差が見られます。

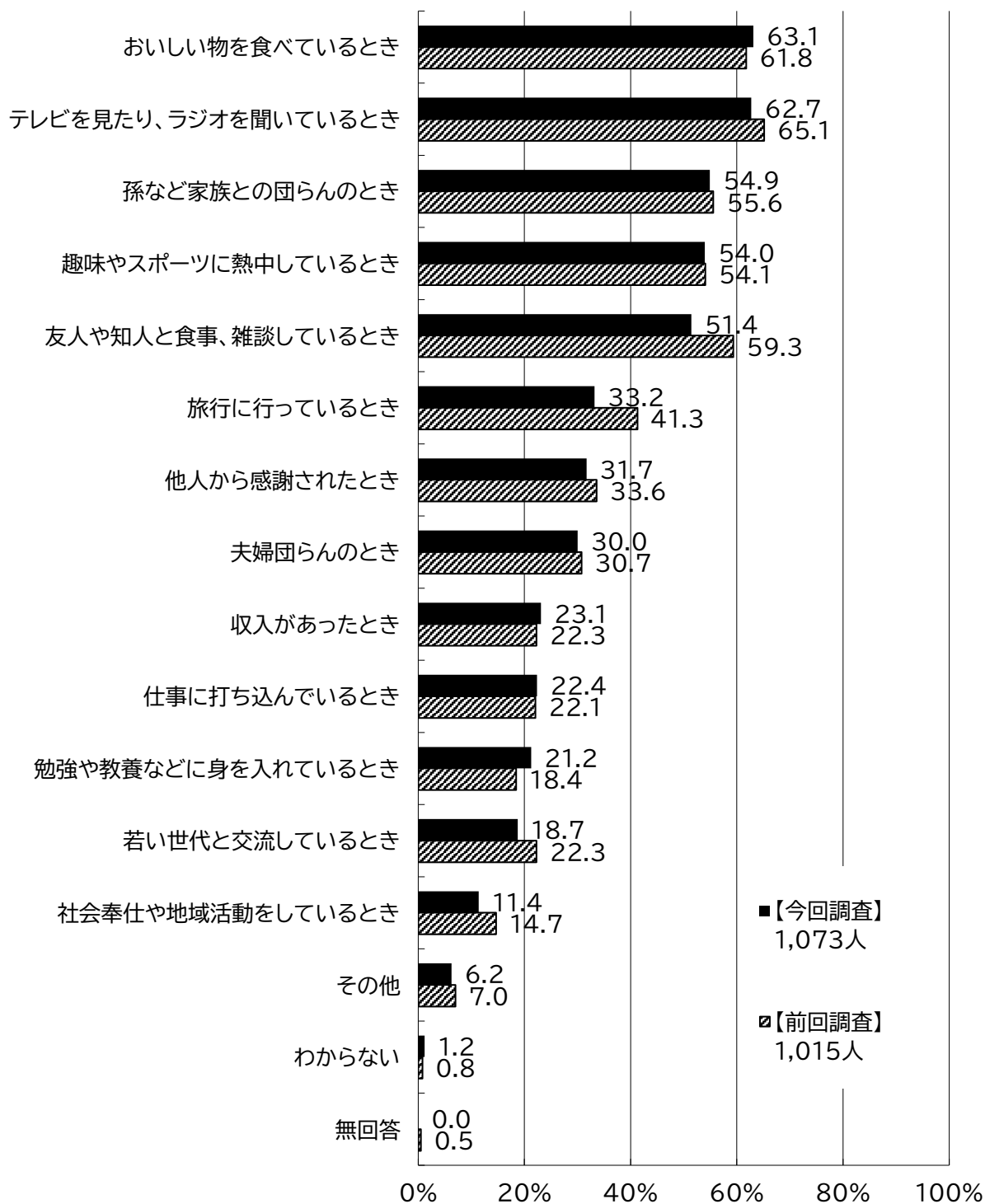
(単位:%)

		生きがいあり	思いつかない	無回答
	全体 1389人	77.3	19.2	3.5
1-④ 年齢	65～74歳 442人	82.6	15.6	1.8
	75～84歳 568人	77.6	17.6	4.8
	85歳～ 341人	70.7	26.7	2.6
1-③ 性別	男性 565人	74.5	21.8	3.7
	女性 795人	79.4	17.6	3.0
5-問17 趣味	趣味あり 955人	87.1	11.7	1.2
	思いつかない 339人	55.7	43.1	1.2

問18-1 【問18で「1. 生きがいあり」の方のみ】

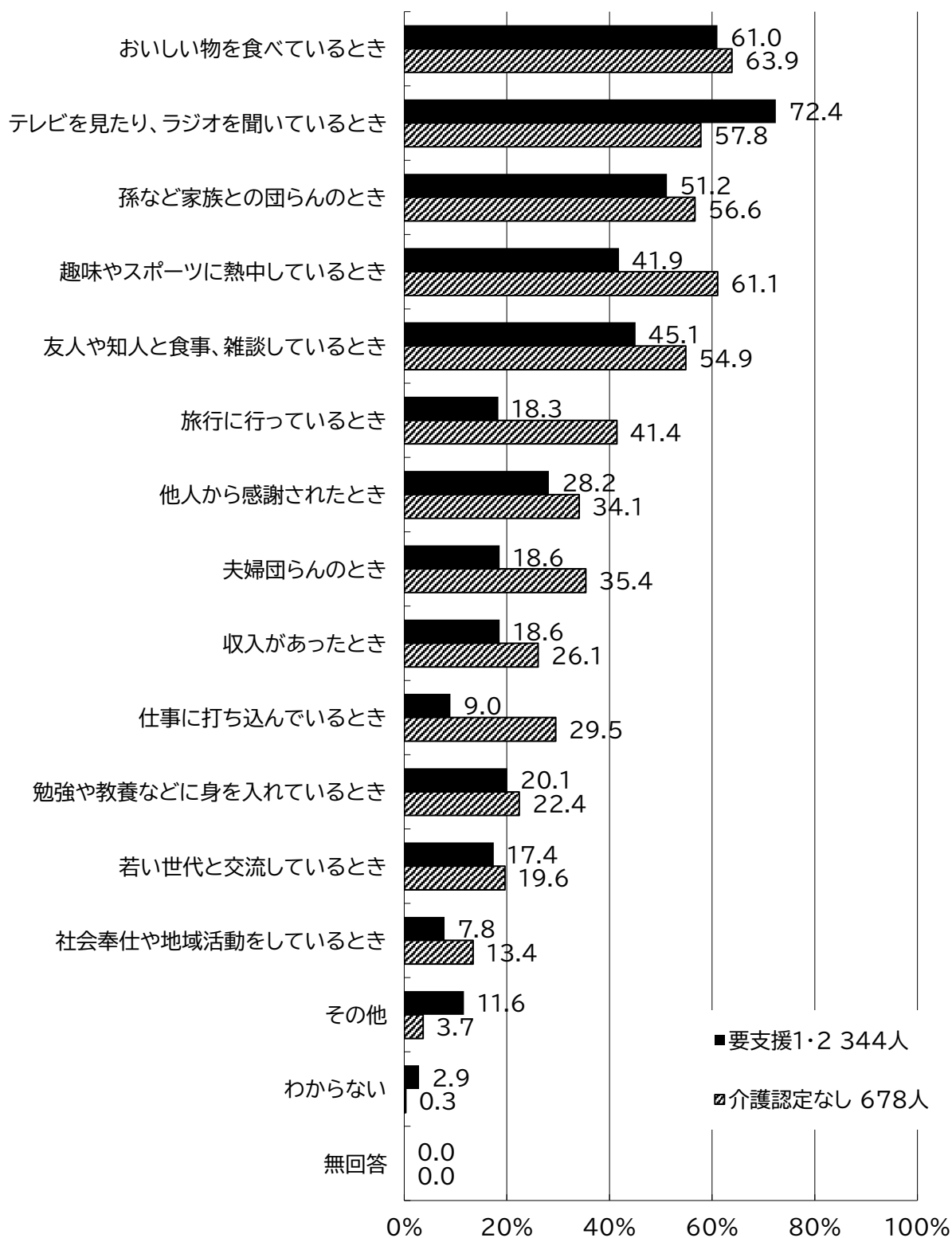
生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(いくつでも)

- 「おいしい物を食べているとき」が 63.1%、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 62.7%とこれらが上位2つで、次いで「孫など家族との団らんのとき」が 54.9%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が72.4%と最も高く、次いで「おいしい物を食べているとき」が61.0%、「孫など家族との団らんのとき」が51.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「おいしい物を食べているとき」が63.9%、「趣味やスポーツに熱中しているとき」が61.1%とこれらが上位2つで、次いで「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が57.8%と続いています。

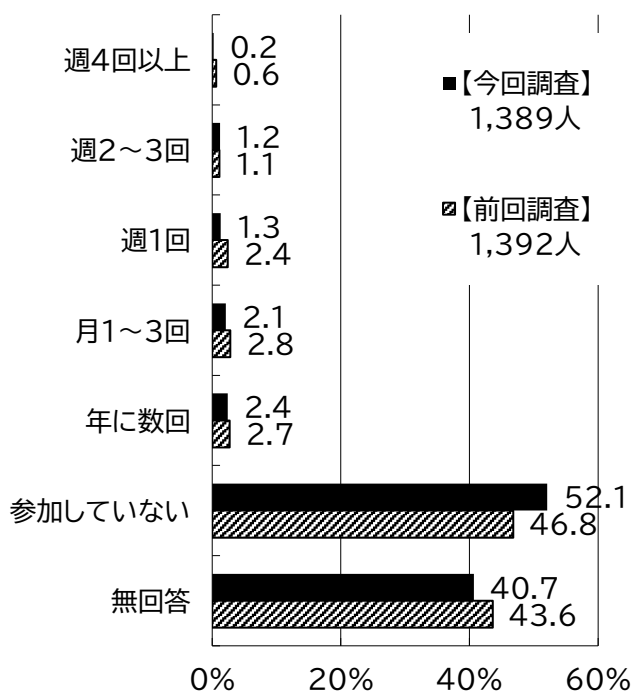


6 地域での活動について

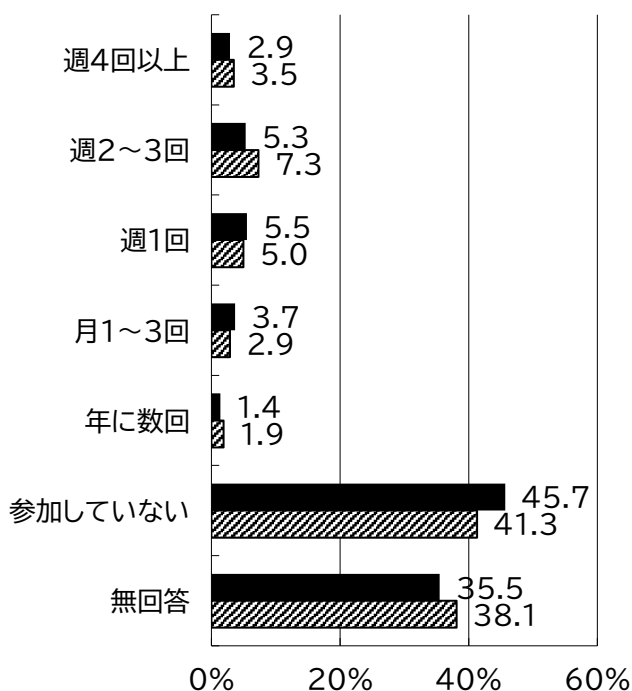
問1 会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- ボランティアのグループは、「週1回」以上の参加率が2.7%となっています。
- スポーツ関係のグループやクラブは、「週1回」以上の参加率が13.7%となっています。
- 趣味関係のグループは、「週1回」以上の参加率が9.0%となっています。
- 学習・教養サークルは、「週1回」以上の参加率が1.9%となっています。

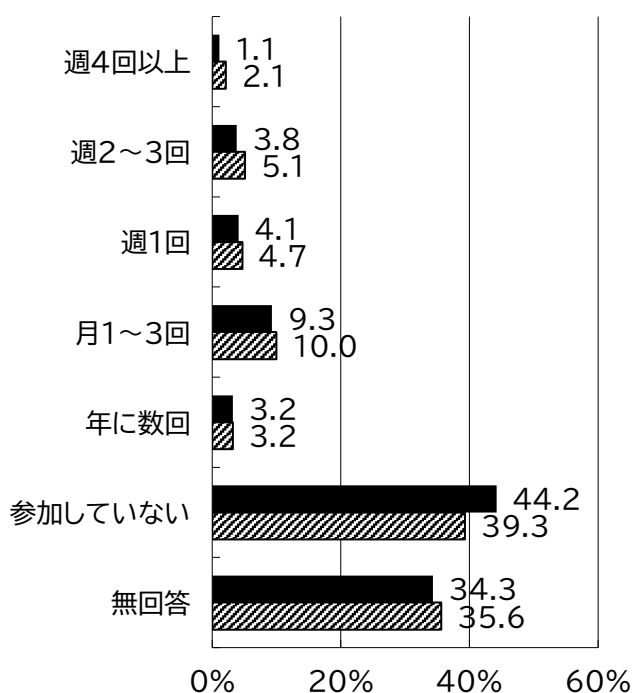
①ボランティアのグループ



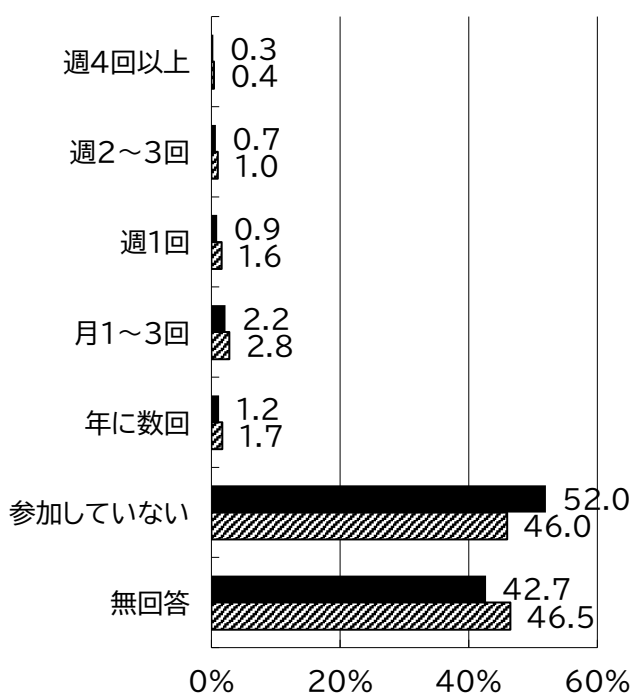
②スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

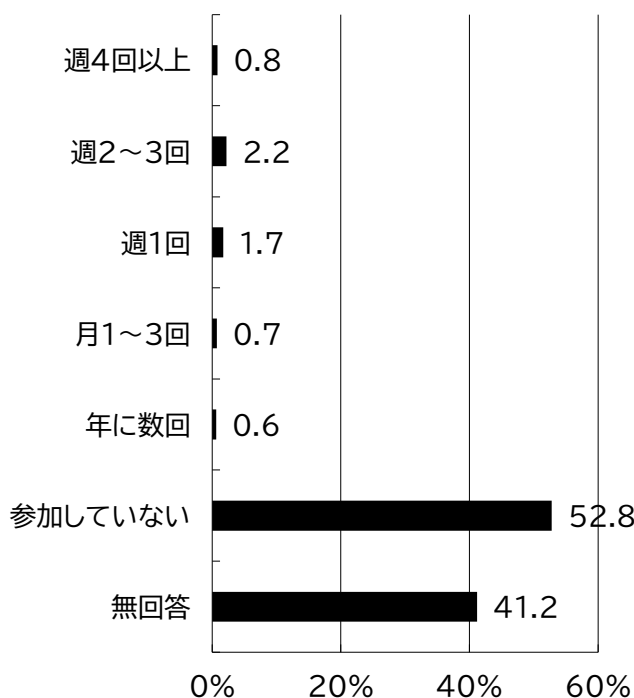


④学習・教養サークル

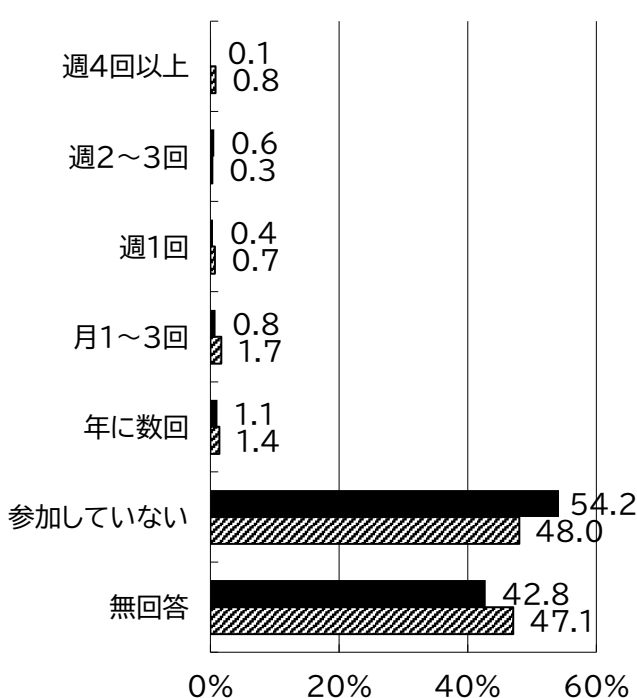


- 「東大和元気ゆうゆう体操」は、「週1回」以上の参加率が4.7%となっています。
- 老人クラブは、「週1回」以上の参加率が1.1%となっています。
- 自治会は、「週1回」以上の参加率が0.7%となっています。
- 収入のある仕事は、「週1回」以上の参加率が13.5%となっています。

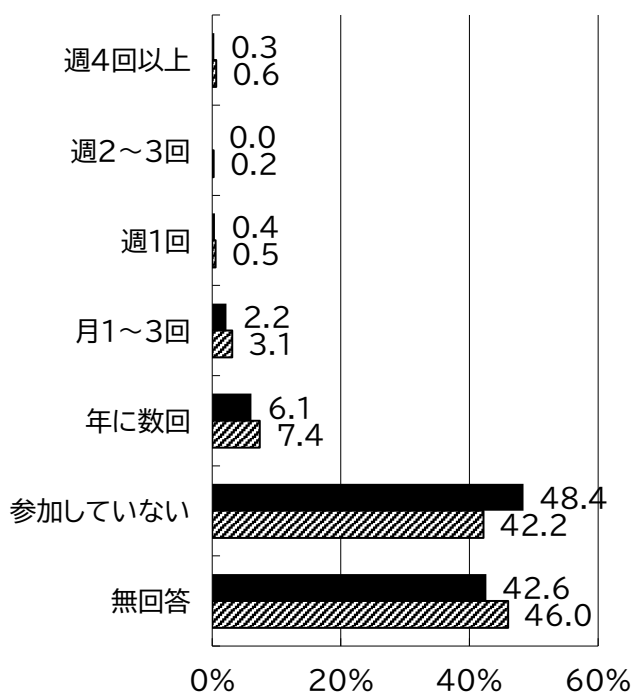
⑤東大和元気ゆうゆう体操



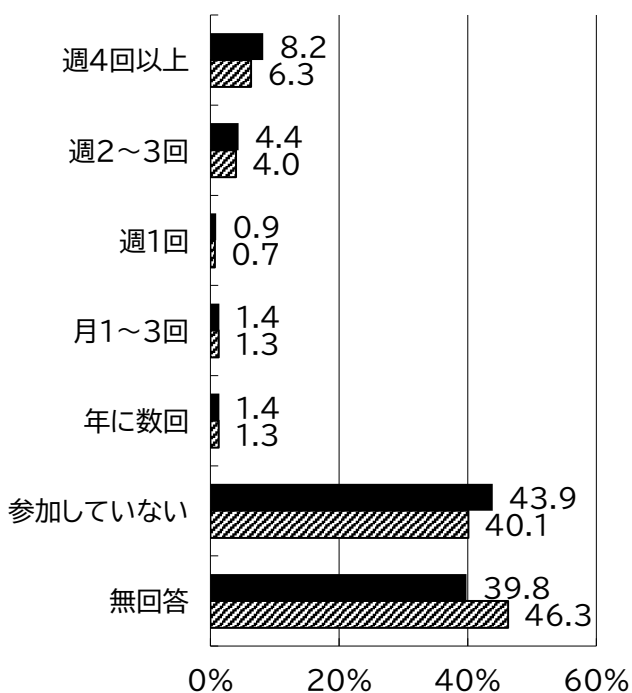
⑥老人クラブ



⑦自治会



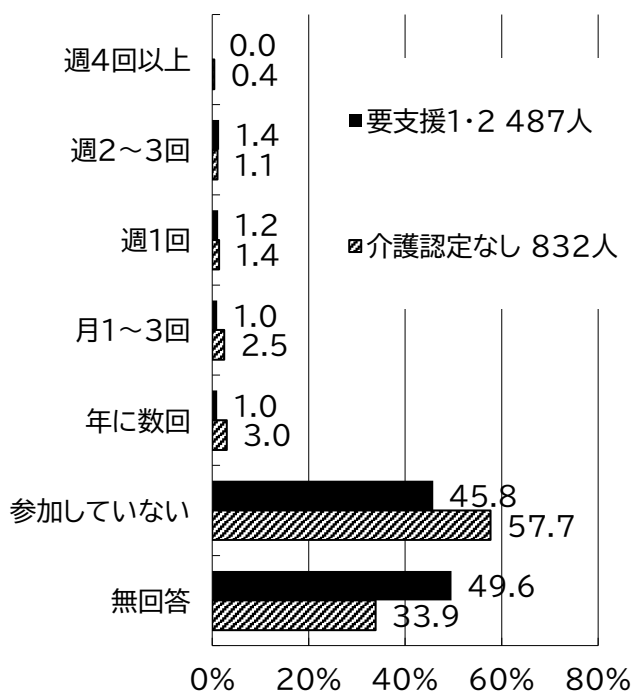
⑧収入のある仕事



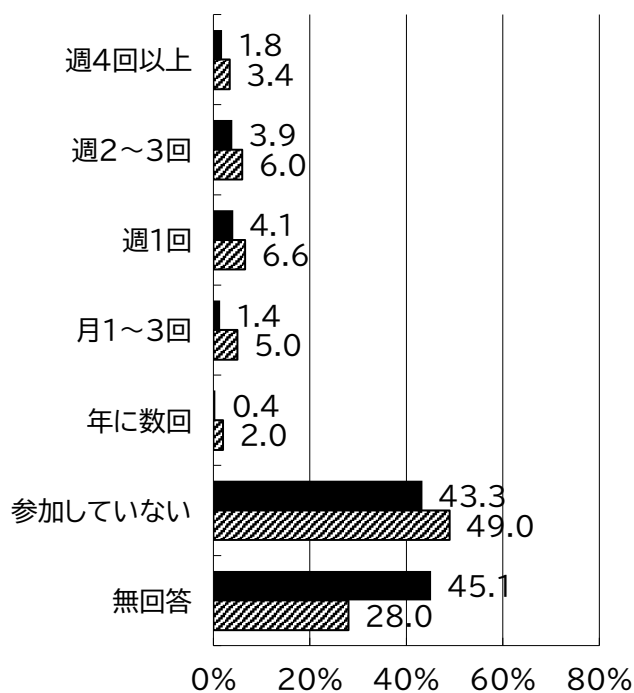
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- ボランティアのグループは、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が2.6%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が2.9%となっています。
- スポーツ関係のグループやクラブは、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が9.8%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が16.0%となっています。
- 趣味関係のグループは、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が7.2%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が10.2%となっています。
- 学習・教養サークルは、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が1.2%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が2.4%となっています。

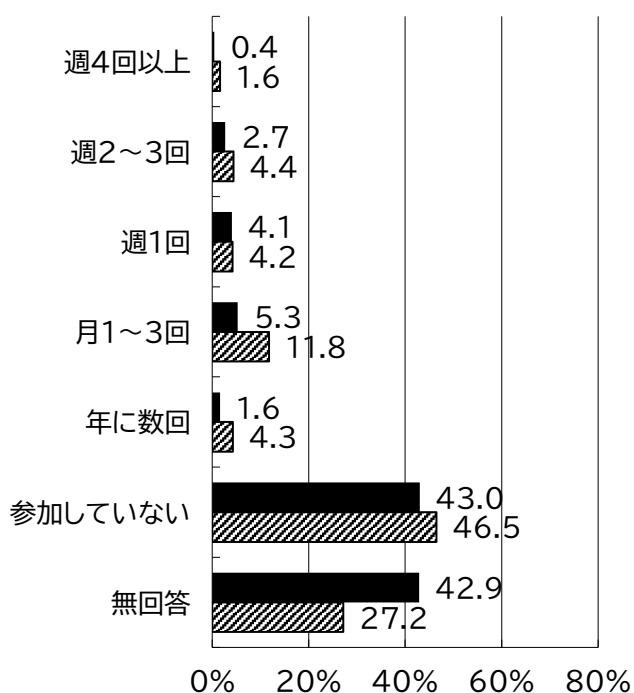
①ボランティアのグループ



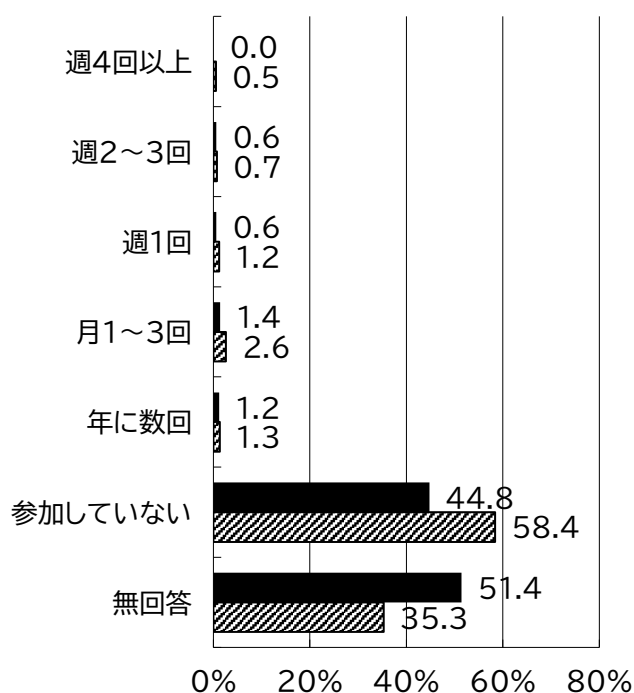
②スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

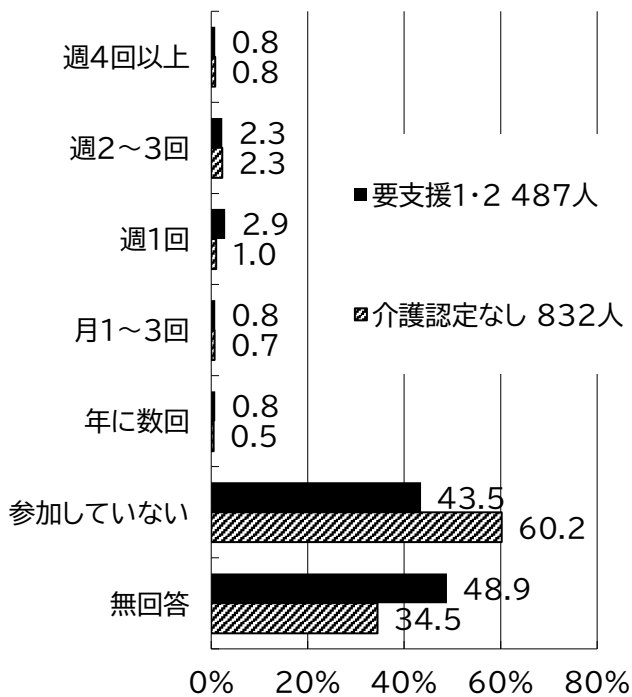


④学習・教養サークル

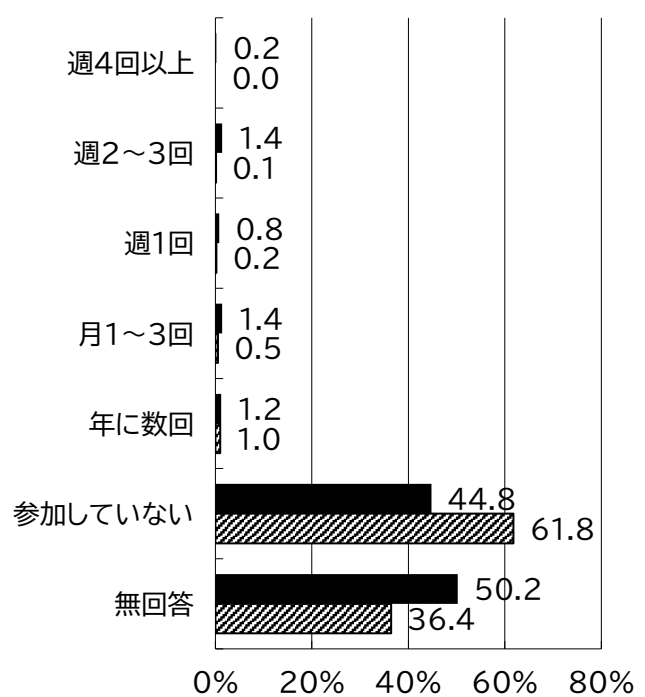


- 「東大和元気ゆうゆう体操」は、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が6.0%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が4.1%となっています。
- 老人クラブは、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が2.4%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が0.3%となっています。
- 自治会は、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が1.0%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が0.4%となっています。
- 収入のある仕事は、要支援1・2では、「週1回」以上の参加率が1.0%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が21.2%となっています。

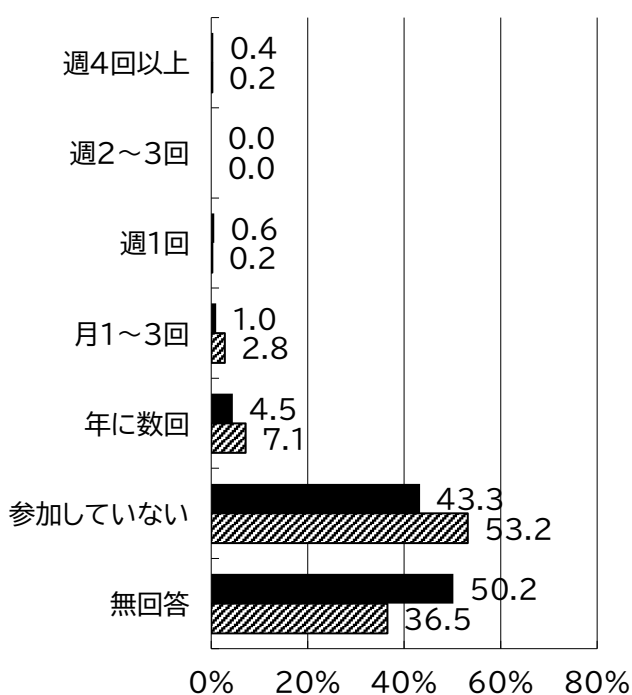
⑤東大和元気ゆうゆう体操



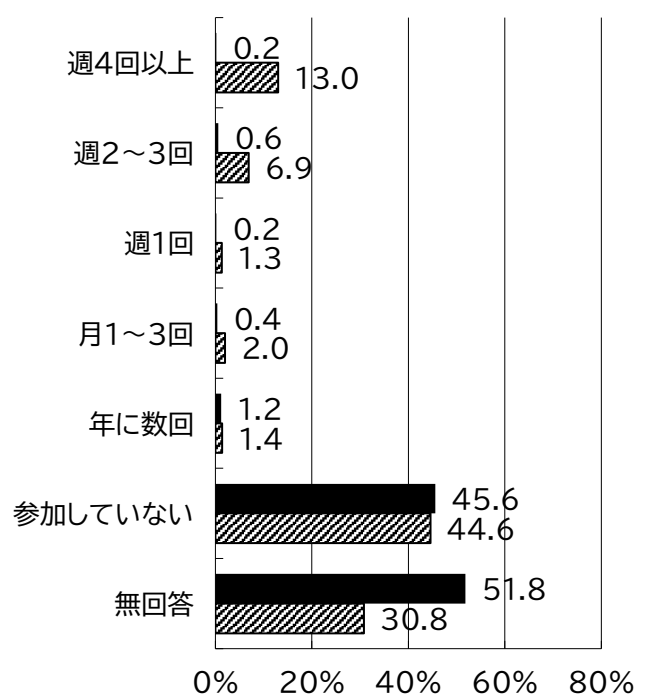
⑥老人クラブ



⑦自治会

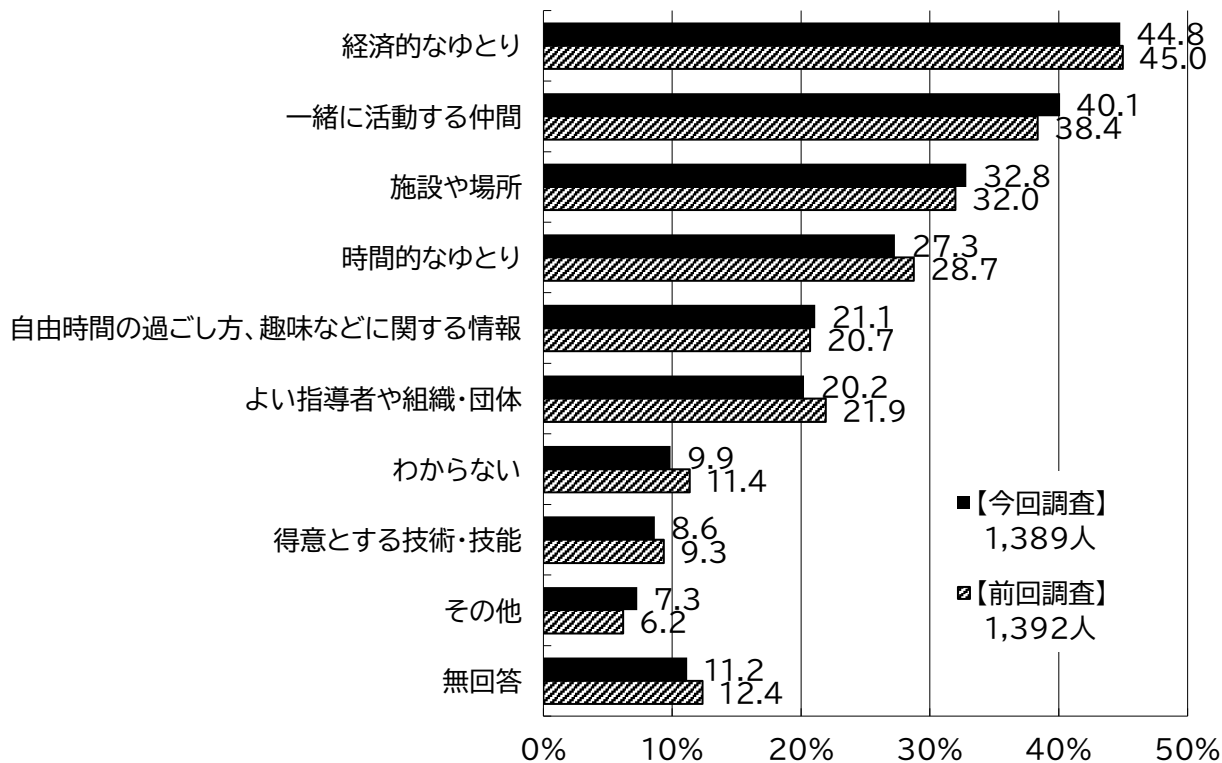


⑧収入のある仕事



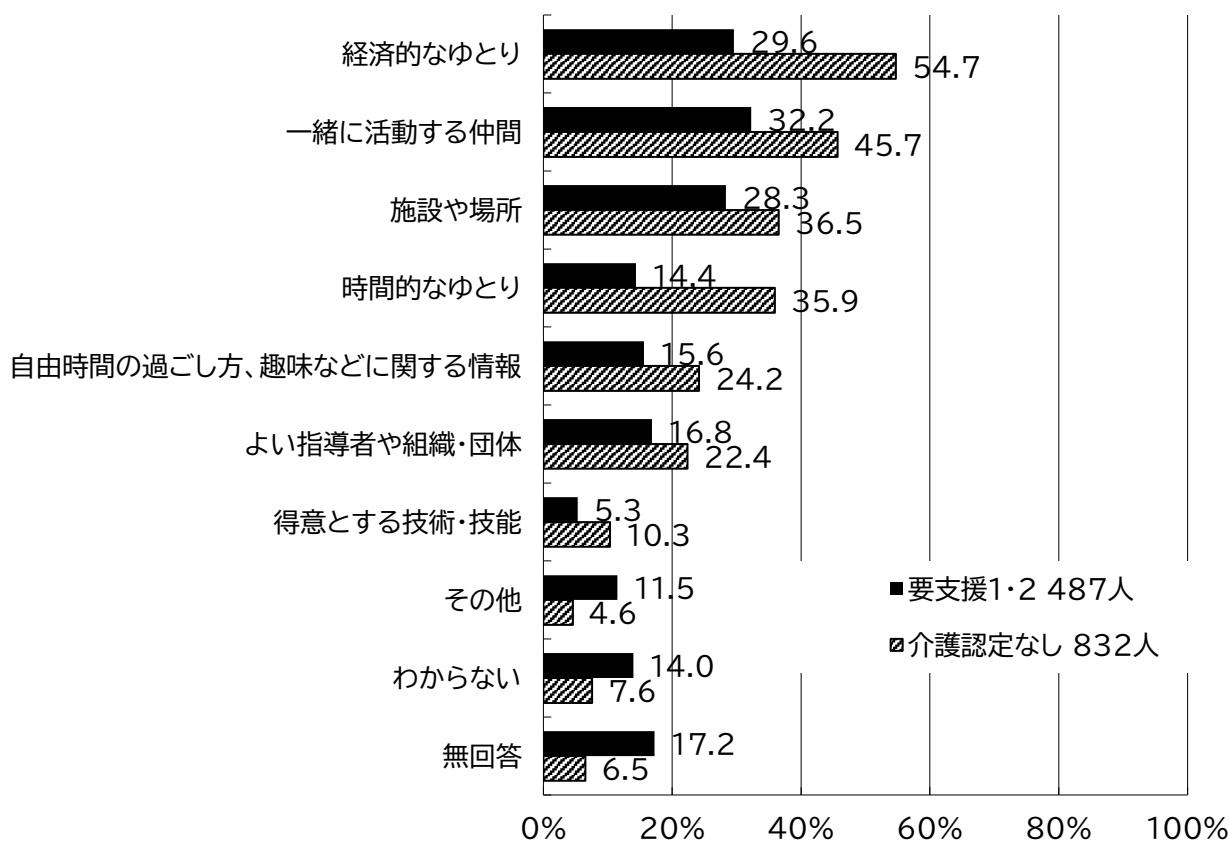
問2 あなたが、趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 「経済的なゆとり」が 44.8%、「一緒に活動する仲間」が 40.1%とこれらが上位2つで、次いで「施設や場所」が 32.8%と続いています。



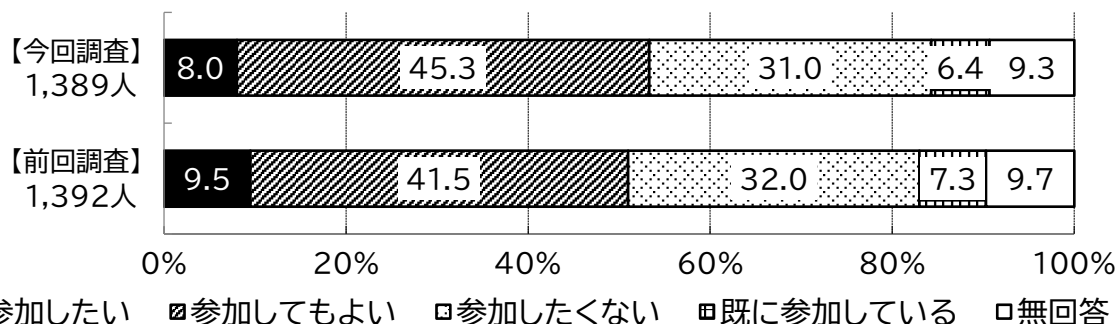
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「一緒に活動する仲間」が 32.2%、「経済的なゆとり」が 29.6%とこれらが上位2つで、次いで「施設や場所」が 28.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「経済的なゆとり」が 54.7%と最も高く、次いで「一緒に活動する仲間」が 45.7%、「施設や場所」が 36.5%と続いています。



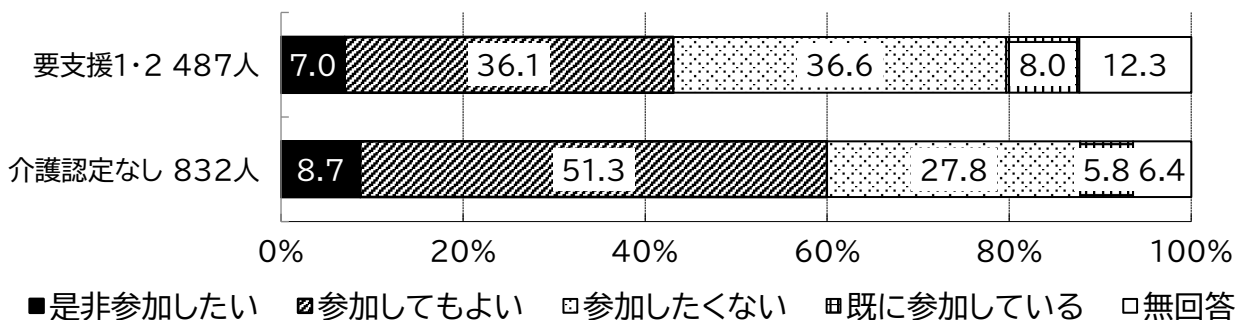
問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- 「参加してもよい」が 45.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が 31.0%、「是非参加したい」が 8.0%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「参加したくない」が 36.6%、「参加してもよい」が 36.1%とこれらが上位2つで、次いで「既に参加している」が 8.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「参加してもよい」が 51.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が 27.8%、「是非参加したい」が 8.7%と続いています。



【日常生活圏域別等】

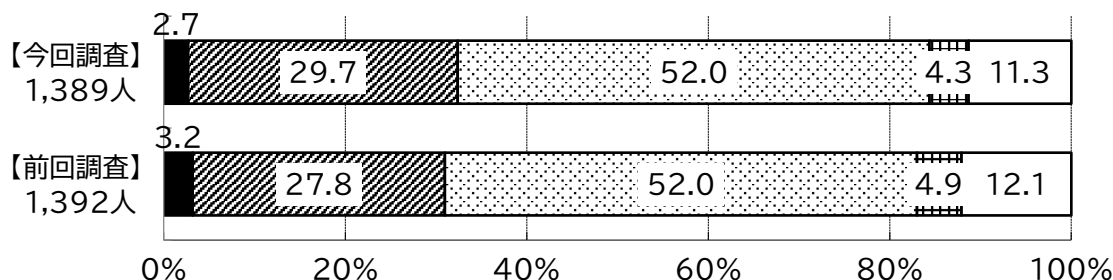
- 日常生活圏域別で見ると、いずれも「参加してもよい」が最も高く、「既に参加している」との割合は、いもくぼ圏域で 5.7%、きよはら圏域で 7.6%、なんがい圏域で 5.2%、しみず圏域で 7.9%となっています。
- 性別で見ると、「既に参加している」との割合は、女性で 7.9%、男性で 4.2%、「是非参加したい」との割合は女性で 9.3%、男性で 6.0%となっています。
- 要介護度別で見ると、介護認定なしの場合は「是非参加したい」が 8.7%、「参加してもよい」が 51.3%となっています。

(単位:%)

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
	全体 1389人	8.0	45.3	31.0	6.4	9.3
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	7.4	46.5	31.1	5.7	9.3
	きよはら圏域 250人	10.0	40.4	32.0	7.6	10.0
	なんがい圏域 425人	8.9	48.3	29.6	5.2	8.0
	しみず圏域 316人	5.4	44.0	32.6	7.9	10.1
1-③ 性別	男性 565人	6.0	48.7	34.2	4.2	6.9
	女性 795人	9.3	43.2	28.9	7.9	10.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 288人	7.6	39.6	33.3	8.7	10.8
	要支援2 200人	6.5	31.0	41.0	7.0	14.5
	介護認定なし 832人	8.7	51.3	27.8	5.8	6.4

問4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

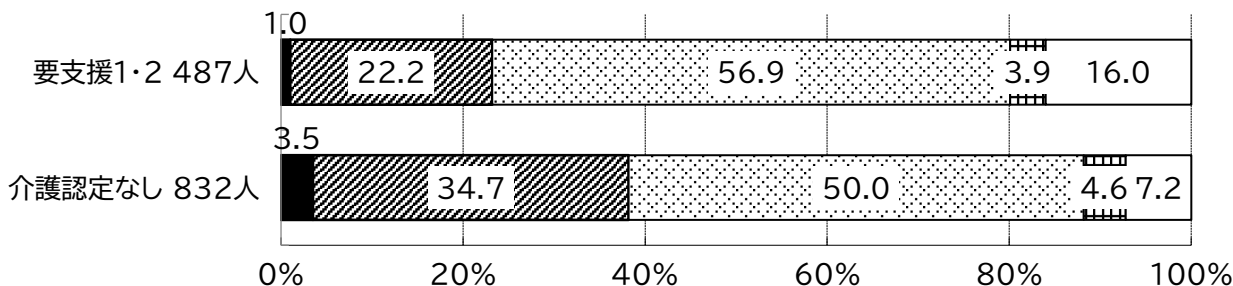
- 「参加したくない」が 52.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 29.7%、「既に参加している」が 4.3%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「参加したくない」が 56.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 22.2%、「既に参加している」が 3.9%と続いています。
- 介護認定なしでは、「参加したくない」が 50.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 34.7%、「既に参加している」が 4.6%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している □無回答

【日常生活圏域別等】

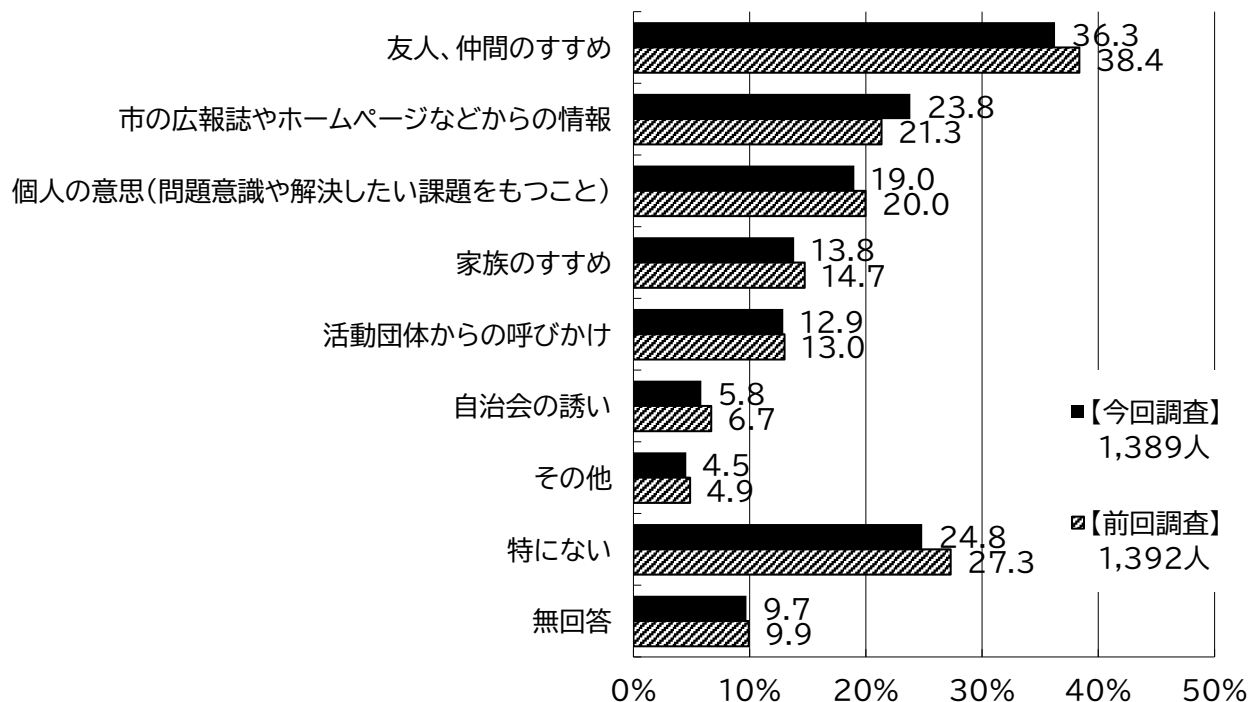
- 日常生活圏域別で見ると、いずれも「参加したくない」が最も高く、「既に参加している」との割合は、いもくぼ圏域で 3.8%、きよはら圏域で 5.6%、なんがい圏域で 4.2%、しみず圏域で 4.1%となっています。
- 性別で見ると、「既に参加している」との割合は、女性で 5.0%、男性で 3.4%、「是非参加したい」との割合は女性で 3.0%、男性で 2.1%となっています。
- 要介護度別で見ると、介護認定なしの場合は「是非参加したい」が 3.5%、「参加してもよい」が 34.7%となっています。

(単位:%)

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
	全体 1389人	2.7	29.7	52.0	4.3	11.3
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	1.1	28.7	54.4	3.8	12.0
	きよはら圏域 250人	3.2	28.4	50.4	5.6	12.4
	なんがい圏域 425人	3.3	30.8	51.8	4.2	9.9
	しみず圏域 316人	3.2	29.4	51.9	4.1	11.4
1-③ 性別	男性 565人	2.1	35.2	51.7	3.4	7.6
	女性 795人	3.0	25.8	52.5	5.0	13.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 288人	1.0	22.6	59.0	3.5	13.9
	要支援2 200人	1.5	21.5	53.5	4.5	19.0
	介護認定なし 832人	3.5	34.7	50.0	4.6	7.2

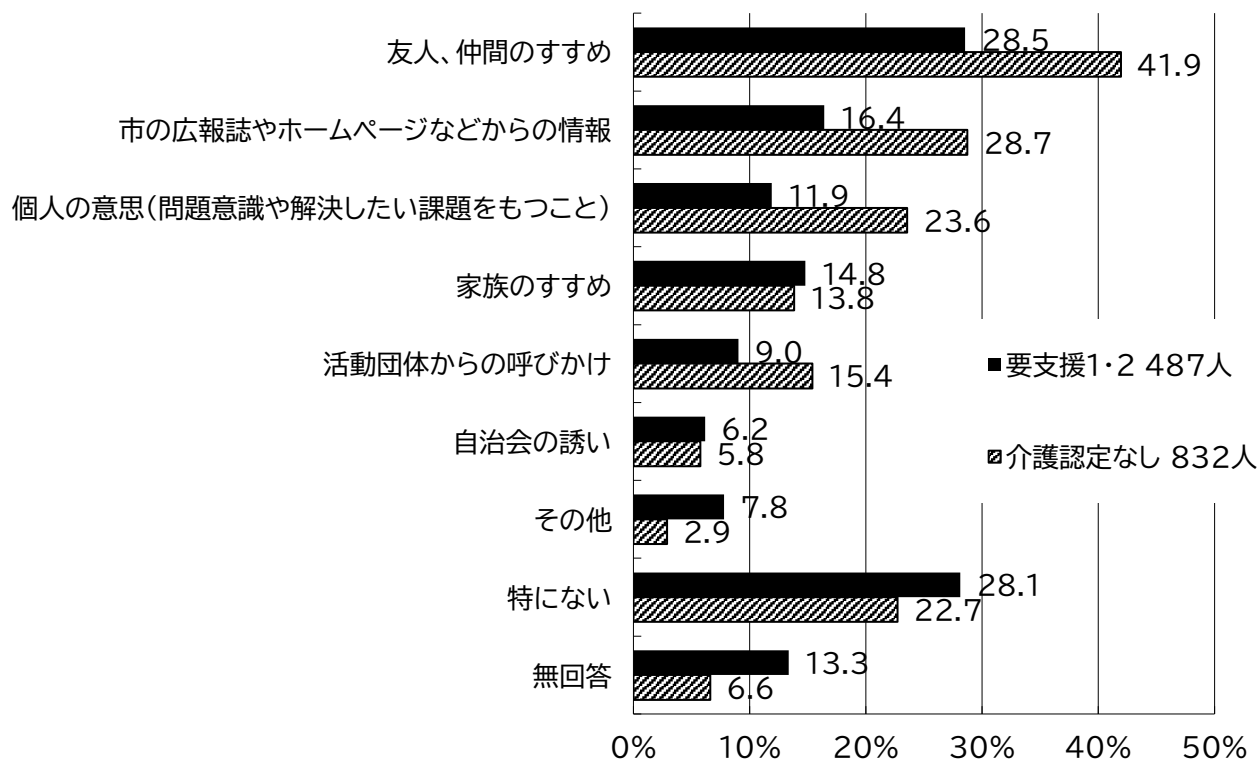
問5 あなたは、どのようなきっかけがあれば、個人又は友人と、あるいはグループや団体に自主的に
行われている活動に参加すると思いますか。(いくつでも)

- 「友人、仲間のすすめ」が36.3%と最も高く、次いで「特にない」が24.8%、「市の広報誌やホームページなどからの情報」が23.8%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「友人、仲間のすすめ」が28.5%、「特にない」が28.1%とこれらが上位2つで、次いで「市の広報誌やホームページなどからの情報」が16.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「友人、仲間のすすめ」が41.9%と最も高く、次いで「市の広報誌やホームページなどからの情報」が28.7%、「個人の意思(問題意識や解決したい課題をもつこと)」が23.6%と続いています。

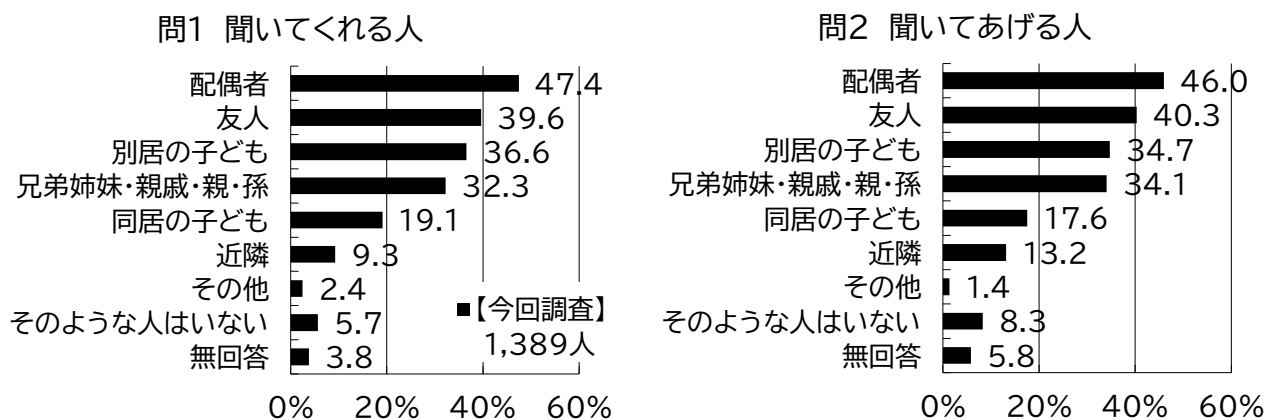


7 たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- 問1は、「配偶者」が47.4%と最も高く、次いで「友人」が39.6%、「別居の子ども」が36.6%と続いています。
- 問2は、「配偶者」が46.0%と最も高く、次いで「友人」が40.3%、「別居の子ども」が34.7%と続いています。

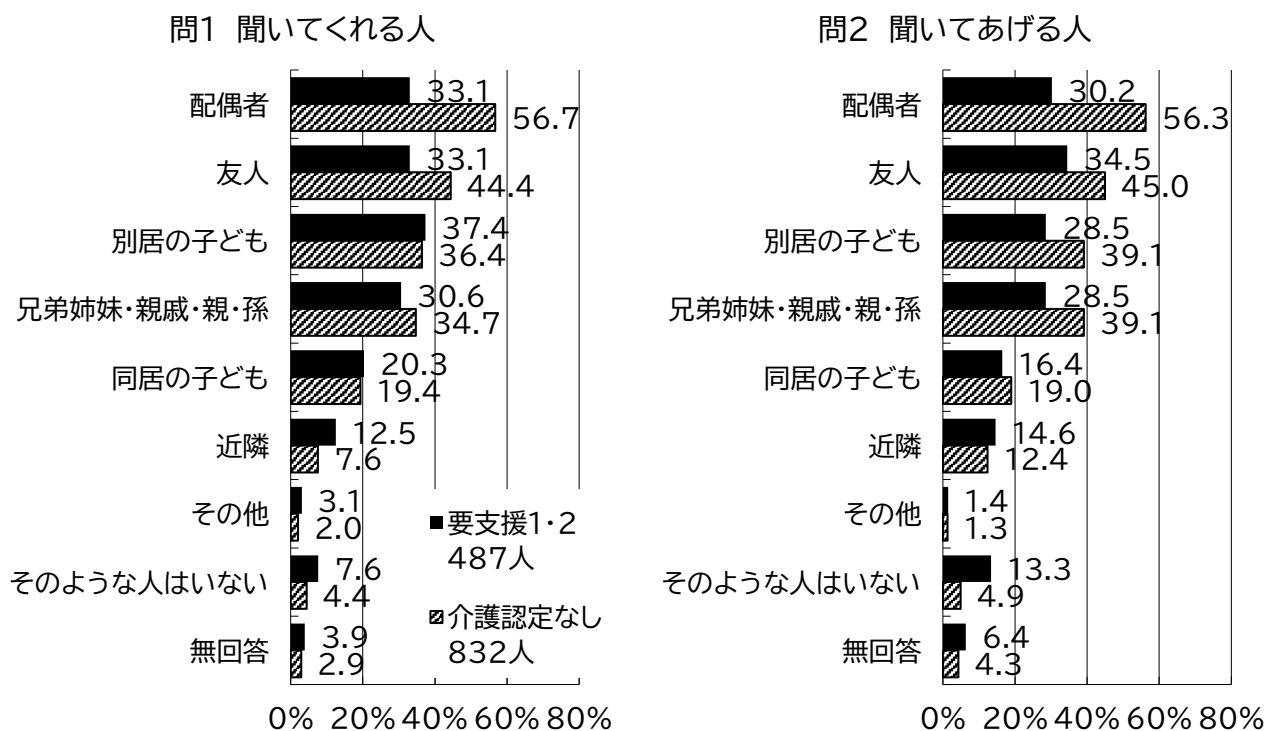


【問1 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問1について、要支援1・2では、「別居の子ども」が37.4%、「配偶者」が33.1%とこれらが上位2つで、次いで「友人」が33.1%と続いています。
- 問1について、介護認定なしでは、「配偶者」が56.7%と最も高く、次いで「友人」が44.4%、「別居の子ども」が36.4%と続いています。

【問2 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問2について、要支援1・2では、「友人」が34.5%、「配偶者」が30.2%とこれらが上位2つで、次いで「別居の子ども」が28.5%と続いています。
- 問2について、介護認定なしでは、「配偶者」が56.3%と最も高く、次いで「友人」が45.0%、「別居の子ども」が39.1%と続いています。

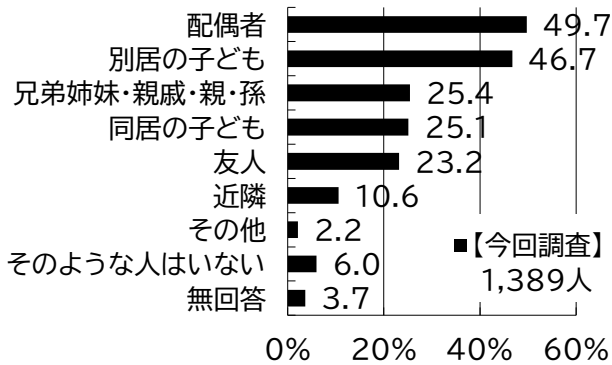


問3 あなたのちょっとした手伝いや用事をお願いできる人(いくつでも)

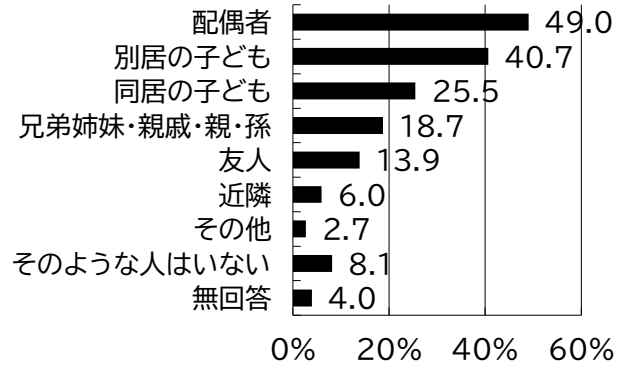
問4 あなたの家事や買い物などをしてくれる(お願いできる)人(いくつでも)

- 問3は、「配偶者」が 49.7%、「別居の子ども」が 46.7%とこれらが上位2つで、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 25.4%と続いています。
- 問4は、「配偶者」が 49.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 40.7%、「同居の子ども」が 25.5%と続いています。

問3 手伝いや用事をお願いできる人



問4 家事や買い物をお願いできる人



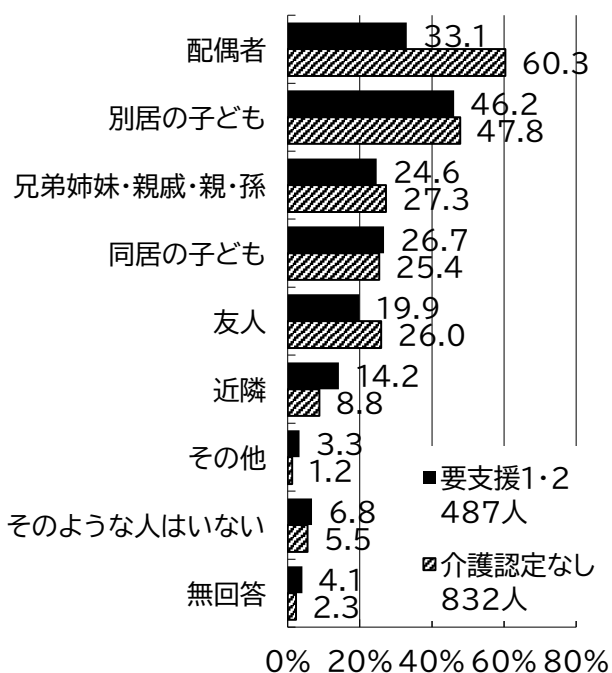
【問3 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問3について、要支援1・2では、「別居の子ども」が 46.2%と最も高く、次いで「配偶者」が 33.1%、「同居の子ども」が 26.7%と続いています。
- 問3について、介護認定なしでは、「配偶者」が 60.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 47.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 27.3%と続いています。

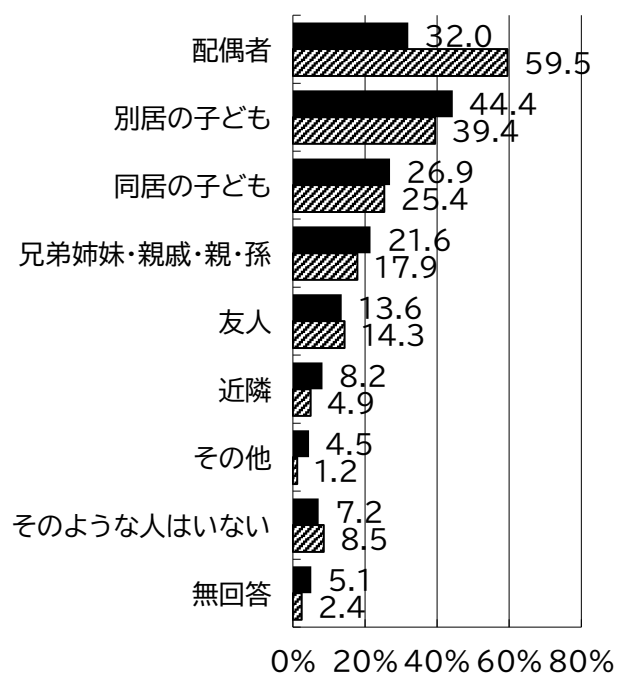
【問4 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問4について、要支援1・2では、「別居の子ども」が 44.4%と最も高く、次いで「配偶者」が 32.0%、「同居の子ども」が 26.9%と続いています。
- 問4について、介護認定なしでは、「配偶者」が 59.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 39.4%、「同居の子ども」が 25.4%と続いています。

問3 手伝いや用事をお願いできる人



問4 家事や買い物をお願いできる人

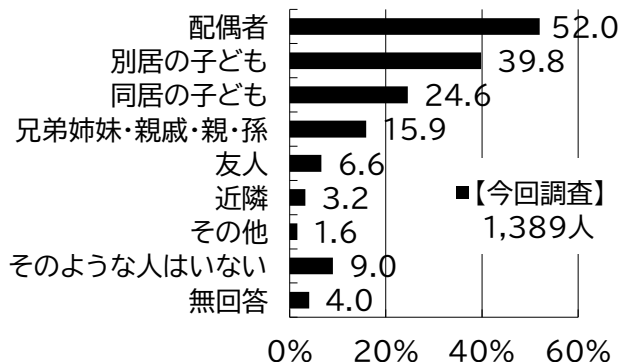


問5 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

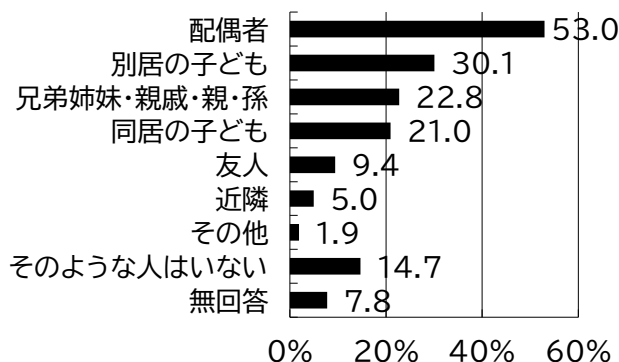
問6 反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)

- 問5は、「配偶者」が 52.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 39.8%、「同居の子ども」が 24.6%と続いています。
- 問6は、「配偶者」が 53.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 30.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 22.8%と続いています。

問5 看病や世話をしてくれる人



問6 看病や世話をしあげる人



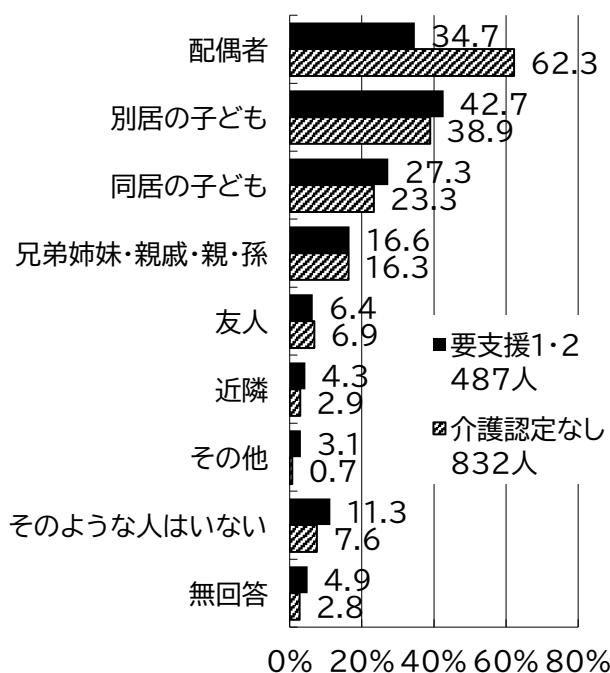
【問5 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問5について、要支援1・2では、「別居の子ども」が 42.7%と最も高く、次いで「配偶者」が 34.7%、「同居の子ども」が 27.3%と続いています。
- 問5について、介護認定なしでは、「配偶者」が 62.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 38.9%、「同居の子ども」が 23.3%と続いています。

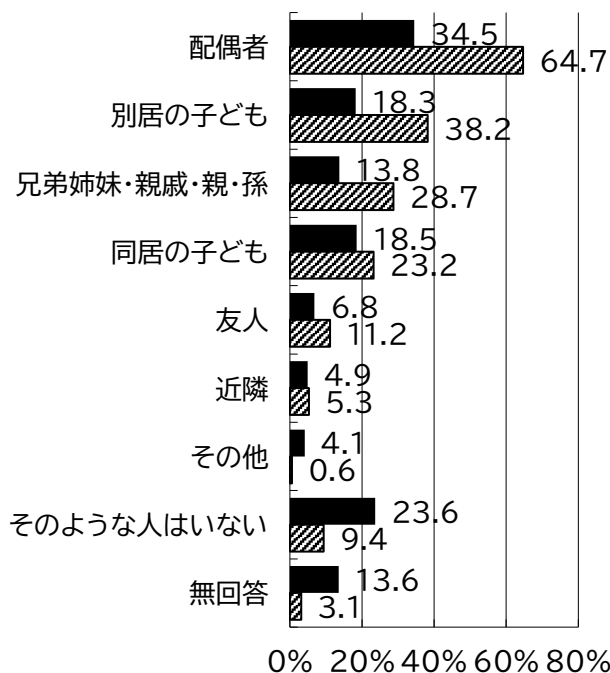
【問6 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問6について、要支援1・2では、「配偶者」が 34.5%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が 23.6%、「同居の子ども」が 18.5%と続いています。
- 問6について、介護認定なしでは、「配偶者」が 64.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 38.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 28.7%と続いています。

問5 看病や世話をしてくれる人

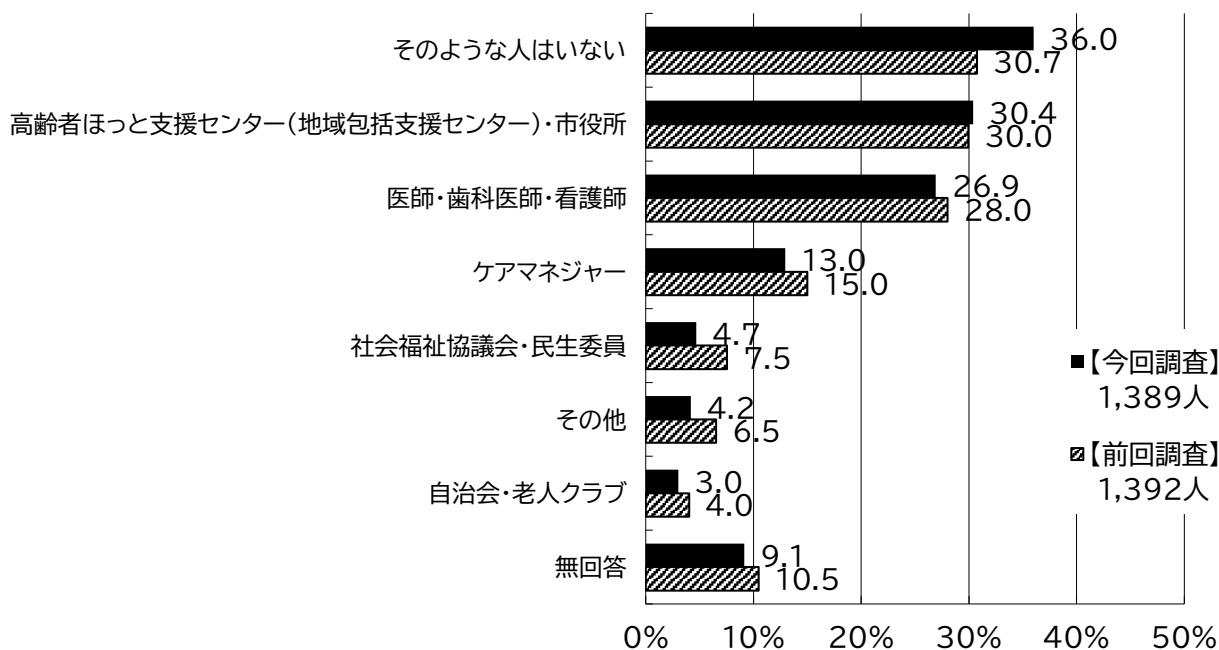


問6 看病や世話をしあげる人



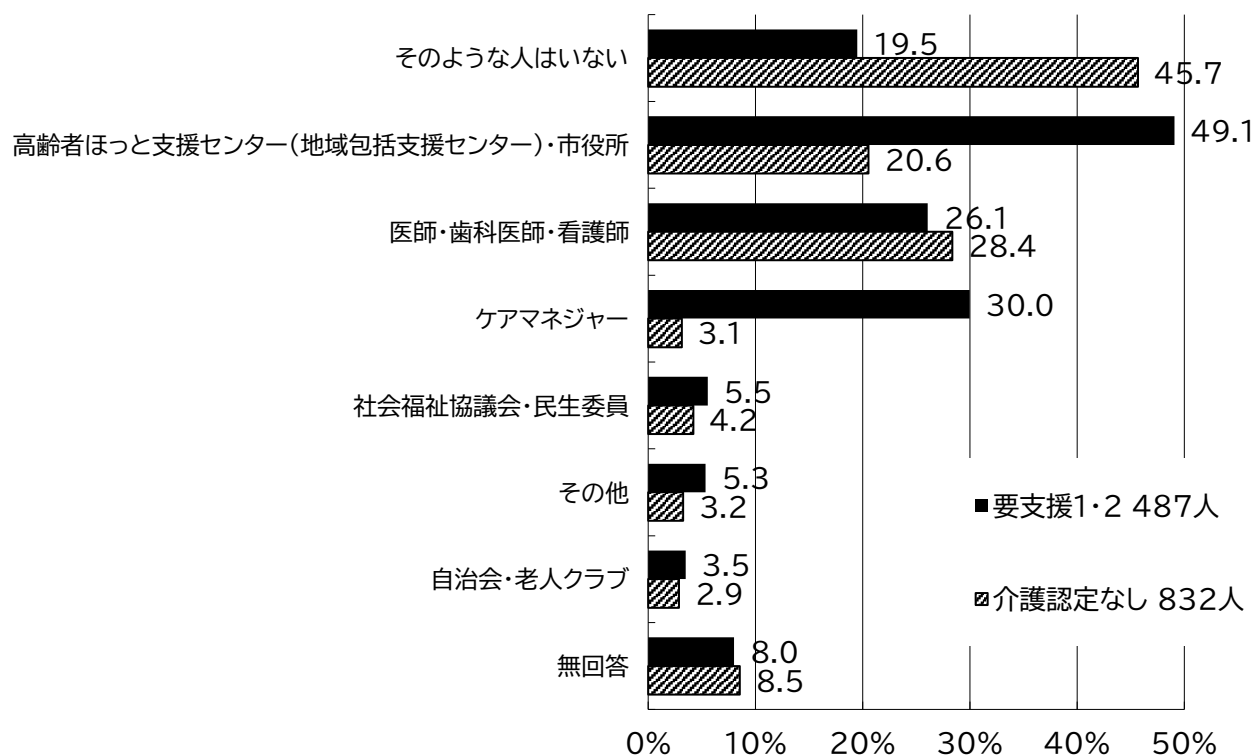
問7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- 「そのような人はいない」が36.0%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が30.4%、「医師・歯科医師・看護師」が26.9%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が49.1%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」が30.0%、「医師・歯科医師・看護師」が26.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「そのような人はいない」が45.7%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.4%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が20.6%と続いています。



【年齢別等】

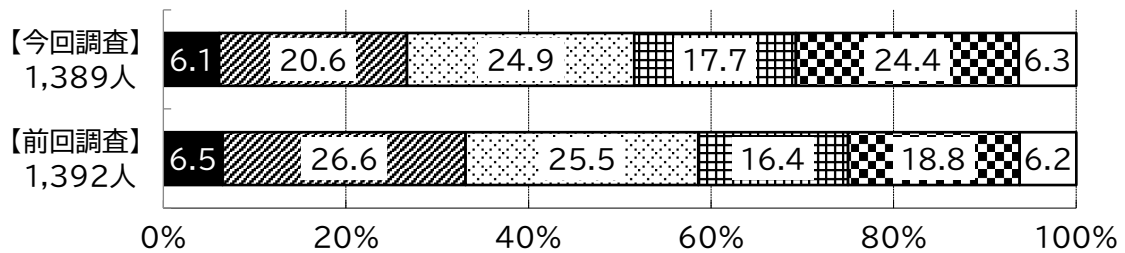
- 年齢別で見ると、65～74歳は「そのような人はいない」が49.3%と最も高く、75～84歳、85歳～はいずれも「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が最も高くなっています。
- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「そのような人はいない」が最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が続いています。
- 要介護度別で見ると、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」の割合は要支援1で50.7%、要支援2で47.0%となっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が34.9%と最も高くなっています。

(単位:%)

		自治会 老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 1389人	3.0	4.7	13.0	26.9	30.4	4.2	36.0	9.1
1-④ 年齢	65～74歳 442人	2.5	2.7	4.3	27.4	17.0	4.1	49.3	6.6
	75～84歳 568人	3.7	5.8	13.6	27.3	33.3	4.0	30.5	10.6
	85歳～ 341人	2.9	5.3	22.6	26.7	44.3	3.8	27.0	9.7
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	2.2	5.5	9.3	27.6	28.1	3.6	36.9	10.7
	きよはら圏域 250人	3.2	4.0	14.0	24.4	32.0	5.2	32.8	12.0
	なんがい圏域 425人	4.2	4.9	14.8	28.7	30.6	3.3	35.3	6.8
	しみず圏域 316人	2.2	3.8	13.6	26.3	31.6	5.1	38.6	7.6
1-⑤ 要介護度	要支援1 288人	3.5	7.3	30.2	27.1	50.7	3.5	18.8	8.0
	要支援2 200人	3.5	3.0	30.0	25.0	47.0	8.0	20.5	8.0
	介護認定なし 832人	2.9	4.2	3.1	28.4	20.6	3.2	45.7	8.5
2-問1 家族構成	1人暮らし 338人	5.3	4.7	16.0	23.7	34.9	4.7	31.4	9.2
	夫婦2人暮らし 615人	2.1	4.9	10.2	27.3	28.8	3.1	39.8	8.1
	息子・娘との2世帯 226人	1.8	5.3	14.6	29.6	29.6	5.3	35.0	9.7

問8 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

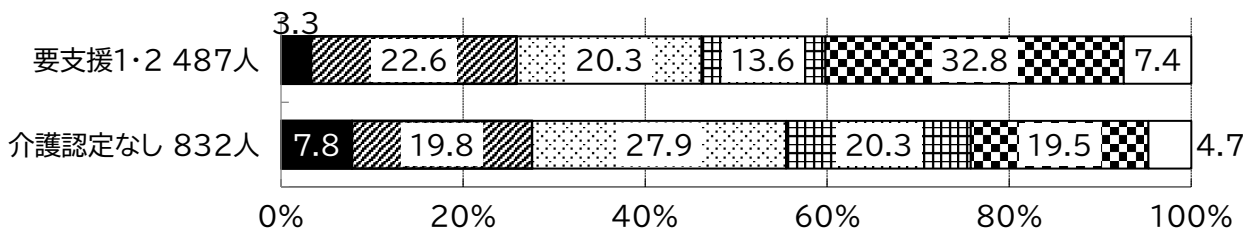
- 「月に何度かある」が 24.9%、「ほとんどない」が 24.4%とこれらが上位2つで、次いで「週に何度かある」が 20.6%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

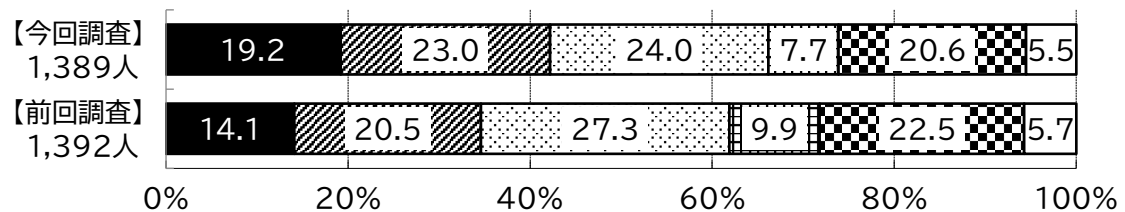
- 要支援1・2では、「ほとんどない」が 32.8%と最も高く、次いで「週に何度かある」が 22.6%、「月に何度かある」が 20.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「月に何度かある」が 27.9%と最も高く、次いで「年に何度かある」が 20.3%、「週に何度かある」が 19.8%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答

問9 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

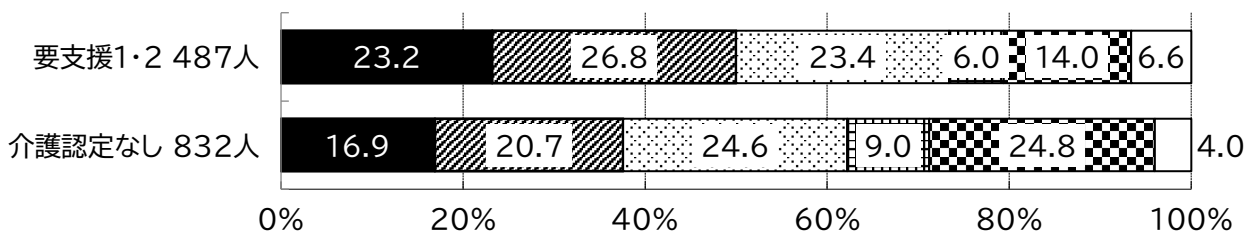
- 「3~5人」が 24.0%、「1~2人」が 23.0%とこれらが上位2つで、次いで「10人以上」が 20.6%と続いています。



■0人(いない) ■1~2人 ■3~5人 ■6~9人 ■10人以上 □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

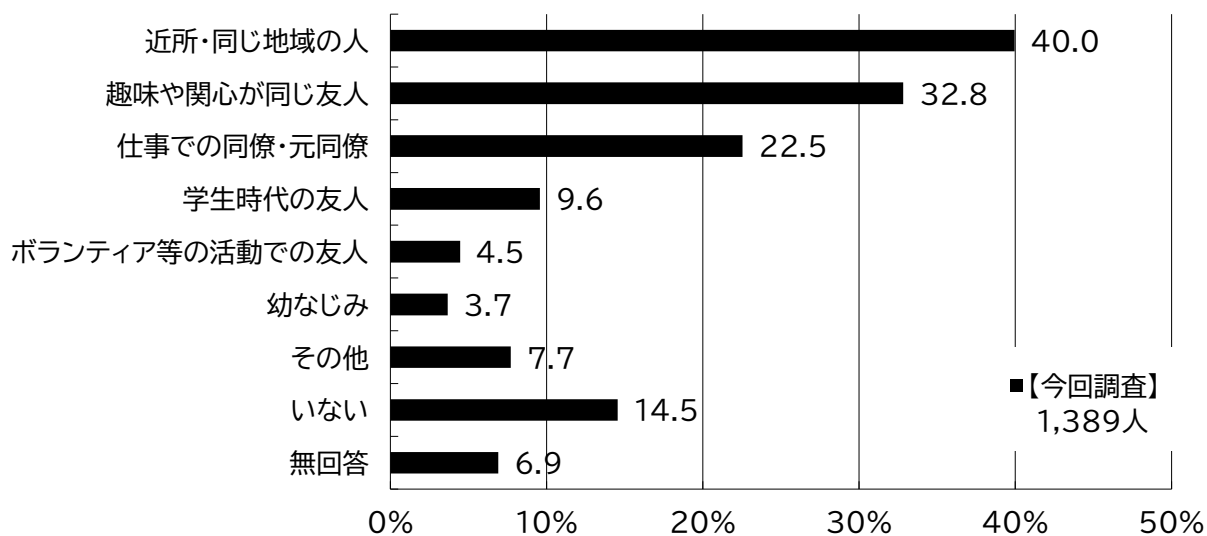
- 要支援1・2では、「1~2人」が 26.8%、「3~5人」が 23.4%とこれらが上位2つで、次いで「0人(いない)」が 23.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「10人以上」が 24.8%、「3~5人」が 24.6%とこれらが上位2つで、次いで「1~2人」が 20.7%と続いています。



■0人(いない) ■1~2人 ■3~5人 ■6~9人 ■10人以上 □無回答

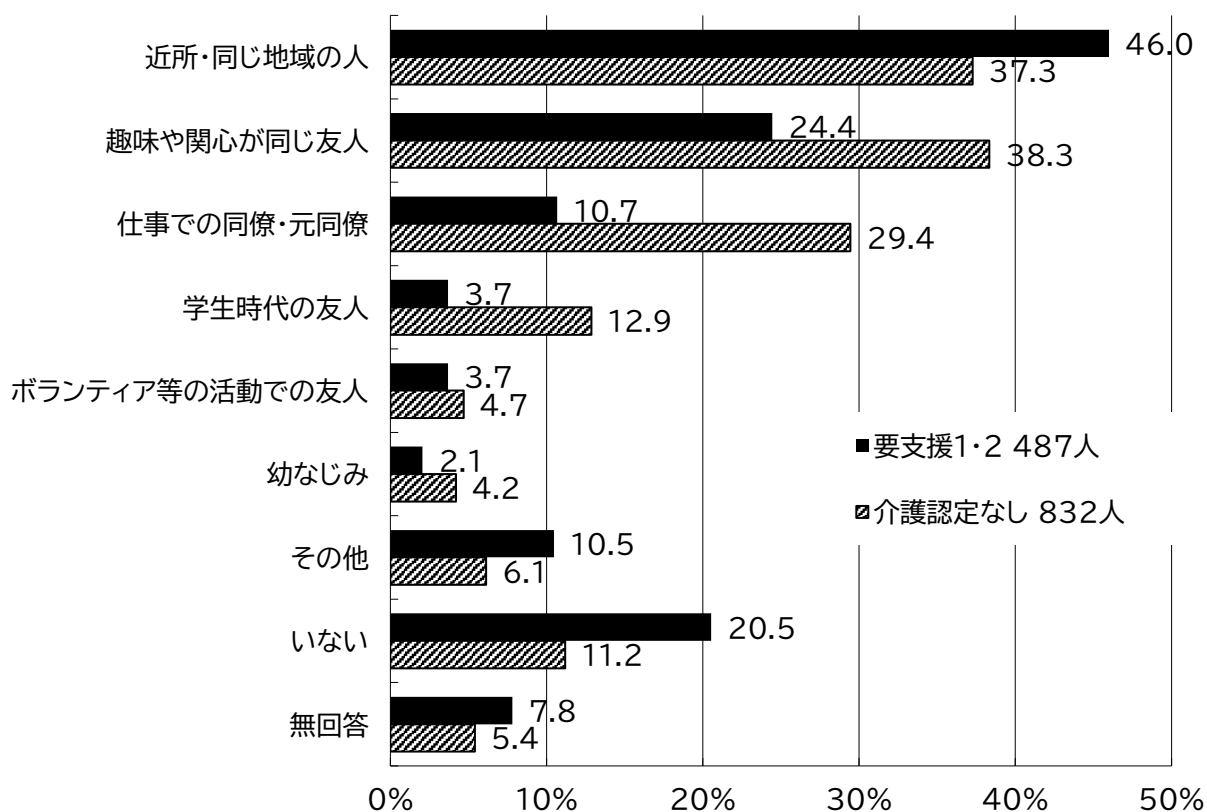
問10 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- 「近所・同じ地域の人」が 40.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.8%、「仕事での同僚・元同僚」が 22.5%と続いています。



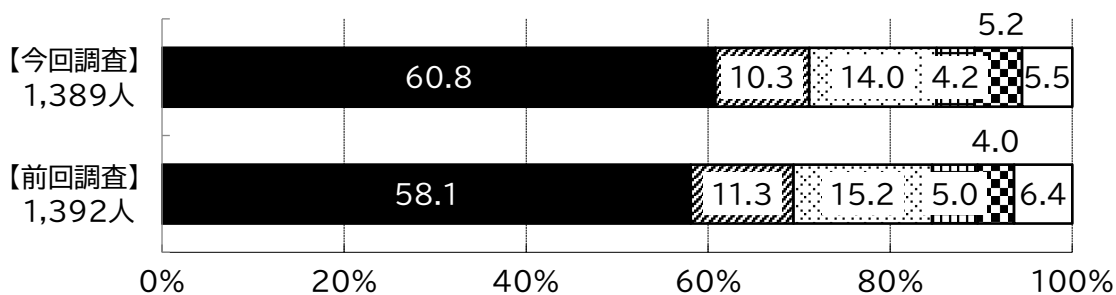
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「近所・同じ地域の人」が 46.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 24.4%、「いない」が 20.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「趣味や関心が同じ友人」が 38.3%、「近所・同じ地域の人」が 37.3%とこれらが上位2つで、次いで「仕事での同僚・元同僚」が 29.4%と続いています。



問11 一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。

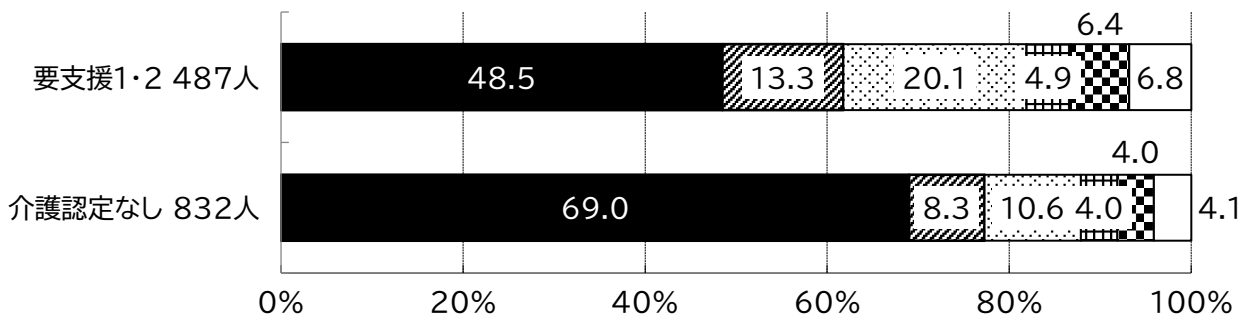
- 「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 60.8%と最も高く、次いで「週に2~3日程度ある」が 14.0%、「週に1日程度ある」が 10.3%と続いています。



- ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)
- ▨週に1日程度ある
- ▤週に2~3日程度ある
- ▧週に4~5日程度ある
- ▩ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 48.5%と最も高く、次いで「週に2~3日程度ある」が 20.1%、「週に1日程度ある」が 13.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 69.0%と最も高く、次いで「週に2~3日程度ある」が 10.6%、「週に1日程度ある」が 8.3%と続いています。



- ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)
- ▨週に1日程度ある
- ▤週に2~3日程度ある
- ▧週に4~5日程度ある
- ▩ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない
- 無回答

【日常生活圏域別等】

- 日常生活圏域別で見ると、「週に4～5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」を合わせた割合は、いもくぼ圏域で6.9%、きよはら圏域で10.4%、なんかい圏域で10.1%、しみず圏域で10.1%となっています。
- 家族構成別で見ると、「週に4～5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」を合わせた割合は、1人暮らしで16.3%、夫婦2人暮らしで7.6%、息子・娘との2世帯で4.4%となっています。

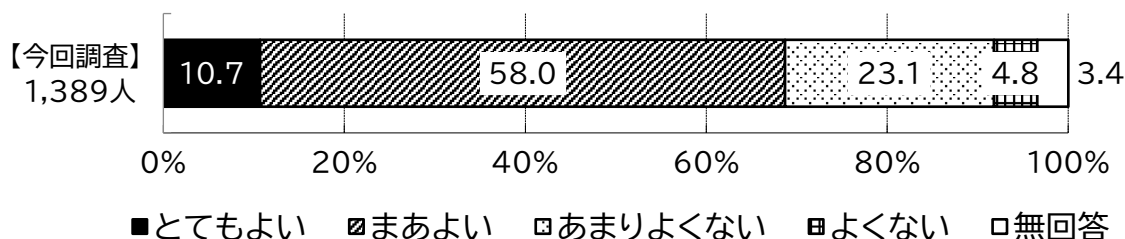
(単位:%)

		ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)	週に1日程度ある	週に2～3日程度ある	週に4～5日程度ある	ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない	無回答
	全体 1389人	60.8	10.3	14.0	4.2	5.2	5.5
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 366人	66.3	8.5	12.8	3.3	3.6	5.5
	きよはら圏域 250人	48.4	15.2	18.8	4.0	6.4	7.2
	なんかい圏域 425人	61.2	9.9	14.1	4.9	5.2	4.7
	しみず圏域 316人	63.3	9.8	11.7	4.4	5.7	5.1
2-① 1人暮らし	1人暮らし 338人	31.9	16.6	29.3	8.0	8.3	5.9
	夫婦2人暮らし 615人	68.0	8.5	10.2	2.9	4.7	5.7
	息子・娘との2世帯 226人	69.9	10.6	9.3	1.3	3.1	5.8

8 健康について

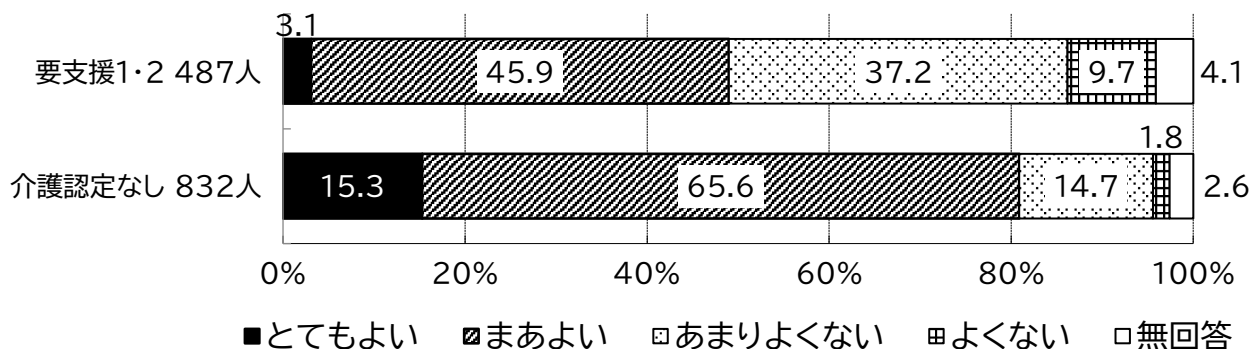
問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- 「まあよい」が58.0%と最も高く、次いで「あまりよくない」が23.1%、「とてもよい」が10.7%と続いています。



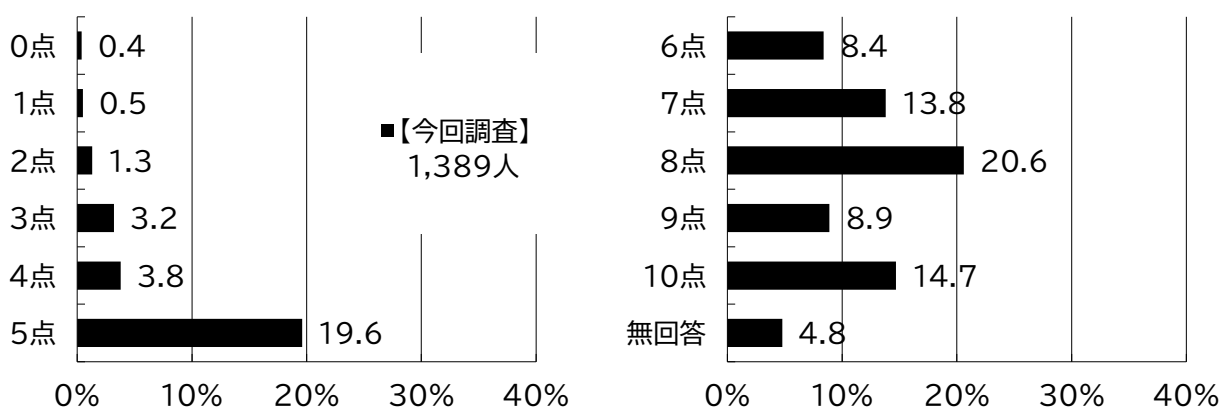
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「まあよい」が45.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」が37.2%、「よくない」が9.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「まあよい」が65.6%と最も高く、次いで「とてもよい」が15.3%、「あまりよくない」が14.7%と続いています。



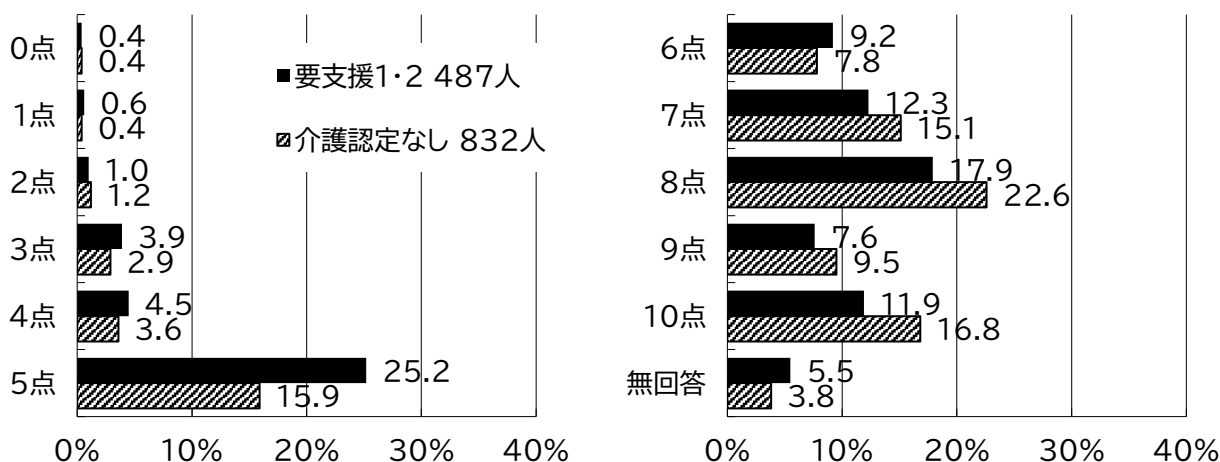
問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点)

- 「8点」が20.6%、「5点」が19.6%とこれらが上位2つで、次いで「10点」が14.7%と続いています。
- 無回答の方を除いた平均点は「7.0点」となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「5点」が25.2%と最も高く、次いで「8点」が17.9%、「7点」が12.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「8点」が22.6%と最も高く、次いで「10点」が16.8%、「5点」が15.9%と続いています。



【属性別 平均点】

- 属性別で見ると、暮らしの経済的な状況で「ややゆとりがある・大変ゆとりがある」という場合は8.1点と比較的高く、次いで、生きがいの有無で「生きがいあり」の場合が7.4点、家族構成で「息子・娘との2世帯」の場合が7.3点、要介護度で「介護認定なし」の場合や趣味の有無で「趣味あり」という場合が7.3点などと続いています。

属性	平均点
全体 1323人	7.0点
1-④ 年齢	
65~74歳 426人	7.0点
75~84歳 540人	7.0点
85歳~ 323人	7.0点
1-② 日常生活圏域	
いもくぼ圏域 352人	7.0点
きよはら圏域 237人	6.9点
なんがいの圏域 409人	7.0点
しみず圏域 296人	7.1点
1-③ 性別	
男性 536人	6.7点
女性 761人	7.2点
1-⑤ 要介護度	
要支援1 271人	6.7点
要支援2 190人	6.6点
介護認定なし 800人	7.2点
2-問1 家族構成	
1人暮らし 323人	6.6点
夫婦2人暮らし 585人	7.1点
息子・娘との2世帯 215人	7.3点
2-問2 暮らしの経済的な状況	
大変苦しい・やや苦しい 351人	6.2点
ふつう 843人	7.2点
ややゆとりがある・大変ゆとりがある 95人	8.1点

属性	平均点
2-問4 持ち家 1052人	7.1点
お住まい 賃貸・借家 242人	6.6点
5-問17 趣味あり 919人	7.3点
趣味 思いつかない 324人	6.1点
5-問18 生きがいあり 1031人	7.4点
生きがい 思いつかない 255人	5.5点

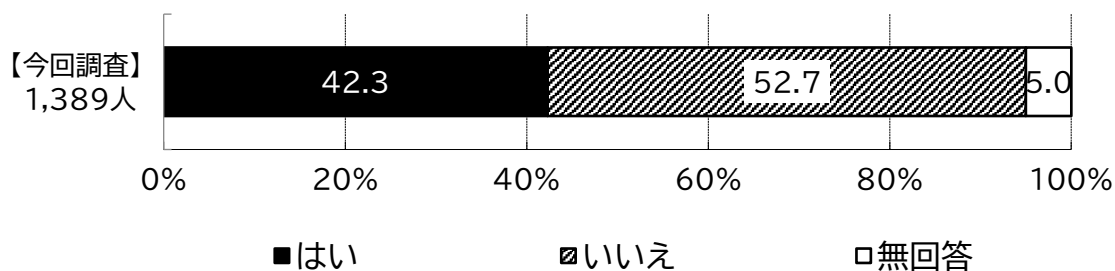
【誰かと会う頻度別 平均点】

- 誰かと会う頻度別で見ると、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」という場合は7.4点と比較的高い一方、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」という場合は5.4点と比較的低くなっています。

属性	平均点
7-問11 一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。	
ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている) 830人	7.4点
週に1日程度ある 141人	6.4点
週に2~3日程度ある 190人	6.5点
週に4~5日程度ある 58人	6.5点
ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない 67人	5.4点

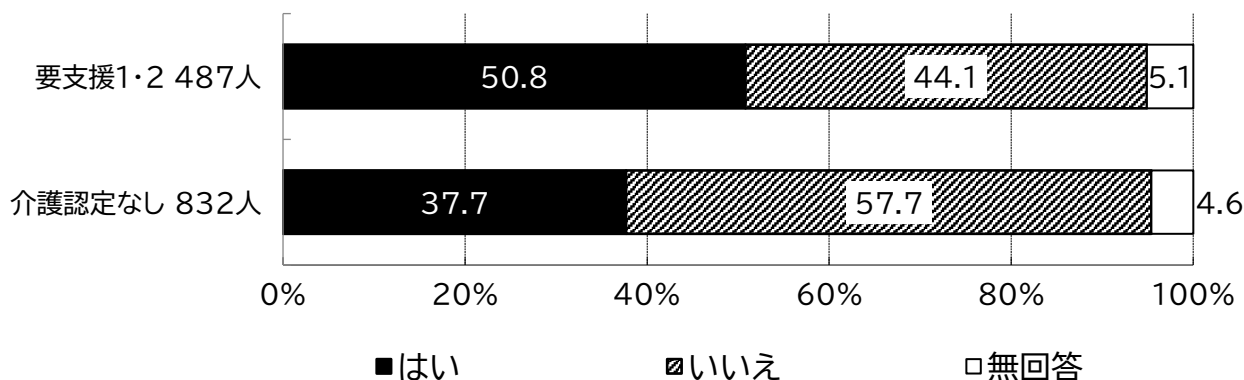
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 「いいえ」が52.7%、「はい」が42.3%となっています。



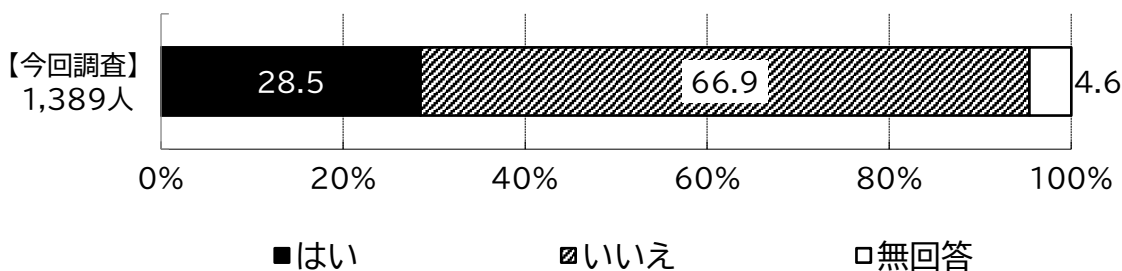
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「はい」が50.8%、「いいえ」が44.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が57.7%、「はい」が37.7%となっています。



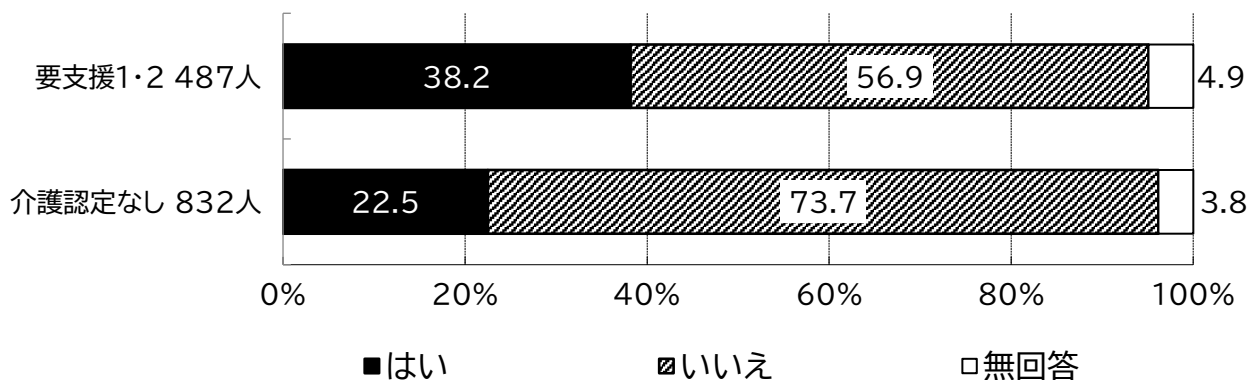
問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- 「いいえ」が66.9%、「はい」が28.5%となっています。



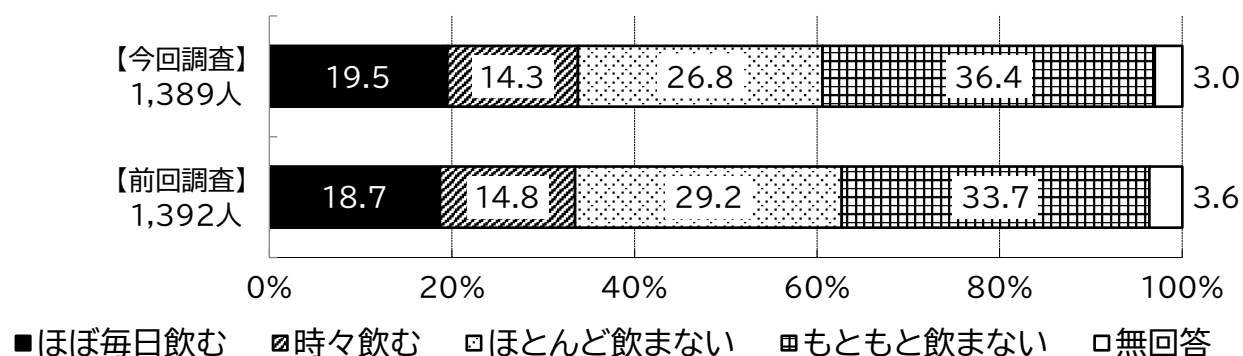
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が56.9%、「はい」が38.2%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が73.7%、「はい」が22.5%となっています。



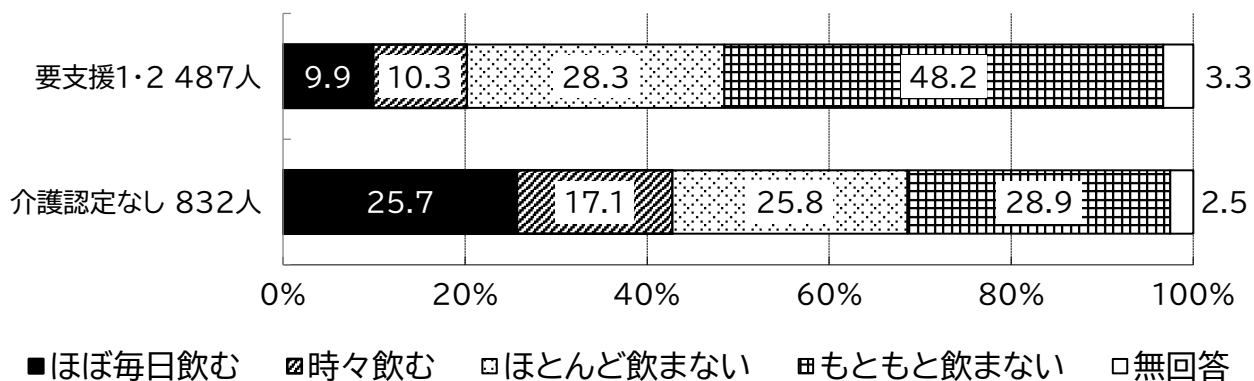
問5 お酒は飲みますか。

- 「もともと飲まない」が 36.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 26.8%、「ほぼ毎日飲む」が 19.5%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「もともと飲まない」が 48.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 28.3%、「時々飲む」が 10.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「もともと飲まない」が 28.9%、「ほとんど飲まない」が 25.8%とこれらが上位2つで、次いで「ほぼ毎日飲む」が 25.7%と続いています。



【性別】

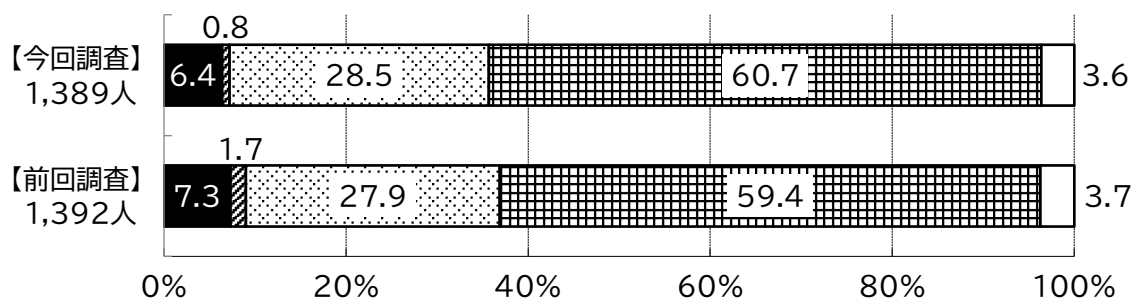
- 性別で見ると、男性は「ほぼ毎日飲む」が 35.7%と最も高く、女性は「もともと飲まない」が 49.1%と最も高くなっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日 飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答
	全体 1389人	19.5	14.3	26.8	36.4	3.0
1-③ 性別	男性 565人	35.7	17.7	24.8	18.4	3.4
	女性 795人	8.2	12.3	27.9	49.1	2.5

問6 タバコは吸っていますか。

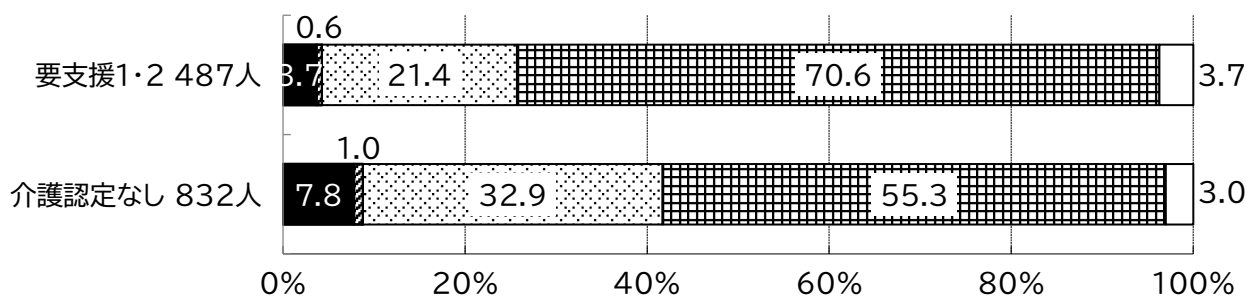
- 「もともと吸っていない」が60.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が28.5%、「ほぼ毎日吸っている」が6.4%と続いています。



- ほぼ毎日吸っている
- ▨ 時々吸っている
- ▩ 吸っていたがやめた
- ▧ もともと吸っていない
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「もともと吸っていない」が70.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が21.4%、「ほぼ毎日吸っている」が3.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「もともと吸っていない」が55.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が32.9%、「ほぼ毎日吸っている」が7.8%と続いています。



- ほぼ毎日吸っている
- ▨ 時々吸っている
- ▩ 吸っていたがやめた
- ▧ もともと吸っていない
- 無回答

【性別】

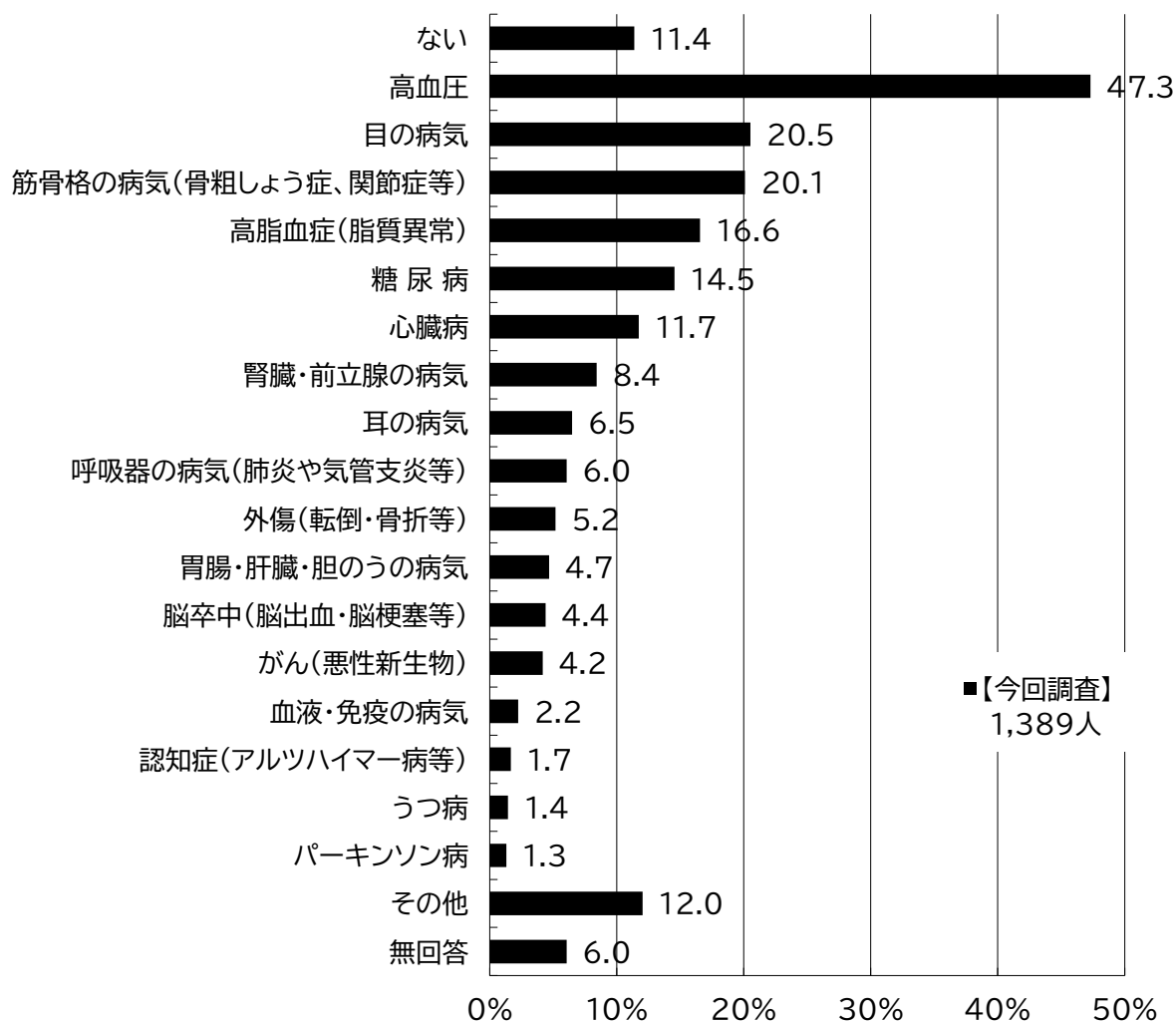
- 性別で見ると、男性は「吸っていたがやめた」が54.4%と最も高く、「ほぼ毎日吸っている」は12.2%となっています。女性は「もともと吸っていない」が83.8%と最も高くなっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
	全体 1389人	6.4	0.8	28.5	60.7	3.6
1-③ 性別	男性 565人	12.2	1.2	54.4	28.7	3.5
	女性 795人	2.1	0.4	10.2	83.8	3.5

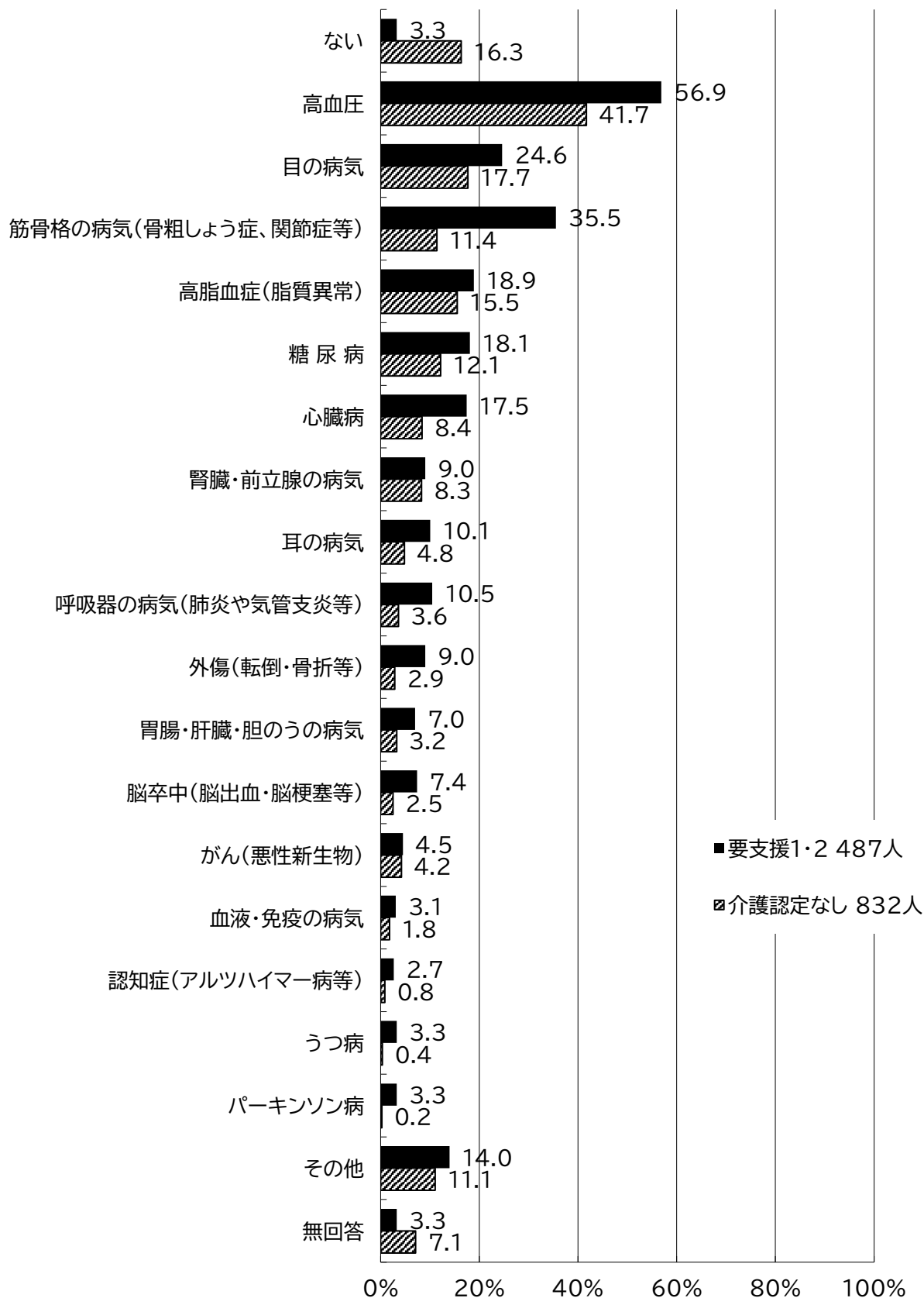
問7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつかでも)

- 「高血圧」が 47.3%と最も高く、次いで「目の病気」が 20.5%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 20.1%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

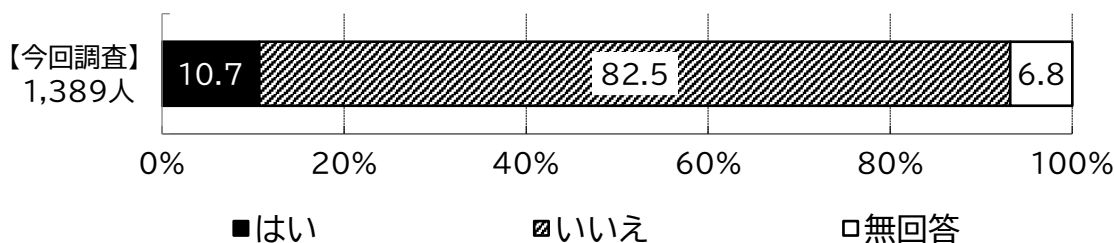
- 要支援1・2では、「高血圧」が56.9%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が35.5%、「目の病気」が24.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「高血圧」が41.7%と最も高く、次いで「目の病気」が17.7%、「ない」が16.3%と続いています。



9 認知症にかかる相談窓口の把握について

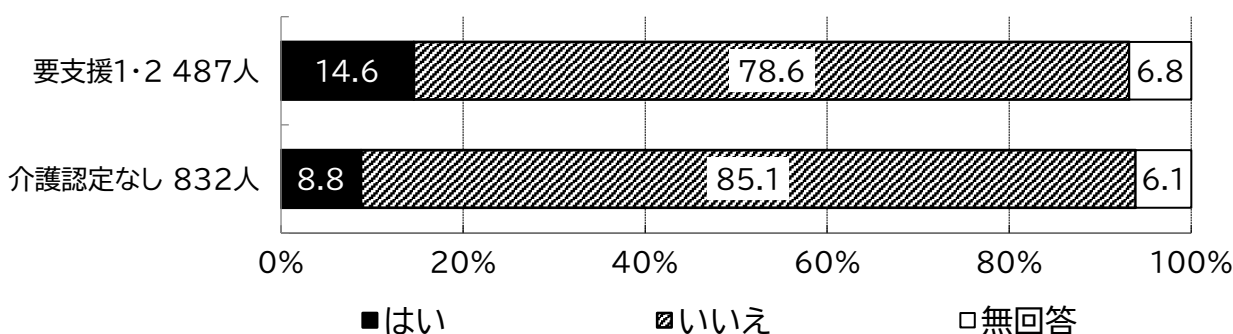
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

- 「いいえ」が82.5%、「はい」が10.7%となっています。



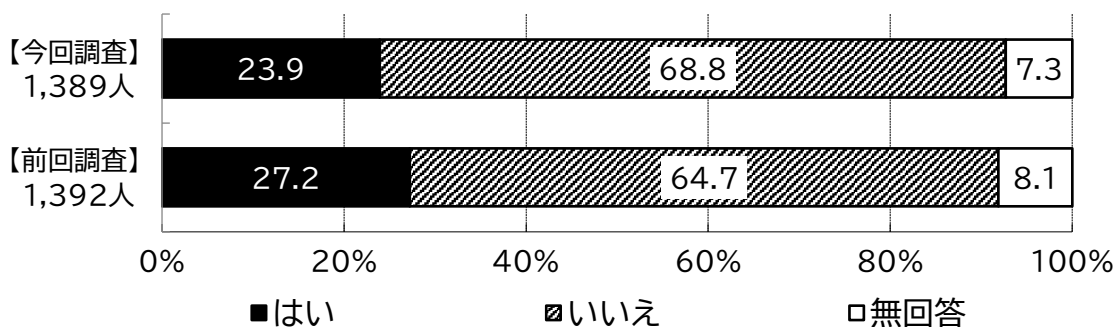
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が78.6%、「はい」が14.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が85.1%、「はい」が8.8%となっています。



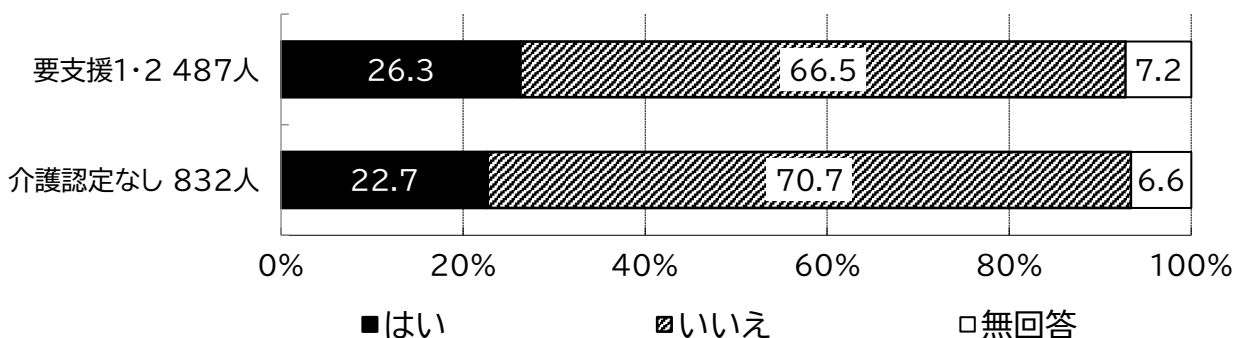
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

- 「いいえ」が68.8%、「はい」が23.9%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「いいえ」が66.5%、「はい」が26.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が70.7%、「はい」が22.7%となっています。



【家族(本人含む)に認知症の症状がある人の有無別】

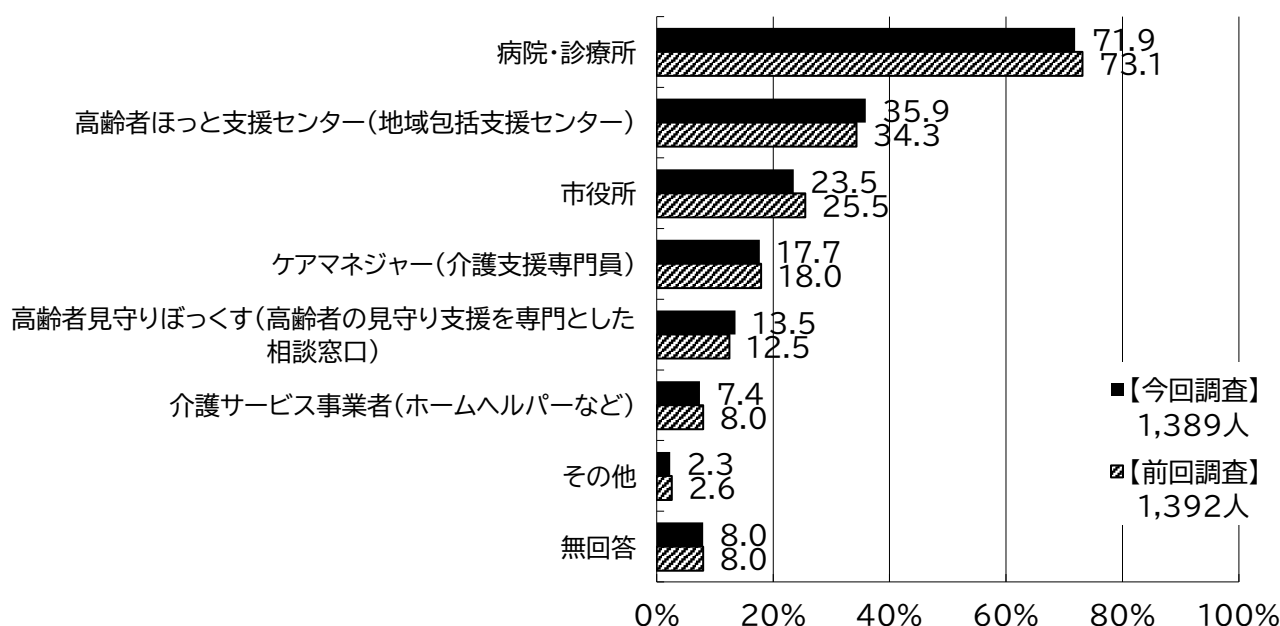
- 家族(本人含む)に認知症の症状がある人がいる場合は、「はい」が47.7%となっています。

(単位:%)

		はい	いいえ	無回答
	全体 1389人	23.9	68.8	7.3
9-問1 家族に認知症の症状がある人の有無	はい 149人	47.7	50.3	2.0
	いいえ 1146人	22.6	76.0	1.4

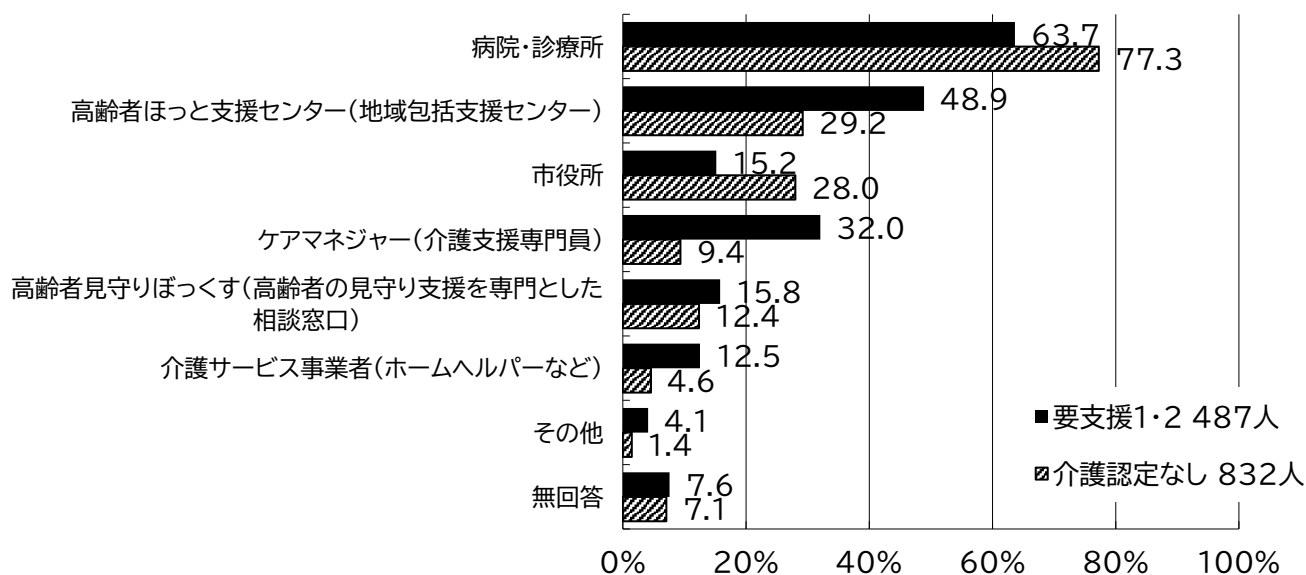
問3 あなたは、あなた自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこに相談すると思いますか。

- 「病院・診療所」が71.9%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が35.9%、「市役所」が23.5%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「病院・診療所」が63.7%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が48.9%、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が32.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「病院・診療所」が77.3%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が29.2%、「市役所」が28.0%と続いています。



10 自由回答

(回答数が多いため、意見を要約し件数をカウント)

意見要旨	件数
自身や家族の身上(自身や家族の病気のこと、仕事のこと、心がけていることなど)に関する意見	44件
本アンケート調査の感想(調査に感謝、要介護や認知症で困った時にどうしたらよいか知らないということがアンケートを書いてみてわかった、調査結果を活かしてきめ細かい支援を希望、アンケートの結果を知りたい、回答しづらい、質問が多いなど)	18件
コロナ禍の影響(外出がままならず残念、人との関りが全くなく人と会話する事が全くない、生活の基準がつかめない、体力の衰えを感じているなど)	11件
1人暮らしの不安や支援の希望(何かあった時のことが不安、見守りぼっくすの人はほとんど訪ねてこない、食事面などが心配、病院に付き添ってくれる人を希望、高齢者の見守りを1~2ヶ月に1回程度してください、孤独死となることを心配して見守りぼっくすに連絡したがまだ返答がないなど)	10件
介護予防やリハビリテーションに関する取組の希望・提案(自分で食事の管理や運動をして介護保険を使っていない人に保険料の一部を返す仕組み、良い腰・膝痛の予防教室、プールの補助券、比較的若い高齢者向けのリハビリテーションサービスがあったらうれしい、高齢者が誰でも集まってストレッチ・歌・おしゃべりをする場、高齢者の健康診査に認知機能のテストを含めたら認知症の予防になるのではないかと、東大和市に温泉プールのような所があると良い、リハビリセンターを各地域に設置してほしいなど)	8件
高齢者関係のサービスや支援に関する情報提供の充実(相続や遺言書などの相談場所などをまとめた冊子を希望、小冊子の配布・ポスター掲示など認知症に関する相談窓口等のPR、高齢者ほっと支援センター・見守りぼっくすなどの窓口の場所・相談内容などを知りたい、ホームページを見られない高齢者もいるなど)	8件
経済的な状況の厳しさや支援の希望(年金が少ない、現金給付を希望、働けなくなったときが心配など)	8件
まわりとの交流が少なく、相談相手が限られている人をサポートする仕組みづくり(高齢者が周囲とつながりを持てる施策・事業、東大和市に引っ越してきたばかりで人と関わりたい・話をしたいがどうしたら良いのかわからない、デイサービスの利用を拒否する1人暮らしの親が心配、高齢者がいつでもお茶を飲みに行ける場所・入りやすい場所があると良い、マンション住まいは人々との交流が少ないなど)	7件
バスなど市内交通についての要望(街道団地の住民はちよこバスが使えず気軽に外出できない、イベント・趣味の集まり・習い事(学習を含めて)などに行きたいが開催場所に行く交通手段がないのできりめ事が多い、誰でも利用できる交通やバスがあるといい、玉川上水近辺のバスを増便してほしいなど)	5件
ケアや支援への感謝(東大和病院の支援センターは病院と連携しており心強い、訪問リハビリテーションは個人に合わせたプログラムでしっかりやって頂ける、東大和市の介護保険事業は充実しているなど)	5件
道路環境や駅的环境などに関する意見(道路のふちや段差でよく転ぶので道路環境をよくみてほしい、歩道に日陰を作してほしい、1人で少しの間座れる場所がほしい、外出に不自由で高齢者や身体の不自由な人の事が考慮されているように思えない)	4件
買い物支援を希望(タクシー利用の割引、スーパーマーケットの誘致、巡回の食材等の販売車などがあってほしいのではないかなど)	4件
孤独感を感じていること(高齢のため親きょうだいがいない、友人・知人がいない、毎日楽しみを探しているなど)	3件
将来の住まいへの心配(自分が気に入る施設があるのか、費用が高く払えるか心配、収入内で希望者が誰でも入所できる制度であってほしいなど)	3件
社会活動(ボランティア活動等)に参加したいがきっかけがない(元気な高齢者が充実した余生を送る為の政策を行政として創造してほしい)	3件
認知症への心配や認知症に関する講座等の希望(対処の仕方、予防方法とかなの講座等)	2件
葬儀に関する事柄等の相談窓口「おくやみ窓口」を希望	2件
高齢者ほっと支援センターへの要望等(もっと訪問してほしい、アドバイスに感謝)	2件
介護保険制度を使うための手続きを理解していない	2件
健康保険料や介護保険料が高い(東大和市はゴミ袋代や健康保険料が高い、介護保険料が高い)	2件
東大和市はととも住みやすいまち(近隣の高齢者の変化があれば見守りぼっくすにお伝えしたり老人会で支え合い、地域と一体になり楽しく暮らしている)	2件
税金が市民に広く還元される施策を実施してほしい(高齢者の福祉に不満)	2件

意見要旨	件数
趣味のサークルなどを利用したい(近くに会費の無いサークルがあったら利用したい、近くで縫い物や簡単な手芸をするグループがあれば見物してみたい)	2件
介護用ベッドと車椅子を希望	1件
介護衣やオムツ、パット代等に対する補助は全くないので介護保険料を払いながら矛盾を感じている	1件
民生委員の活動の充実	1件
市の防災行政無線のスピーカーからの内容がまったく聞きとれず緊急連絡(事態)時が心配	1件
介護事業所の職員の増員	1件
駅前や市役所の喫煙場所をなくしてほしい	1件
介護認定にかかる時間が長い、認定基準に対する不満	1件
国民健康保険高齢受給者証にビニールのカバーを付けてほしい	1件
健康診査をほとんど受けない配偶者に関する相談はどこにすればよいか	1件
生まれてから死ぬまで大切にされる優しさのある社会を望む	1件
地元にかかりつけ医がないことが不安	1件
高齢社会となり市の施策は大変だと思う	1件
市役所の相談対応に不満(マニュアル通りの相談では参考にならず)	1件
年をとってもより良く住める町(市)であってほしい	1件
若者、高齢者が互いに認めあい、地域のコミュニティーが形成される社会づくり	1件
ゴミゼロを目指した美しい町づくりがボランティア活動で実現することが大切	1件
東大和市には体育施設が不足している(高齢者対応の体育館などがまったくない)	1件
老人クラブに入りたいが医師の承認がいわれた	1件

11 生活機能評価等について

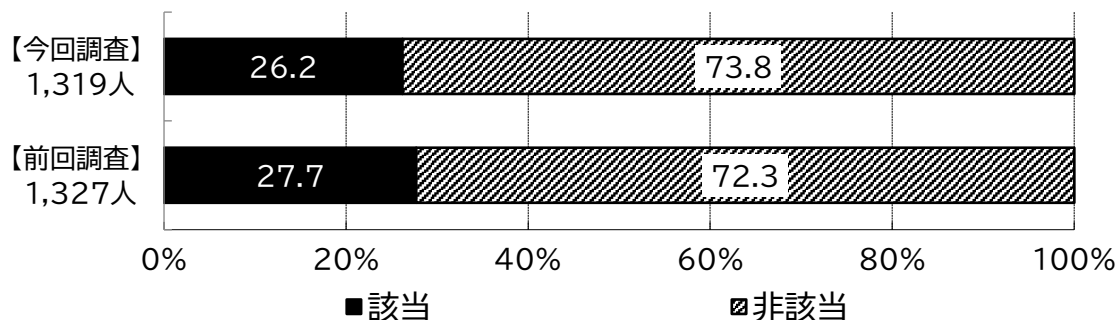
- 本調査の設問項目は、「老研式活動能力指標」など、高齢者の生活機能等の状況を判定する項目を盛り込んでいます。これらの指標をもとに、生活機能等の分析を行います。

(1)生活機能評価

評価項目		設問項目	回答				判定基準	
①運動器機能低下	3-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない	/	3項目以上が該当	
			非該当		該当			
	3-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない			
			非該当		該当			
	3-問3	15分位続けて歩いていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない			
非該当			該当					
3-問4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	非該当			
3-問5	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない			
		該当		非該当				
②転倒リスク	3-問4(再掲)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	非該当	/	該当
③閉じこもり傾向	3-問6	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない	週1回	週2~4回	週5回以上	/	該当
			該当		非該当			
④低栄養状態	4-問1	BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))	18.5未満	/			2項目ともに該当	
	4-問8	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。	はい					いいえ
⑤咀嚼機能低下	⑧口腔機能低下	4-問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ	/	2項目以上が該当	
			該当	非該当				
⑥嚥下機能低下	⑧口腔機能低下	4-問3	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ	/	2項目以上が該当	
			該当	非該当				
⑦肺炎リスク	⑧口腔機能低下	4-問4	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ	/	2項目以上が該当	
			該当	非該当				
⑨認知機能低下	5-問1	物忘れが多いと感じますか。	はい	いいえ	/	該当		
			該当	非該当				
⑩うつ傾向	8-問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい	いいえ	/	1項目以上が該当		
			該当	非該当				
	8-問4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい	いいえ				
			該当	非該当				

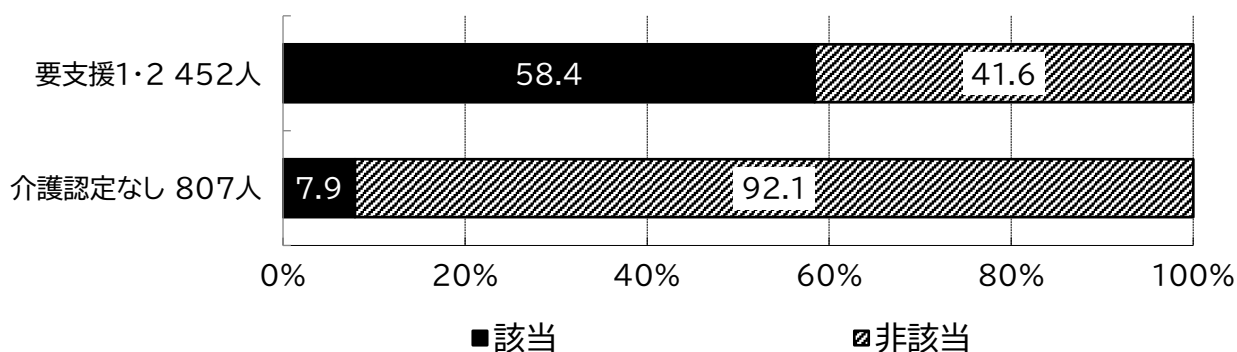
①運動器機能低下

- 「該当」が26.2%、「非該当」が73.8%となっています。



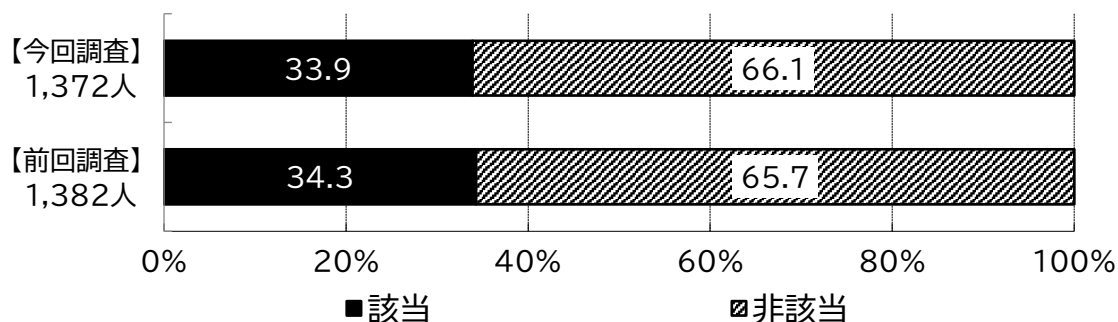
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が58.4%、「非該当」が41.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が92.1%、「該当」が7.9%となっています。



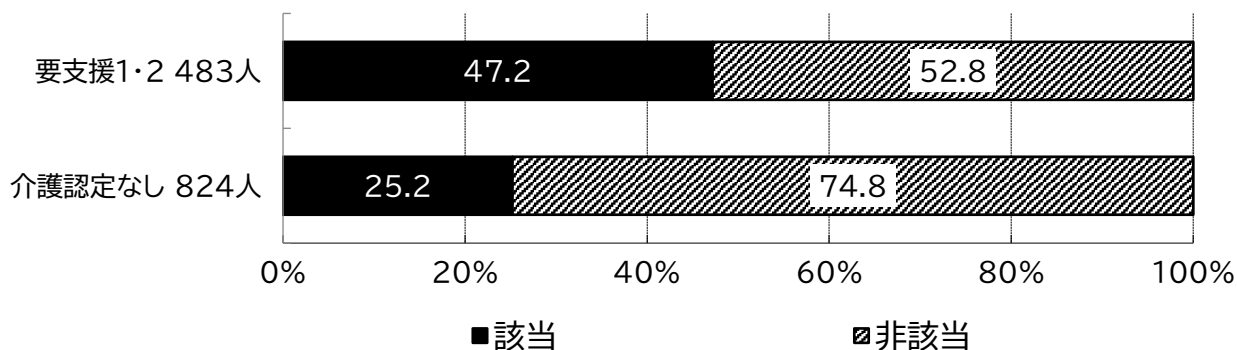
②転倒リスク

- 「該当」が33.9%、「非該当」が66.1%となっています。



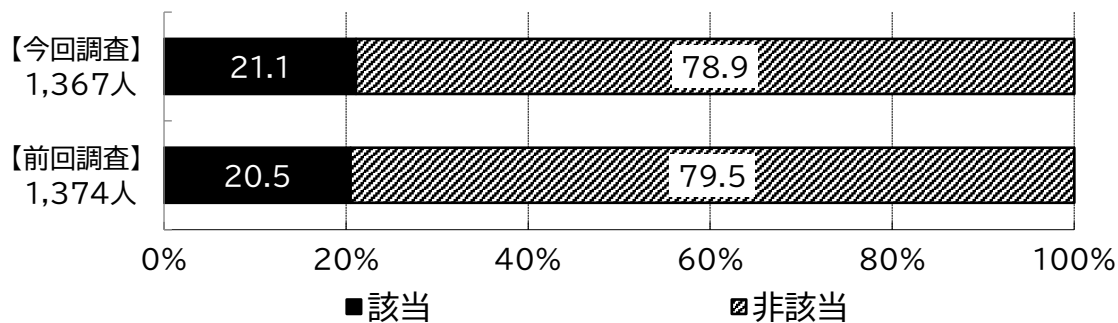
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「非該当」が52.8%、「該当」が47.2%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が74.8%、「該当」が25.2%となっています。



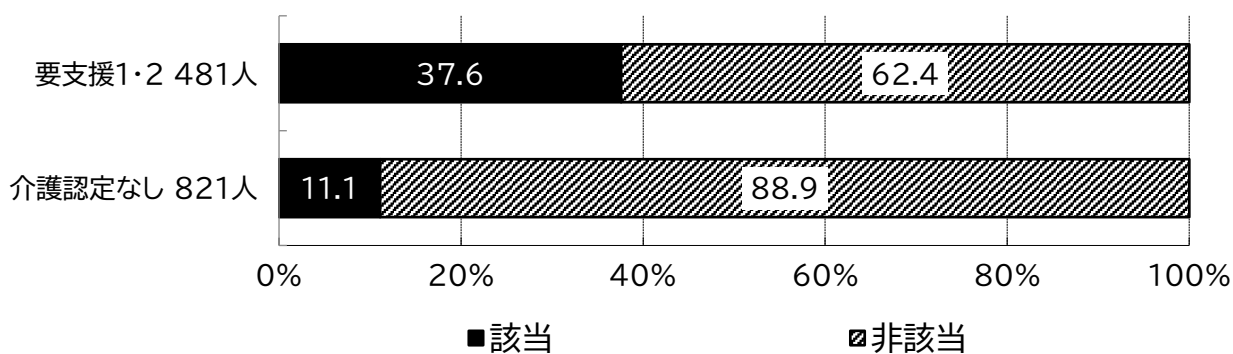
③閉じこもり傾向

- 「該当」が21.1%、「非該当」が78.9%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「非該当」が62.4%、「該当」が37.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が88.9%、「該当」が11.1%となっています。



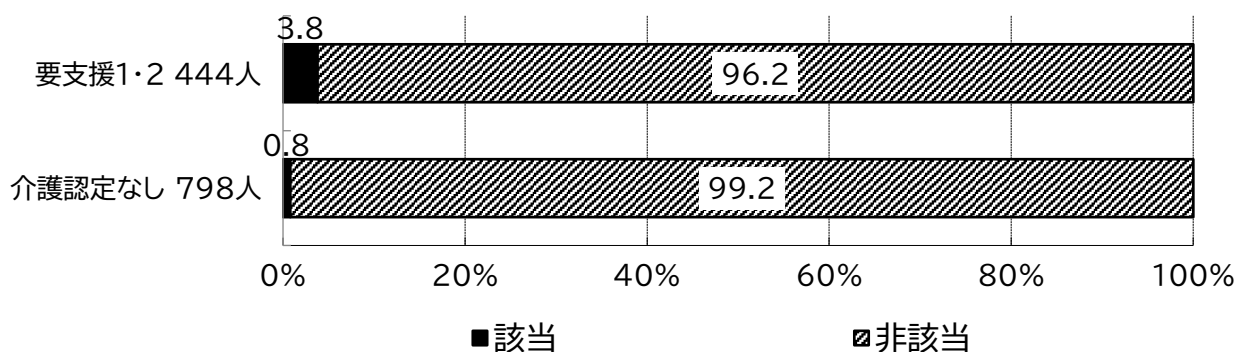
④低栄養状態

- 「該当」が1.9%、「非該当」が98.1%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「非該当」が96.2%、「該当」が3.8%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が99.2%、「該当」が0.8%となっています。



【咀嚼の状況別】

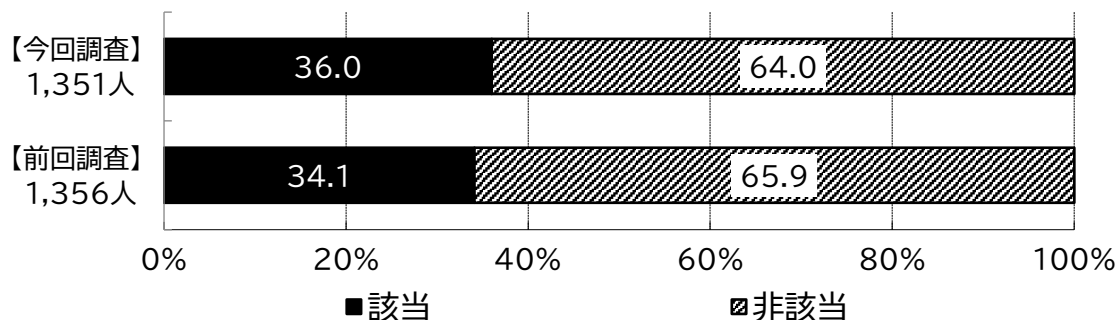
- かめない食べ物が多いという場合は、「該当」が5.0%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		該当	非該当
	全体 1301人	1.9	98.1
4-問7 何でもよくかんで食べられますか。	何でもかんで食べることができる 826人	1.3	98.7
	一部かめない食べ物がある 392人	2.8	97.2
	かめない食べ物が多い 60人	5.0	95.0
	かんで食べることはできない 11人	0.0	100.0

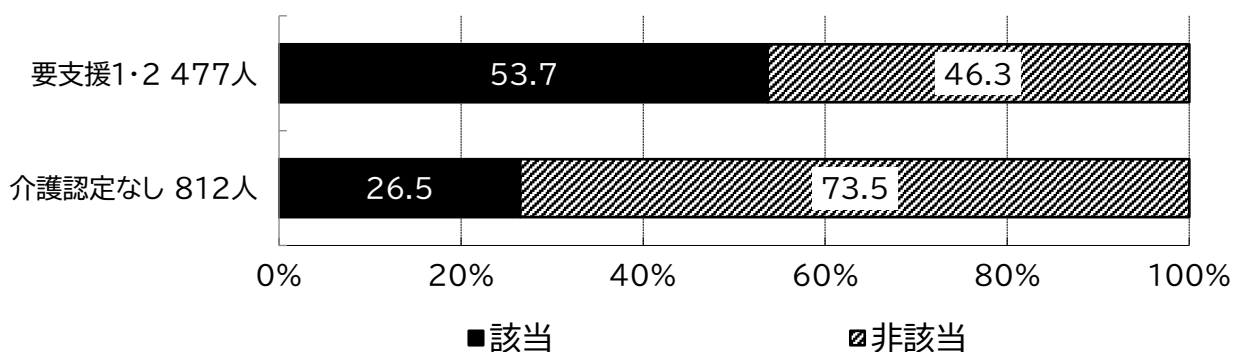
⑤咀嚼機能低下

- 「該当」が36.0%、「非該当」が64.0%となっています。



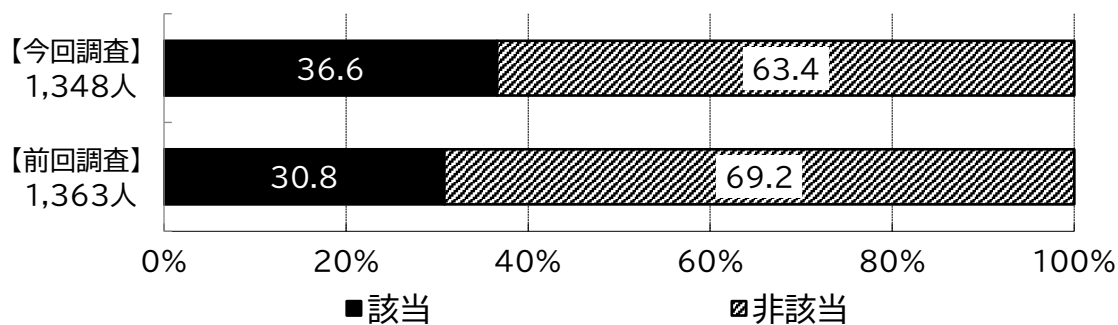
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が53.7%、「非該当」が46.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が73.5%、「該当」が26.5%となっています。



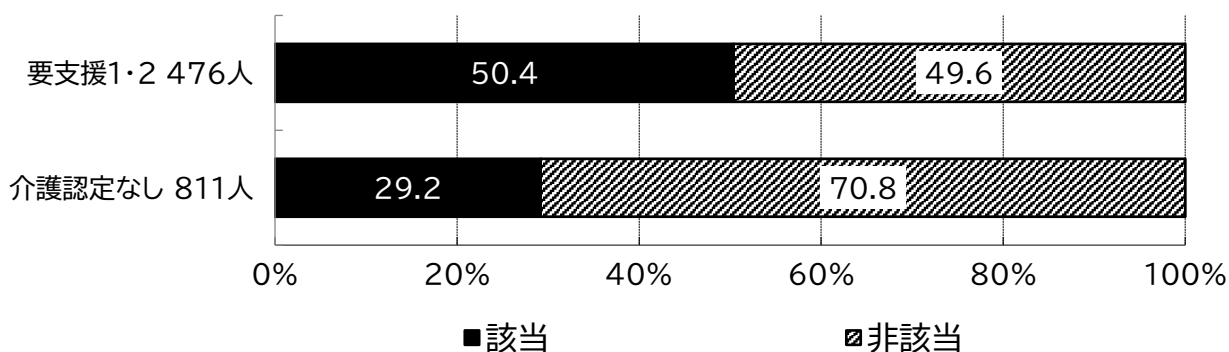
⑥嚥下機能低下

- 「該当」が36.6%、「非該当」が63.4%となっています。



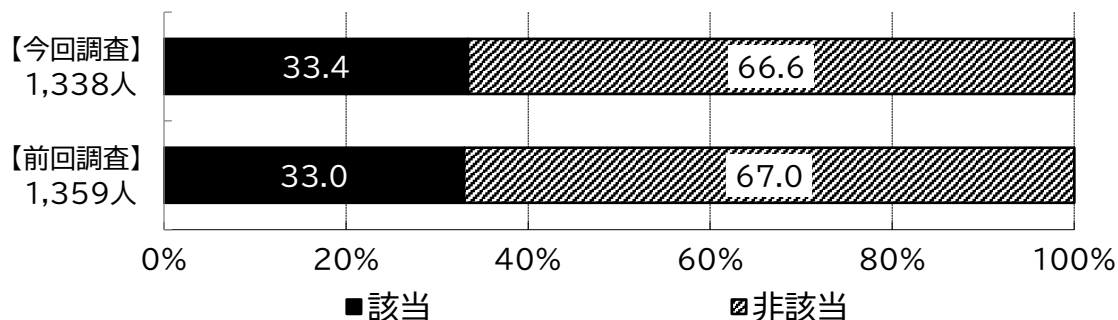
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が50.4%、「非該当」が49.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が70.8%、「該当」が29.2%となっています。



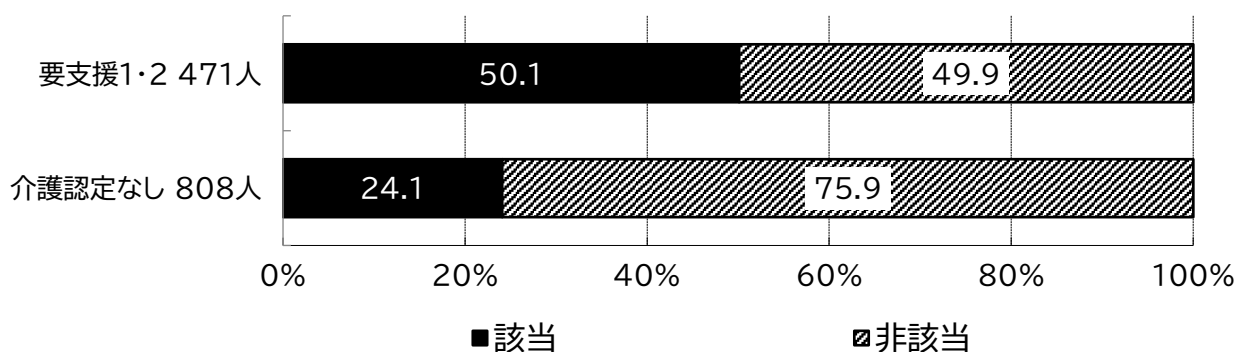
⑦肺炎リスク

- 「該当」が33.4%、「非該当」が66.6%となっています。



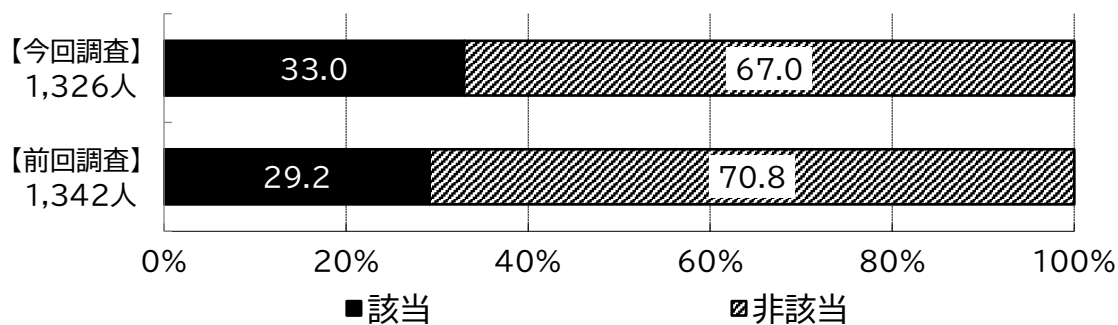
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が50.1%、「非該当」が49.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が75.9%、「該当」が24.1%となっています。



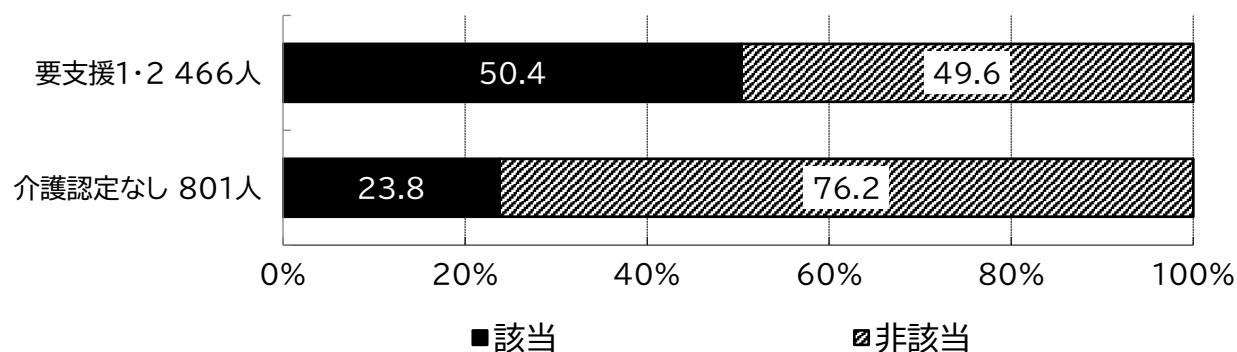
⑧口腔機能低下

- 「該当」が33.0%、「非該当」が67.0%となっています。



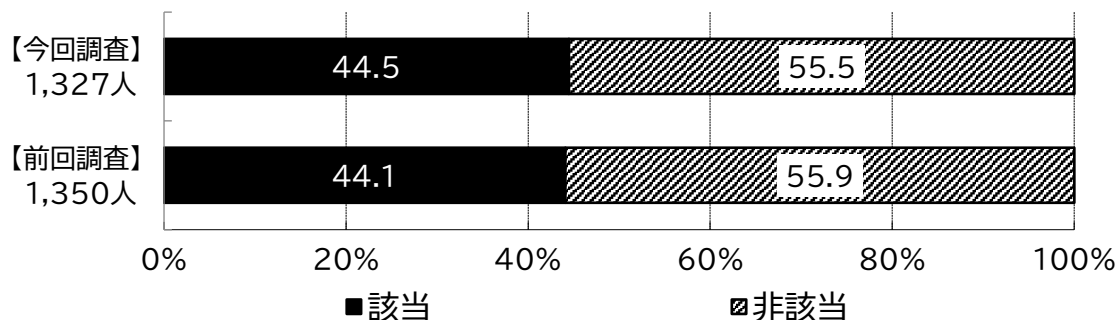
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が50.4%、「非該当」が49.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が76.2%、「該当」が23.8%となっています。



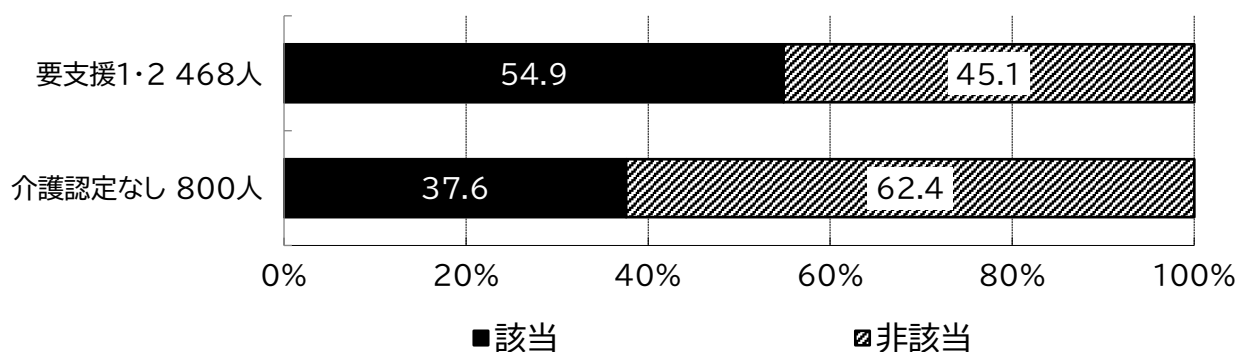
⑨認知機能低下

- 「該当」が44.5%、「非該当」が55.5%となっています。



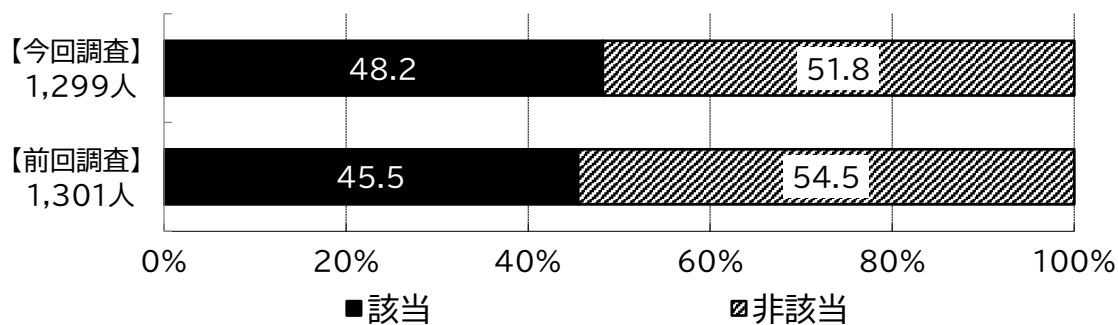
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が54.9%、「非該当」が45.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が62.4%、「該当」が37.6%となっています。



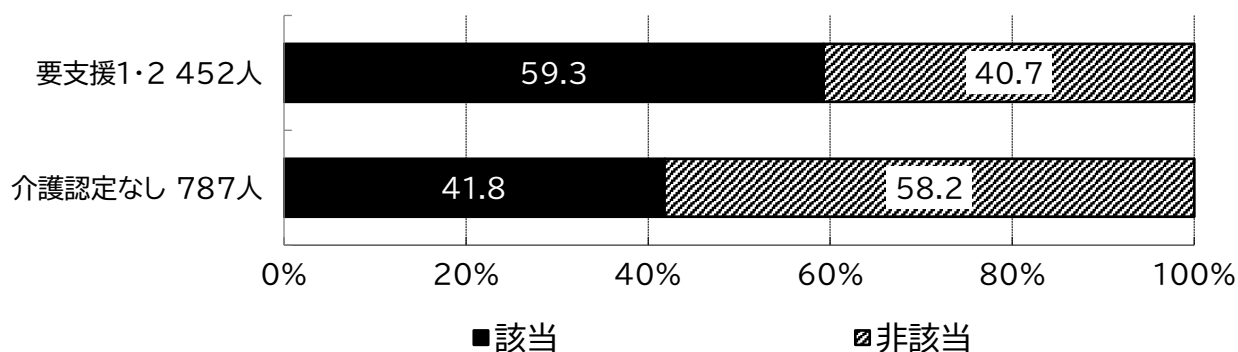
⑩うつ傾向

- 「該当」が48.2%、「非該当」が51.8%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「該当」が59.3%、「非該当」が40.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「非該当」が58.2%、「該当」が41.8%となっています。



(2)老研式活動能力指標による評価

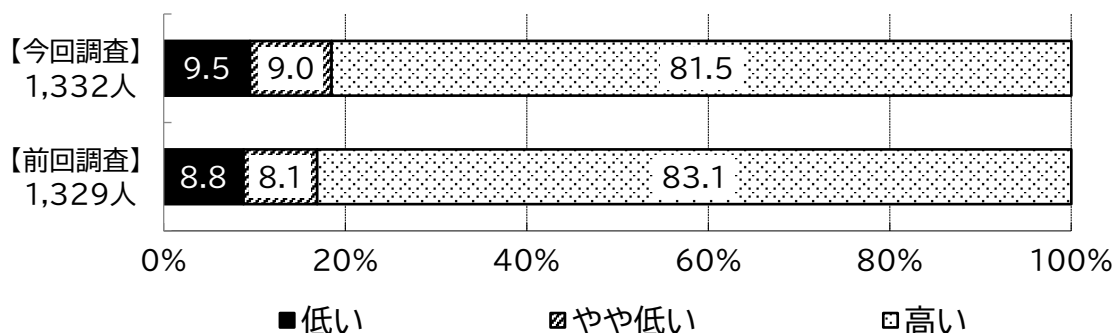
評価項目		設問項目		回答と点数						
①手段的自立評価	④活動能力指数評価	5-問4	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問5	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問6	自分で食事の用意をしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問7	自分で請求書の支払いをしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問8	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
②知的能動性評価		5-問9	年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問10	新聞を読んでいますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問11	本や雑誌を読んでいますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問12	健康についての記事や番組に関心がありますか。	はい	1点	いいえ	0点			
③社会的役割評価		5-問13	友人の家を訪ねていますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問14	家族や友人の相談にのっていますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問15	病人を見舞うことができますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問16	若い人に自分から話しかけることがありますか。	はい	1点	いいえ	0点			

判定基準

評価項目	低い	やや低い	高い
①手段的自立評価	3点以下	4点	5点
②知的能動性評価	2点以下	3点	4点
③社会的役割評価	2点以下	3点	4点
④活動能力指数評価	8点以下	9~10点	11~13点

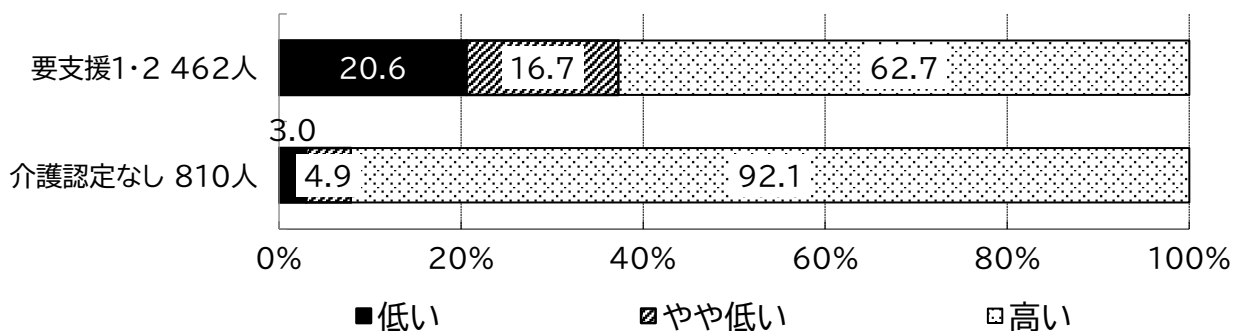
①手段的自立評価

- 「低い」が9.5%、「やや低い」が9.0%、「高い」が81.5%となっています。



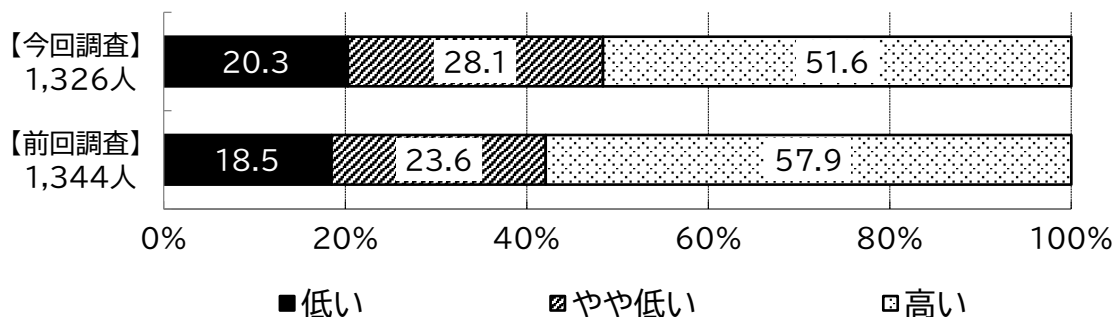
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「低い」が20.6%、「やや低い」が16.7%、「高い」が62.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が3.0%、「やや低い」が4.9%、「高い」が92.1%となっています。



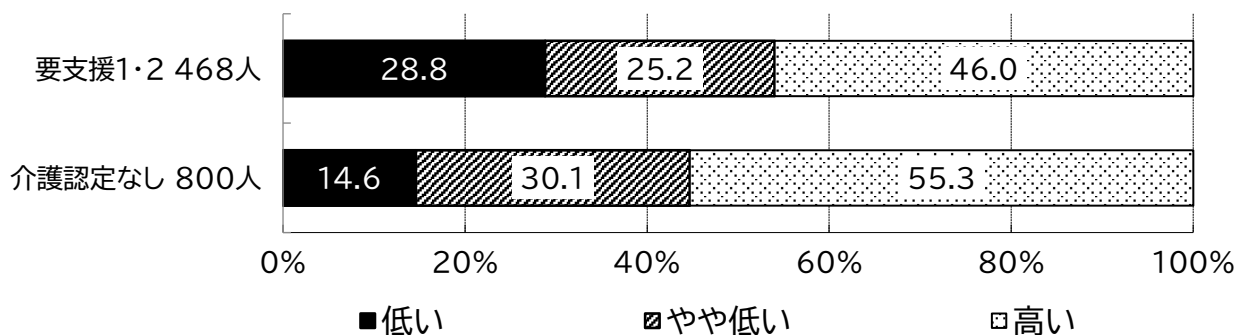
②知的能動性評価

- 「低い」が20.3%、「やや低い」が28.1%、「高い」が51.6%となっています。



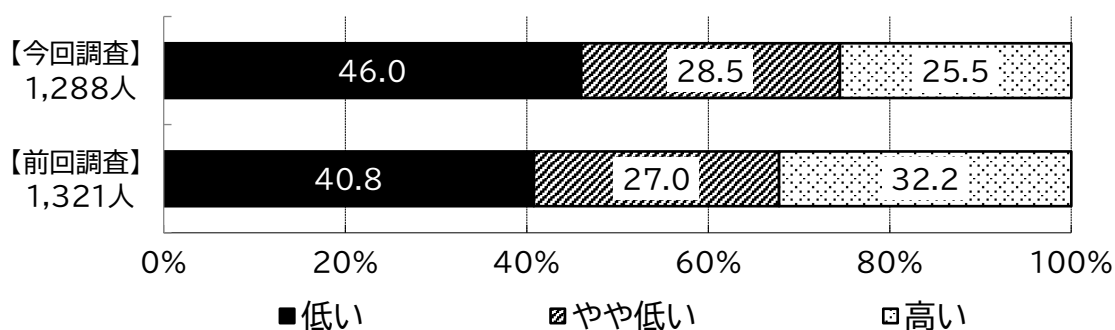
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「低い」が28.8%、「やや低い」が25.2%、「高い」が46.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が14.6%、「やや低い」が30.1%、「高い」が55.3%となっています。



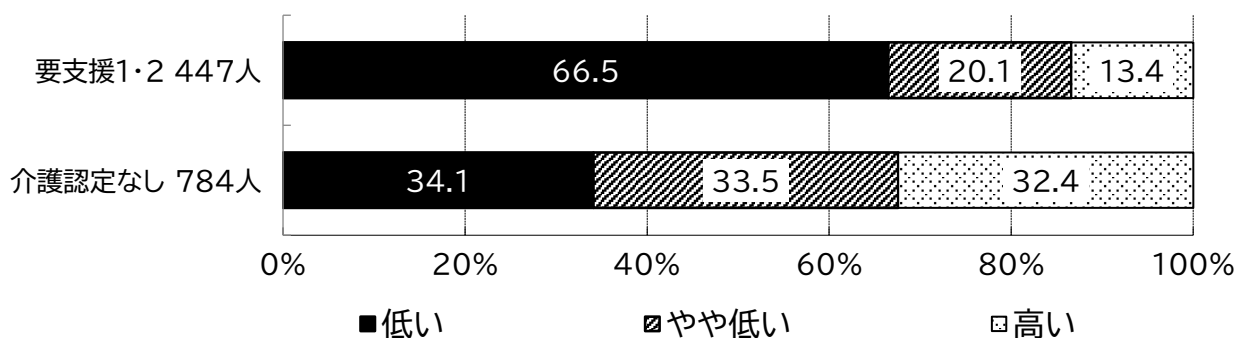
③社会的役割評価

- 「低い」が46.0%、「やや低い」が28.5%、「高い」が25.5%となっています。



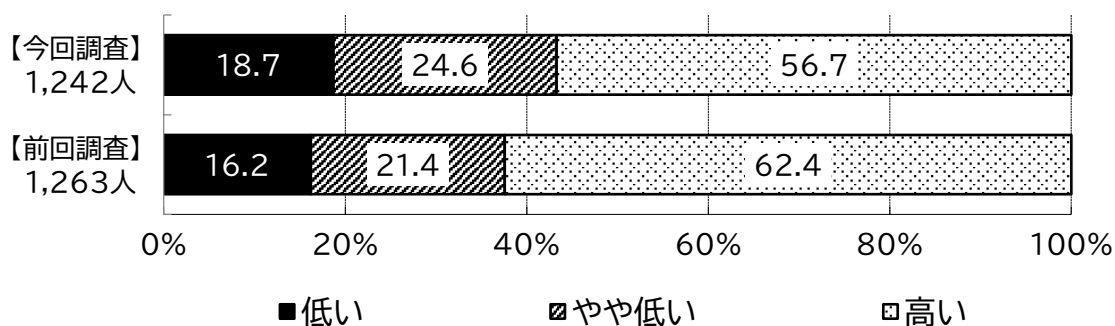
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「低い」が66.5%、「やや低い」が20.1%、「高い」が13.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が34.1%、「やや低い」が33.5%、「高い」が32.4%となっています。



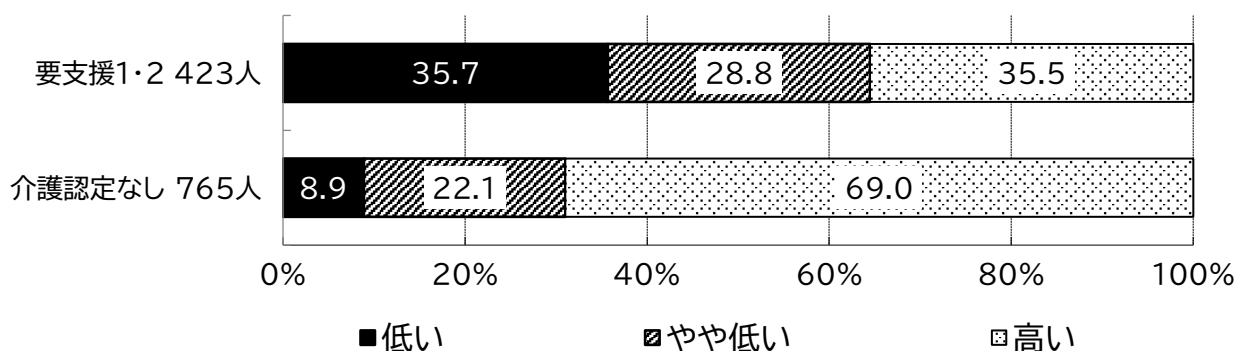
④活動能力指数評価

- 「低い」が18.7%、「やや低い」が24.6%、「高い」が56.7%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2では、「低い」が35.7%、「やや低い」が28.8%、「高い」が35.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が8.9%、「やや低い」が22.1%、「高い」が69.0%となっています。



第3章

介護保険事業計画準備調査

集計結果

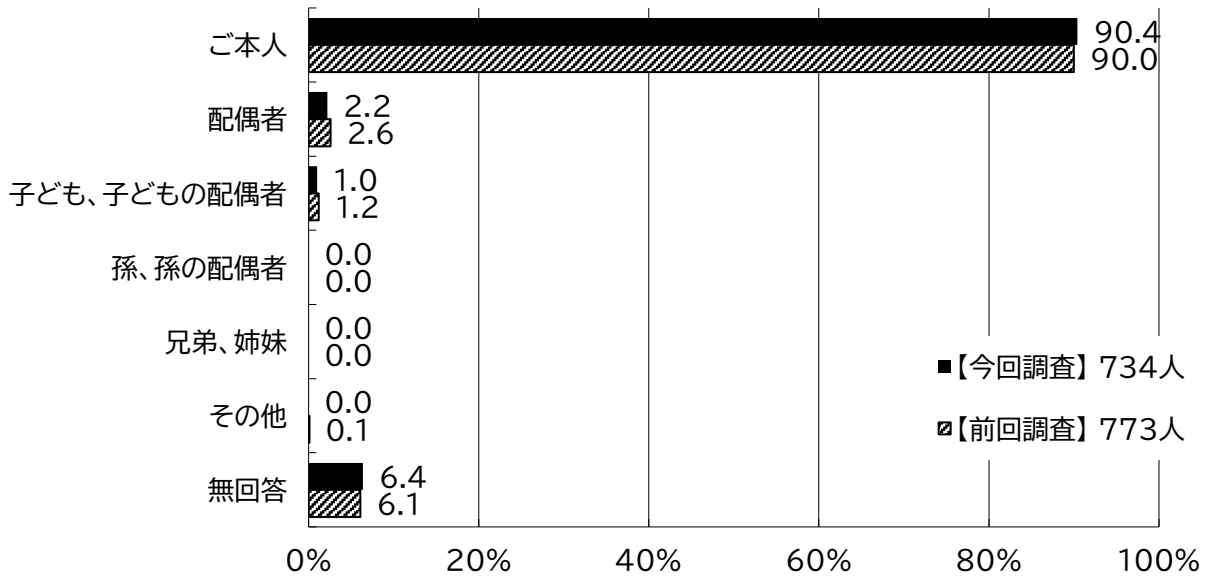
【調査の対象者】

介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、要介護・要支援認定を受けていない方

記入者について

問1 この調査票をご記入されるのは、どなたですか。(○は1つ)

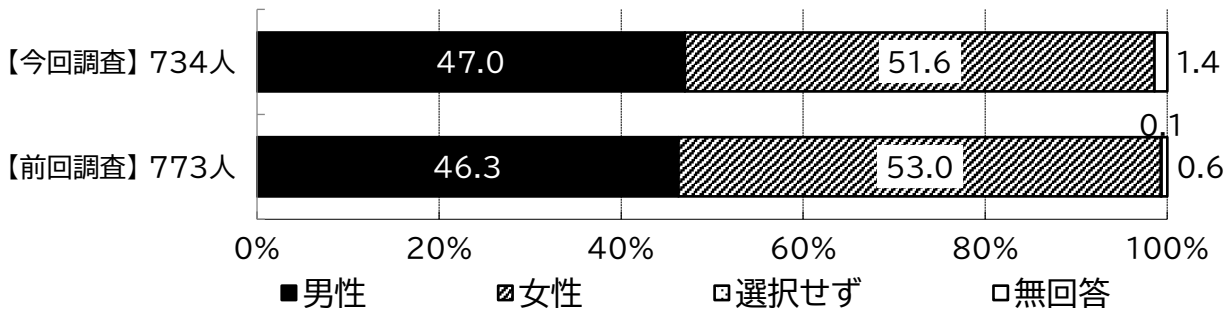
- 「ご本人」が90.4%と最も高く、次いで「配偶者」が2.2%、「子ども、子どもの配偶者」が1.0%と続いています。



1 ご本人について

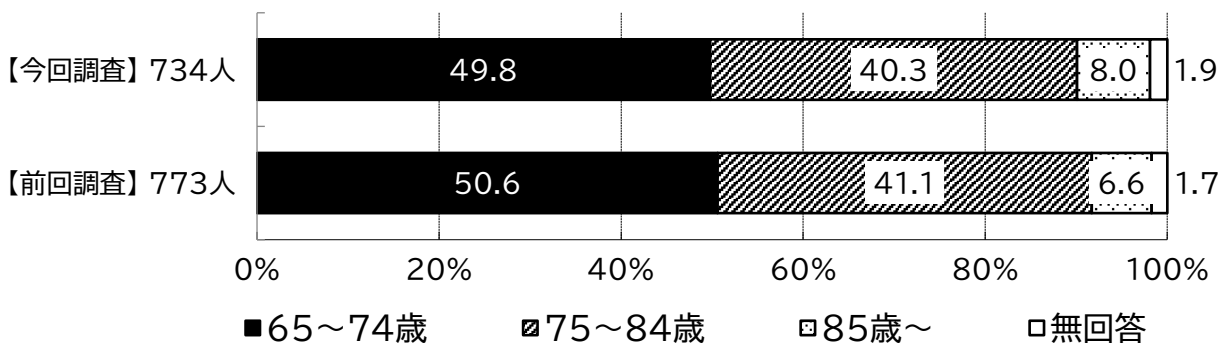
問2 令和4年12月1日現在のあなたの性別と満年齢をお教えてください。

- 「女性」が51.6%、「男性」が47.0%となっています。



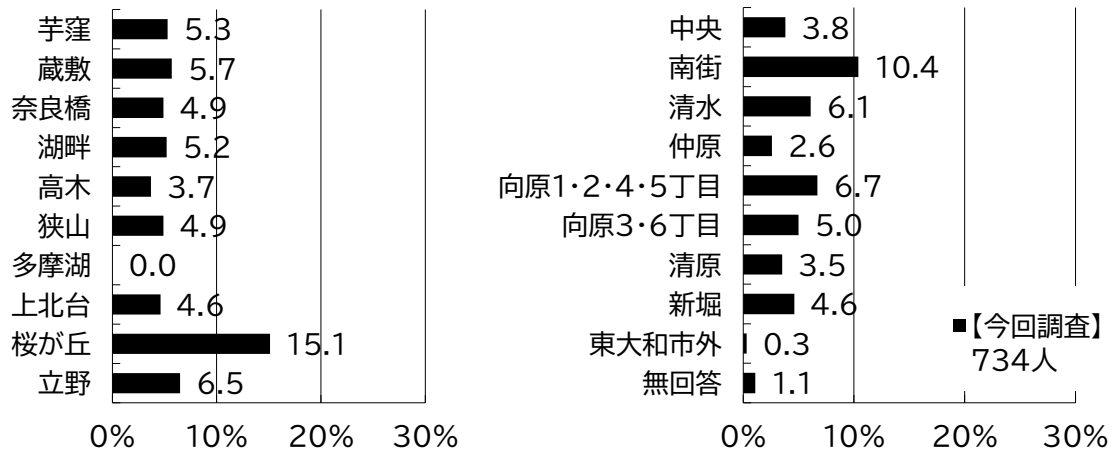
問2 令和4年12月1日現在のあなたの満年齢をお教えてください。

- 「65～74歳」が49.8%と最も高く、次いで「75～84歳」が40.3%、「85歳～」が8.0%と続いています。



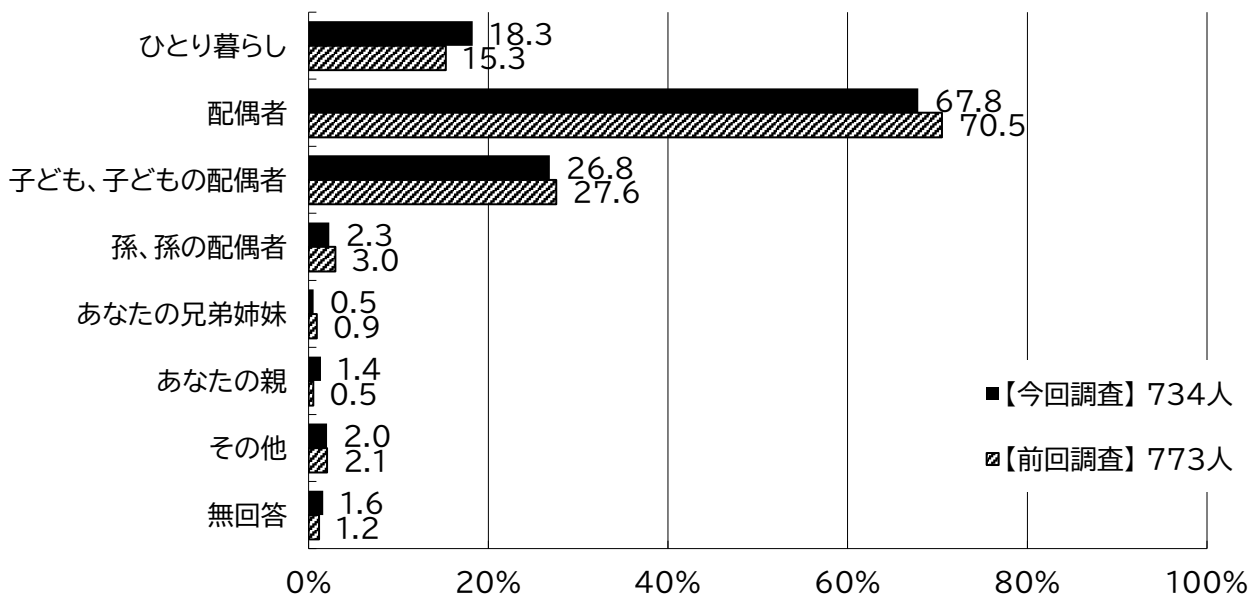
問3 あなたの居住区をお教えてください。(〇は1つ)

- 「桜が丘」が 15.1%、「南街」が 10.4%とこれらが上位2つで、次いで「向原1・2・4・5丁目」が 6.7%と続いています。



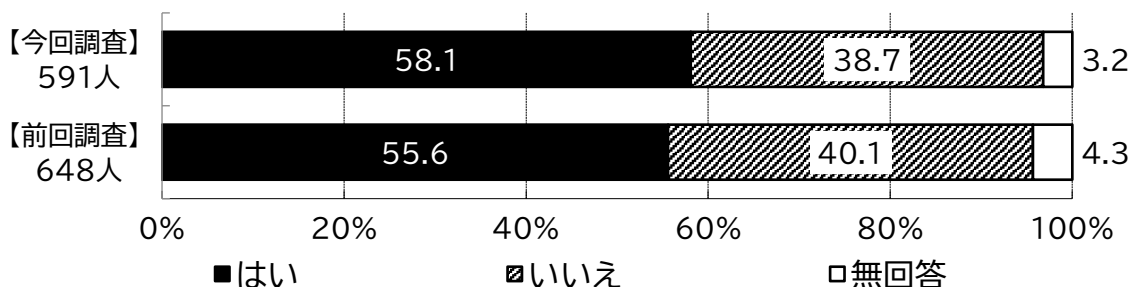
問4 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。封筒の宛名の方からみた続柄に〇をしてください。(あてはまるものすべてに〇)

- 「配偶者」が 67.8%と最も高く、次いで「子ども、子どもの配偶者」が 26.8%、「ひとり暮らし」が 18.3%と続いています。



問4-1 <ひとり暮らしではない方>
同居されている方は、全員が65歳以上ですか。(〇は1つ)

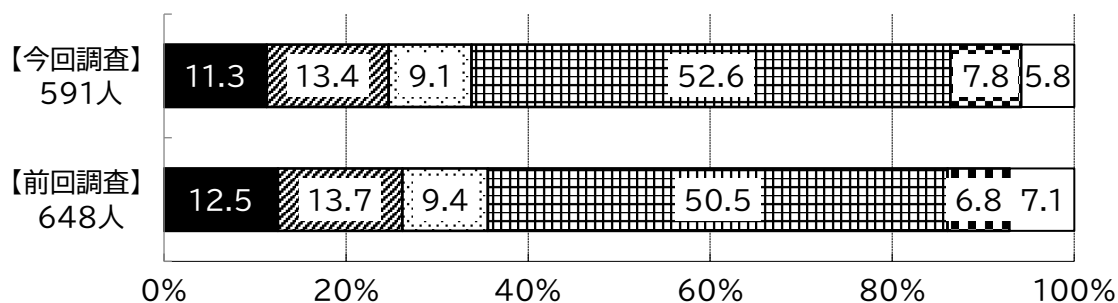
- 「はい」が 58.1%、「いいえ」が 38.7%となっています。



問4-2 <ひとり暮らしではない方>

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなたが自宅で一人になることがどのくらいありますか。(〇は1つ)

- 「半日以上、一人になることはほとんどない」が 52.6%と最も高く、次いで「週2～3日」が 13.4%、「週4日以上」が 11.3%と続いています。



- 週4日以上
- ▣ 週2～3日
- ▤ 週1日程度
- ▥ 半日以上、一人になることはほとんどない
- ▧ その他
- 無回答

【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、夫婦ふたり暮らしの場合は「週4日以上」が 7.8%、その他の場合は同回答が 17.4%となっています。

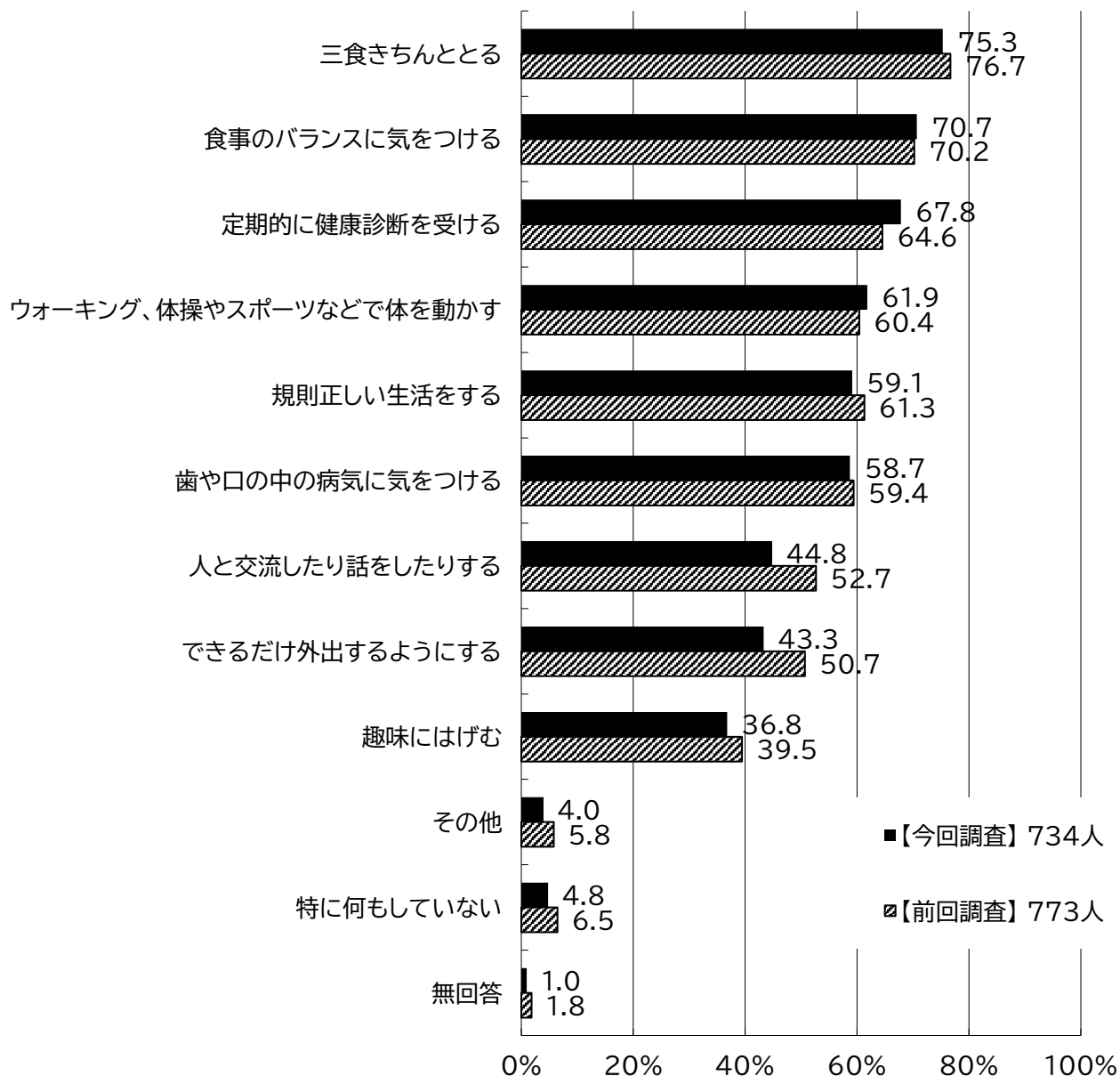
(単位:%)

		週4日以上	週2～3日	週1日程度	半日以上、一人になることはほとんどない	その他	無回答
	全体 591人	11.3	13.4	9.1	52.6	7.8	5.8
問4 家族構成	夫婦ふたり暮らし 372人	7.8	12.6	8.6	57.6	7.5	5.9
	その他 219人	17.4	14.6	10.0	44.3	8.2	5.5

2 生活の状況・今後の生活等について

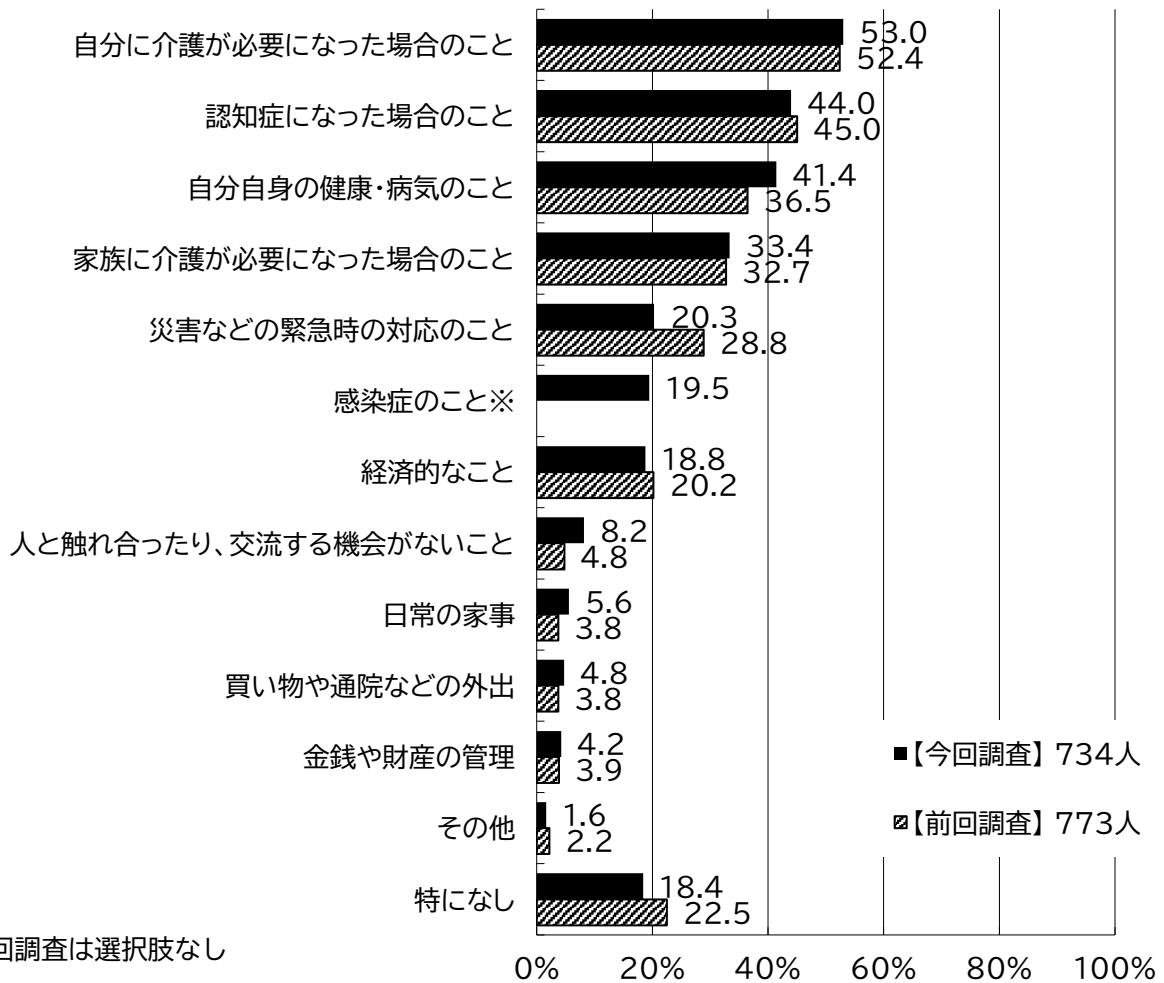
問5 以下の中に、あなた自身が、身体の状態が悪くならないように取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 「三食きちんととる」が75.3%、「食事のバランスに気をつける」が70.7%とこれらが上位2つで、次いで「定期的に健康診断を受ける」が67.8%と続いています。



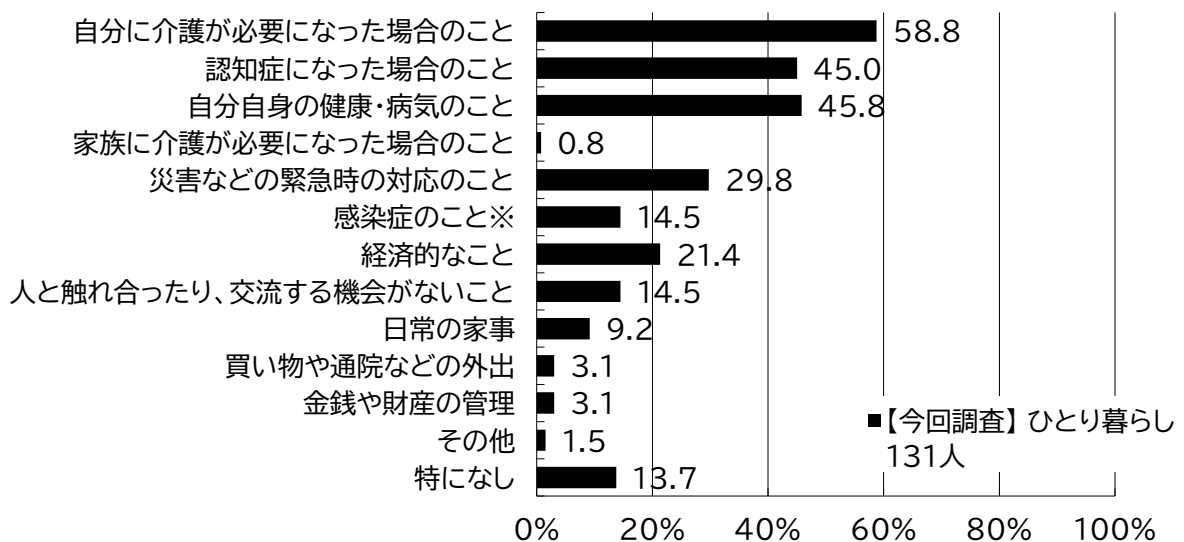
問6 以下の中に、今、生活をしていて不安に感じていること・困っていることはありますか。(あてはまるすべてのものに○)

- 「自分に介護が必要になった場合のこと」が 53.0%と最も高く、次いで「認知症になった場合のこと」が 44.0%、「自分自身の健康・病気のこと」が 41.4%と続いています。



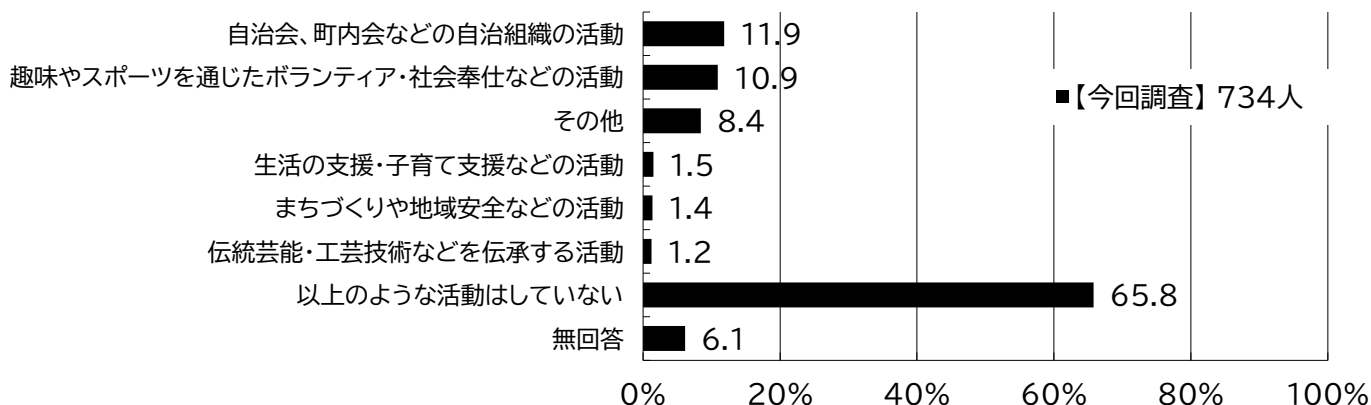
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は、「自分に介護が必要になった場合のこと」が 58.8%、「自分自身の健康・病気のこと」が 45.8%とこれらが上位2つで、次いで「認知症になった場合のこと」が 45.0%と続いています。



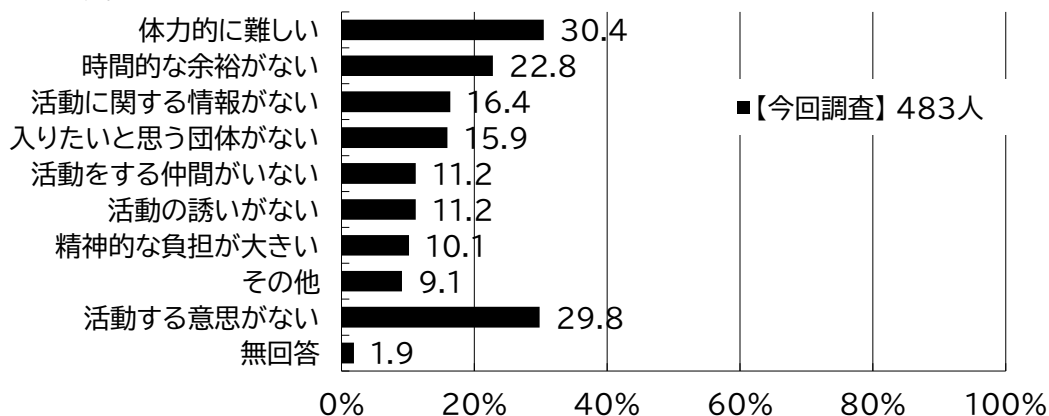
問7 あなたは、現在、何らかの社会的な活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「以上のような活動はしていない」が 65.8%と最も高く、次いで「自治会、町内会などの自治組織の活動」が 11.9%、「趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動」が 10.9%と続いています。



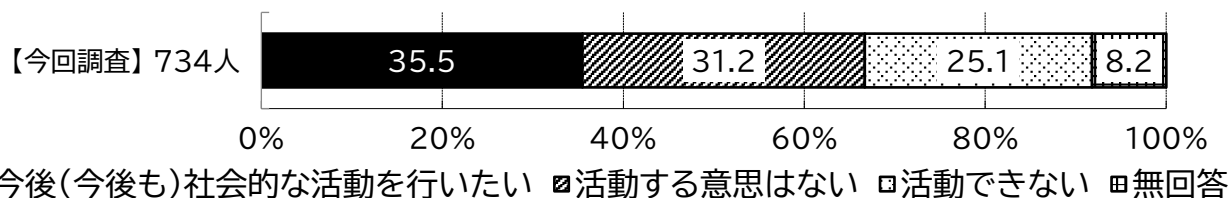
問7-1 <問7で「7. 以上のような活動はしていない」と回答した方>あなたが、現在、社会的な活動をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「体力的に難しい」が 30.4%、「活動する意思がない」が 29.8%とこれらが上位2つで、次いで「時間的な余裕がない」が 22.8%と続いています。



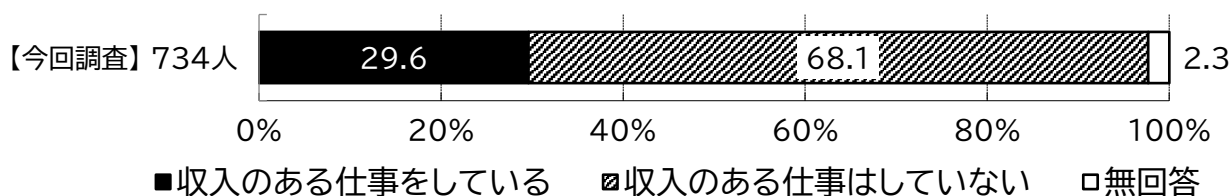
問8 あなたは、今後(今後も)、社会的な活動を行う意向はありますか。(○は1つ)

- 「今後(今後も)社会的な活動を行いたい」が 35.5%、「活動する意思はない」が 31.2%とこれらが上位2つで、次いで「活動できない」が 25.1%と続いています。



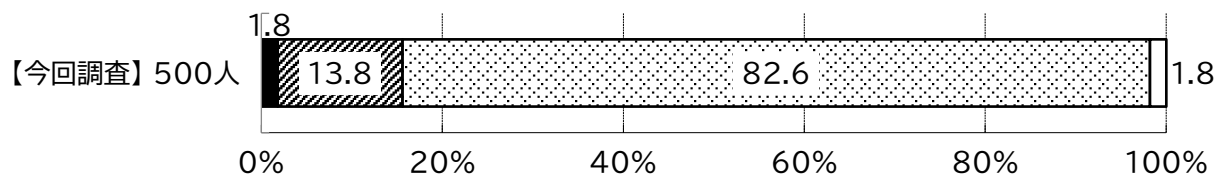
問9 あなたは、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

- 「収入のある仕事はしていない」が 68.1%、「収入のある仕事をしている」が 29.6%となっています。



問9-1 <問9で「2. 収入のある仕事はしていない」と回答した方>あなたは、今後収入を得られる仕事につきたいとお考えですか。(〇は1つ)

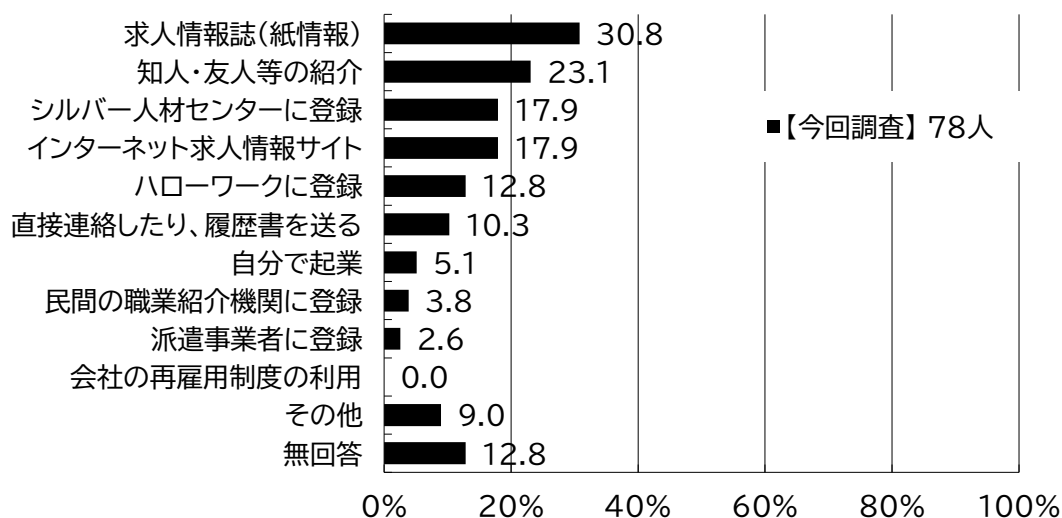
- 「仕事につくつもりはない」が 82.6%と最も高く、次いで「できれば仕事につきたい」が 13.8%、「ぜひ仕事につきたい」が 1.8%と続いています。



■ぜひ仕事につきたい ■できれば仕事につきたい □仕事につくつもりはない □無回答

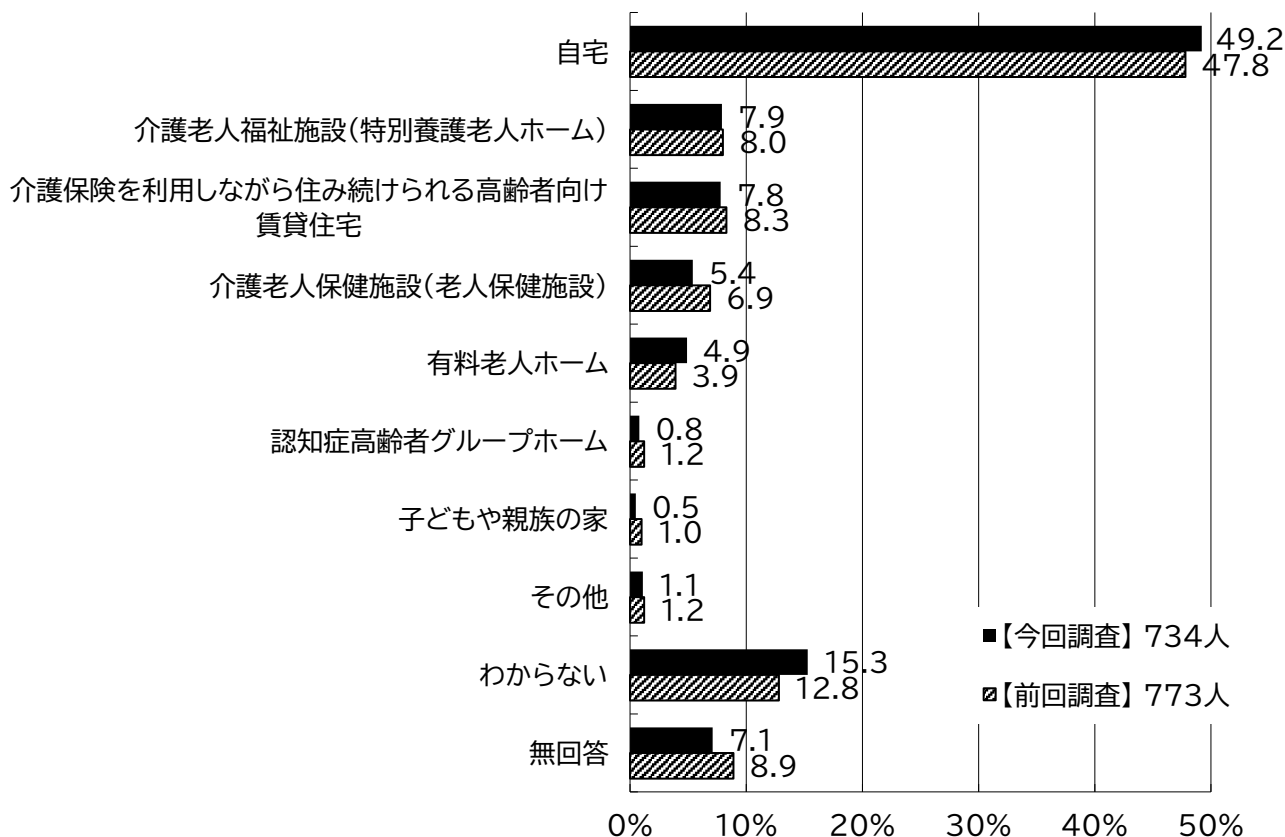
問9-1-1 <問9-1で「1. ぜひ仕事につきたい」、「2. できれば仕事につきたい」と回答した方>あなたは、どのような方法で仕事を探しますか。(あてはまるすべてのものに〇)

- 「求人情報誌(紙情報)」が 30.8%と最も高く、次いで「知人・友人等の紹介」が 23.1%、「シルバー人材センターに登録」が 17.9%と続いています。



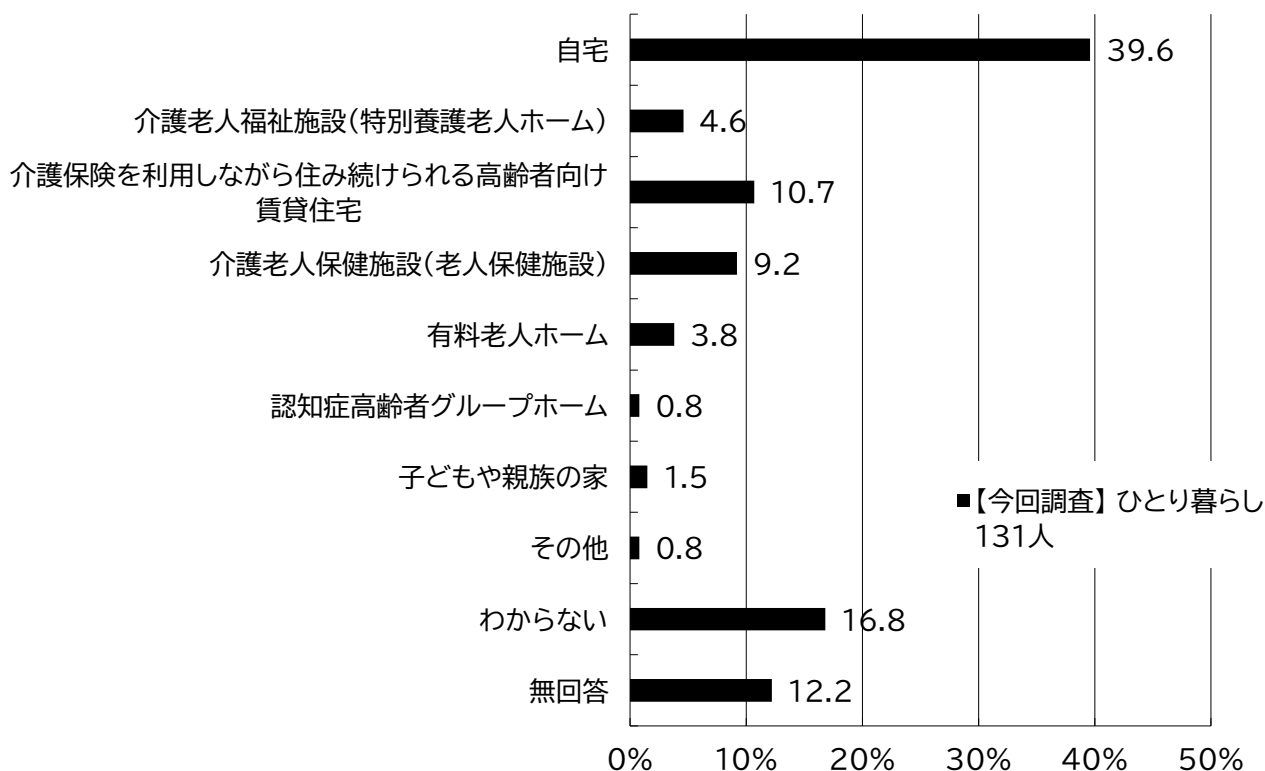
問10 あなたは、今後、介護が必要になった場合、どこで生活したいと考えていますか。(〇は1つ)

- 「自宅」が 49.2%と最も高く、次いで「わからない」が 15.3%、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 7.9%と続いています。



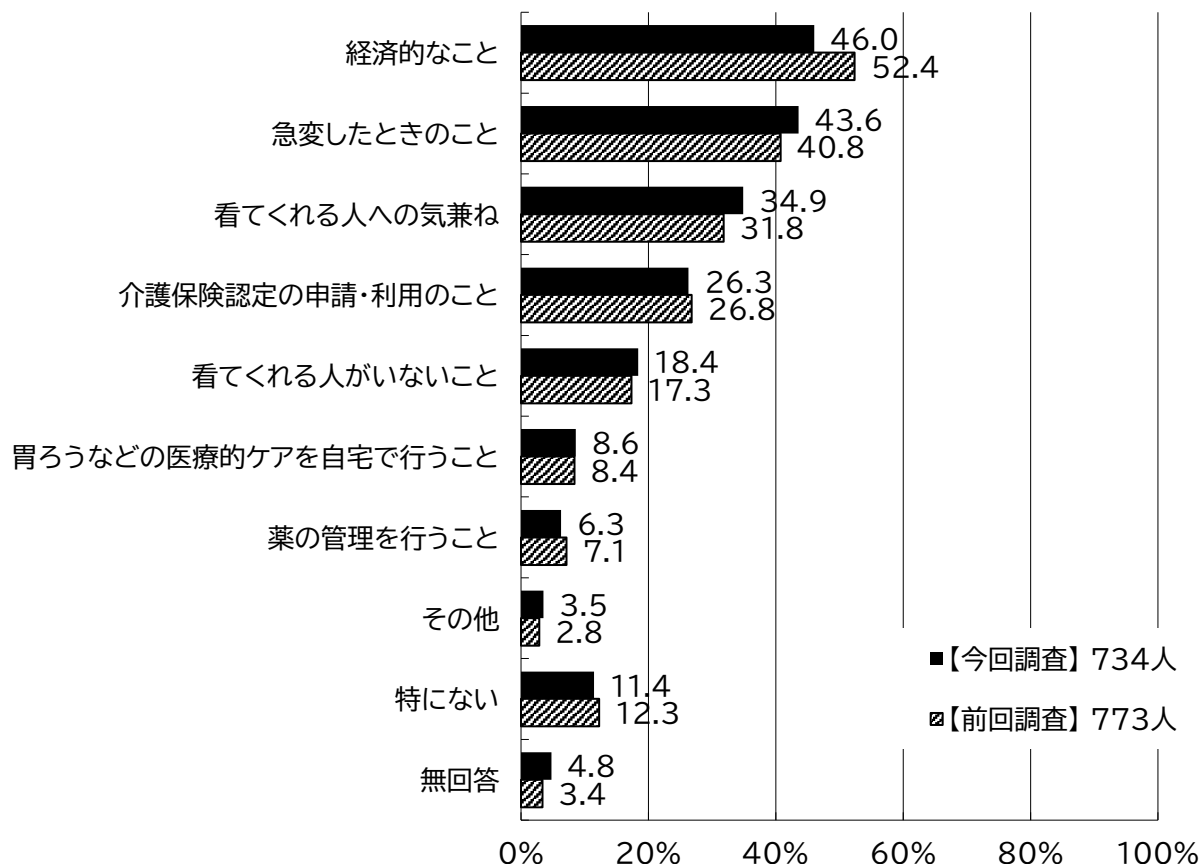
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は「自宅」が 39.6%と最も高く、次いで「わからない」が 16.8%、「介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅」が 10.7%と続いています。



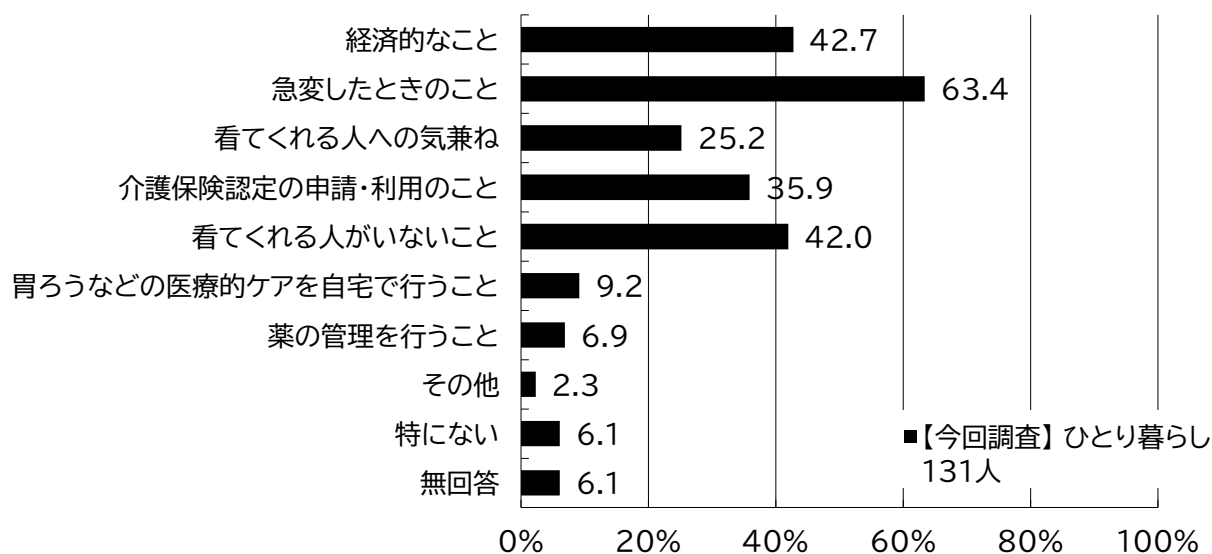
問 11 在宅で療養が必要となった時に不安となる要因はどのようなものと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「経済的なこと」が46.0%、「急変したときのこと」が43.6%とこれらが上位2つで、次いで「見てくれる人への気兼ね」が34.9%と続いています。



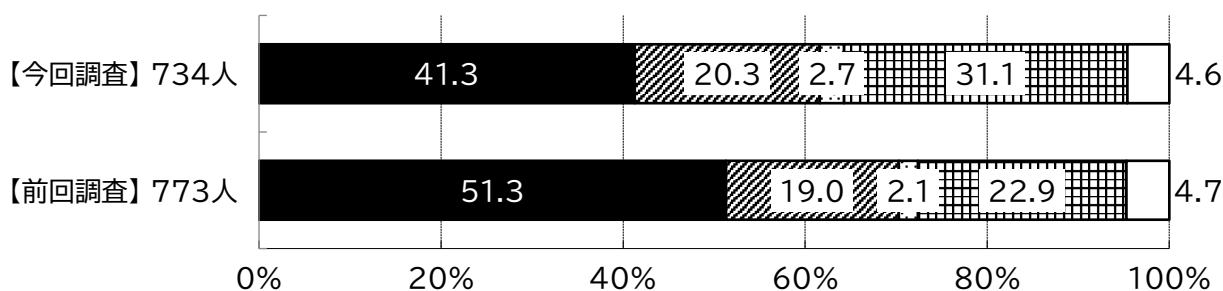
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は、「急変したときのこと」が63.4%と最も高く、次いで「経済的なこと」が42.7%、「見てくれる人がいないこと」が42.0%と続いています。



問 12 あなたは、自分が将来も大切にしたいこと等を、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 41.3%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 31.1%、「共有していない(今後共有したい)」が 20.3%と続いています。



- 共有している
- ▣ 共有していない(今後共有したい)
- ▤ 共有していない(今後共有したいとは思っていない)
- ▥ 共有していない(今後についてはわからない)
- 無回答

【年齢別等】

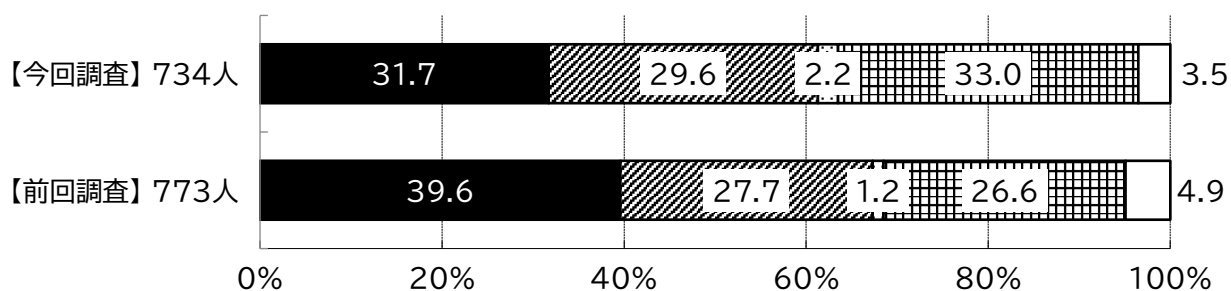
- 年齢別で見ると、85歳~の場合は「共有している」が 45.7%となっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「共有していない(今後についてはわからない)」が 41.2%と最も高くなっています。

(単位:%)

		共有している	共有していない(今後共有したい)	共有していない(今後共有したいとは思っていない)	共有していない(今後についてはわからない)	無回答
	全体 734人	41.3	20.3	2.7	31.1	4.6
問2 年齢	65~74歳 365人	38.6	24.1	1.9	31.8	3.6
	75~84歳 296人	42.9	17.2	4.1	30.4	5.4
	85歳~ 59人	45.7	15.3	0.0	32.2	6.8
問4 家族構成	ひとり暮らし 131人	23.7	20.6	6.9	41.2	7.6
	夫婦ふたり暮らし 372人	47.1	21.2	0.5	28.2	3.0
	その他 219人	41.2	19.6	2.7	30.6	5.9

問13 あなたが回復の見込みのない状態になった時に、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有していない(今後についてはわからない)」が 33.0%、「共有している」が 31.7%とこれらが上位2つで、次いで「共有していない(今後共有したい)」が 29.6%と続いています。



- 共有している
- ▨ 共有していない(今後共有したい)
- ▩ 共有していない(今後も共有したいとは思っていない)
- ▧ 共有していない(今後についてはわからない)
- 無回答

【年齢別等】

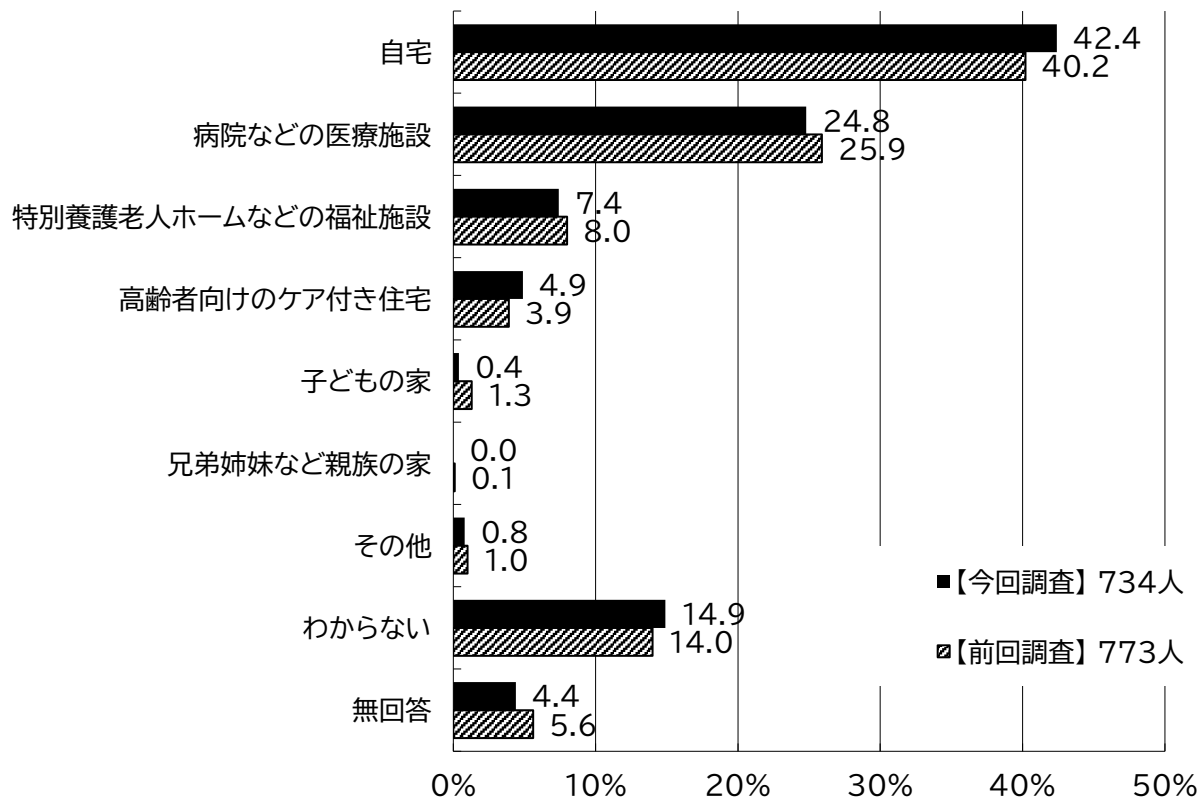
- 年齢別で見ると、85歳~の場合は「共有している」が42.3%となっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「共有していない(今後についてはわからない)」が42.1%と最も高くなっています。

(単位:%)

		共有している	共有していない(今後共有したい)	共有していない(今後も共有したいとは思っていない)	共有していない(今後についてはわからない)	無回答
	全体 734人	31.7	29.6	2.2	33.0	3.5
問2 年齢	65~74歳 365人	29.6	34.2	2.5	31.5	2.2
	75~84歳 296人	32.1	27.7	2.0	33.5	4.7
	85歳~ 59人	42.3	13.6	1.7	35.6	6.8
問4 家族構成	ひとり暮らし 131人	19.8	27.5	5.3	42.1	5.3
	夫婦ふたり暮らし 372人	37.4	29.8	1.3	29.3	2.2
	その他 219人	29.2	31.5	1.4	32.9	5.0

問14 万一、あなたが回復の見込みのない病気になった場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか。(〇は1つ)

- 「自宅」が42.4%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」が24.8%、「わからない」が14.9%と続いています。



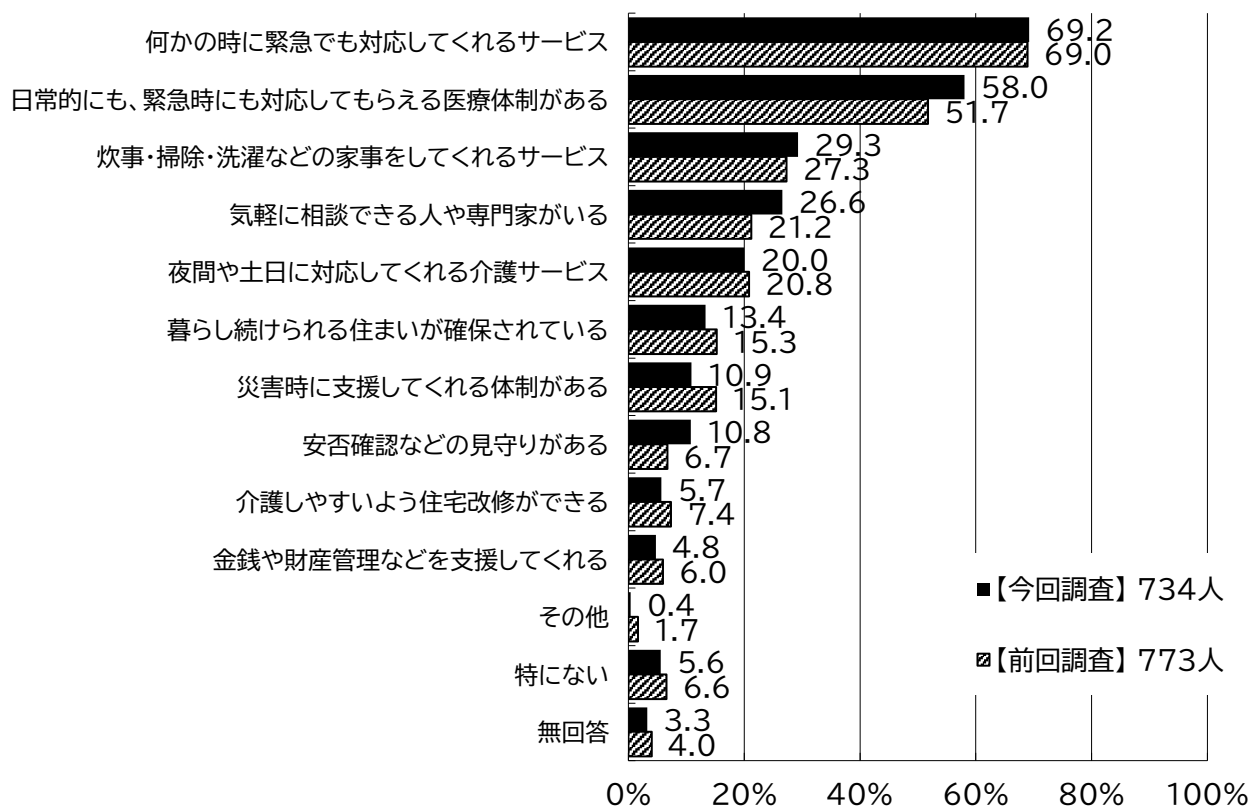
【年齢別等】

- 年齢別で見ると、年齢に関わらず「自宅」が最も高く、年齢が上がるほど同回答率が高くなっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「病院などの医療施設」が28.2%、「自宅」が27.5%となっています。(単位:%)

		自宅	子どもの家	兄弟姉妹など親族の家	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院などの医療施設	その他	わからない	無回答
問2 年齢	全体 734人	42.4	0.4	0.0	4.9	7.4	24.8	0.8	14.9	4.4
	65～74歳 365人	41.4	0.3	0.0	3.6	4.9	27.7	0.8	17.5	3.8
	75～84歳 296人	42.9	0.7	0.0	5.7	10.8	22.3	0.7	11.8	5.1
	85歳～ 59人	45.7	0.0	0.0	8.5	6.8	22.0	1.7	10.2	5.1
問4 家族構成	ひとり暮らし 131人	27.5	0.8	0.0	9.9	9.9	28.2	0.8	14.5	8.4
	夫婦ふたり暮らし 372人	48.7	0.5	0.0	3.5	6.7	23.7	0.8	13.7	2.4
	その他 219人	41.5	0.0	0.0	3.7	7.3	25.6	0.9	15.5	5.5

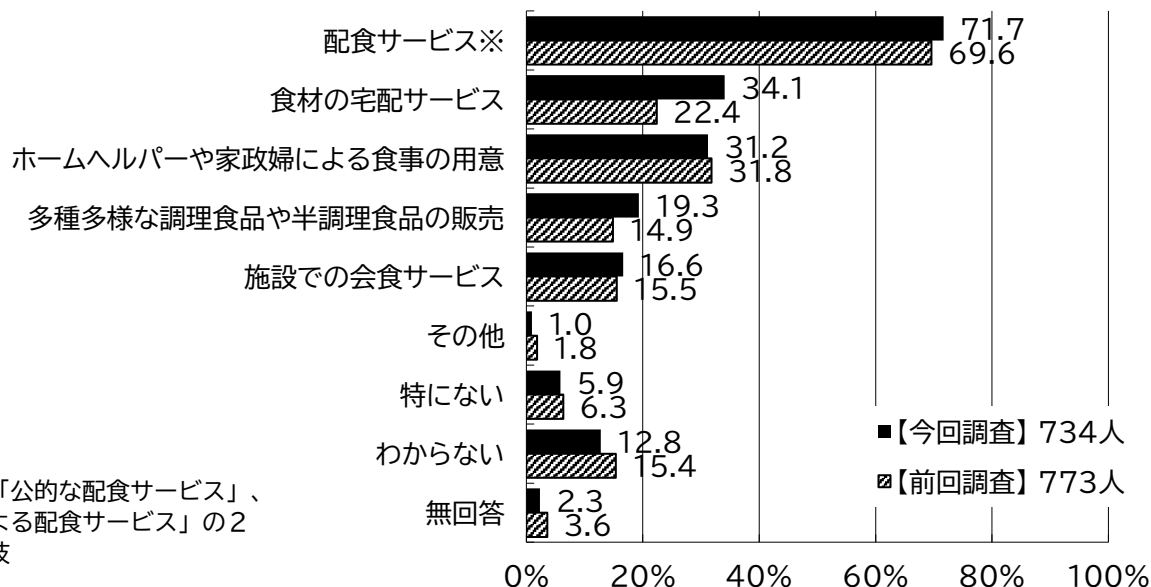
問15 どのようなサービスが利用できたり、どのような条件が整えば、自宅で暮らし続けていくことができると思いますか。(特に望むこと3つまでに○)

- 「何かの時に緊急でも対応してくれるサービス」が 69.2%と最も高く、次いで「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制がある」が 58.0%、「炊事・掃除・洗濯などの家事をしてくれるサービス」が 29.3%と続いています。



問16 最近、食事に関する様々なサービスが提供されていますが、あなたは今後、仮に自分で食事の用意ができなくなったり、用意してくれる人がいなくなった場合、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(特に望むこと3つまでに○)

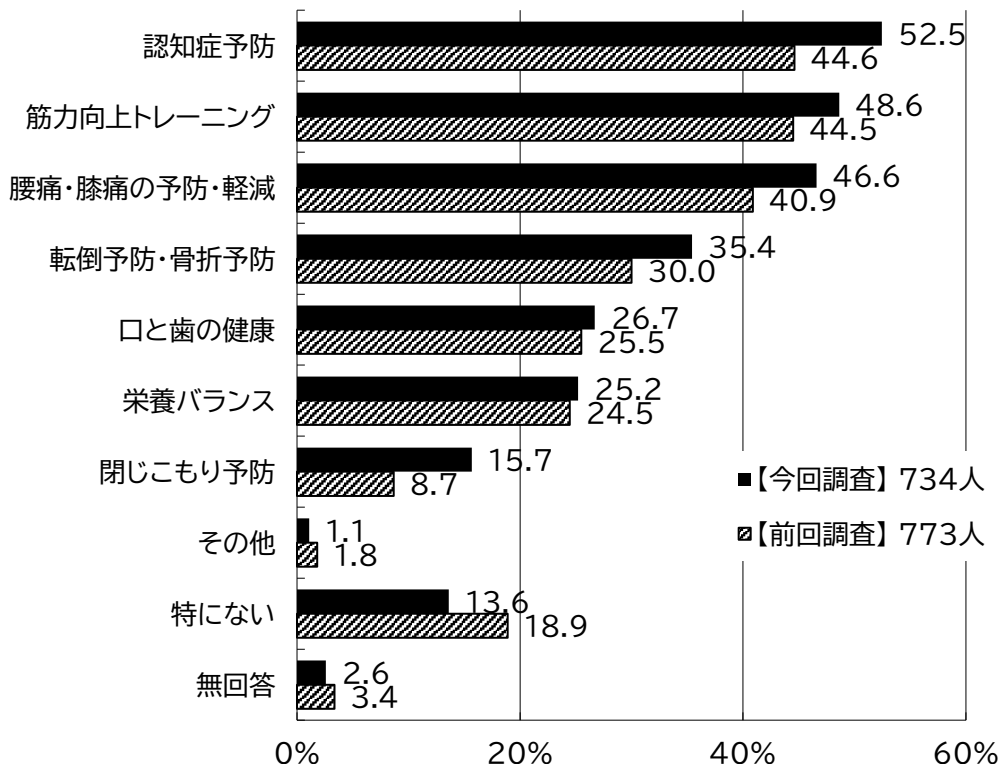
- 「配食サービス」が 71.7%と最も高く、次いで「食材の宅配サービス」が 34.1%、「ホームヘルパーや家政婦による食事の用意」が 31.2%と続いています。



※前回は「公的な配食サービス」、「民間による配食サービス」の2つの選択肢

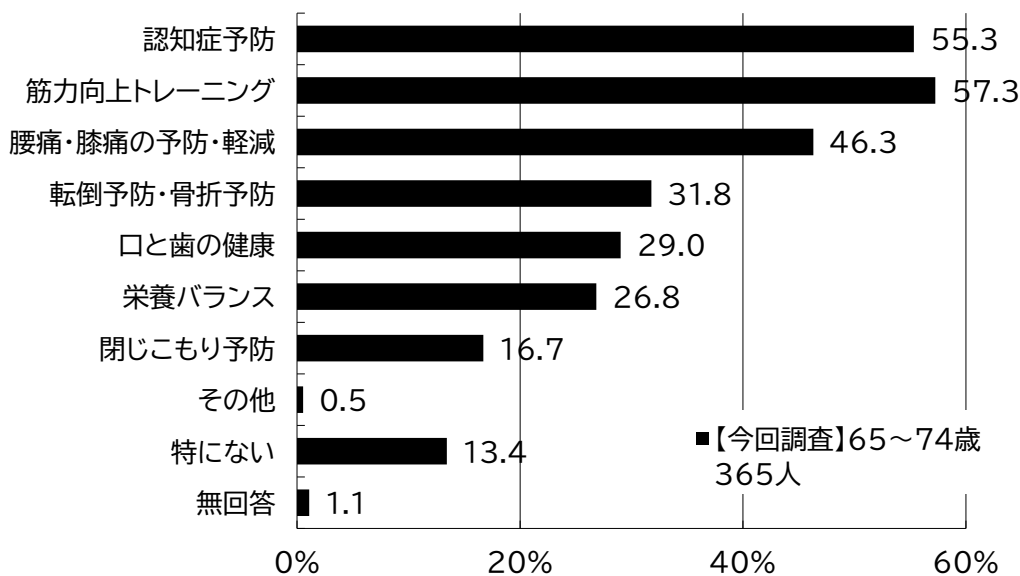
問17 あなたは、介護予防について、どのようなテーマに興味がある、または参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「認知症予防」が 52.5%、「筋力向上トレーニング」が 48.6%とこれらが上位2つで、次いで「腰痛・膝痛の予防・軽減」が 46.6%と続いています。



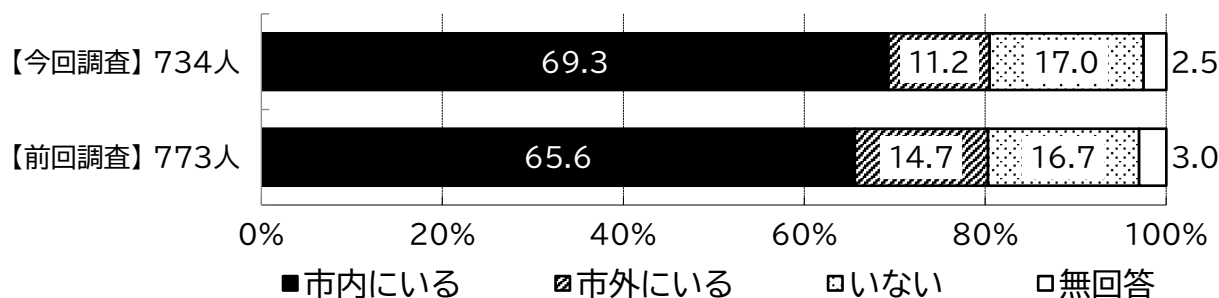
【65～74 歳】

- 65～74 歳の場合は、「筋力向上トレーニング」が 57.3%、「認知症予防」が 55.3%とこれらが上位2つで、次いで「腰痛・膝痛の予防・軽減」が 46.3%と続いています。



問18 あなたの体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」はいますか。(1つを選択)

- 「市内にいる」が69.3%と最も高く、次いで「いない」が17.0%、「市外にいる」が11.2%と続いています。



【日常生活圏域別】

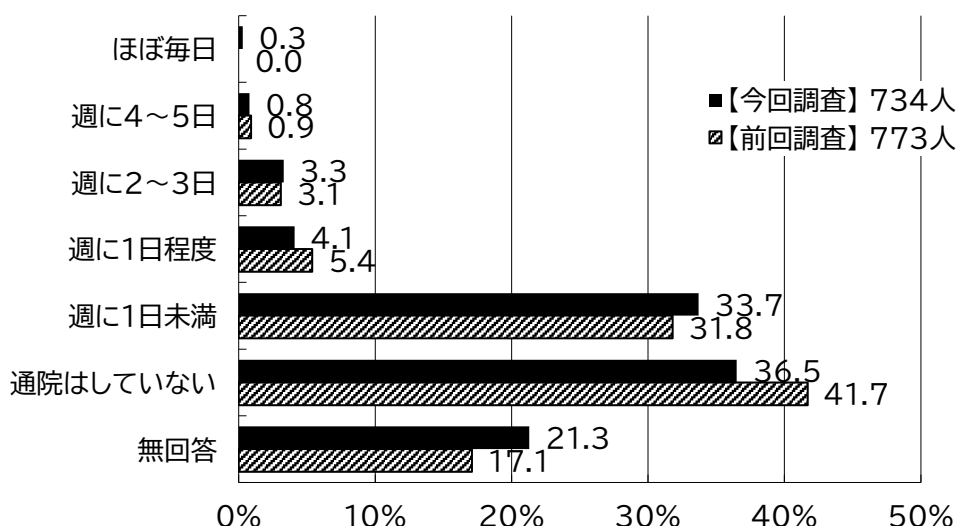
- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「市内にいる」が最も高く、いもくぼ圏域は同回答が74.8%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		市内にいる	市外にいる	いない	無回答
問3 日常生活圏域	全体 734人	69.3	11.2	17.0	2.5
	いもくぼ圏域 199人	74.8	10.1	12.6	2.5
	きよはら圏域 128人	68.0	10.2	19.5	2.3
	なんがいの圏域 223人	65.6	14.3	18.8	1.3
	しみず圏域 174人	69.5	9.8	16.7	4.0

問19 あなたは、どのくらいの頻度で通院をしていますか。(1つを選択)

- 「通院はしていない」が36.5%、「週に1日未満」が33.7%とこれらが上位2つで、次いで「週に1日程度」が4.1%と続いています。



【年齢別】

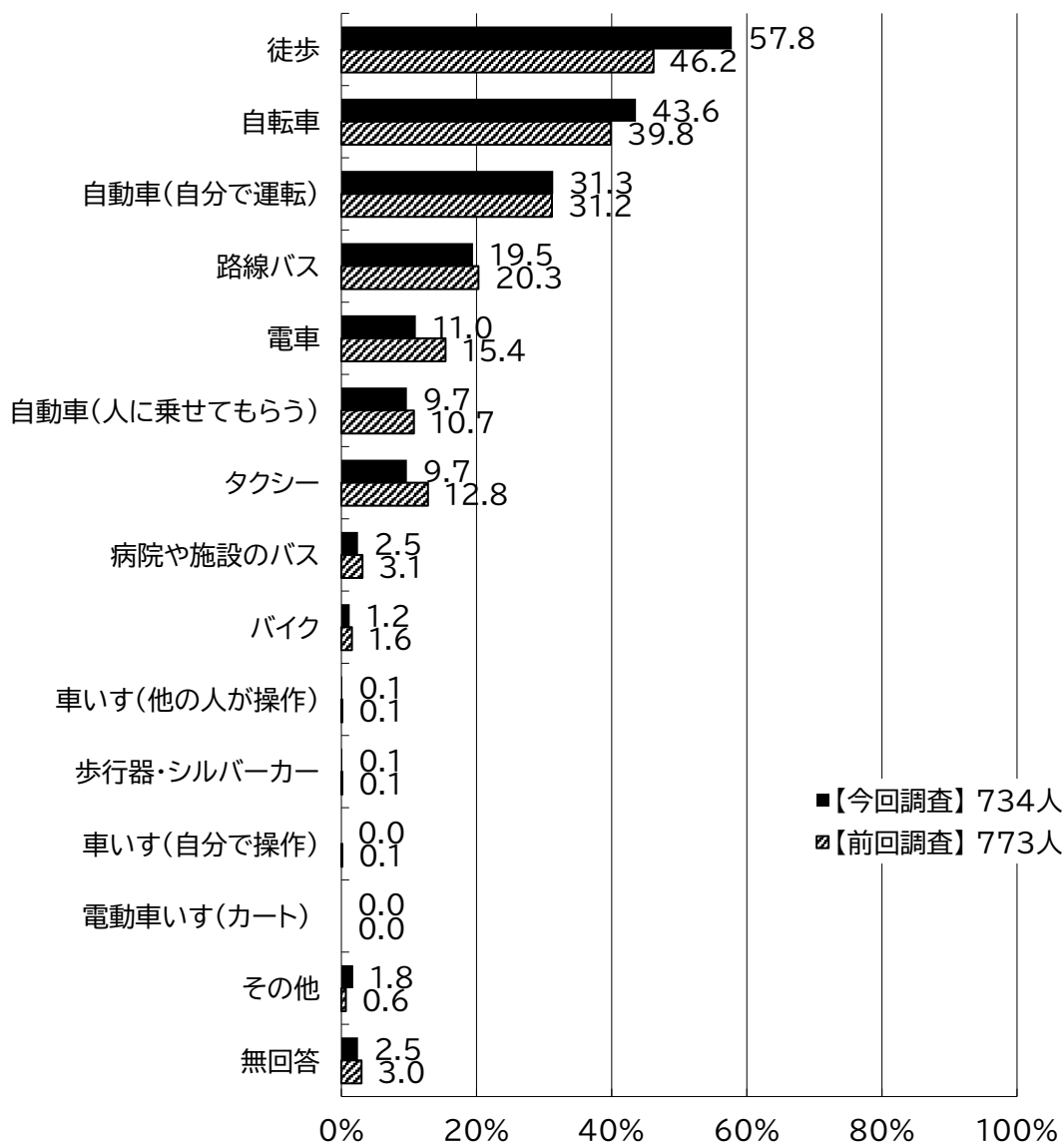
- 年齢別で見ると、通院率(「通院はしていない」、「無回答」を除いた割合)は、65~74歳で43.9%、75~84歳で41.9%、85歳~で35.6%となっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	週に1日未満	通院はしていない	無回答
問2 年齢	全体 734人	0.3	0.8	3.3	4.1	33.7	36.5	21.3
	65~74歳 365人	0.3	0.3	2.2	3.6	37.5	40.5	15.6
	75~84歳 296人	0.3	1.7	4.1	5.4	30.4	31.7	26.4
	85歳~ 59人	0.0	0.0	5.1	1.7	28.8	35.6	28.8

問20 あなたが通院するときの移動手段は何ですか。(複数選択可)

- 「徒歩」が57.8%と最も高く、次いで「自転車」が43.6%、「自動車(自分で運転)」が31.3%と続いています。



【日常生活圏域別等】

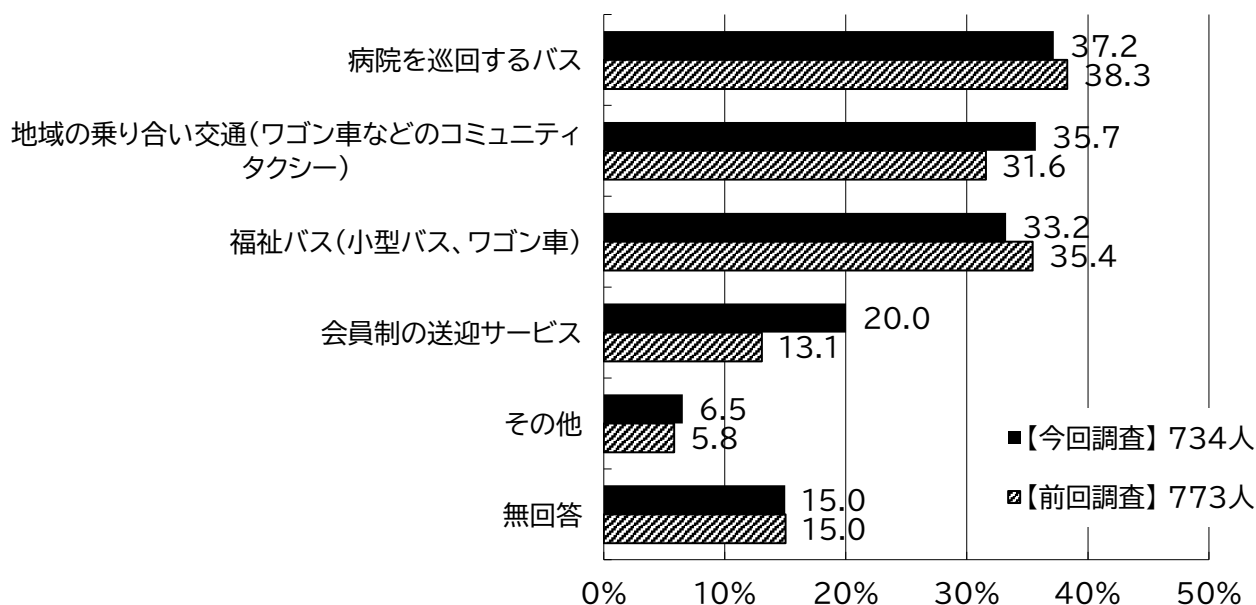
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は「自転車」が60.2%、なんがい圏域は「徒歩」が68.6%、しみず圏域は「自動車(自分で運転)」が42.0%と、それぞれ他の圏域と比べて割合が高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高く、ひとり暮らしの場合は「自動車(自分で運転)」が20.6%と比較的低く、「路線バス」が26.7%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		徒歩	自転車	自動車 (自分で 運転)	路線バス	電車	タクシー
	全体 734人	57.8	43.6	31.3	19.5	11.0	9.7
問3 日常生活 圏域	いもくぼ圏域 199人	55.3	41.2	34.2	18.1	10.1	11.6
	きよはら圏域 128人	50.8	60.2	29.7	22.7	6.3	11.7
	なんがい圏域 223人	68.6	44.8	22.0	17.9	16.6	7.2
	しみず圏域 174人	50.0	33.3	42.0	20.7	9.2	9.2
問4 家族構成	ひとり暮らし 131人	64.1	42.0	20.6	26.7	13.7	16.0
	夫婦ふたり暮らし 372人	54.8	44.6	33.9	16.1	9.4	8.9
	その他 219人	58.0	42.9	33.8	20.5	12.8	7.8

問21 今後、市内で導入されたいと思う移動手段はありますか。(複数選択可)

- 「病院を巡回するバス」が 37.2%、「地域の乗り合い交通(ワゴン車などのコミュニティタクシー)」が 35.7%とこれらが上位2つで、次いで「福祉バス(小型バス、ワゴン車)」が 33.2%と続いています。



【日常生活圏域別】

- 日常生活圏域別で見ると、いもくぼ圏域ときよはら圏域は「病院を巡回するバス」が最も高くなっています。(単位:%)

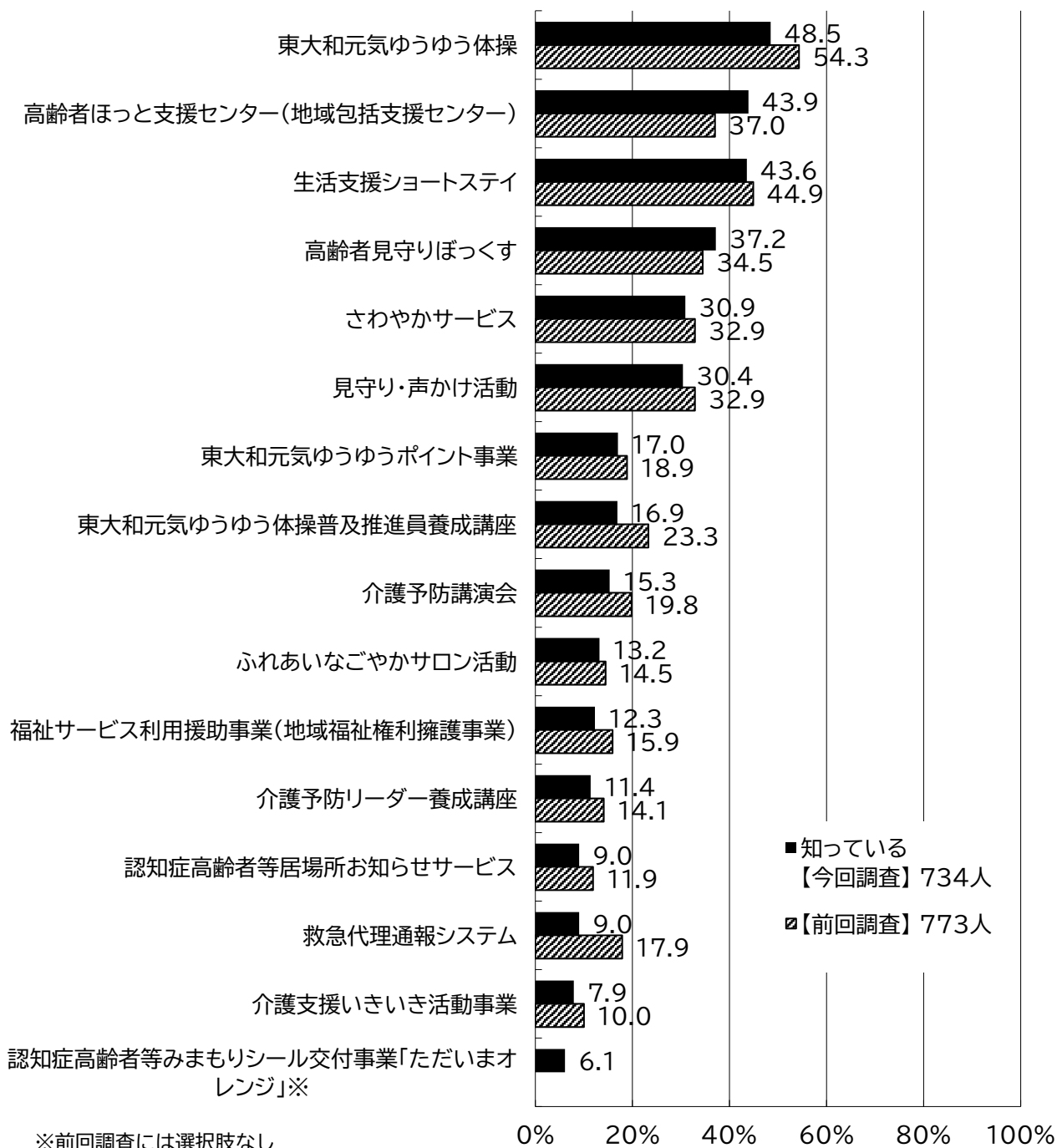
		病院を巡回するバス	会員制の送迎サービス	福祉バス(小型バス、ワゴン車)	地域の乗り合い交通(コミュニティタクシー)	その他	無回答
	全体 734 人	37.2	20.0	33.2	35.7	6.5	15.0
問3 日常生活圏域	いもくぼ圏域 199 人	44.2	20.6	37.7	37.7	4.5	14.1
	きよはら圏域 128 人	39.8	21.9	33.6	32.8	7.0	14.8
	なんがい圏域 223 人	33.2	18.4	29.1	36.8	8.5	13.9
	しみず圏域 174 人	32.8	20.7	33.9	36.2	5.7	16.7

3 高齢者の福祉サービス等について

問 22 市内の高齢者福祉サービス等の周知の状況、現在の利用・参加の状況、今後の利用・参加の意向について、それぞれ1つに○をしてください。

①周知の状況

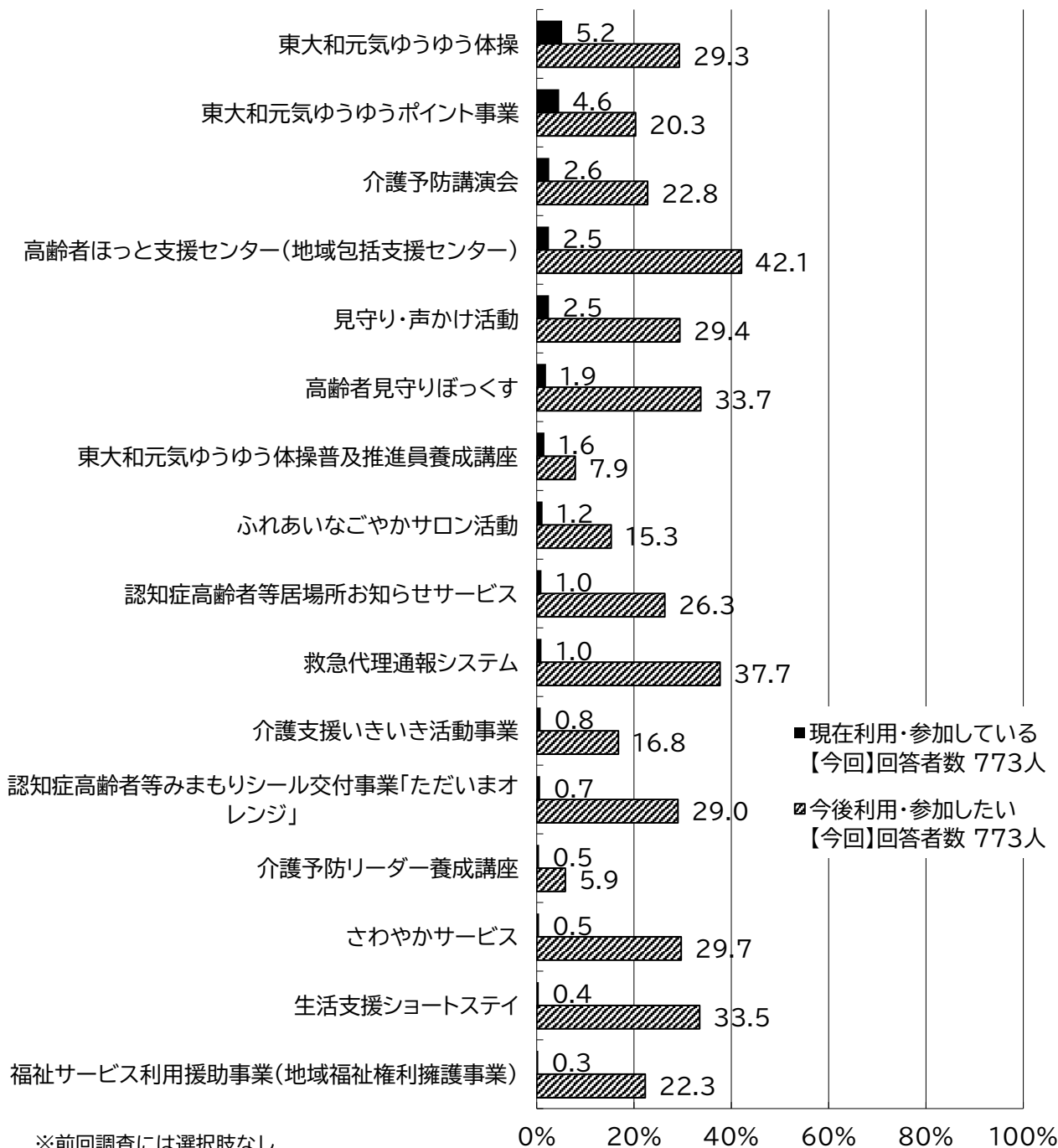
- 「東大和元気ゆうゆう体操」が 48.5%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 43.9%、「生活支援ショートステイ」が 43.6%と続いています。



②現在の利用・参加の状況

③今後の利用・参加の意向

- 現在の利用・参加の状況は、「東大和元気ゆうゆう体操」が 5.2%と最も高く、次いで「東大和元気ゆうゆうポイント事業」が 4.6%、「介護予防講演会」が 3.4%と続いています。
- 今後の利用・参加の意向は、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 42.1%と最も高く、次いで「救急代理通報システム」が 37.7%、「高齢者見守りぼっくす」が 33.7%と続いています。



4 自由回答

(回答数が多いため、意見を要約し件数をカウント)

意見要旨	件数
本アンケート調査の感想(調査が有意義だった、勉強になった、自分事として考えるよい機会になった、福祉サービスがいろいろあることが分かった、回答しづらかった、回答期限が短い)	18件
自身や家族の身上(自身の身体の状況、今後の生活や仕事の予定など)に関する意見	16件
介護施設や福祉サービスの情報がほしい(市の介護・福祉事業の認知度が低い、65歳以上の市民にダイレクトメールなどでお知らせしてほしい、ガイドブックのようなものはあるのか?、高齢者宅への訪問活動があるが顔を見て“元気ですネ!”と言って帰ってしまい余り良く理解できない)	10件
1人暮らしの不安や要望(緊急時の連絡先(病院等)が知りたい、安否の確認をしてほしい、元気ですかと声をかけてくれる人がいると安心など)	7件
介護保険制度等への要望(充実した介護が受けられるよりよい制度にしていきたい、介護保険料がもっと安くならないか考えてほしい、制度を利用しない家族介護者へ報酬を支払う、利用料を無料に)	5件
バスなど市内交通についての要望(東大和駅から上北台行方面のバスがあれば便利、ちよこバスの運行時間がもう少し増えれば良い)	3件
コロナ禍で生活の状況や考え方が変わった	2件
ボランティア活動への要望(若い人が多く参加できるような対策をお願いしたい、週二日ぐらいならボランティア活動などやってみたいが年齢を考えると踏み出せない(私みたいな人は大勢いる)ので60・70歳代に是非呼びかけをお願いしたい)	2件
65歳以上といっても個性が異なるので、全体主義的な捉え方をやめてほしい	2件
老人の面倒を、少し元気な老人がみるのがいいとは思いますが、子どもたちと交流するような取組も必要(若い人や子どもと交流がきわめて少ないので、年に2~3回そういう場を計画してほしい)	2件
働きたいが働ける場所がない、多少なりとも生産性の有る活動があれば(シニアの方と謳っている募集があるが、70歳以上になるとほとんど書類選考で落とされる)	2件
小さな輪でも人々の繋がりを作ってもらえる様な仕組みを作してほしい	1件
自分が認知症にもなったらどうしようと思っている	1件
火葬場の組合に東大和市もぜひ加盟してほしい	1件
東大和市の厚生行政はますますだと評価している(ただし、予算執行の検証してほしい)	1件
いろいろな講座や事業が有ることに驚いた	1件
ヤングケアラーや老々介護の問題への対策を考えてほしい	1件
経済的に余裕がないとボランティア活動はできない	1件
歩けなくなった時どうしたらいいか心配	1件
ケアマネジャーの質の向上(人によって対応が大きく違う)	1件
経済的な支援の充実(コロナ関係の給付金の支給について東大和市としての上乗せ)	1件
年1回の市の文化祭は、誰でも出演したい人・団体が楽しく参加できる文化祭であってほしい(参加費に市から補助を出すべき)	1件
福祉の湯が終了したのが残念(再開を希望)	1件
高齢者として暮しているなかで、これからの生き方について自分の意識が低いことに気付いた	1件
認知症予防には「人との交流」が必要と言われるが、自分のようにコミュニケーションが苦手、大勢が苦手と言う場合はどうしたらよいか	1件
公立昭和三病院を市民にアピールすべきではないか	1件
高齢者が集まれる場の設置や集合体操の実施	1件
最期は自宅を希望するが、家族に迷惑をかけるので複雑な気持ち	1件
スマートフォンの使い方を教えてくれるサービスがほしい	1件
ワンストップの相談窓口を設けて、相談内容に応じて適切なサービスを紹介して頂けたら便利	1件
ゆうゆうポイントのことを市役所に問い合わせたが、わからずじまいだった	1件
引っ越してきたばかりだが、上北台でいろんな活動に参加したい	1件
市民農園の継続をお願いしたい(利用者は高齢者が多く、楽しみながら健康長寿の要因であることは間違いない)	1件
福祉サービス事業が多岐にわたっているのはよいことだが、選択肢が多すぎて分かりづらい	1件
ウォーキングなどの活動ポイントを近くのスーパーなどで記録できるシステムがあると誰でも利用しやすい	1件

第4章

在宅介護実態調査

集計結果

【調査の対象者】

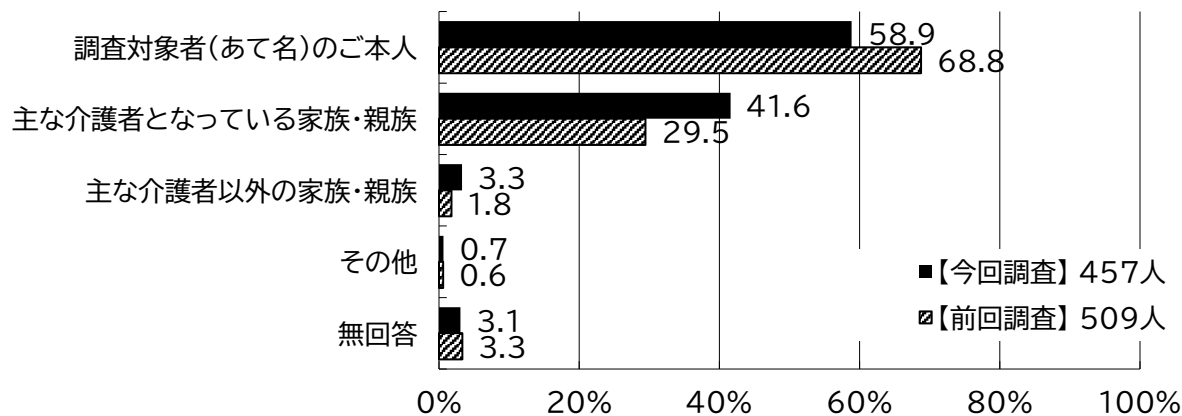
介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、介護保険の要介護・要支援認定を受けている方(施設入所者を除く)

A 票 調査対象者本人について

記入者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

- 「調査対象者(あて名)のご本人」が 58.9%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 41.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.3%、「その他」が 0.7%と続いています。



【要介護度別】

- 要介護度別で見ると、要介護3~5の場合は「主な介護者となっている家族・親族」が 76.5%と最も高くなっています。

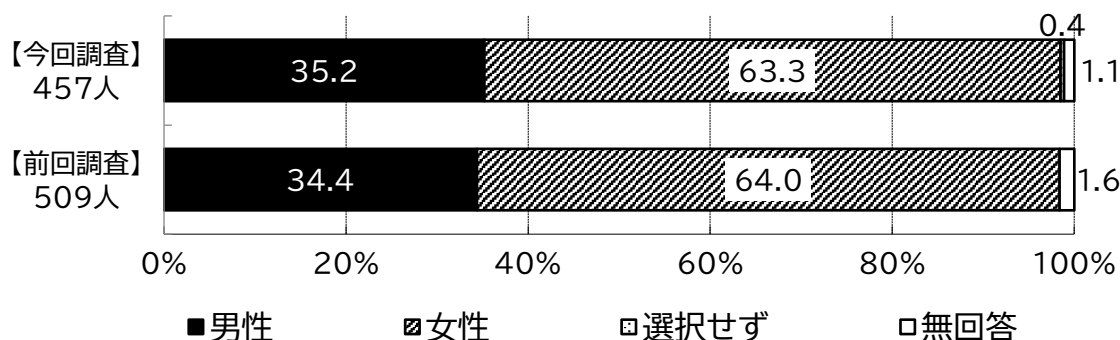
(単位:%)

	調査対象者(あて名)のご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答
全体 457人	58.9	41.6	3.3	0.7	3.1
A票-問4 要介護度					
要支援1~2 119人	89.1	12.6	1.7	0.0	2.5
要介護1~2 219人	53.0	48.4	3.2	0.9	3.2
要介護3~5 85人	23.5	76.5	7.1	1.2	1.2

1 ご本人について

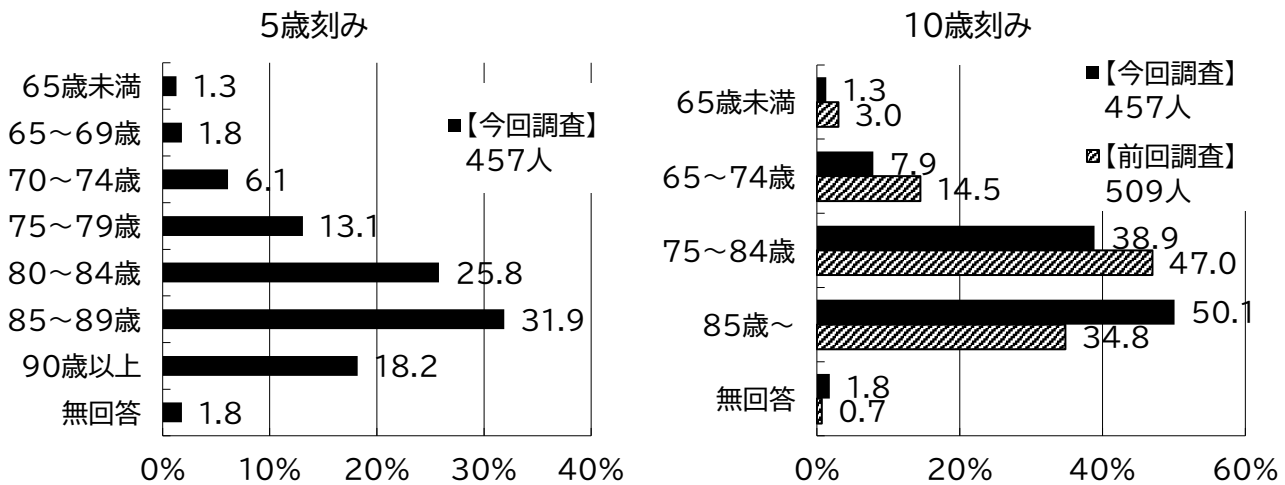
問2 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「女性」が 63.3%と最も高く、次いで「男性」が 35.2%、「選択せず」が 0.4%と続いています。



問3 ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 5歳刻みでは、「85～89歳」が31.9%と最も高く、次いで「80～84歳」が25.8%、「90歳以上」が18.2%、「75～79歳」が13.1%と続いています。
- 10歳刻みでは、「85歳～」が50.1%と最も高く、次いで「75～84歳」が38.9%、「65～74歳」が7.9%と続いています。



【主な介護者の年齢別】

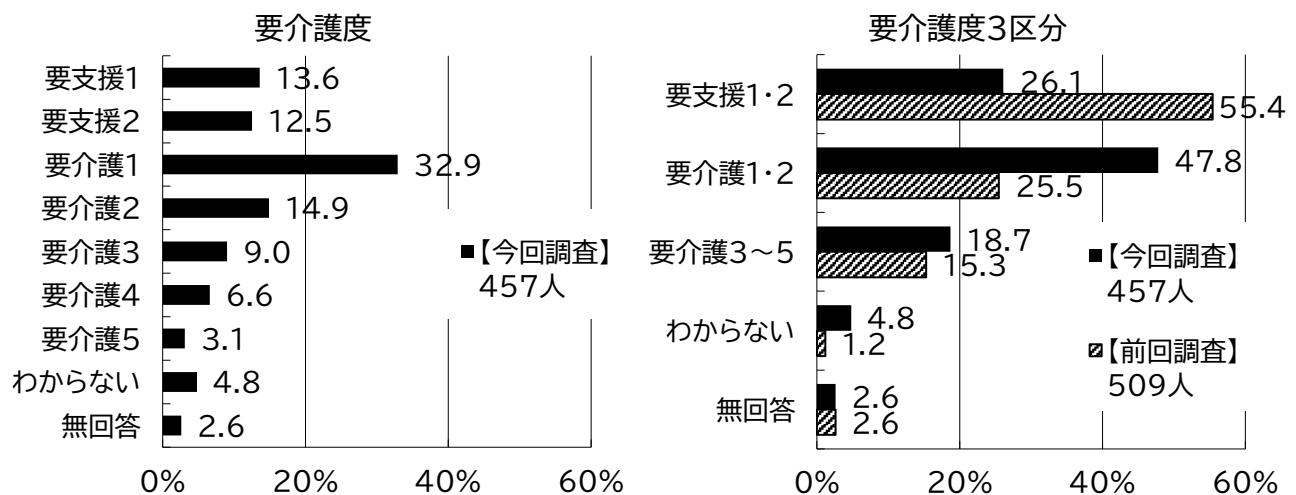
- 主な介護者の年齢別で見ると、主な介護者が40・50歳代の場合は「85歳～」が63.7%、60・70歳代の場合は同回答が57.8%となっており、主な介護者が80歳以上の場合は同回答が48.1%となっています。

(単位:%)

		～74歳	75～84歳	85歳～	無回答
全体 457人		9.2	38.9	50.1	1.8
B票-問5 主な介護者の年齢	～30歳代 1人	0.0	0.0	100.0	0.0
	40・50歳代 88人	4.5	31.8	63.7	0.0
	60・70歳代 116人	17.2	24.1	57.8	0.9
	80歳以上 54人	3.7	46.3	48.1	1.9

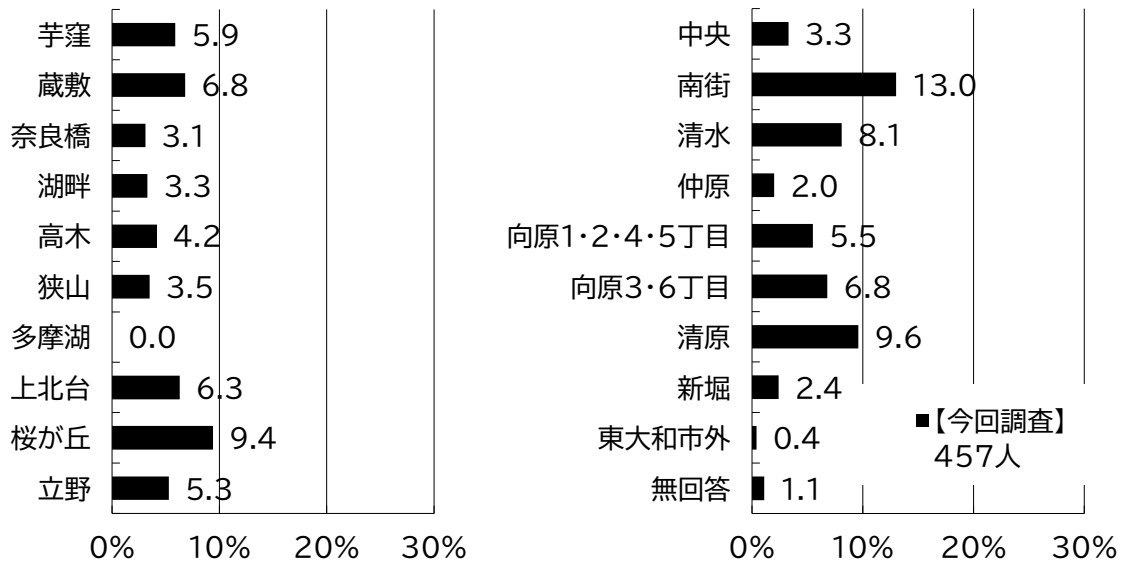
問4 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「要介護1」が32.9%と最も高く、次いで「要介護2」が14.9%、「要支援1」が13.6%、「要支援2」が12.5%と続いています。
- 3区分で見ると、「要介護1・2」が47.8%と最も高く、次いで「要支援1・2」が26.1%、「要介護3～5」が18.7%と続いています。

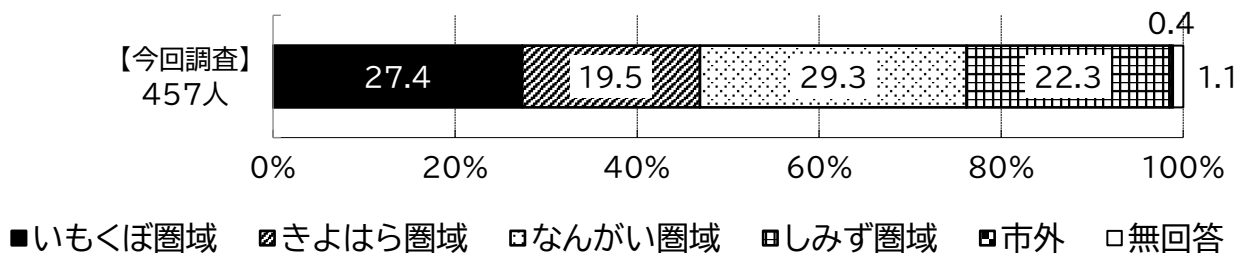


問5 ご本人の居住区について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「南街」が13.0%と最も高く、次いで「清原」が9.6%、「桜が丘」が9.4%、「清水」が8.1%と続いています。

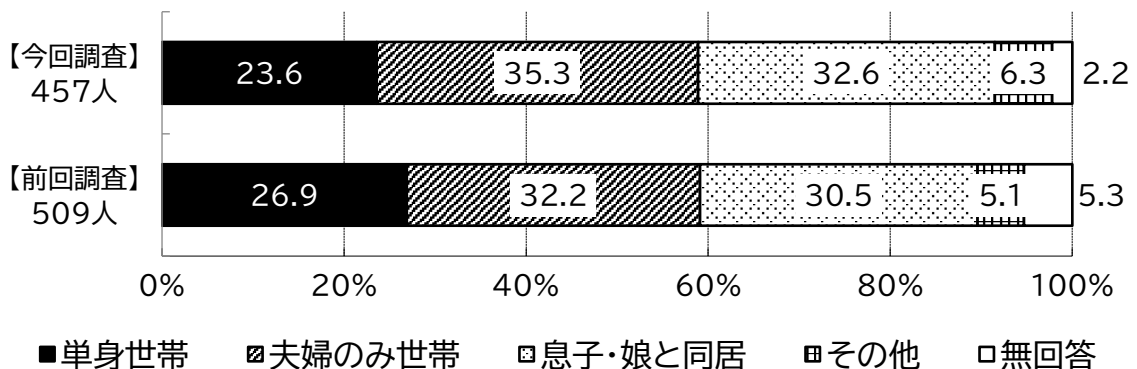


- 日常生活圏域は、「いもくぼ圏域」が27.4%、「きよはら圏域」が19.5%、「なんがい圏域」が29.3%、「しみず圏域」が22.3%となっています。



問6 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

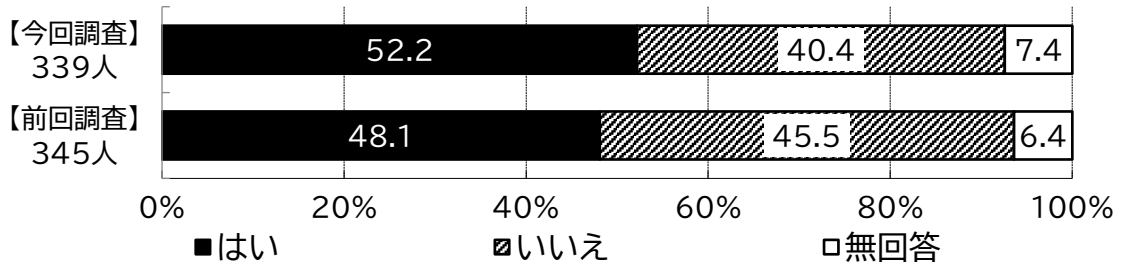
- 「夫婦のみ世帯」が35.3%と最も高く、次いで「息子・娘と同居」が32.6%、「単身世帯」が23.6%、「その他」が6.3%と続いています。



問6-1【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方は、全員が65歳以上ですか。(1つを選択)

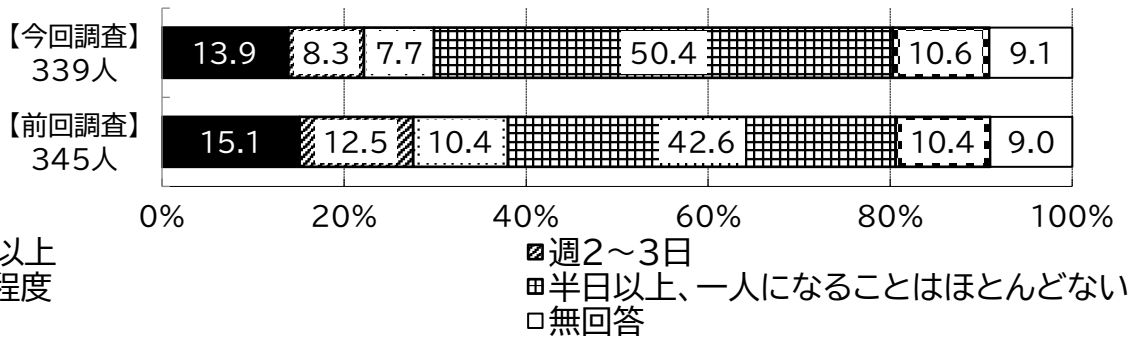
- 「はい」が 52.2%、「いいえ」が 40.4%となっています。



問6-2【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、ご本人が自宅で一人になることがどのくらいありますか。(1つを選択)

- 「半日以上、一人になることはほとんどない」が 50.4%と最も高く、次いで「週4日以上」が 13.9%、「その他」が 10.6%、「週2~3日」が 8.3%と続いています。



【要介護度別等】

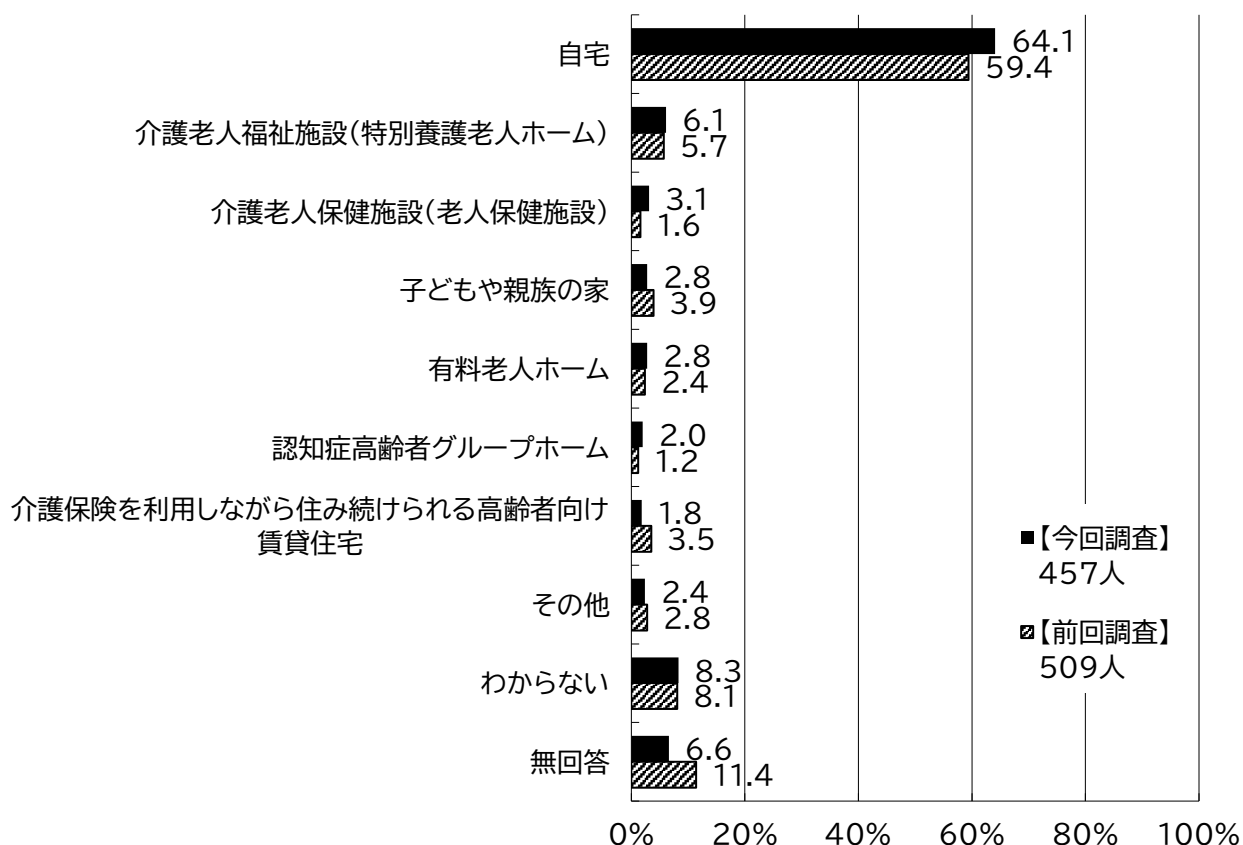
- 要介護度別で見ると、要支援1・2の場合は「週4日以上」が 17.6%、要介護1・2の場合は同回答が 13.9%、要介護3~5の場合は 7.9%となっています。
- 世帯類型別で見ると、息子・娘と同居の場合は「週4日以上」が 22.1%となっています。
- 介護保険サービスの利用状況別で見ると、介護保険サービスを利用していない場合は、「週4日以上」が 16.3%となっています。
- 主な介護者の勤務形態別で見ると、フルタイムの場合は「週4日以上」が 34.3%となっています。

(単位:%)

		週4日以上	週2~3日	週1日程度	半日以上、一人になることはほとんどない	その他	無回答
	全体 339人	13.9	8.3	7.7	50.4	10.6	9.1
A票-問4 要介護度	要支援1・2 74人	17.6	8.1	10.8	45.9	6.8	10.8
	要介護1・2 165人	13.9	10.9	8.5	49.7	8.5	8.5
	要介護3~5 76人	7.9	3.9	5.3	60.6	19.7	2.6
A票-問6 世帯類型	夫婦のみ世帯 161人	6.8	6.8	8.7	53.5	11.2	13.0
	息子・娘と同居 149人	22.1	10.1	6.7	49.0	7.4	4.7
A票-問10 介護保険サービスの利用状況	利用した 206人	12.6	9.2	8.7	50.5	11.7	7.3
	利用していない 129人	16.3	7.0	6.2	51.1	8.5	10.9
B票-問9 主な介護者の勤務形態	フルタイム 38人	34.3	10.5	18.4	26.3	10.5	0.0
	パートタイム 28人	21.4	17.9	3.6	50.0	7.1	0.0
	働いていない 122人	3.3	4.9	9.0	66.4	12.3	4.1

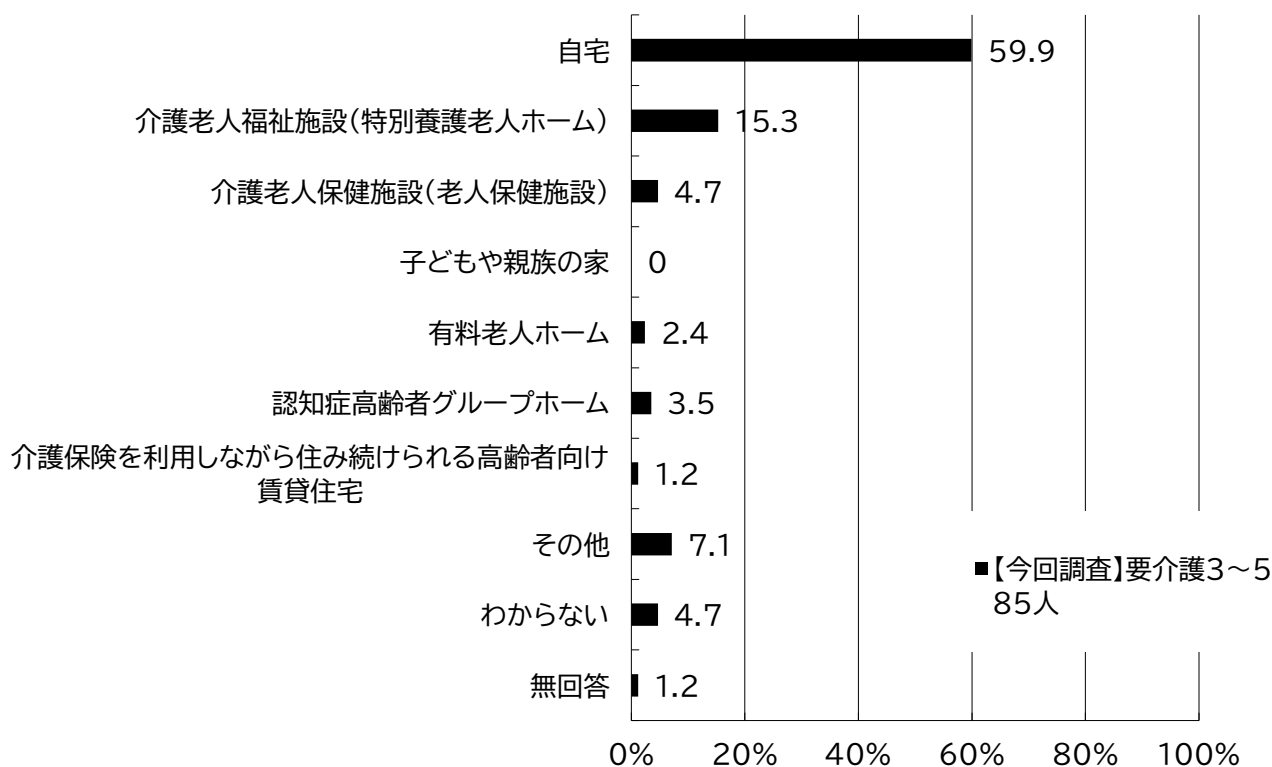
問7 ご本人の今後の生活についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

- 「自宅」が64.1%と最も高く、次いで「わからない」が8.3%、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が6.1%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」が3.1%と続いています。



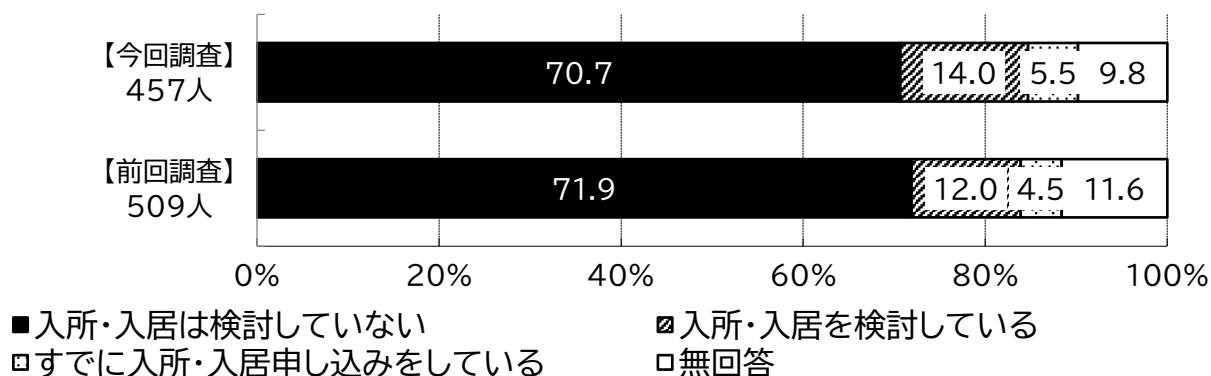
【A票-問4 要介護3~5】

- 要介護3~5の場合は、「自宅」が59.9%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が15.3%と続いています。



問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「入所・入居は検討していない」が 70.7%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.5%と続いています。



【要介護度別等】

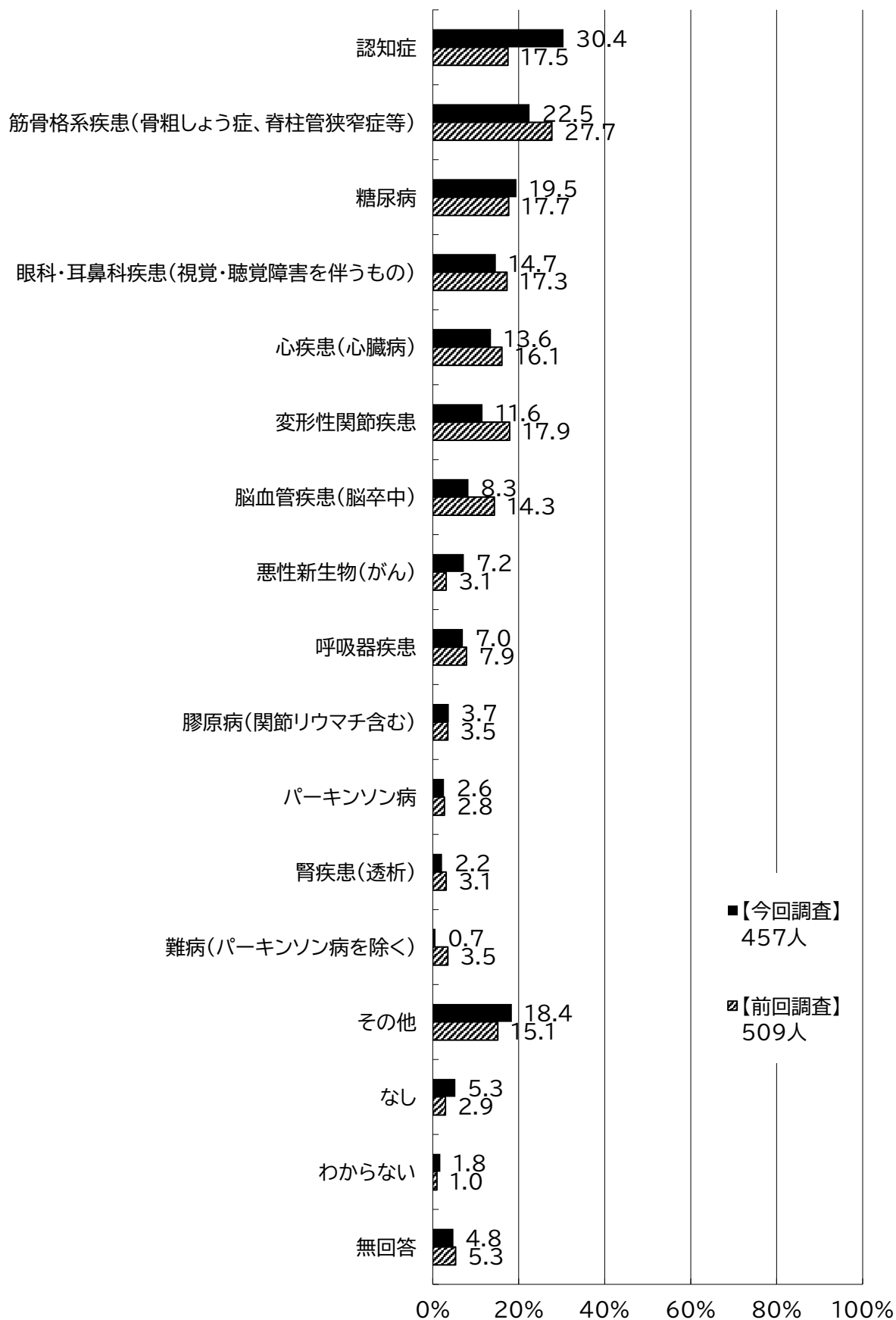
- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「すでに入所・入居申し込みをしている」が 17.6%、「入所・入居を検討している」が 15.3%、これら回答を合わせた入所・入居の希望率が 32.9%となっています。
- 世帯類型別で見ると、入所・入居の希望率は単身世帯で 24.1%、夫婦のみ世帯で 21.1%、息子・娘と同居で 15.5%となっています。

(単位:%)

		入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
	全体 457人	70.7	14.0	5.5	9.8
A票-問4 要介護度	要支援1・2 119人	74.9	13.4	2.5	9.2
	要介護1・2 219人	75.0	15.5	2.7	6.8
	要介護3～5 85人	58.9	15.3	17.6	8.2
A票-問6 世帯類型	単身世帯 108人	62.0	18.5	5.6	13.9
	夫婦のみ世帯 161人	70.8	16.1	5.0	8.1
	息子・娘と同居 149人	78.5	10.1	5.4	6.0

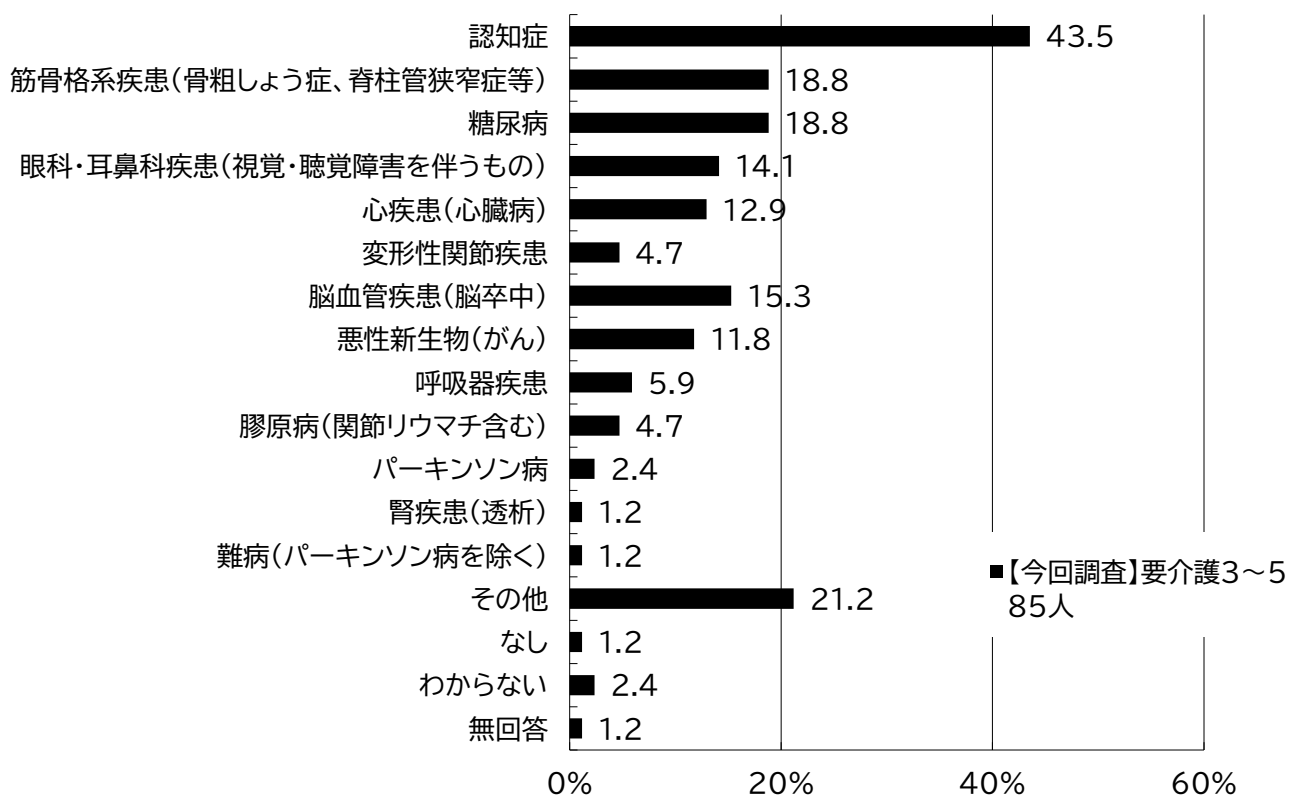
問9 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「認知症」が 30.4%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が 22.5%、「糖尿病」が 19.5%、「その他」が 18.4%と続いています。



【A票-問4 要介護3～5】

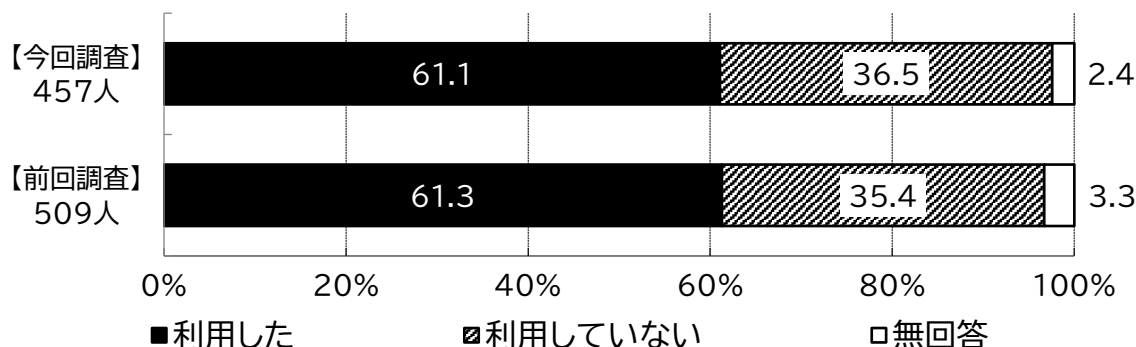
- 要介護3～5の場合は、「認知症」が43.5%と最も高く、次いで「その他」が21.2%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」と「糖尿病」がいずれも18.8%と続いています。



2 介護保険サービス等の利用について

問10 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

- 「利用した」が61.1%、「利用していない」が36.5%となっています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「利用した」が76.5%と、同回答率は介護度が上がるほど高くなっており、要支援1・2の場合は「利用していない」が52.1%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は「利用した」が69.6%と比較的高くなっています。
- 主な介護者の勤務形態別で見ると、パートタイムの場合は「利用した」が88.6%と比較的高くなっています。

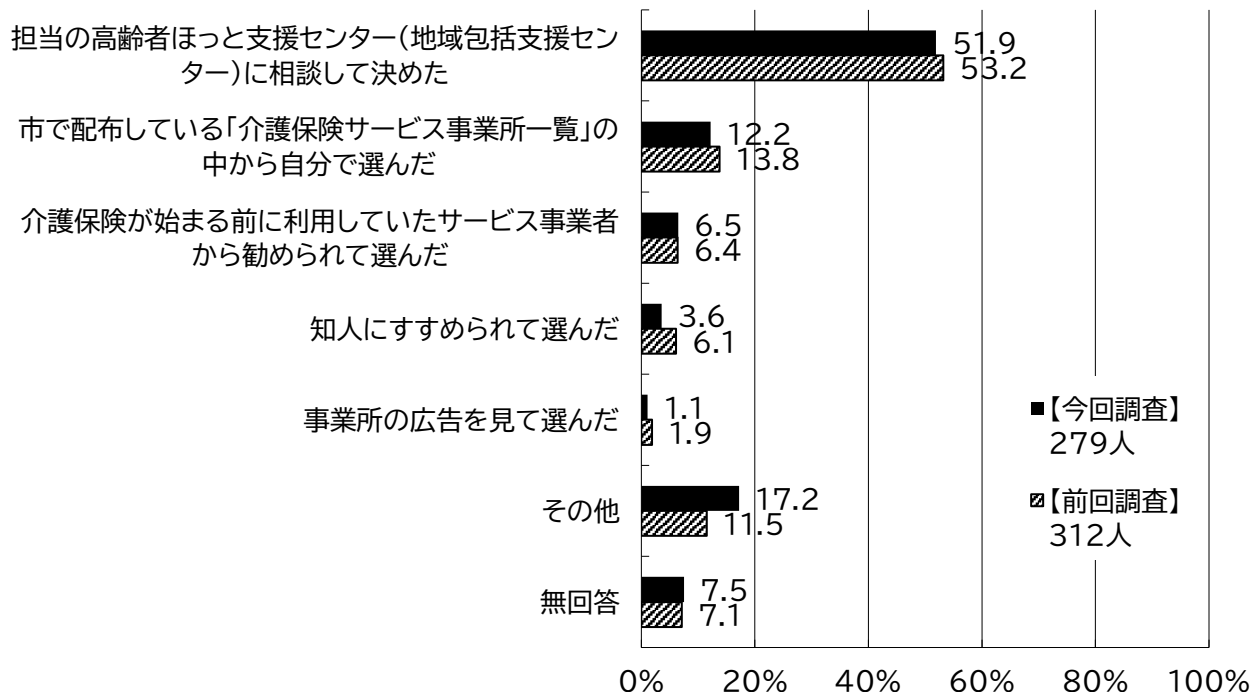
(単位:%)

		利用した	利用して いない	無回答
全体 457人		61.1	36.5	2.4
A票-問4 要介護度	要支援1・2 119人	46.2	52.1	1.7
	要介護1・2 219人	68.1	30.1	1.8
	要介護3～5 85人	76.5	23.5	0.0
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 125人	56.0	40.8	3.2
	きよはら圏域 89人	69.6	27.0	3.4
	なんがい圏域 134人	59.0	40.3	0.7
	しみず圏域 102人	64.7	34.3	1.0
B票-問9 主な介護者の勤務形態	フルタイム 63人	69.8	28.6	1.6
	パートタイム 44人	88.6	9.1	2.3
	働いていない 138人	69.6	29.7	0.7

問11 【問10で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。】

ケアプランを作成している居宅介護支援事業者(ケアマネジャーが在籍)はどのようにして選びましたか。(1つを選択)

- 「担当の高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)に相談して決めた」が 51.9%と最も高く、次いで「その他」が 17.2%、「市で配布している「介護保険サービス事業所一覧」の中から自分で選んだ」が 12.2%、「介護保険が始まる前に利用していたサービス事業者から勧められて選んだ」が 6.5%と続いています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要支援1・2の場合は「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」が60.0%と比較的高くなっています。
- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」が最も高い一方、いもくぼ圏域は同回答が45.8%と比較的低くなっています。

(単位:%)

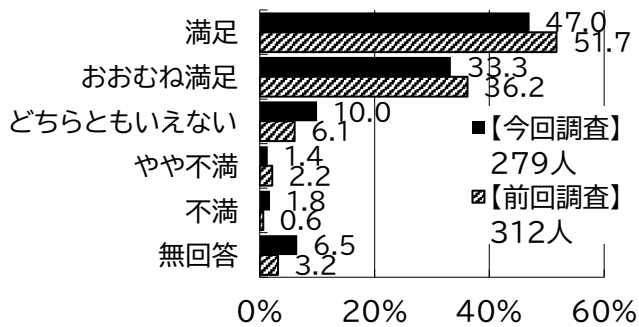
		市で配布している「介護保険サービス事業所一覧」の中から自分で選んだ	事業所の広告を見て選んだ	知人にすすめられて選んだ	担当の地域包括支援センターに相談して決めた	介護保険が始まる前に利用していたサービス事業者から勧められて選んだ	その他	無回答
	全体 279人	12.2	1.1	3.6	51.9	6.5	17.2	7.5
A票-問4 要介護度	要支援1・2 55人	7.3	1.8	0.0	60.0	5.5	12.7	12.7
	要介護1・2 149人	10.1	1.3	3.4	56.9	8.1	12.8	7.4
	要介護3~5 65人	20.0	0.0	4.6	38.5	4.6	30.8	1.5
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 70人	8.6	1.4	5.7	45.8	5.7	25.7	7.1
	きよはら圏域 62人	9.7	1.6	0.0	54.8	6.5	17.7	9.7
	なんがい圏域 79人	11.4	1.3	3.8	51.8	7.6	15.2	8.9
	しみず圏域 66人	19.7	0.0	3.0	57.6	6.1	9.1	4.5

問12【問10で「1.利用した」と回答した方にお伺いします。】

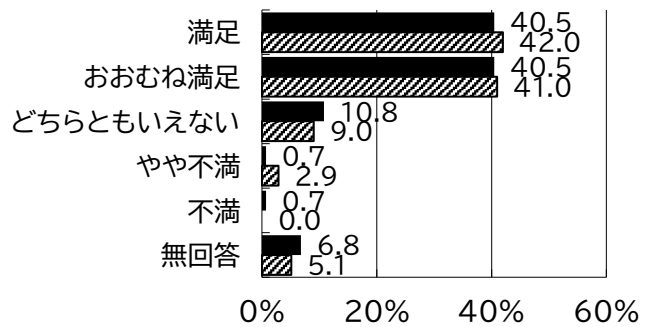
介護保険サービスを利用してどのように感じますか。①～⑧の項目について、それぞれもっとも近い意見1つに○をしてください。

- 総合的な満足度は、「おおむね満足」が 50.2%と最も高く、次いで「満足」が 26.5%、「どちらともいえない」が 15.1%、「やや不満」が 1.4%と続いています。

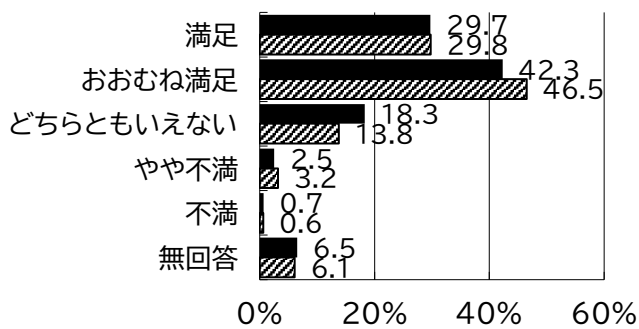
①ケアマネジャーの対応や相談



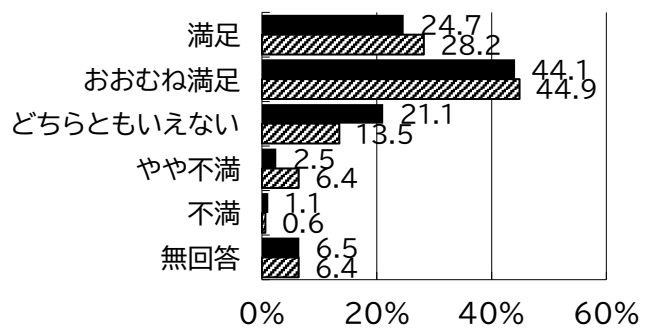
②サービスの説明



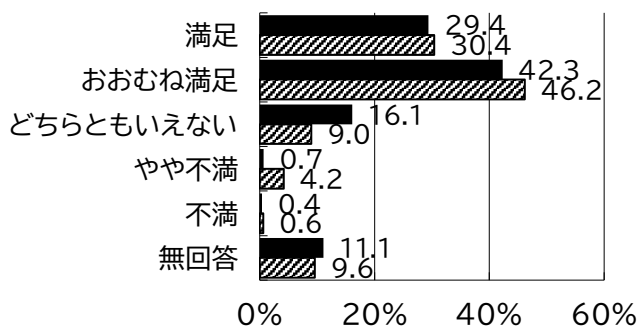
③利用できるサービスの種類



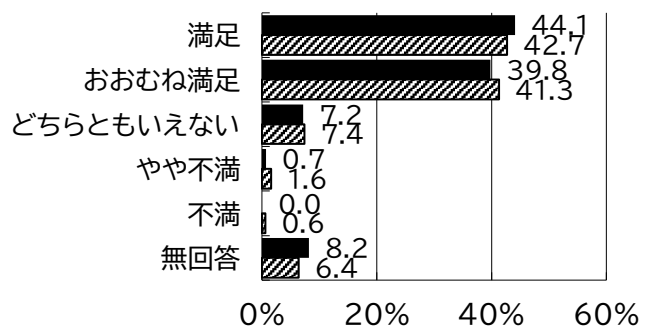
④利用できるサービスの量



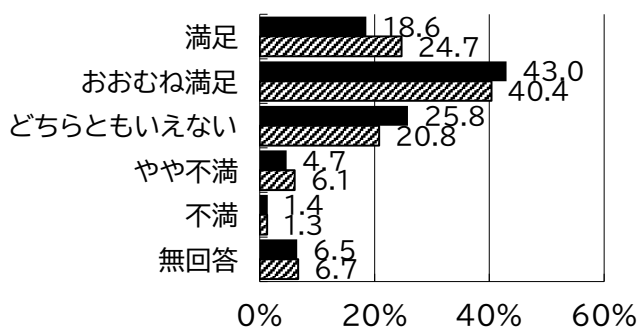
⑤介護の仕方



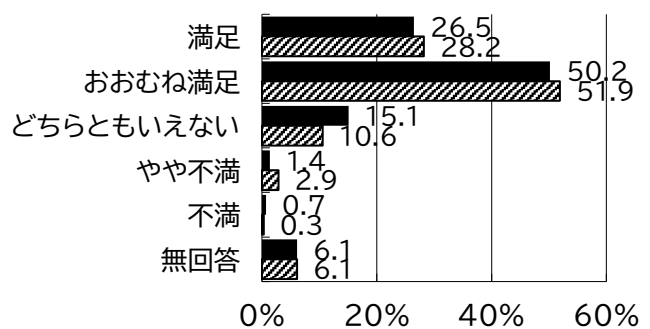
⑥介護サービス職員の対応、態度



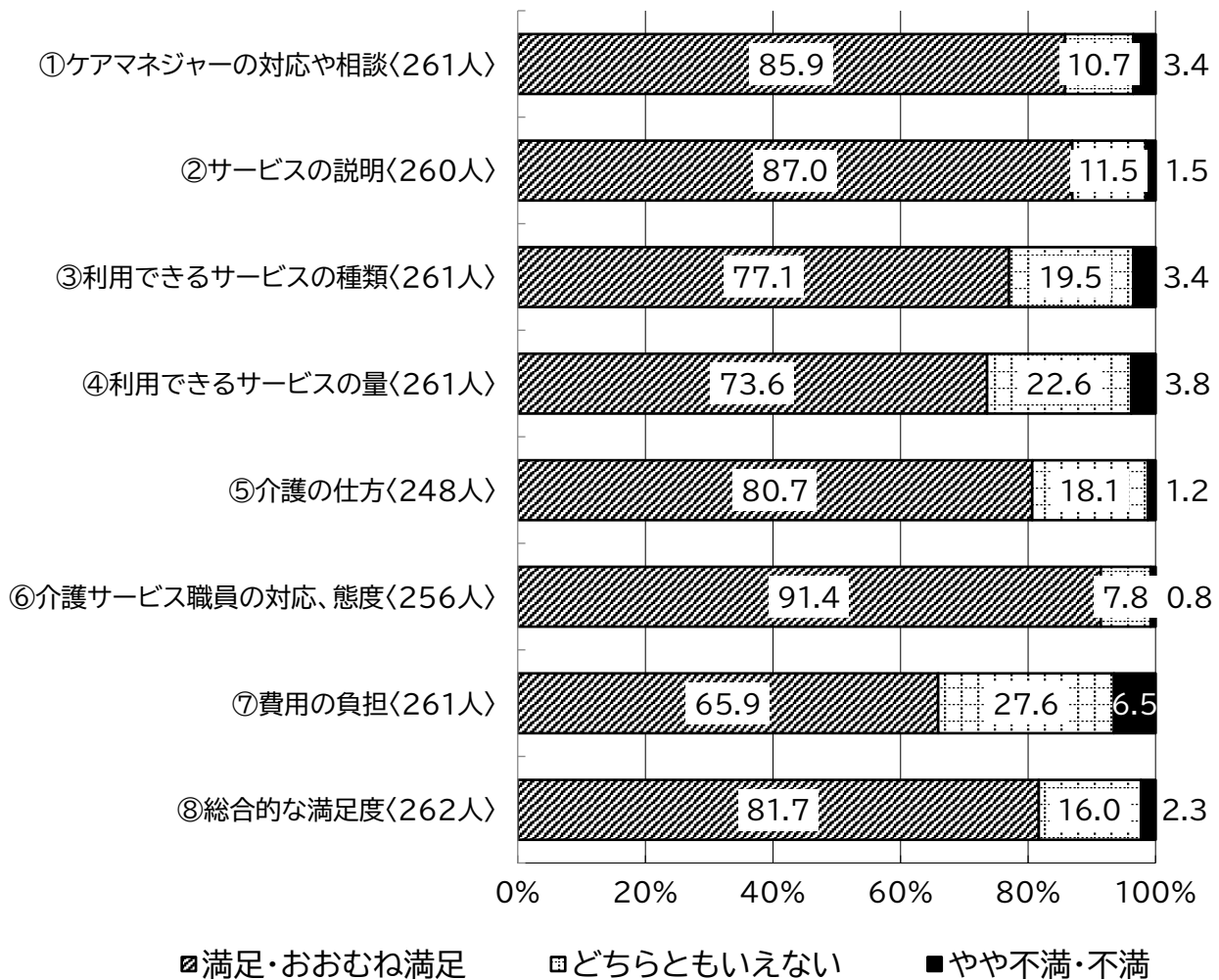
⑦費用の負担



⑧総合的な満足度



- 「満足」・「おおむね満足」と回答した満足率は、⑥介護サービス職員の対応、態度が91.4%と最も高く、次いで②サービスの説明が87.0%、①ケアマネジャーの対応や相談が85.9%と続いており、⑧総合的な満足度は81.7%となっています。

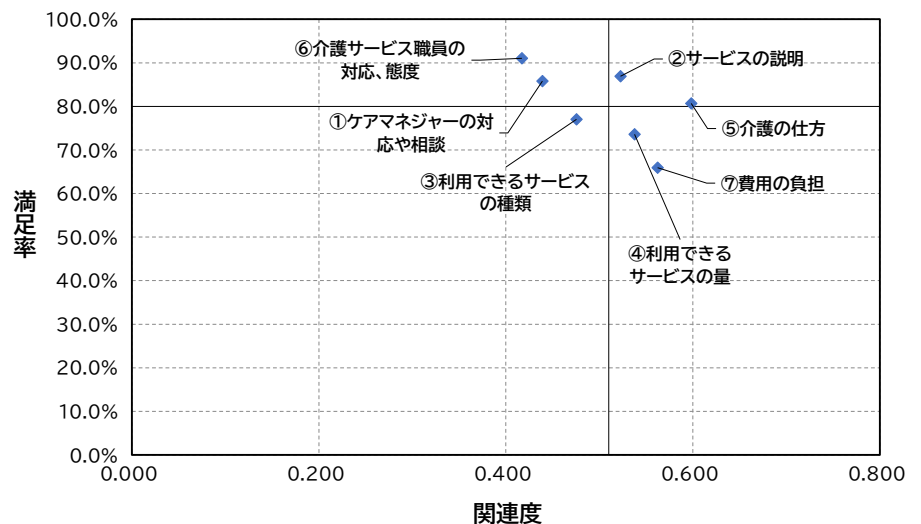


※回答者から無回答の方を除いて集計

- ①～⑦の項目について、⑧総合的な満足度との関連度は、高い順から⑤介護の仕方、⑦費用の負担、④利用できるサービス量、②サービスの説明の順となっています。

CS分析結果

項目	満足率	関連度
①ケアマネジャーの対応や相談	85.8%	0.439
②サービスの説明	86.9%	0.523
③利用できるサービスの種類	77.0%	0.475
④利用できるサービスの量	73.6%	0.538
⑤介護の仕方	80.6%	0.598
⑥介護サービス職員の対応、態度	91.1%	0.417
⑦費用の負担	65.9%	0.562
平均	80.1%	0.507



【⑧総合的な満足度 要介護度別等】

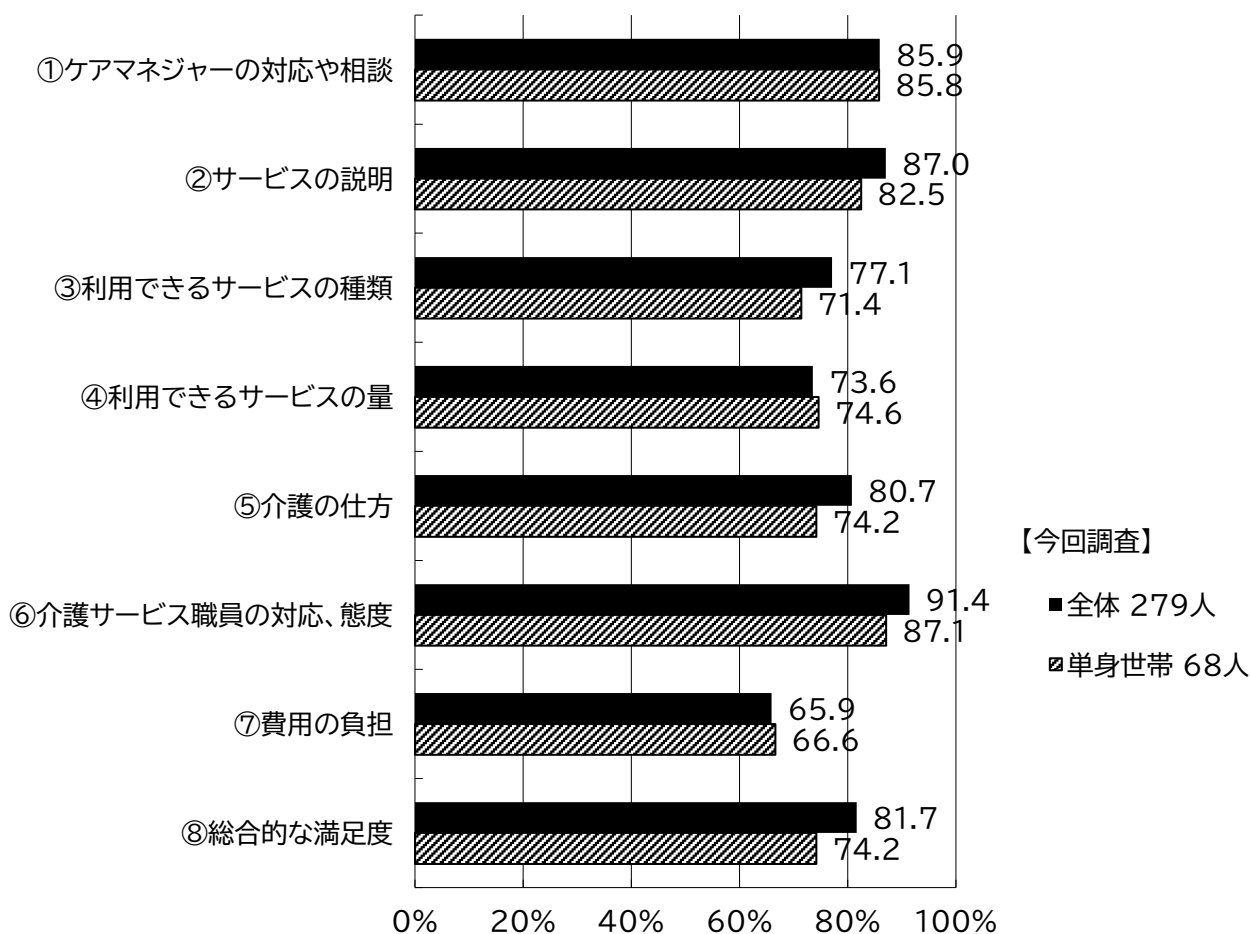
- ⑧総合的な満足度を要介護度別で見ると、要介護3～5は「満足」・「おおむね満足」と回答した満足率が 86.3%と比較的高い一方、要支援1・2は 65.5%と、満足率に差が見られます。
- 日常生活圏域別で見ると、しみず圏域は満足率が 86.4%と比較的高い一方、きよはら圏域は 67.7%と、満足率に差が見られます。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は満足率が 67.7%と比較的低くなっています。

(単位:%)

		満足	おおむね満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
全体 279人		26.5	50.2	15.1	1.4	0.7	6.1
A票-問4 要 介護度	要支援1・2 55人	20.0	45.5	14.5	3.6	0.0	16.4
	要介護1・2 149人	24.2	52.9	18.1	0.7	0.7	3.4
	要介護3～5 65人	38.5	47.8	9.2	1.5	1.5	1.5
A票-問5 日 常生活圏域	いもくぼ圏域 70人	30.0	50.0	12.9	1.4	1.4	4.3
	きよはら圏域 62人	33.8	33.9	21.0	3.2	0.0	8.1
	なんがい圏域 79人	20.3	54.3	15.2	1.3	1.3	7.6
	しみず圏域 66人	24.2	62.2	10.6	0.0	0.0	3.0
A票-問6 世帯類型	単身世帯 68人	22.1	45.6	17.6	4.4	1.5	8.8
	夫婦のみ世帯 83人	36.1	48.3	9.6	1.2	0.0	4.8
	息子・娘と同居 100人	19.0	61.0	16.0	0.0	0.0	4.0
	その他 23人	39.2	26.1	26.1	0.0	4.3	4.3

【①～⑧の各項目の「満足」・「おおむね満足」と回答した満足率 回答者全体と単身世帯の比較】

- 単身世帯の場合は、⑤介護の仕方や③利用できるサービスの種類などで満足率に全体との差が見られます。

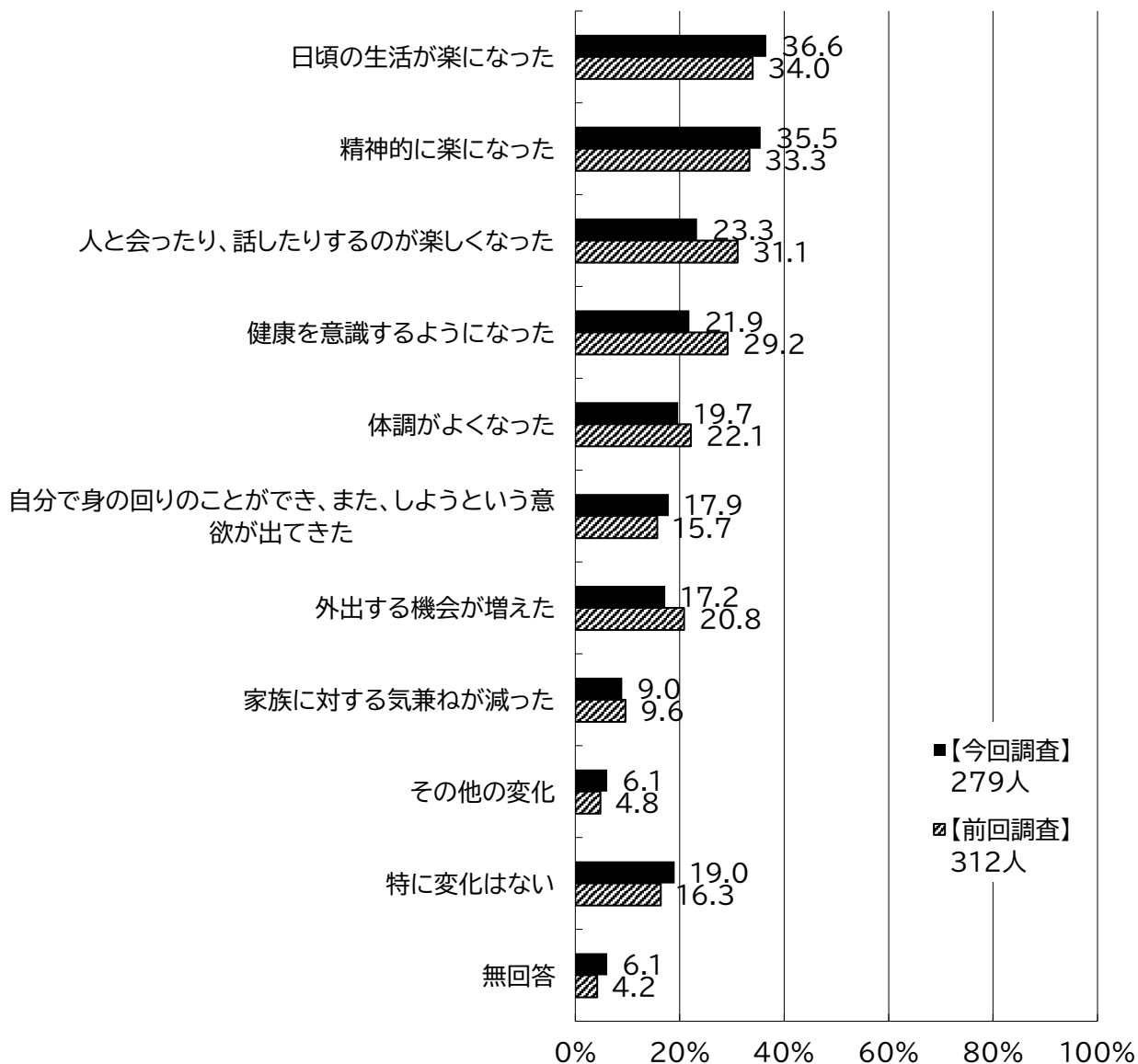


※回答者から無回答の方を除いて集計

問13【問10で「1.利用した」と回答した方にお伺いします。】

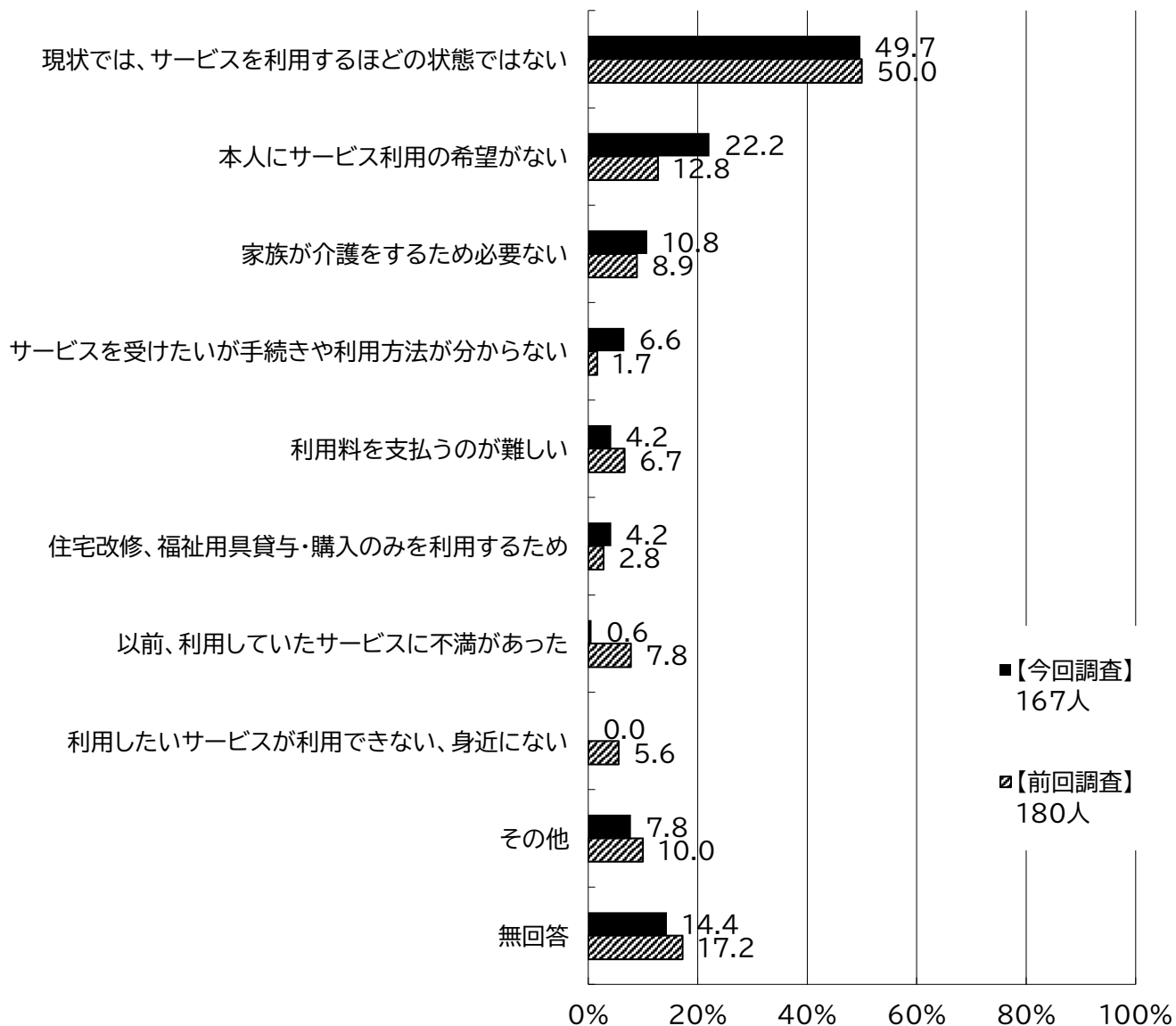
介護保険サービスを利用することで、生活に次のような変化がありましたか。(複数選択可)

- 「日頃の生活が楽になった」が 36.6%と最も高く、次いで「精神的に楽になった」が 35.5%、「人と会ったり、話したりするのが楽になった」が 23.3%、「健康を意識するようになった」が 21.9%と続いています。



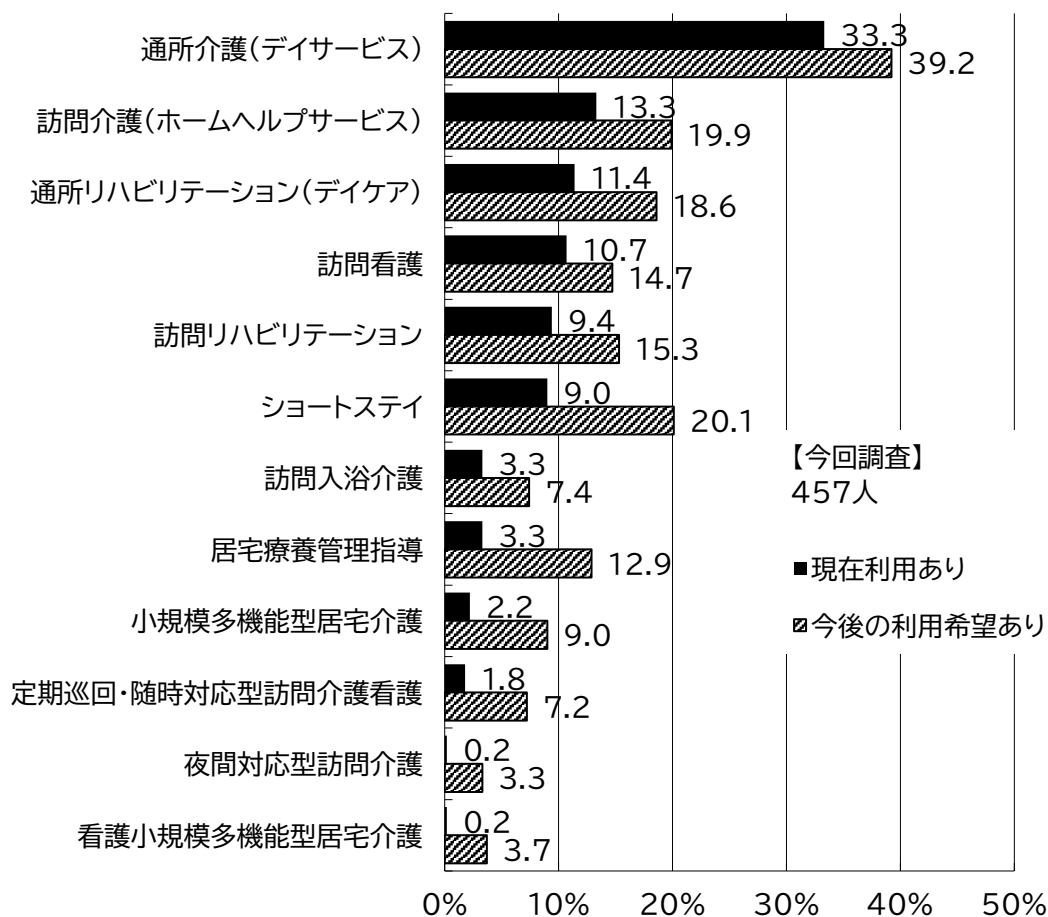
問14 【問10で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。】
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 49.7%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 22.2%、「家族が介護をするため必要ない」が 10.8%、「その他」が 7.8%と続いています。



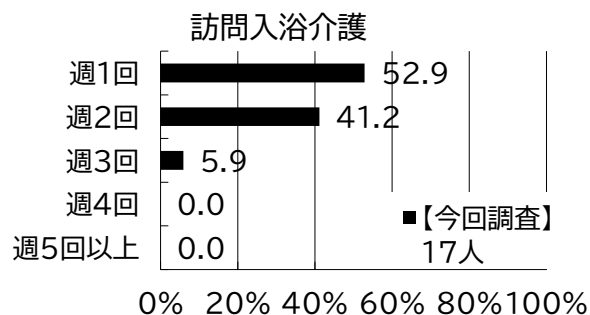
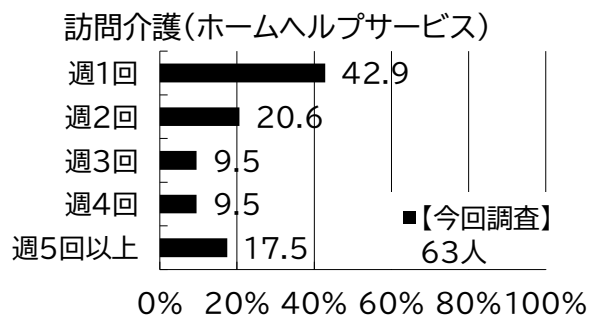
問15 介護保険サービスについて、それぞれ、令和4年11月の1か月間の利用の有無及び利用状況と、今後の利用の意向をご回答ください。(現在の利用の有無は問いません)

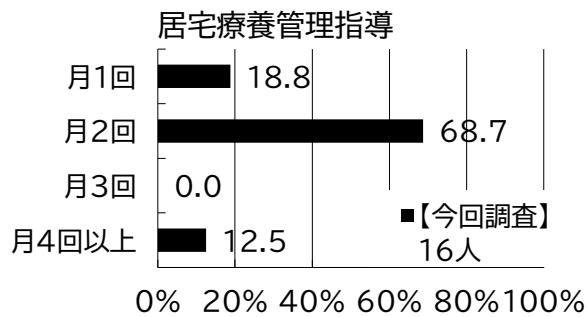
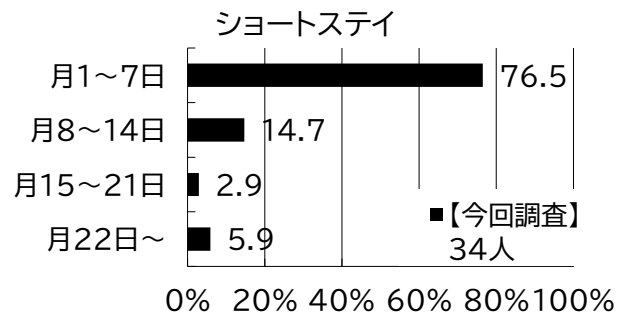
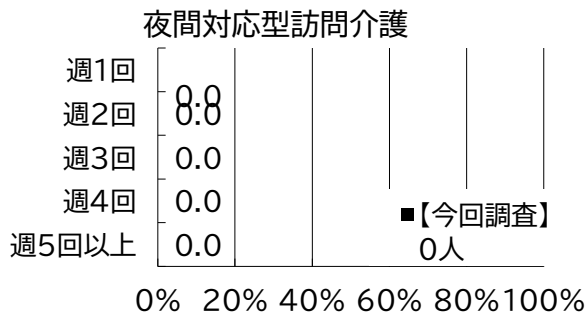
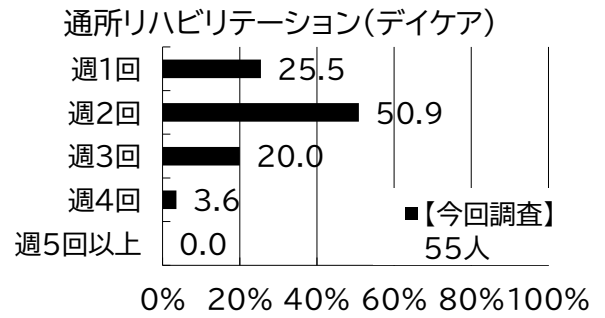
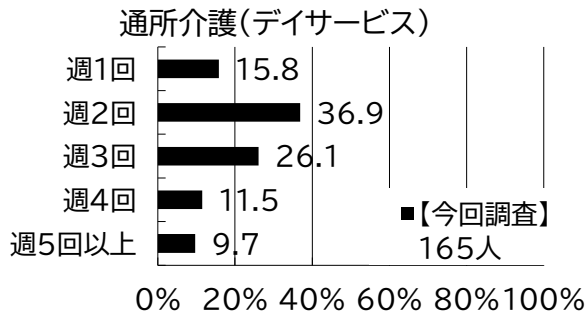
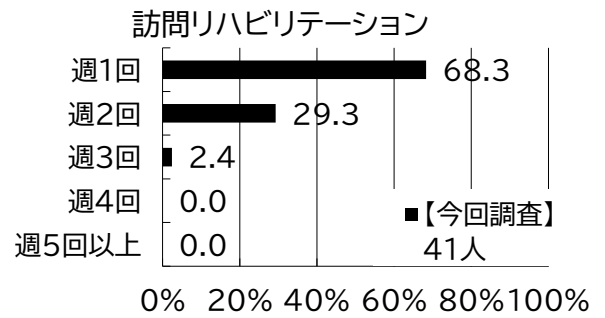
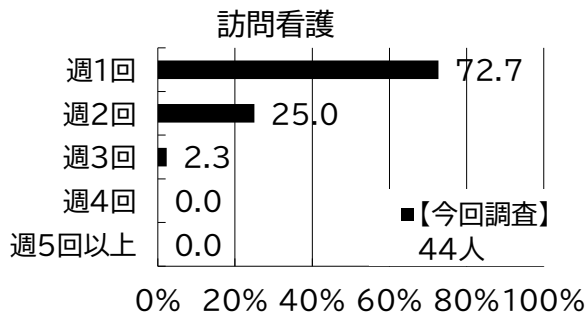
- 現在の利用率は、通所介護(デイサービス)が 33.3%と最も高く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が 13.3%、「通所リハビリテーション(デイケア)」が 11.4%と続いています。
- 今後の利用希望率は、通所介護(デイサービス)が 39.2%と最も高く、次いで「ショートステイ」が 20.1%、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が 19.9%、「通所リハビリテーション(デイケア)」が 18.6%と続いており、いずれの割合も現在の利用率を上回っています。



【利用回数・日数】

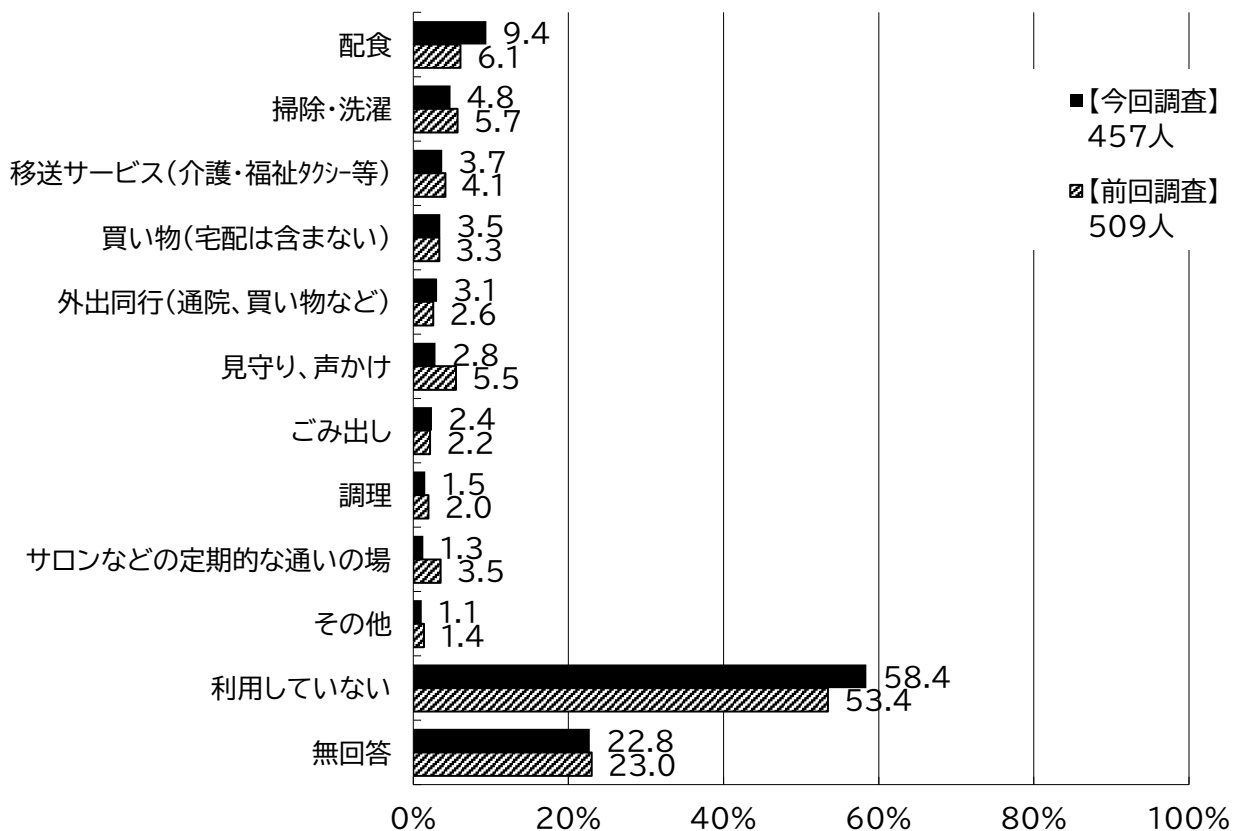
- 訪問介護(ホームヘルプサービス)や訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーションは、いずれも「週1回」が最も高くなっています。
- 通所介護(デイサービス)と通所リハビリテーション(デイケア)は、いずれも「週2回」が最も高くなっています。
- ショートステイは、「月1~7日」が 76.5%となっています。
- 居宅療養管理指導は、「月2回」が 68.7%となっています。





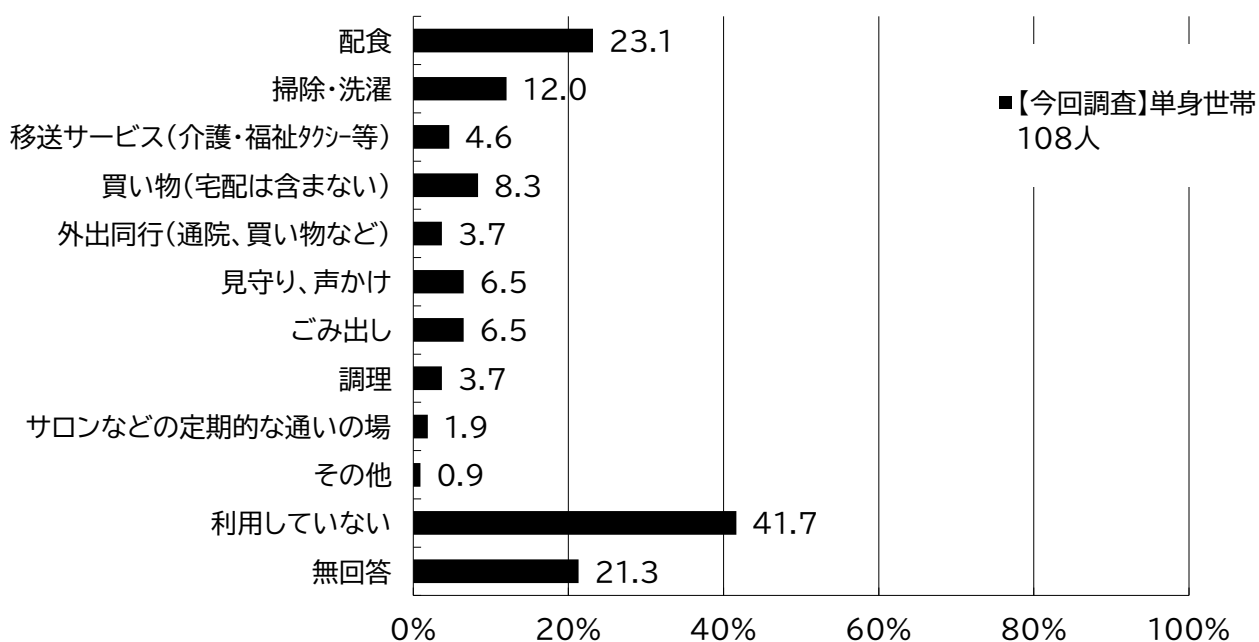
問16 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

- 「利用していない」が 58.4%と最も高く、次いで「配食」が 9.4%、「掃除・洗濯」が 4.8%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 3.7%と続いています。



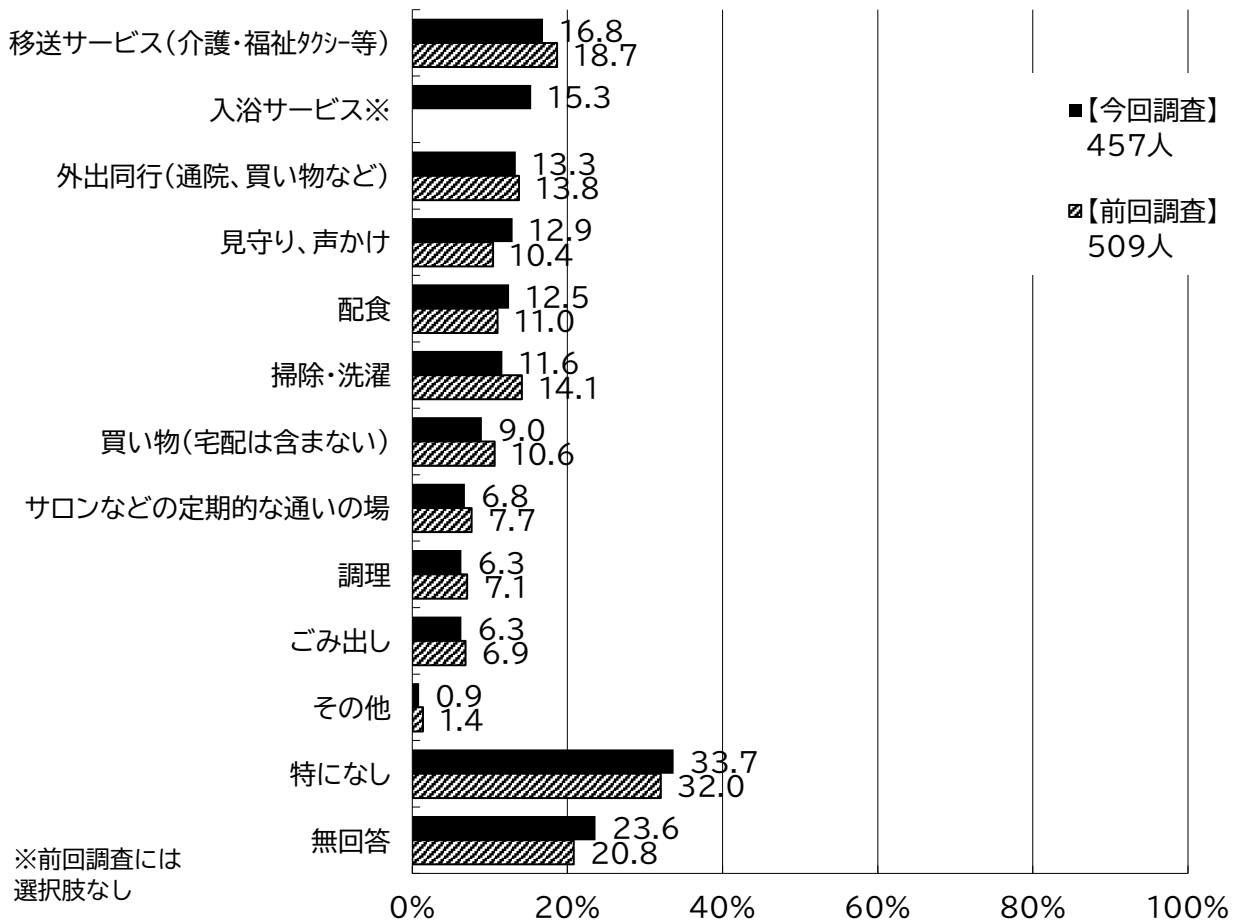
【問6 世帯類型・単身世帯】

- 単身世帯の場合は、「利用していない」が 41.7%と最も高く、次いで「配食」が 23.1%、「掃除・洗濯」が 12.0%と続いています。



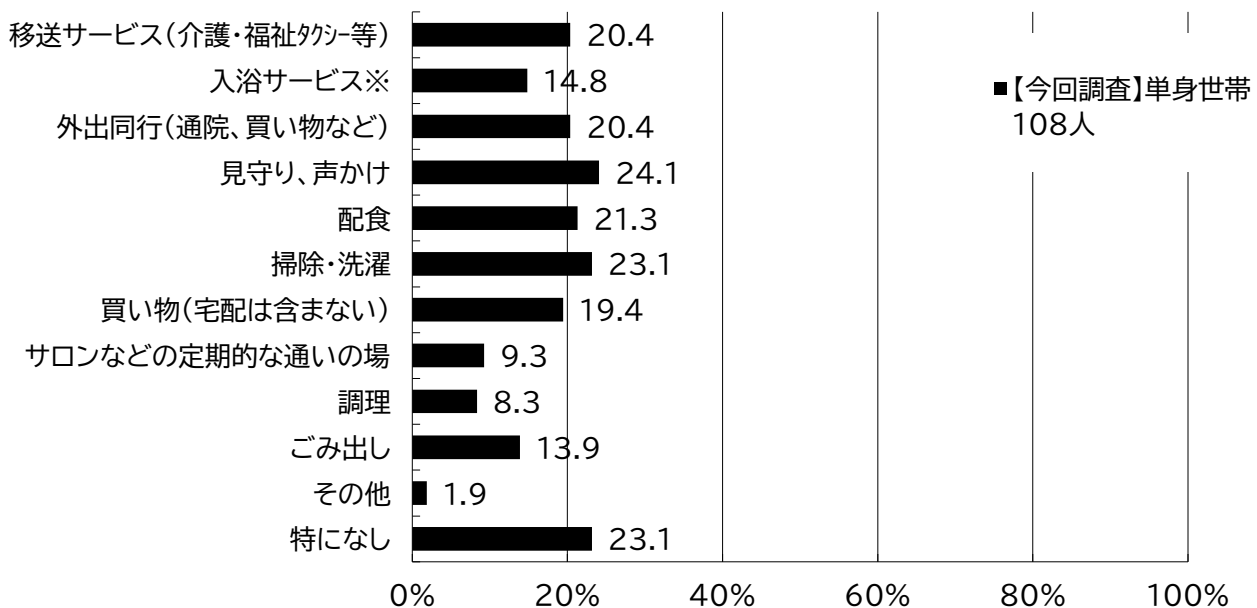
問17 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「特になし」が 33.7%と最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 16.8%、「入浴サービス」が 15.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が 13.3%と続いています。



【問6 世帯類型・単身世帯】

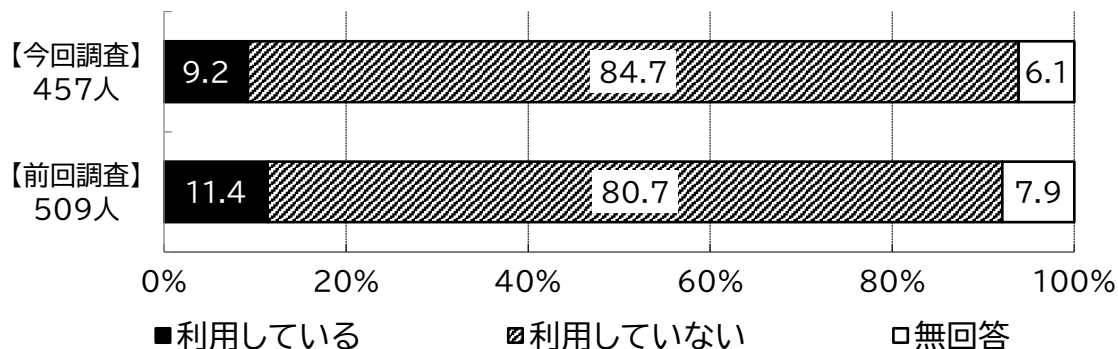
- 単身世帯の場合は、「見守り、声かけ」が 24.1%、「掃除・洗濯」が 23.1%とこれらが上位2つで、次いで「配食」が 21.3%と続いています。



3 医療の状況・今後の生活等について

問18 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- 「利用していない」が84.7%、「利用している」が9.2%となっています。



【要介護度別等】

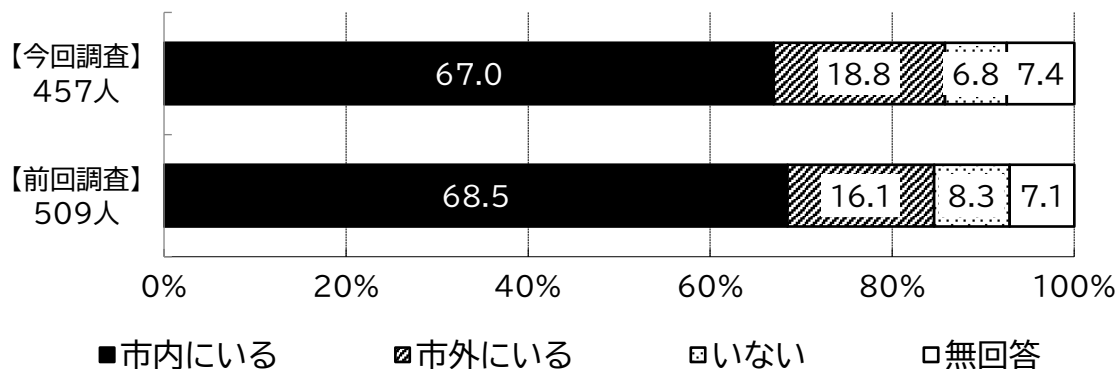
- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「利用している」が20.0%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域としみず圏域は「利用している」が10%以上となっています。
- 介護保険サービスの利用状況別で見ると、介護保険サービスを利用した場合は、訪問診療を「利用している」が12.5%となっています。

(単位:%)

		利用して いる	利用して いない	無回答
	全体 457人	9.2	84.7	6.1
A票-問4 要介護度	要支援1・2 119人	4.2	90.8	5.0
	要介護1・2 219人	8.2	85.4	6.4
	要介護3～5 85人	20.0	77.6	2.4
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 125人	10.4	84.0	5.6
	きよはら圏域 89人	6.7	86.6	6.7
	なんがい圏域 134人	7.5	87.3	5.2
	しみず圏域 102人	10.8	82.3	6.9
A票-問10 介護保険サービスの利用状況	利用した 279人	12.5	81.4	6.1
	利用していない 167人	2.4	92.2	5.4

問19 ご本人の体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」はいますか。(1つを選択)

- 「市内にいる」が67%と最も高く、次いで「市外にいる」が18.8%、「いない」が6.8%と続いています。



【日常生活圏域別等】

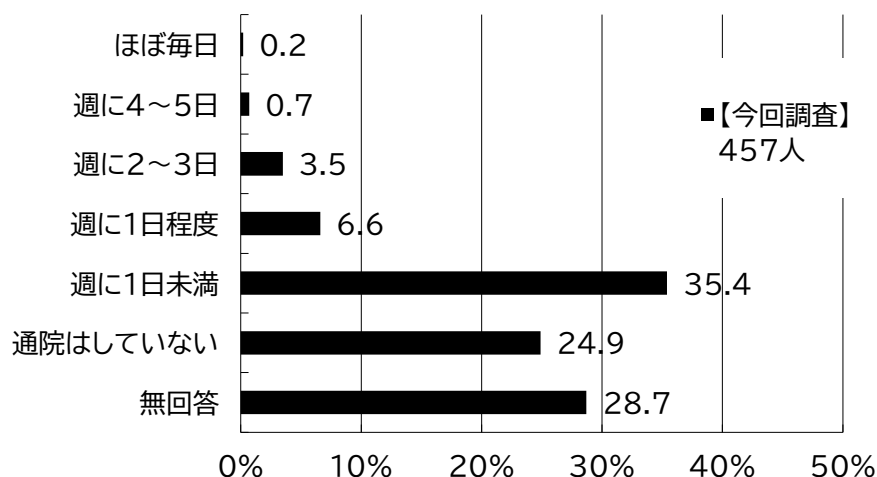
- 日常生活圏域別で見ると、なんがい圏域は「市内にいる」が73.9%と比較的高い一方、いもくぼ圏域やきよはら圏域は同回答が60%台前半となっています。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は「市内にいる」が70.3%となっています。

(単位:%)

		市内にいる	市外にいる	いない	無回答
全体 457人		67.0	18.8	6.8	7.4
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 125人	61.6	21.6	11.2	5.6
	きよはら圏域 89人	62.9	21.3	7.9	7.9
	なんがい圏域 134人	73.9	13.4	4.5	8.2
	しみず圏域 102人	69.7	19.6	2.9	7.8
A票-問6 世帯類型	単身世帯 108人	70.3	17.6	6.5	5.6
	夫婦のみ世帯 161人	63.3	22.4	6.8	7.5
	息子・娘と同居 149人	71.2	16.8	6.0	6.0

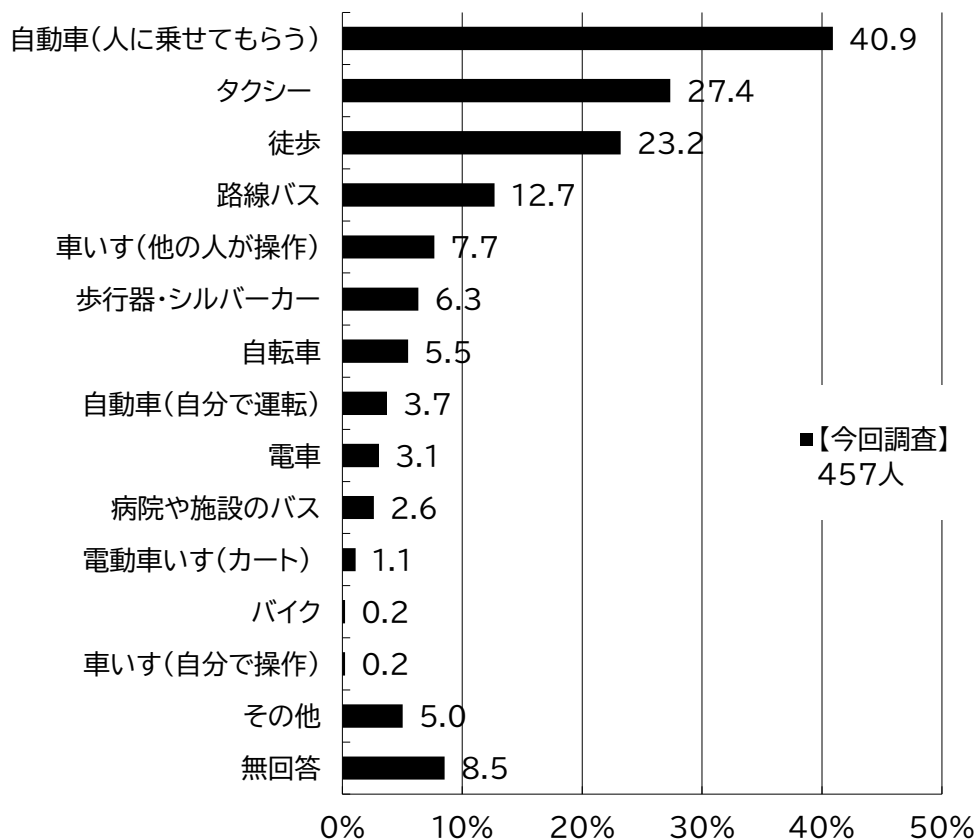
問20 ご本人は、どのくらいの頻度で通院をしていますか。(1つを選択)

- 「週に1日未満」が35.4%と最も高く、次いで「通院はしていない」が24.9%、「週に1日程度」が6.6%、「週に2~3日」が3.5%と続いています。



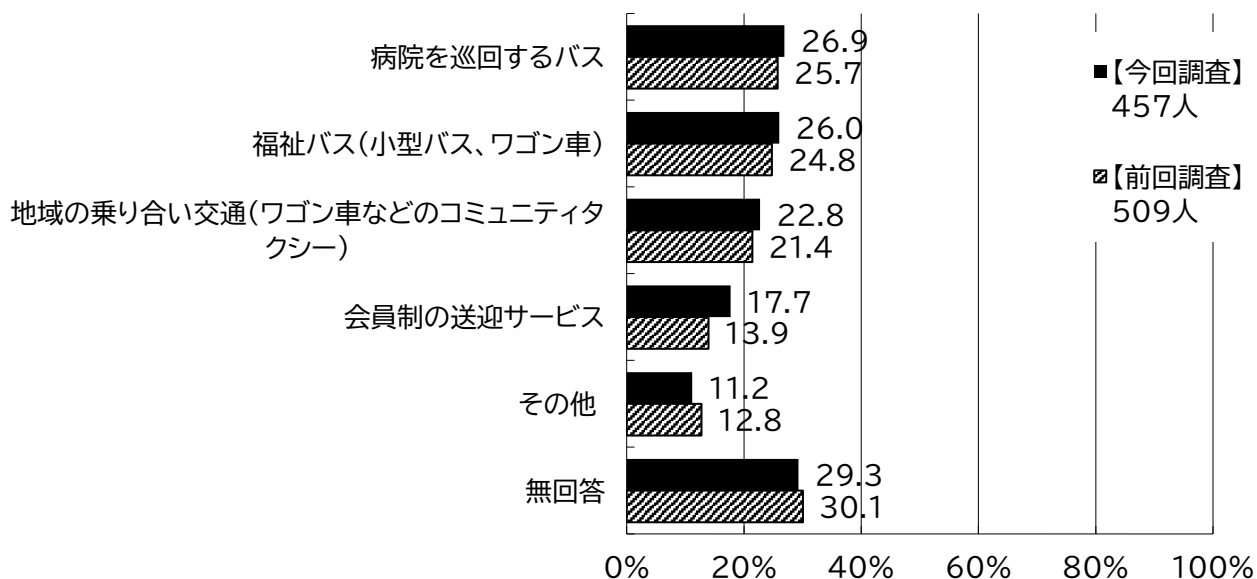
問21 ご本人が通院するときの移動手段は何ですか。(複数選択可)

- 「自動車(人に乗せてもらう)」が40.9%と最も高く、次いで「タクシー」が27.4%、「徒歩」が23.2%、「路線バス」が12.7%と続いています。



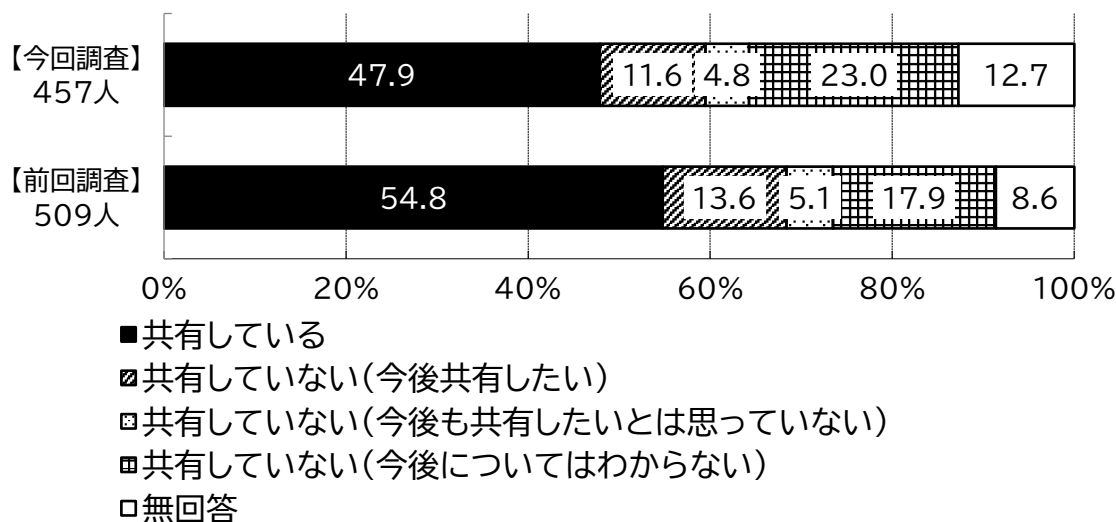
問22 今後、市内で導入されたいと思う移動手段はありますか。(複数選択可)

- 「病院を巡回するバス」が26.9%、「福祉バス(小型バス、ワゴン車)」が26.0%とこれらが上位2つで、次いで「地域の乗り合い交通(ワゴン車などのコミュニティタクシー)」が22.8%、「会員制の送迎サービス」が17.7%と続いています。



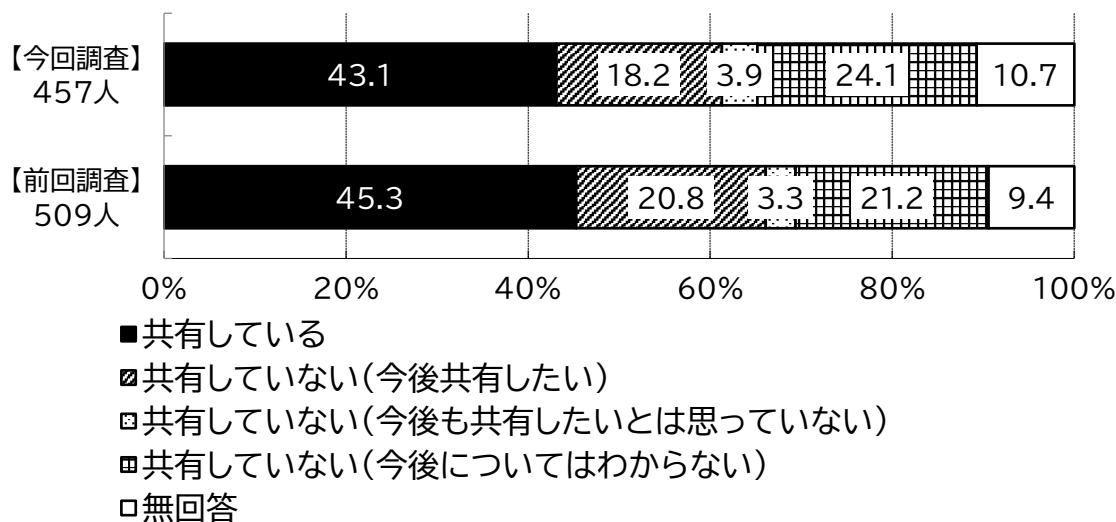
問23 ご本人は、自分が将来も大切にしたいこと等を、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 47.9%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 23.0%、「共有していない(今後共有したい)」が 11.6%、「共有していない(今後も共有したいとは思っていない)」が 4.8%と続いています。



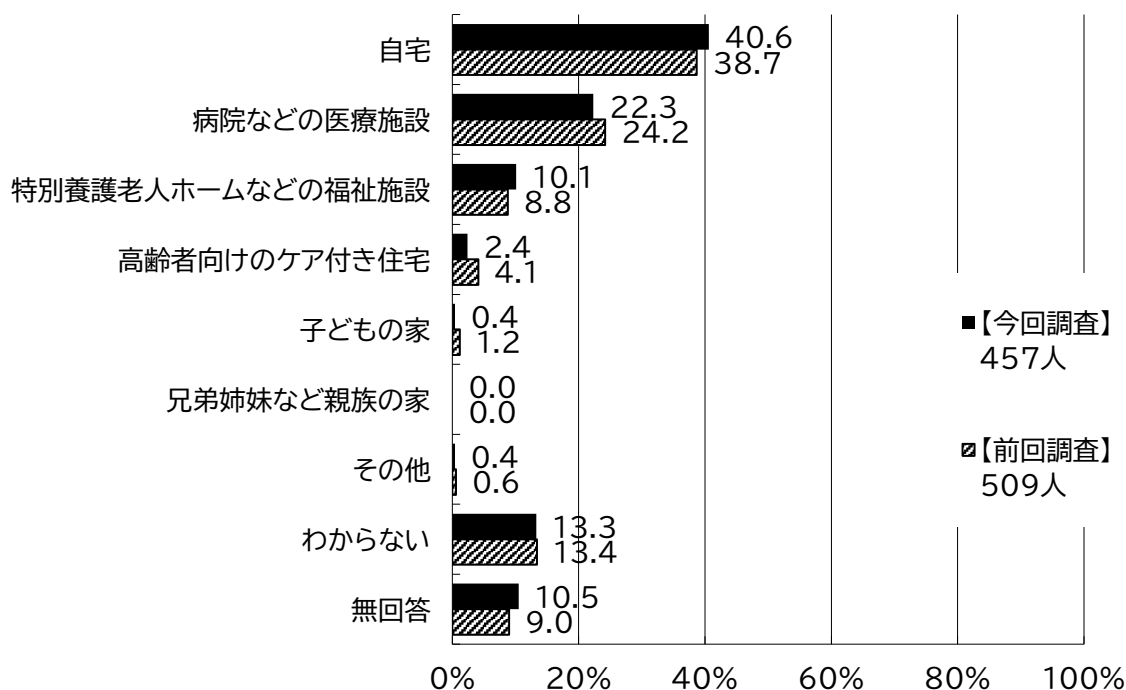
問24 ご本人は、ご自身が回復の見込みのない状態になった時に、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 43.1%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 24.1%、「共有していない(今後共有したい)」が 18.2%、「共有していない(今後も共有したいとは思っていない)」が 3.9%と続いています。



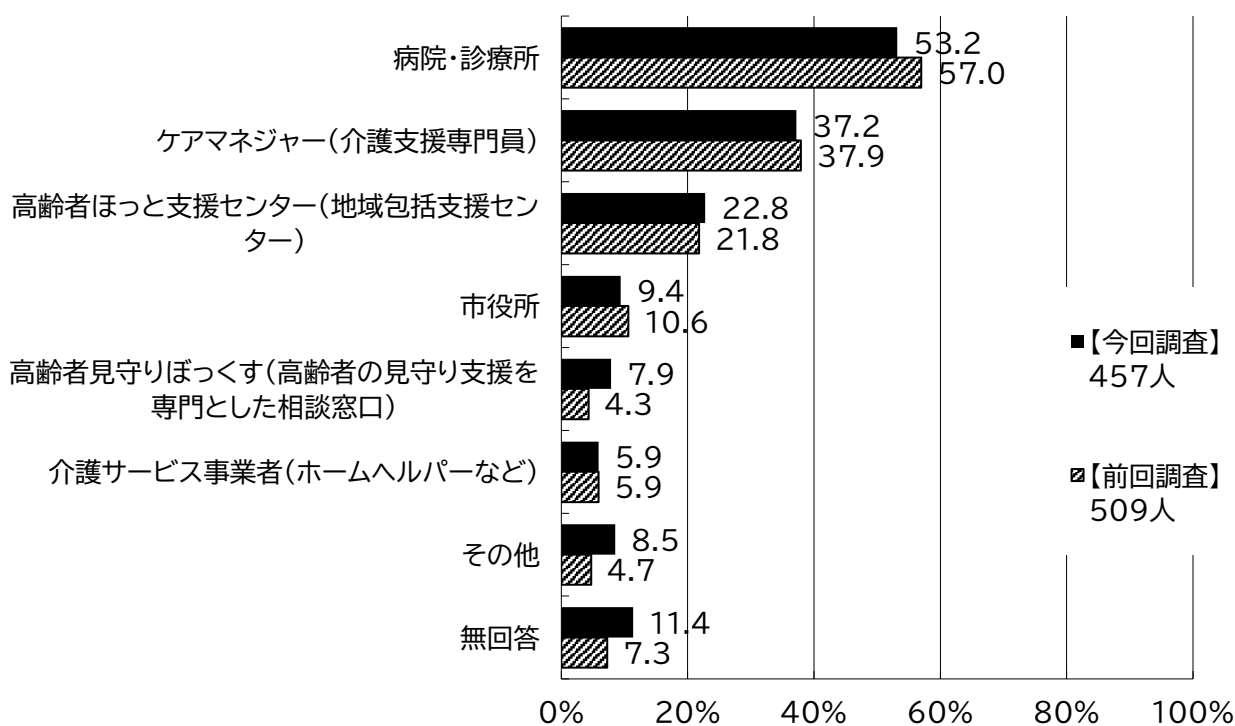
問25 万一、ご本人が回復の見込みのない病気になった場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか。(1つを選択)

- 「自宅」が40.6%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」が22.3%、「わからない」が13.3%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」が10.1%と続いています。



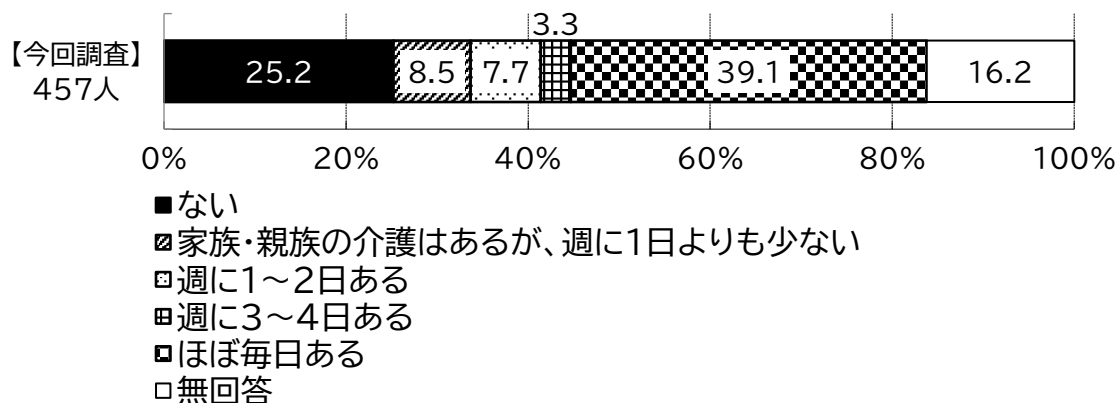
問26 ご本人は、自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこに相談すると思いますか。(複数選択可)

- 「病院・診療所」が53.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が37.2%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が22.8%、「市役所」が9.4%と続いています。



問27 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護)

- 「ほぼ毎日ある」が39.1%と最も高く、次いで「ない」が25.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が8.5%、「週に1～2日ある」が7.7%と続いています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「ほぼ毎日ある」が65.9%、要介護1・2の場合は同回答が45.6%となっています。

(単位:%)

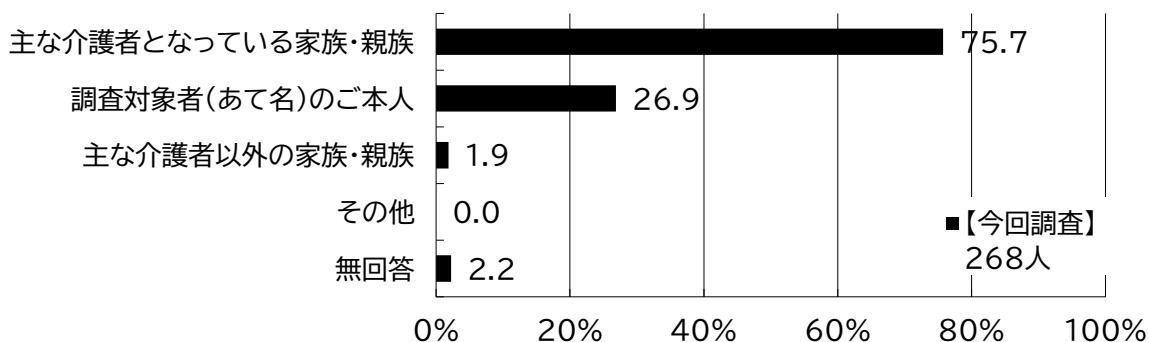
		ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
	全体 457人	25.2	8.5	7.7	3.3	39.1	16.2
A票-問4 要介護度	要支援1・2 119人	46.2	11.8	9.2	2.5	14.3	16.0
	要介護1・2 219人	18.3	8.7	6.8	5.5	45.6	15.1
	要介護3～5 85人	9.4	4.7	8.2	0.0	65.9	11.8

B 票 主な介護者について

記入者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

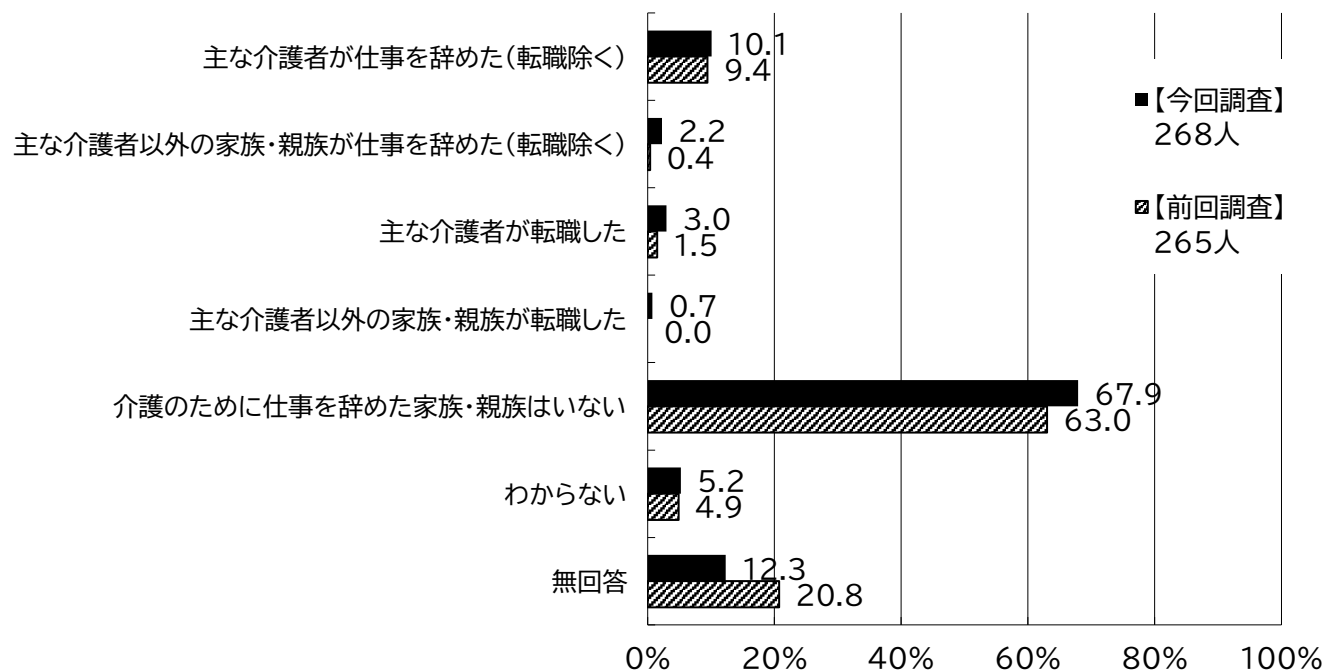
- 「主な介護者となっている家族・親族」が 75.7%と最も高く、次いで「調査対象者(あて名)のご本人」が 26.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が 1.9%と続いています。



1 主な介護者について

問2 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 67.9%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 10.1%、「わからない」が 5.2%、「主な介護者が転職した」が 3.0%と続いています。



【主な介護者の方の年齢別】

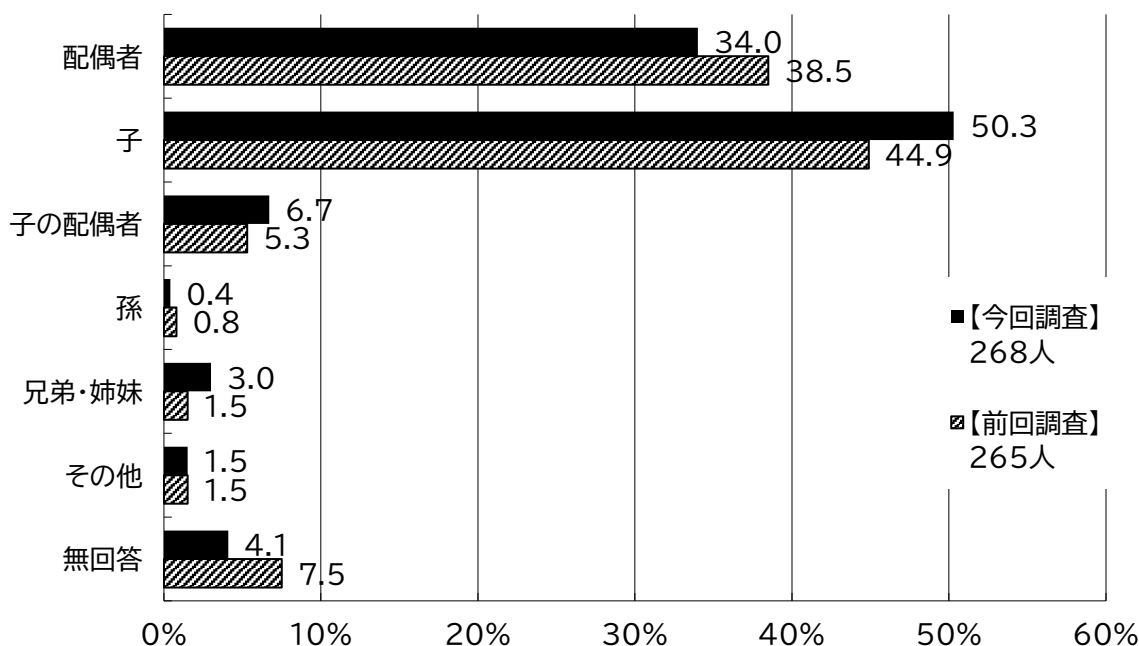
- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50 歳代の場合は「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 10.2%、60・70 歳代の場合は同回答が 13.8%となっています。

(単位:%)

		主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
	全体 268人	10.1	2.2	3.0	0.7	67.9	5.2	12.3
B票-問5 主な介護者の方の年齢	~30歳代 1人	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	40・50歳代 88人	10.2	0.0	6.8	1.1	68.2	8.0	6.8
	60・70歳代 116人	13.8	2.6	0.9	0.9	69.0	3.4	11.2
	80歳以上 54人	3.7	5.6	1.9	0.0	66.7	3.7	20.4

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- 「子」が 50.3%と最も高く、次いで「配偶者」が 34.0%、「子の配偶者」が 6.7%、「兄弟・姉妹」が 3.0%と続いています。



【世帯類型別】

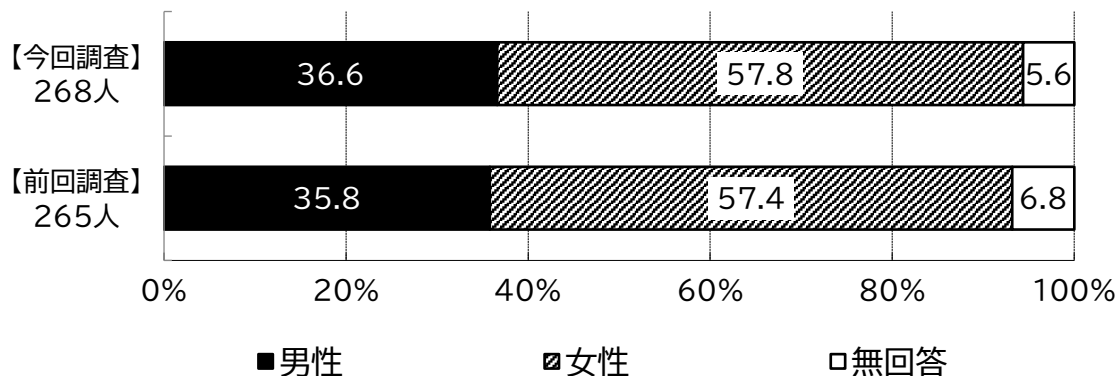
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は「子」が 74.2%と最も高く、夫婦のみ世帯の場合は「配偶者」が 87.2%と最も高くなっています。

(単位:%)

		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
	全体 268人	34.0	50.3	6.7	0.4	3.0	1.5	4.1
B票-問6 世帯類型	単身世帯 58人	1.7	74.2	5.2	1.7	6.9	3.4	6.9
	夫婦のみ世帯 78人	87.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1
	息子・娘と同居 109人	12.8	71.7	12.8	0.0	0.9	0.0	1.8

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- 「女性」が57.8%、「男性」が36.6%となっています。



【主な介護者の方の年齢別】

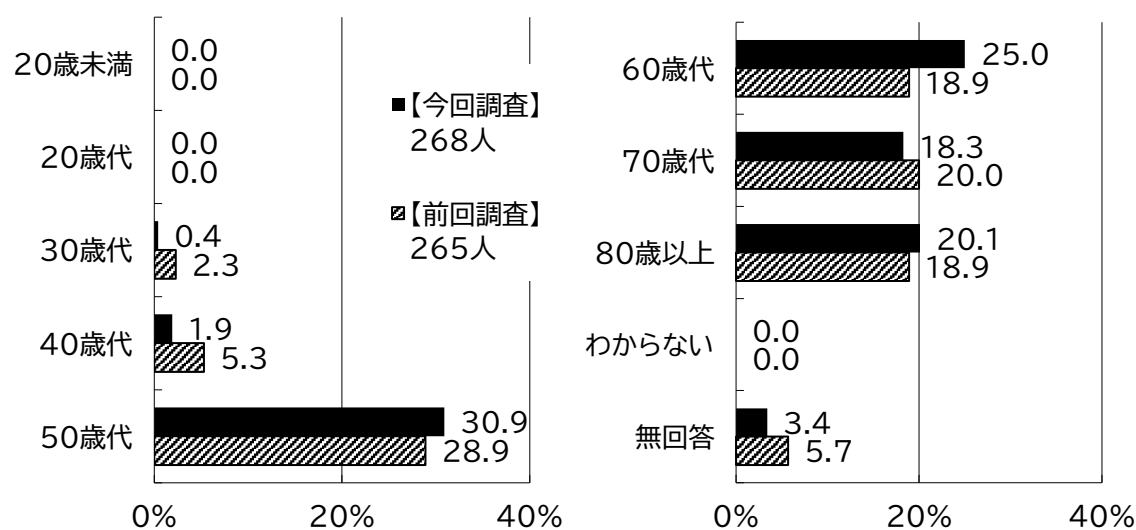
- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50 歳代の場合は「女性」が 59.1%、60・70 歳代の場合は同回答が 65.6%となっており、80 歳以上の場合は「男性」が 55.5%となっています。

(単位:%)

		男性	女性	無回答
	全体 268 人	36.6	57.8	5.6
B票-問5 主な介護者 の方の年齢	~30 歳代 1 人	0.0	100.0	0.0
	40・50 歳代 88 人	35.2	59.1	5.7
	60・70 歳代 116 人	31.0	65.6	3.4
	80 歳以上 54 人	55.5	42.6	1.9

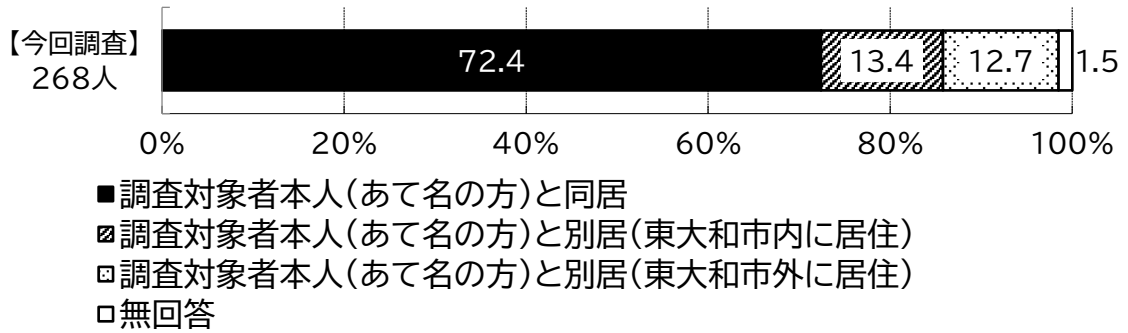
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 「50 歳代」が 30.9%と最も高く、次いで「60 歳代」が 25.0%、「80 歳以上」が 20.1%、「70 歳代」が 18.3%と続いています。



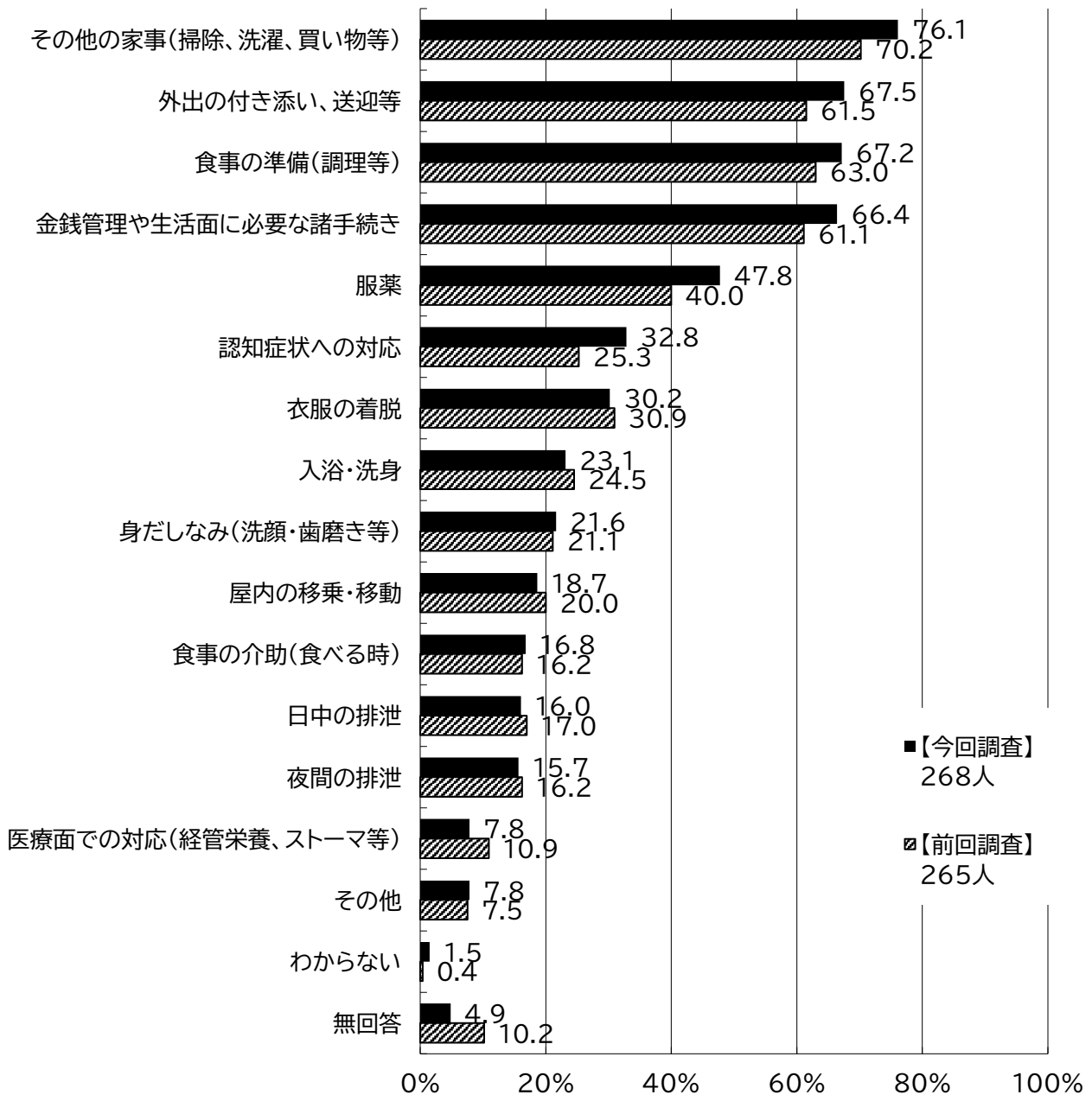
問6 主な介護者の方はどちらにお住まいですか(1つを選択)

- 「調査対象者本人(あて名の方)と同居」が 72.4%と最も高く、次いで「調査対象者本人(あて名の方)と別居(東大和市内に居住)」が 13.4%、「調査対象者本人(あて名の方)と別居(東大和市外に居住)」が 12.7%と続いています。



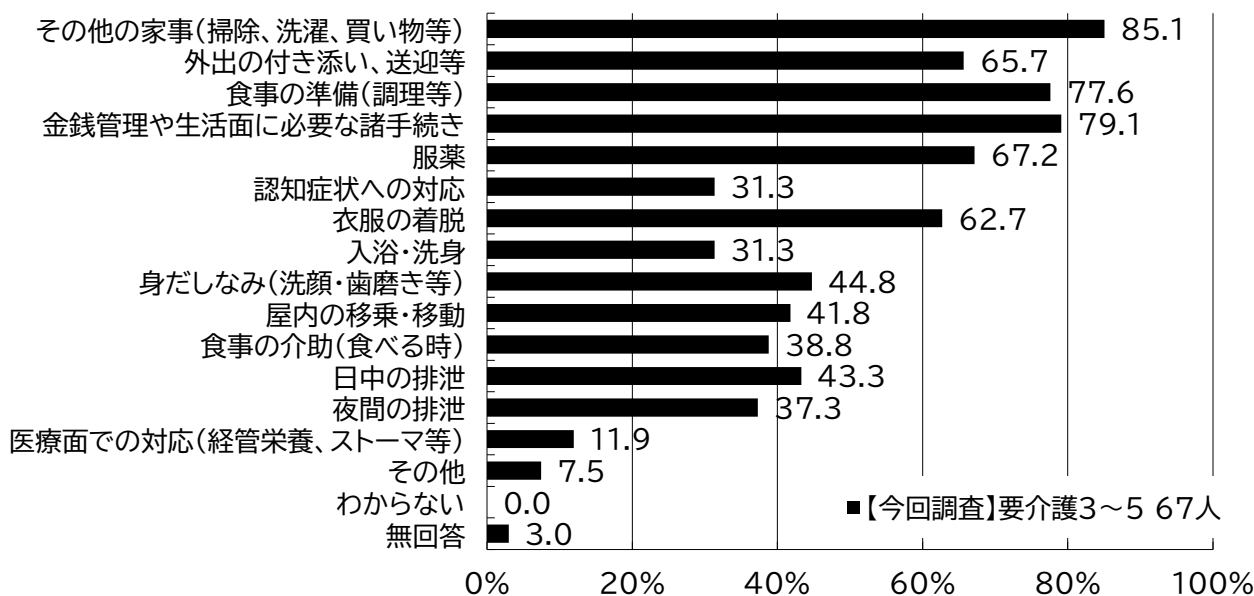
問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 76.1%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 67.5%、「食事の準備(調理等)」が 67.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 66.4%と続いています。



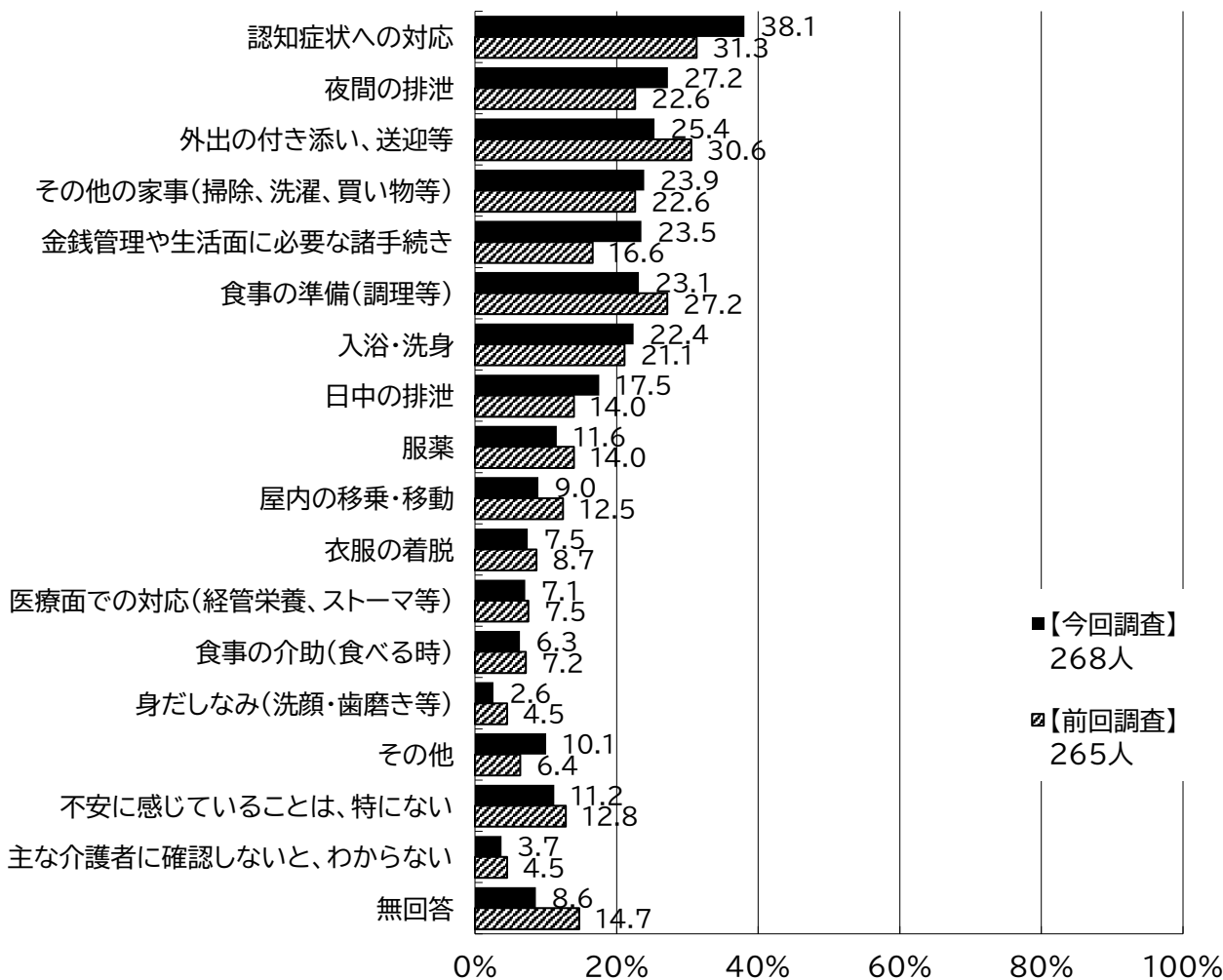
【A票-問4 要介護3～5】

- 要介護3～5の場合は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が85.1%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.1%、「食事の準備(調理等)」が77.6%と続いています。



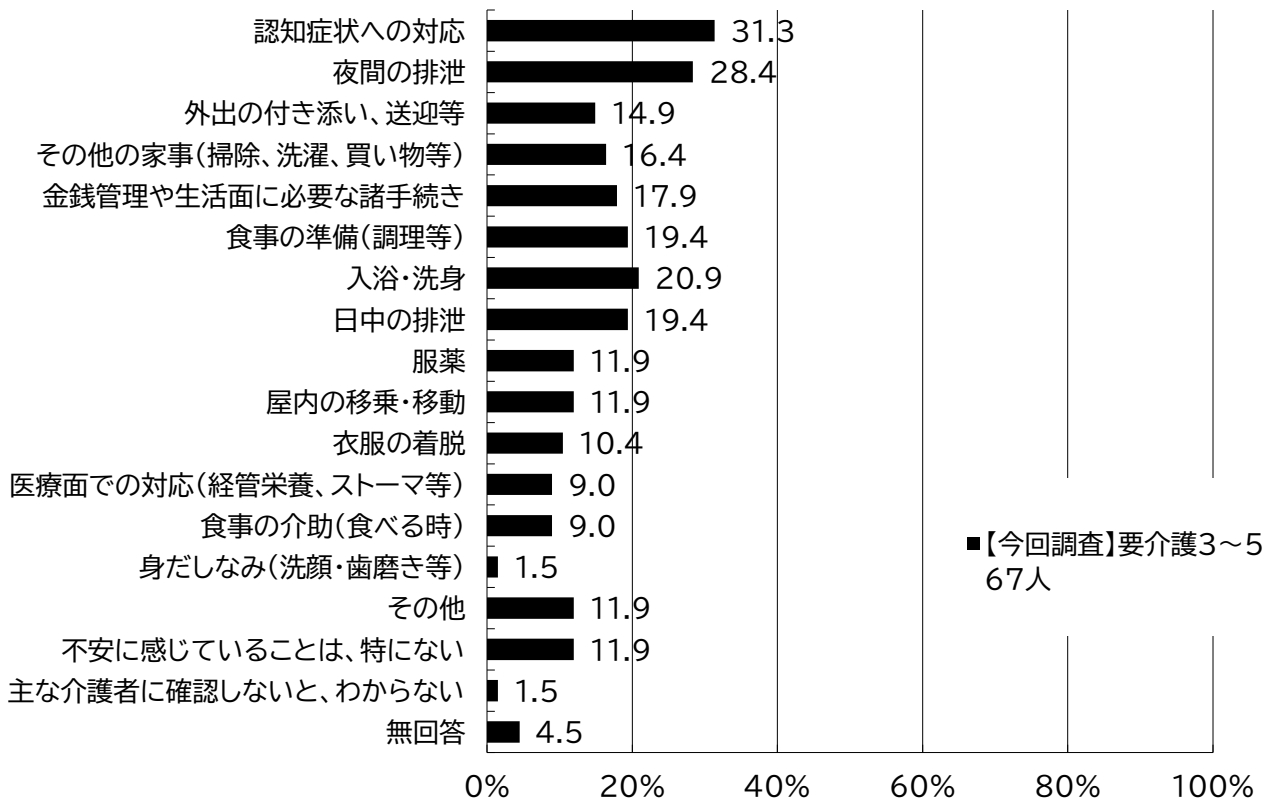
問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

- 「認知症状への対応」が38.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が27.2%、「外出の付き添い、送迎等」が25.4%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が23.9%と続いています。



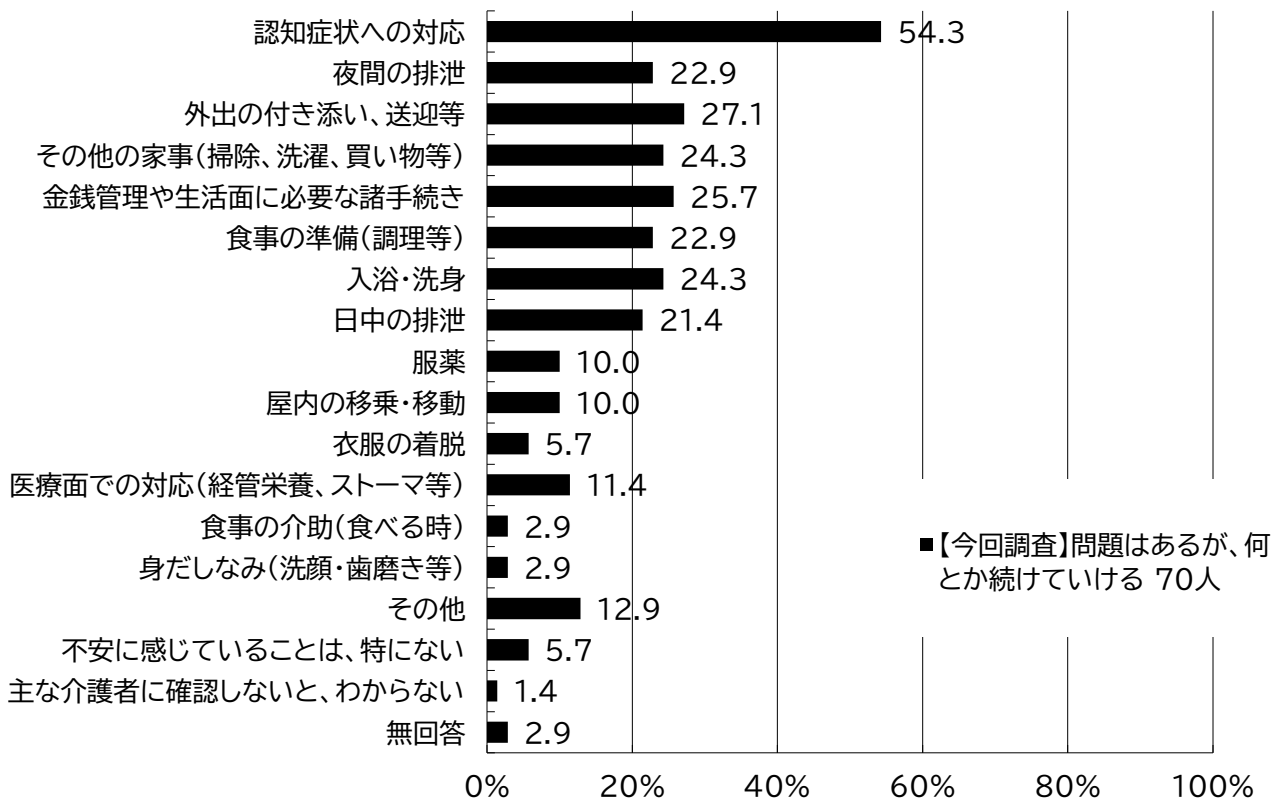
【A票-問4 要介護3～5】

- 要介護3～5の場合は、「認知症状への対応」が 31.3%、「夜間の排泄」が 28.4%とこれらが上位2つで、次いで「入浴・洗身」が 20.9%と続いています。



【B票-問12 今後の介護の意向・「問題はあるが、何とか続けていける」】

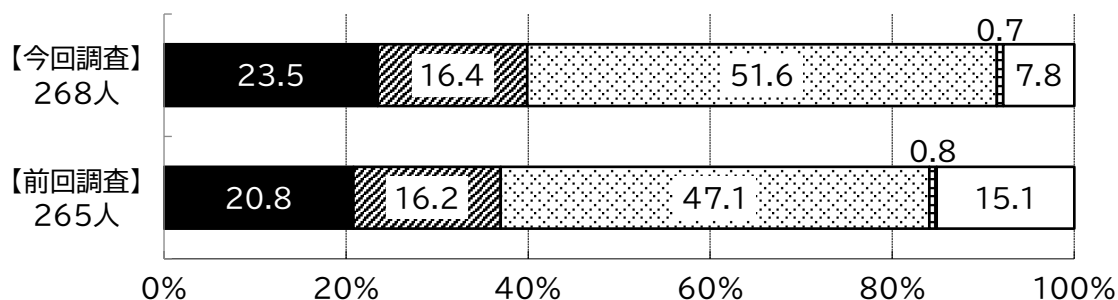
- 主な介護者が今後の介護について「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した場合は、「認知症状への対応」が 54.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 27.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 25.7%と続いています。



2 主な介護者の就労の状況と今後の意向について

問9 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「働いていない」が51.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が23.5%、「パートタイムで働いている」が16.4%と続いています。



- フルタイムで働いている
- ▨パートタイムで働いている
- ▨働いていない
- ▨主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

【主な介護者の方の年齢別】

- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50歳代の場合は「フルタイムで働いている」が45.5%と最も高くなっています。

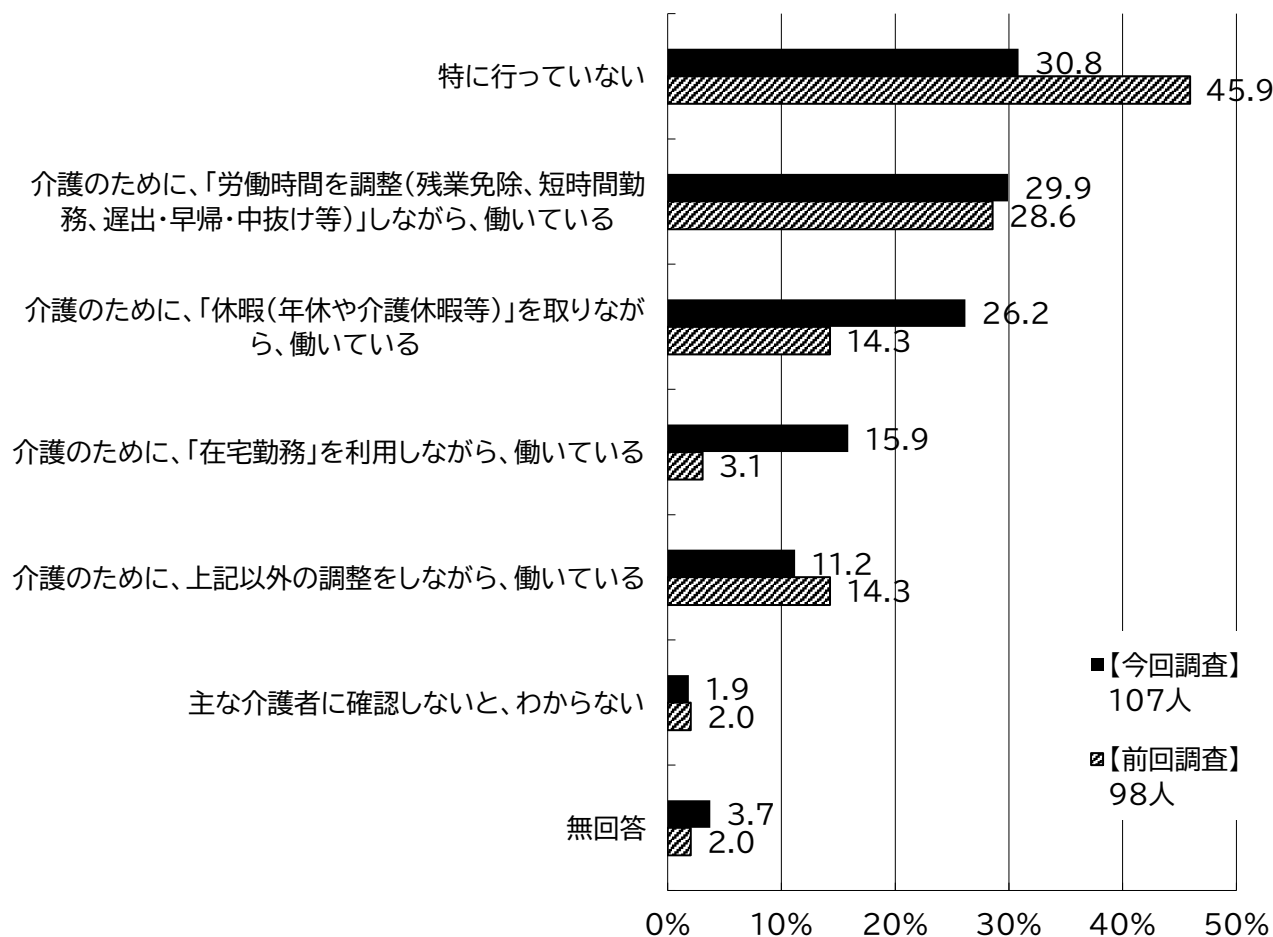
(単位:%)

		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
	全体 268人	23.5	16.4	51.6	0.7	7.8
B票-問5 主な介護者 の方の年齢	～30歳代 1人	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40・50歳代 88人	45.5	18.2	28.4	1.1	6.8
	60・70歳代 116人	13.8	20.7	59.5	0.0	6.0
	80歳以上 54人	11.1	1.9	77.7	0.0	9.3

問10【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

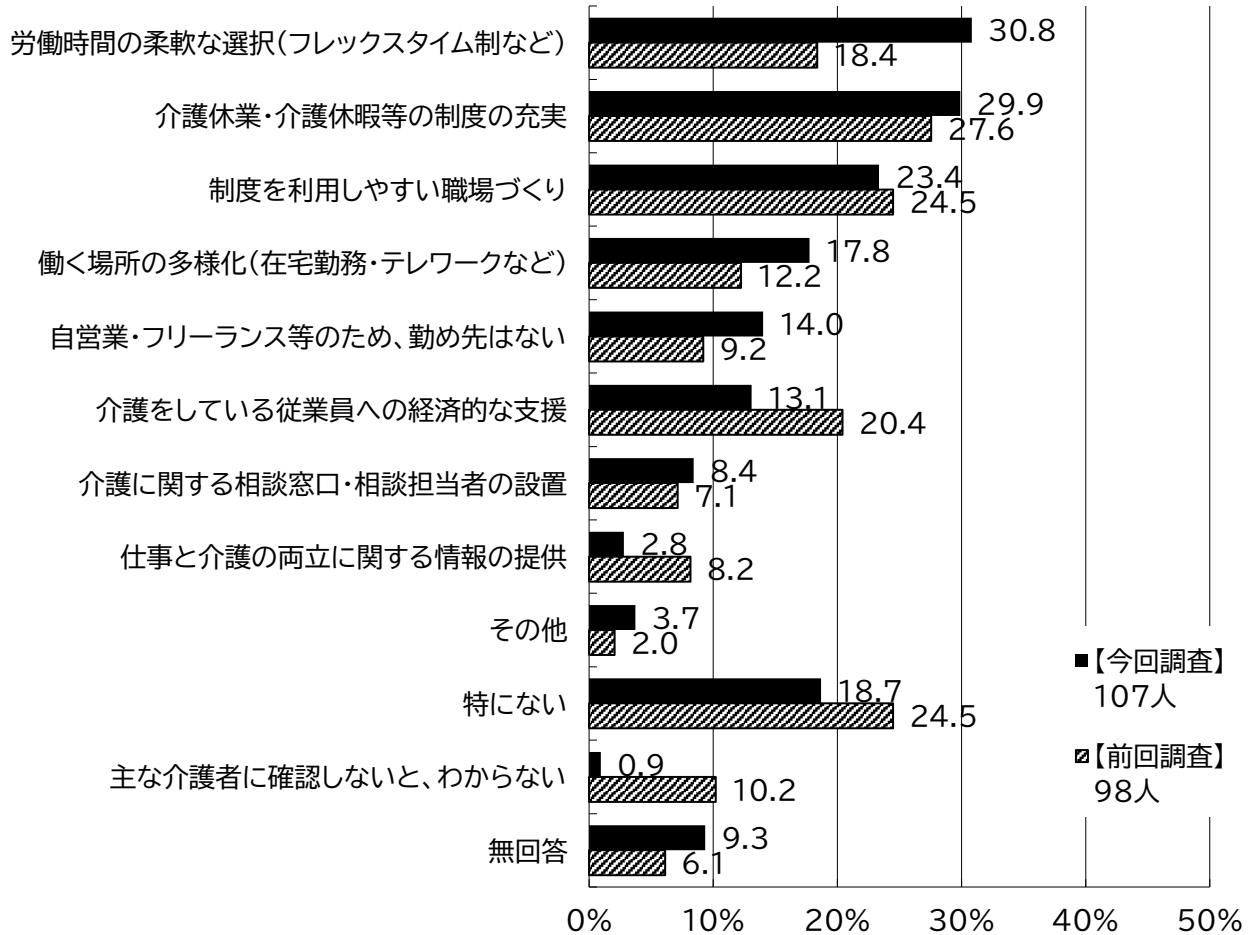
- 「特に行っていない」が 30.8%、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 29.9%とこれらが上位2つで、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 26.2%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が 15.9%と続いています。



問11 【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

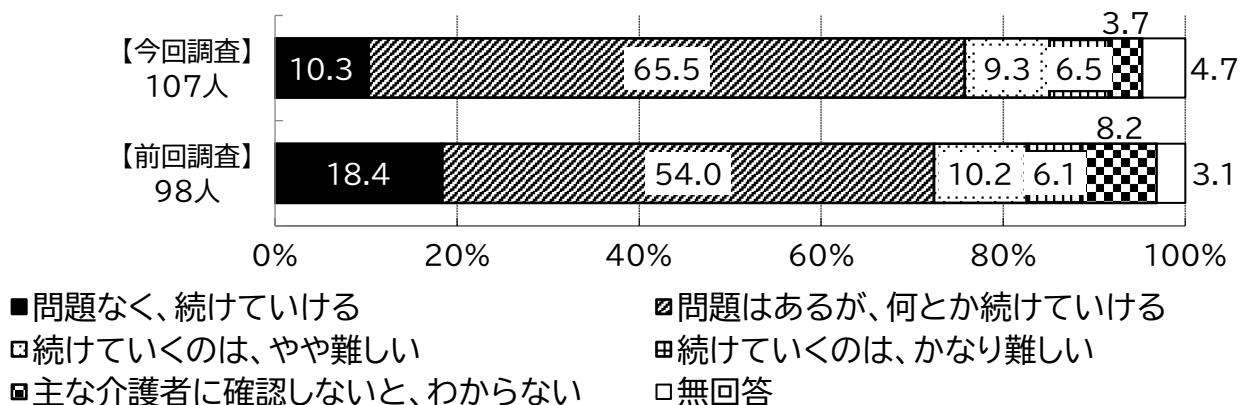
- 「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が30.8%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.9%とこれらが上位2つで、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が23.4%、「特にない」が18.7%と続いています。



問12 【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が65.5%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が10.3%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.5%と続いています。



自由回答

(回答数が多いため、意見を要約し件数をカウント)

意見要旨	件数
自身や家族の身上(要介護になった時期、現在の生活場所、誰が介護をしているか、現在は介護は必要ないことなど)に関する意見	22件
家族や自身の介護について、将来への不安(介護度が上がった場合や認知症が進んだ場合にどこに相談したらよいか、急にショートステイが必要になった場合、コロナなどで介護者が入院等することになった場合への不安、経済的な面での不安、老々介護のため不安など)	21件
介護と仕事の両立の大変さ(介護と仕事の両立は無理、通院に付き添いたい日中休むことが厳しいなど)	6件
何とか介護を頑張っている	6件
本アンケート調査の感想(調査への感謝、設問が複雑で回答しづらい、調査の回答期限が短い、12月以外の月に実施してほしい)	6件
介護タクシーの利用に対する援助を希望(福祉タクシー・介護タクシーは高額すぎる、介護と医療の両方が必要で、おむつの費用もかかる状況で、通院や転院の際の移動などに介護保険が使えないのは腑に落ちない)	6件
介護者への経済的な支援を希望(もっと通所サービスを増やしたいが、本人の年金が少ないため利用日数を増やせないなど)	3件
安心して入所できるようにしてほしい(年金生活者が入所できるよう国や市がもっと施設への援助をしてほしい)	3件
認知症についてアドバイスをもらえる場所を知りたい等(認知症の対応に苦労、情報が手に入りづらい)	2件
介護は家族のみでの対応は不可能(仕事の有無は関係ないなど)	2件
障がいのある家族が要介護者をみている場合の相談場所や制度を希望(障がい福祉と介護保険が連携する機関があればよい)	2件
独居における不安(見守りは外からだけでなく週に何回か声かけをしてほしい、ひとりで生活ができなくなった場合の相談支援の充実を希望)	2件
市民にとって必要な予算を確保(市民に温かい市政、市の重点問題として介護に投資していくべき)	2件
清水地区に窓口対応ができる公共施設(健康関係や防災関係など)があればよい	1件
成年後見制度の利用を検討中	1件
介護サービス(ケアマネジャーやヘルパーの対応)の時間とケアのやり方の格差が大きい	1件
ケアマネジャーを決める際の基準となるものが無く、どう決めればよいかわからなかった	1件
ケアマネジャーの対応にものすごく不満があるが別の方に変えづらい	1件
介護事業者の変更の方法がわからない(市役所で相談窓口かコールセンターを設置してほしい)	1件
ケアマネジャーが月1回訪問して下さるので心強い	1件
本人が入浴や通院、デイサービスや訪問看護さんも拒否でお手上げ	1件
本人が介護サービスを受入れない場合の介護者へのケアや対策を考えてほしい	1件
介護サービスを受けるための手続きに時間と手間がかかりすぎる	1件
少しでも身体がよくなり、自立できるよう願っている	1件
認知症は初期の徘徊の状態が続いていた時が一番辛く、苦しい時期(怪我、事故、行方不明となる事が心配)	1件
認知症の診断を拒否する場合のサポート(説明とかではなく、訪問や同行など)が受けられると助かる	1件
寝たきりでなくとも、シートやパットなど多くを必要とするので、何割か負担金を払い必要な商品を選べるシステムにできないか	1件
高齢者ほっと支援センターしみずにいろいろな事を聞いてみたい	1件
全介助での入浴ではなく、手助けしてもらいながら安心して入浴したい	1件
働きたいが年齢や、介護によるブランクが長く面接に行っても不採用が続く自分の今後不安	1件

意見要旨	件数
介護サービスをお願いしたいが、ヘルパーなどの人手不足でできない	1件
夜間の服薬確認をしてもらえるヘルパーが全く居ないので困っている(夜間にヘルパーをお願いしたいという需要は多いと思うので、今後市として検討してほしい)	1件
要介護1でデイサービスに週3回通うと、ショートステイを利用したくてもできない(要介護2の場合ぐらいの利用枠がほしい)	1件
デイサービスの時間が短い(9:00~16:30を希望)	1件
病院の時間外診療、移動のサービスの充実を希望	1件
どこの病院でも退院直後のケアが充実できるようにしてほしい(突然介護をすることになって一番困ったのは、家族が市内の病院に入院し退院した時に、病院からは何の助けもなく退院した時で、家の中でどうやって生活したら良いのか等、全く家族としてはわからなかった)	1件
高齢者でも楽しくできるスポーツグループがあるといい(脳トレやクイズ大会など)	1件
入院することなく暮らしたい	1件
健康寿命を長く維持するための市民がもっと自分の健康維持に積極的参加する政策」を市の政策の中心に据えてほしい	1件
一人ひとりに応じたきめこまかな対応ができるような体制づくりを希望	1件
高齢者福祉計画は円滑に実施されるのか疑問	1件
誰もが支え合える地域なり社会なりがいずれ確立することを希望	1件

第5章

事業者に対する調査

集計結果

【調査の対象者】

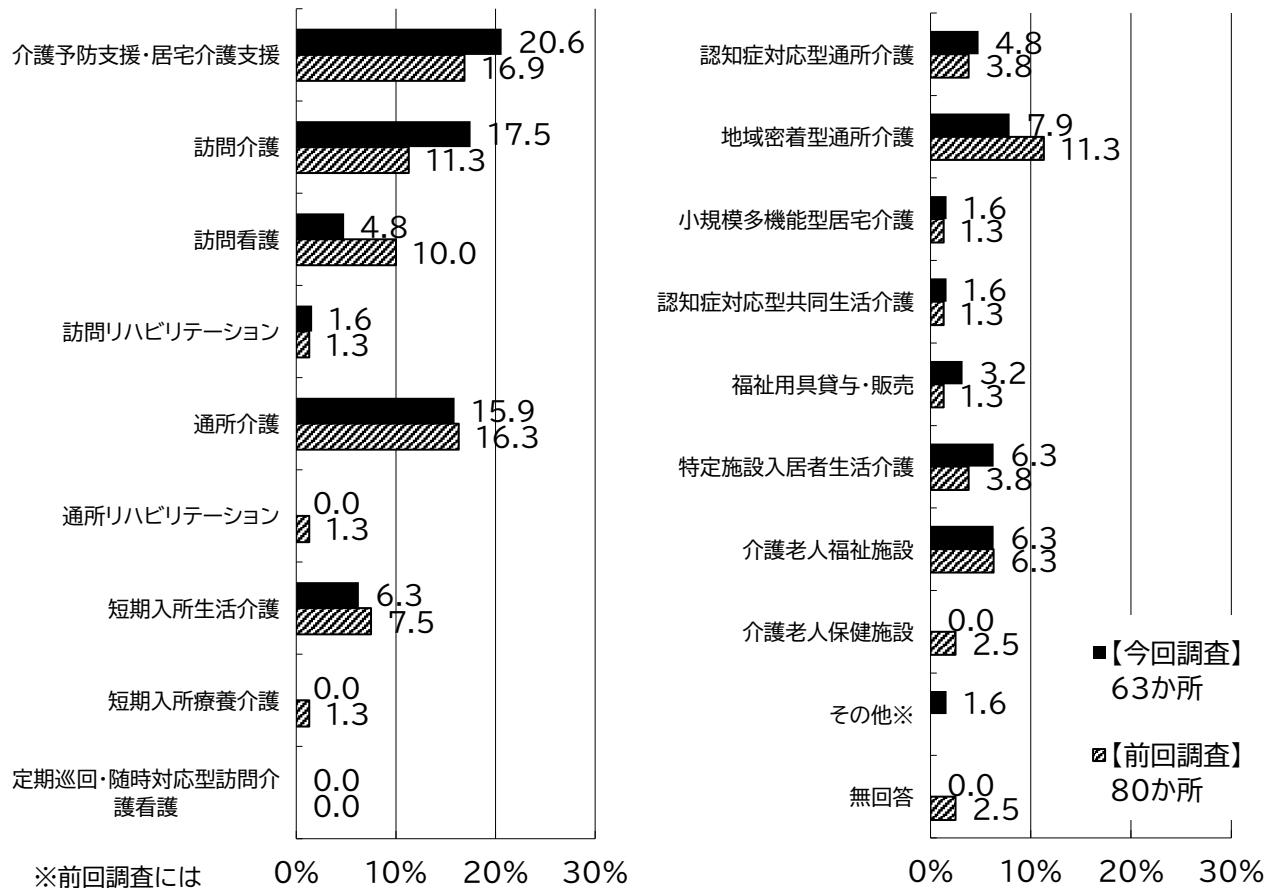
東大和市内で介護保険事業を実施している事業所

1 事業所について

問1 貴事業所名をご記入ください。

問2 貴事業所のサービス種別は、どちらですか。(○は1つ)

- 「介護予防支援・居宅介護支援」が 20.6%、「訪問介護」が 17.5%とこれらが上位2つで、次いで「通所介護」が 15.9%、「地域密着型通所介護」が 7.9%と続いています。



問3 貴事業所の「介護職員」の数(令和4年12月1日時点)をご記入ください。

- 正規職員(男女計)の年齢構成は、「50 歳代」が 30.8%と最も高く、次いで「40 歳代」が 25.3%、「20 歳代」が 19.5%と続いています。
- 非正規職員(男女計)の年齢構成は、「60 歳代」が 27.8%と最も高く、次いで「50 歳代」が 22.0%、「40 歳代」が 18.8%、「70 歳以上」が 14.0%と続いています。

【正規職員(男性)】

カテゴリー名	人数	%
20 歳未満	0	0.0
20 歳代	28	19.2
30 歳代	31	21.2
40 歳代	42	28.8
50 歳代	39	26.7
60 歳代	5	3.4
70 歳以上	1	0.7
年齢不明	0	0.0

【正規職員(女性)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	46	19.7
30歳代	38	16.2
40歳代	54	23.1
50歳代	78	33.3
60歳代	18	7.7
70歳以上	0	0.0
年齢不明	0	0.0

【正規職員(男女計)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	74	19.5
30歳代	69	18.2
40歳代	96	25.3
50歳代	117	30.8
60歳代	23	6.1
70歳以上	1	0.3
年齢不明	0	0.0

【非正規職員(男性)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0%
20歳代	5	12.2%
30歳代	9	22.0%
40歳代	8	19.5%
50歳代	4	9.8%
60歳代	9	22.0%
70歳以上	6	14.6%
年齢不明	0	0.0%

【非正規職員(女性)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	3	0.7%
20歳代	18	4.3%
30歳代	46	10.9%
40歳代	79	18.7%
50歳代	98	23.2%
60歳代	120	28.4%
70歳以上	59	13.9%
年齢不明	0	0.0%

【非正規職員(男女計)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	3	0.6%
20歳代	23	5.0%
30歳代	55	11.9%
40歳代	87	18.8%
50歳代	102	22.0%
60歳代	129	27.8%
70歳以上	65	14.0%
年齢不明	0	0.0%

問3-1 問3でご記入いただいた「介護職員」における資格取得者(研修修了者)の数をご記入ください。

- 介護福祉士の年齢構成は、「50歳代」が25.7%、「40歳代」が22.5%とこれらが上位2つで、次いで「60歳代」が19.0%と続いています。
- 介護職員実務者研修修了は、「40歳代」が31.1%、「50歳代」が29.7%とこれらが上位2つで、次いで「60歳代」が21.6%と続いています。
- 介護職員初任者研修修了は、「50歳代」が27.2%、「60歳代」が26.0%とこれらが上位2つで、次いで「40歳代」が18.5%と続いています。

【介護福祉士】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	64	14.3
30歳代	60	13.4
40歳代	101	22.5
50歳代	115	25.7
60歳代	85	19.0
70歳以上	23	5.1
年齢不明	0	0.0

【介護職員実務者研修修了】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	9	12.2
30歳代	3	4.1
40歳代	23	31.1
50歳代	22	29.7
60歳代	16	21.6
70歳以上	1	1.4
年齢不明	0	0.0

【介護職員初任者研修修了】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	10	3.8
30歳代	26	9.8
40歳代	49	18.5
50歳代	72	27.2
60歳代	69	26.0
70歳以上	39	14.7
年齢不明	0	0.0

問4 貴事業所の過去1週間(令和4年11月24日～11月30日)における「介護職員」1人あたり勤務時間をご記入ください。

- 正規職員の平均が38.46時間、非正規職員の平均が27.20時間となっています。

【正規職員】

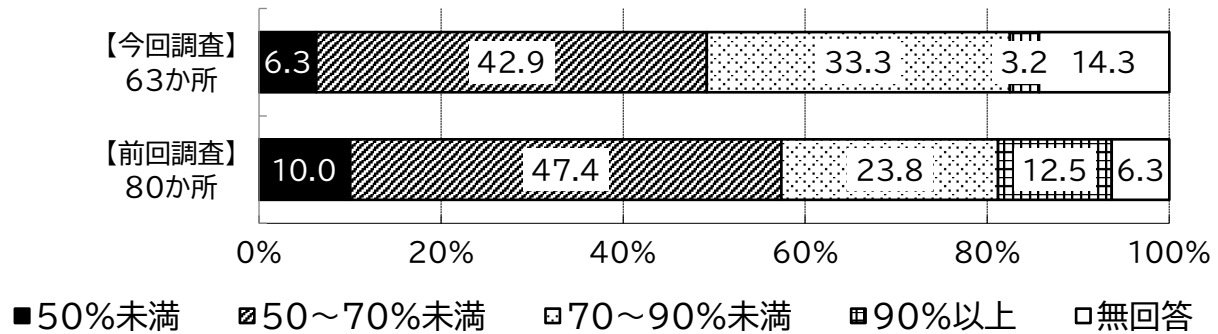
平均	38.46 時間
----	----------

【非正規職員】

平均	27.20 時間
----	----------

問5 貴事業所の介護報酬(介護保険適用外での収入は除きます。)に対する人件費の割合は、どちらですか。(○は1つ)

- 「50～70%未満」が 42.9%と最も高く、次いで「70～90%未満」が 33.3%、「50%未満」が 6.3%、「90%以上」が 3.2%と続いています。



【サービス種別】

- サービス種別で見ると、居宅サービスの場合は「50～70%未満」が 47.4%、居住系・施設サービスの場合は「50～70%未満」が 55.6%と、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)

		50%未満	50～70%未満	70～90%未満	90%以上	無回答
	全体 63 か所	6.3	42.9	33.3	3.2	14.3
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援、 地域包括支援センター 14 か所	0.0	28.6	28.6	7.1	35.7
	居宅サービス 38 か所	7.9	47.4	34.2	0.0	10.5
	福祉用具 貸与・販売 2 か所	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	居住系・施設サービス 9 か所	0.0	55.6	44.4	0.0	0.0

2 人材確保・定着等について

問6 【令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお聞きします。】
過去1年間(令和3年12月1日～令和4年11月30日)の「介護職員」の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

- 採用者計が179人、離職者計が139人となっています。
- 採用者の年齢構成は、正規職員では「40歳代」が30.0%、「50歳代」が26.3%とこれらが上位2つで、次いで「20歳代」が20.0%と続いています。非正規職員では「50歳代」が31.1%と最も高く、次いで「40歳代」が22.3%、「30歳代」が21.4%と続いています。
- 離職者の年齢構成は、正規職員では「50歳代」が37.1%と最も高く、次いで「40歳代」が25.8%、「20歳代」が22.6%と続いています。非正規職員では「40歳代」と「60歳代」がいずれも22.0%とこれらが上位2つで、次いで「50歳代」が20.7%と続いています。

採用者計	179人
離職者計	139人

【採用者(正規職員)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	16	20.0
30歳代	12	15.0
40歳代	24	30.0
50歳代	21	26.3
60歳代	7	8.8
70歳以上	0	0.0
年齢不明	0	0.0

【採用者(非正規職員)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	1	1.0
20歳代	7	6.8
30歳代	22	21.4
40歳代	23	22.3
50歳代	32	31.1
60歳代	17	16.5
70歳以上	1	1.0
年齢不明	0	0.0

【離職者(正規職員)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	14	22.6
30歳代	6	9.7
40歳代	16	25.8
50歳代	23	37.1
60歳代	3	4.8
70歳以上	0	0.0
年齢不明	0	0.0

【離職者(非正規職員)】

カテゴリー名	人数	%
20歳未満	0	0.0
20歳代	8	9.8
30歳代	10	12.2
40歳代	18	22.0
50歳代	17	20.7
60歳代	18	22.0
70歳以上	11	13.4
年齢不明	0	0.0

問6-1 過去1年間の採用者の直前の職場はどちらですか。

- 採用者の直前の職場は、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が33.8%、「介護以外の職場」が33.3%とこれらが上位2つとなっています。
- 直前の介護職場の場所は、「市外の職場」が45.3%、直前の介護職場の運営法人は、「現在の事業所とは別法人」が63.6%となっています。

【直前の職場】

カテゴリー名	人数	%
現在の職場が初めての勤務先	16	8.1
介護以外の職場	66	33.3
特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	67	33.8
訪問介護・入浴、夜間対応型	9	4.5
小多機、看多機、定期巡回サービス	1	0.5
通所介護、通所リハ、認知症デイ	12	6.1
住宅型有料、サ高住(特定施設以外)	14	7.1
その他の介護サービス	13	6.6

【直前の介護職場の場所】

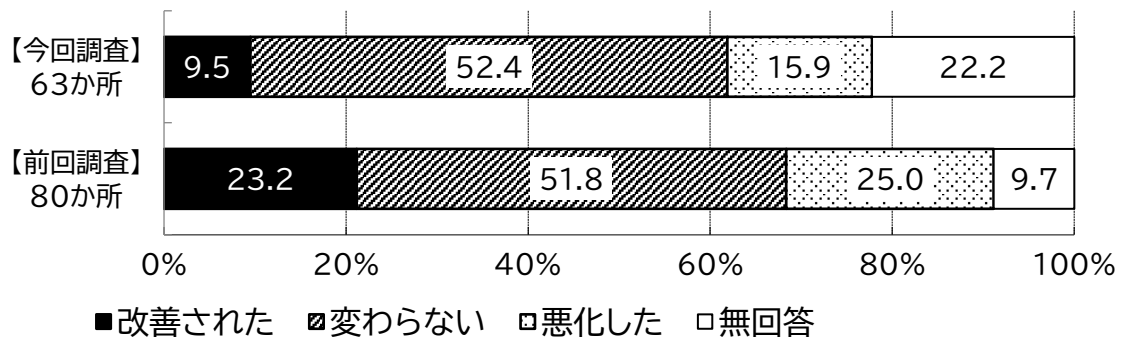
カテゴリー名	人数	%
市内の職場	18	7.4
市外の職場	110	45.3

【直前の介護職場の運営法人】

カテゴリー名	回答数	%
現在の事業所と同一法人	17	11.0
現在の事業所とは別法人	98	63.6

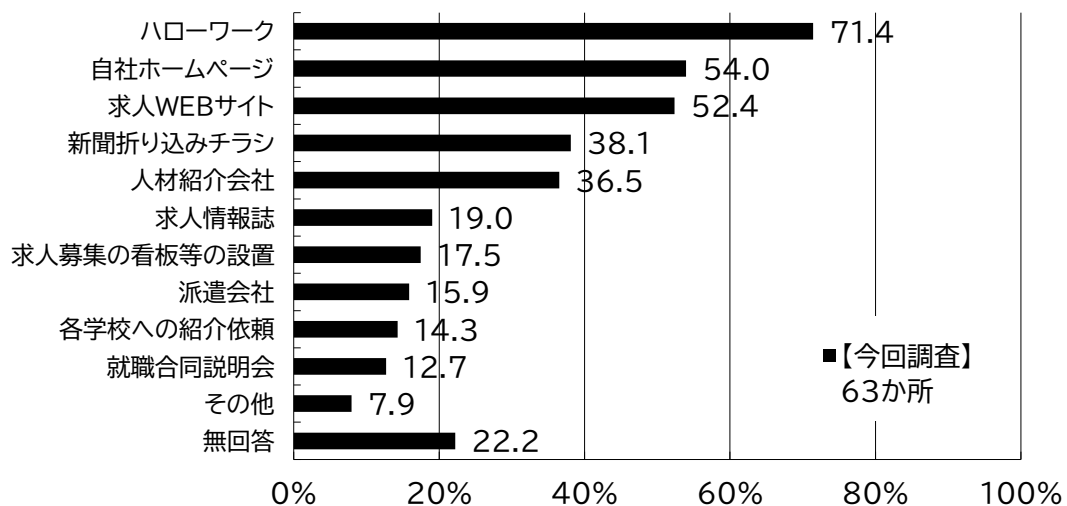
問6-2 過去1年間の「介護職員」の離職率は、前の1年間と比較していかがでしたか。(〇は1つ)

- 「変わらない」が 52.4%と最も高く、次いで「悪化した」が 15.9%、「改善された」が 9.5%と続いています。



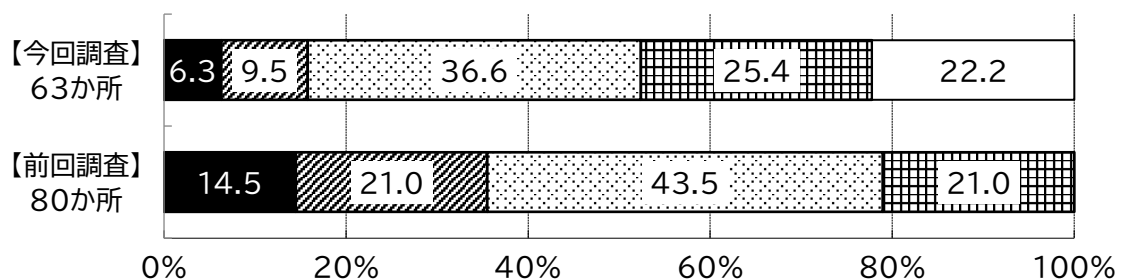
問7 「介護職員」の人材募集に活用しているものは何ですか。(該当するものすべてに〇)

- 「ハローワーク」が 71.4%と最も高く、次いで「自社ホームページ」が 54.0%、「求人WEBサイト」が 52.4%、「新聞折り込みチラシ」が 38.1%と続いています。



問8 貴事業所の「介護職員」の人材確保の状況は、いかがですか。(〇は1つ)

- 「やや不足している」が 36.6%と最も高く、次いで「不足している」が 25.4%、「おおむね確保できている」が 9.5%、「確保できている」が 6.3%と続いています。

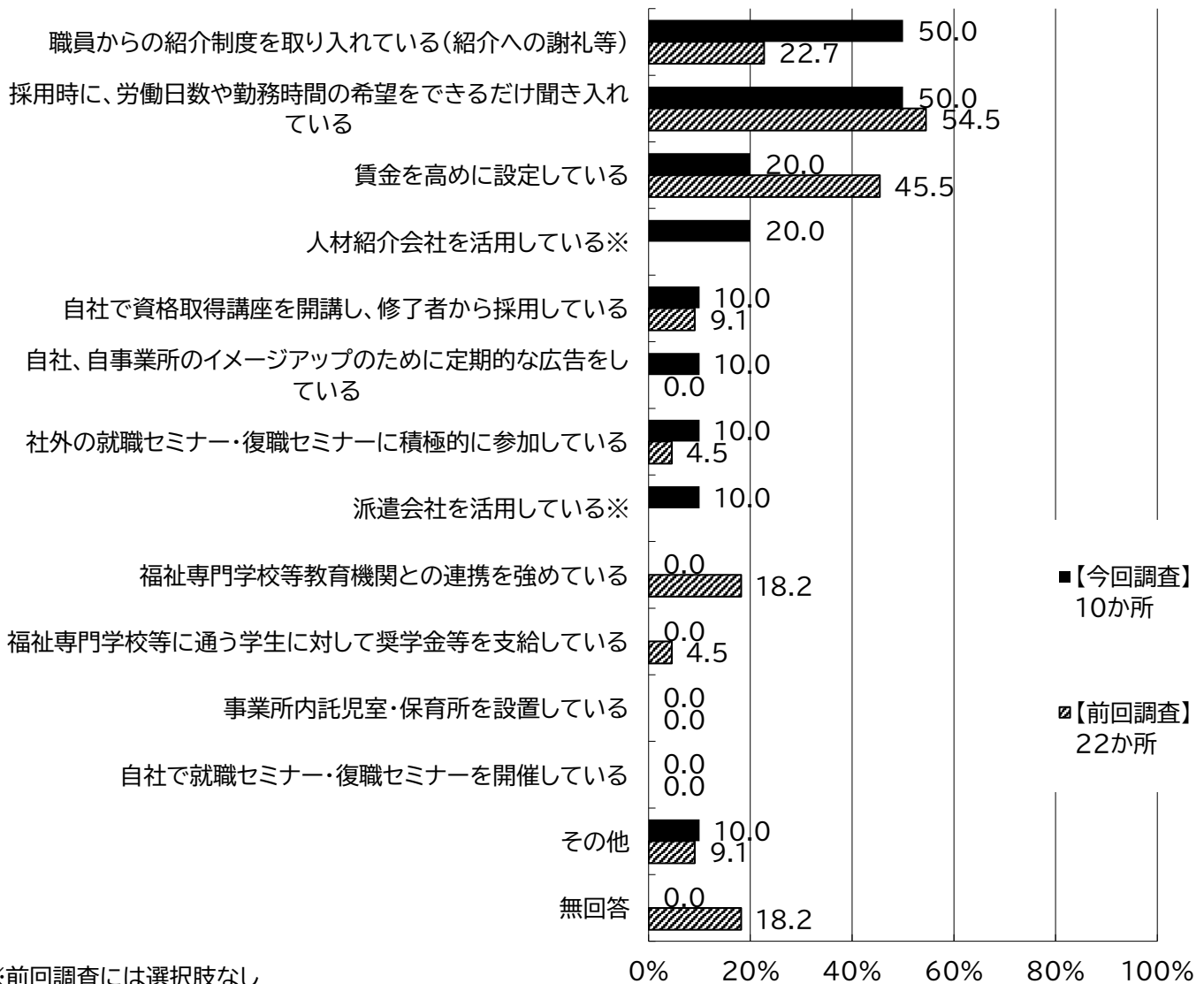


- 確保できている ■ おおむね確保できている □ やや不足している ■ 不足している □ 無回答

問8-1【問8で「1. 確保できている」、「2. おおむね確保できている」と回答された事業所にお聞きします。】

貴事業所のどのような方策が確保につながっているとお考えですか。(該当するものすべてに○)

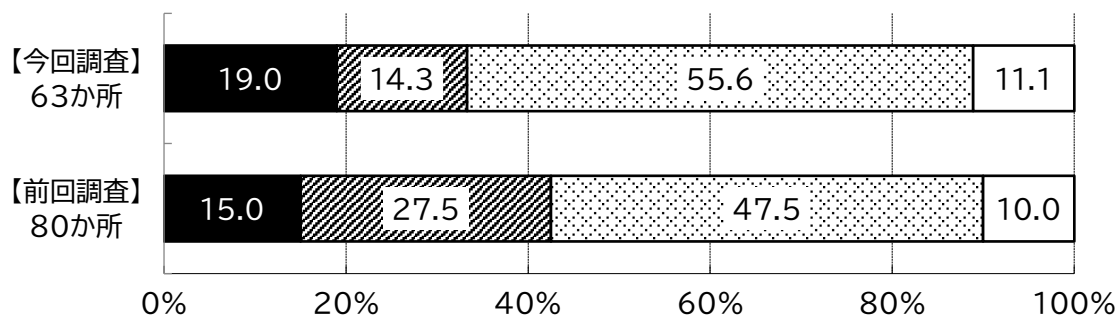
- 「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」と「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」がいずれも50.0%とこれらが上位2つで、次いで「賃金を高めに設定している」と「人材紹介会社を活用している」がいずれも20.0%と続いています。



※前回調査には選択肢なし

問9 外国介護人材の受入れを検討されていますか。(〇は1つ)

- 「外国介護人材の雇用は考えていない」が 55.6%と最も高く、次いで「実際に雇用している」が 19.0%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 14.3%と続いています。



- 実際に雇用している
- ▨ 外国介護人材の雇用を検討している
- ▩ 外国介護人材の雇用は考えていない
- 無回答

【サービス種別】

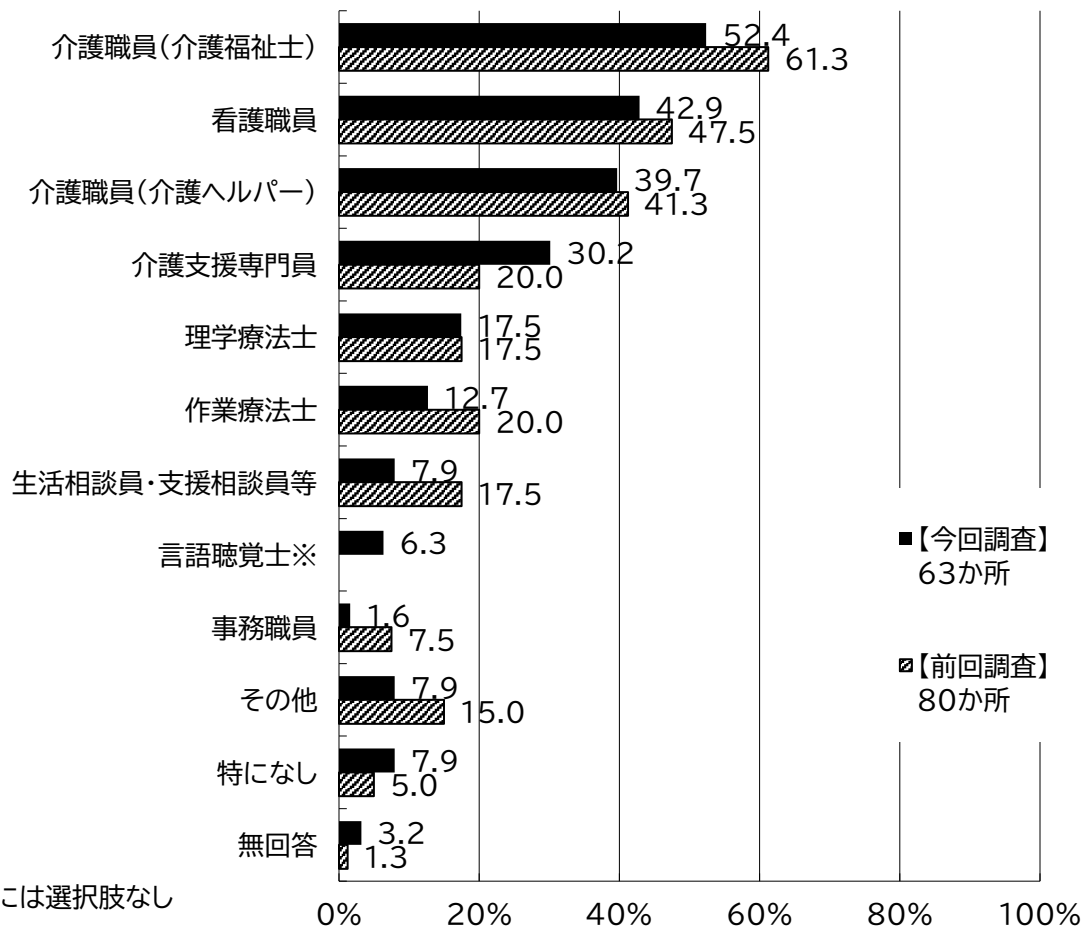
- サービス種別で見ると、居宅サービスの場合は「実際に雇用している」が 18.4%、居住系・施設サービスの場合は「実際に雇用している」が 55.6%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 33.3%となっています。

(単位:%)

		実際に雇用している	外国介護人材の雇用を検討している	外国介護人材の雇用は考えていない	無回答
	全体 63 か所	19.0	14.3	55.6	11.1
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援、地域包括支援センター 14 か所	0.0	0.0	57.1	42.9
	居宅サービス 38 か所	18.4	15.8	63.2	2.6
	福祉用具 貸与・販売 2 か所	0.0	0.0	100.0	0.0
	居住系・施設サービス 9 か所	55.6	33.3	11.1	0.0

問10 雇用することが難しいと思う職種は、どちらですか。(該当するものすべてに○)

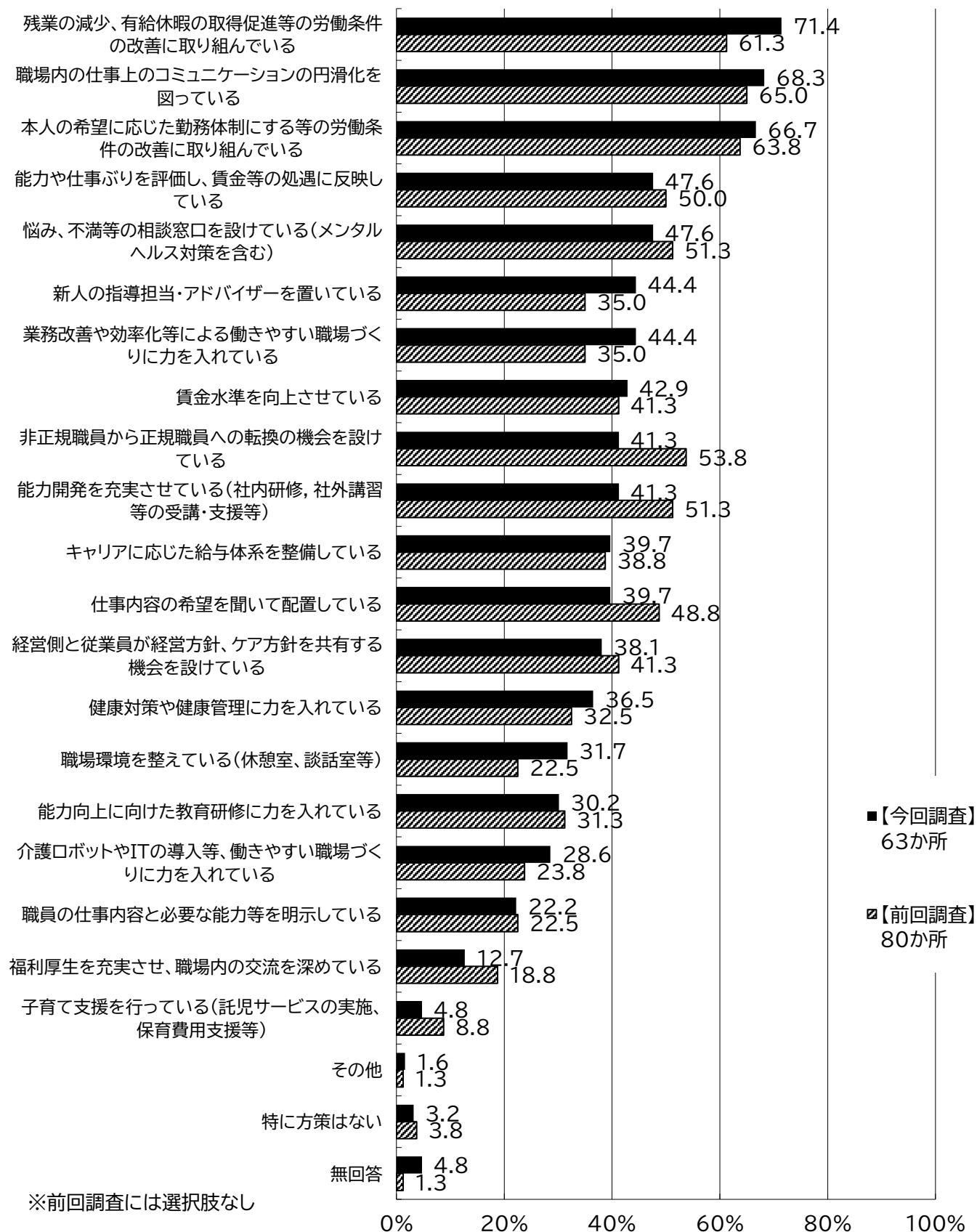
- 「介護職員(介護福祉士)」が 52.4%と最も高く、次いで「看護職員」が 42.9%、「介護職員(介護ヘルパー)」が 39.7%、「介護支援専門員」が 30.2%と続いています。



※前回調査には選択肢なし

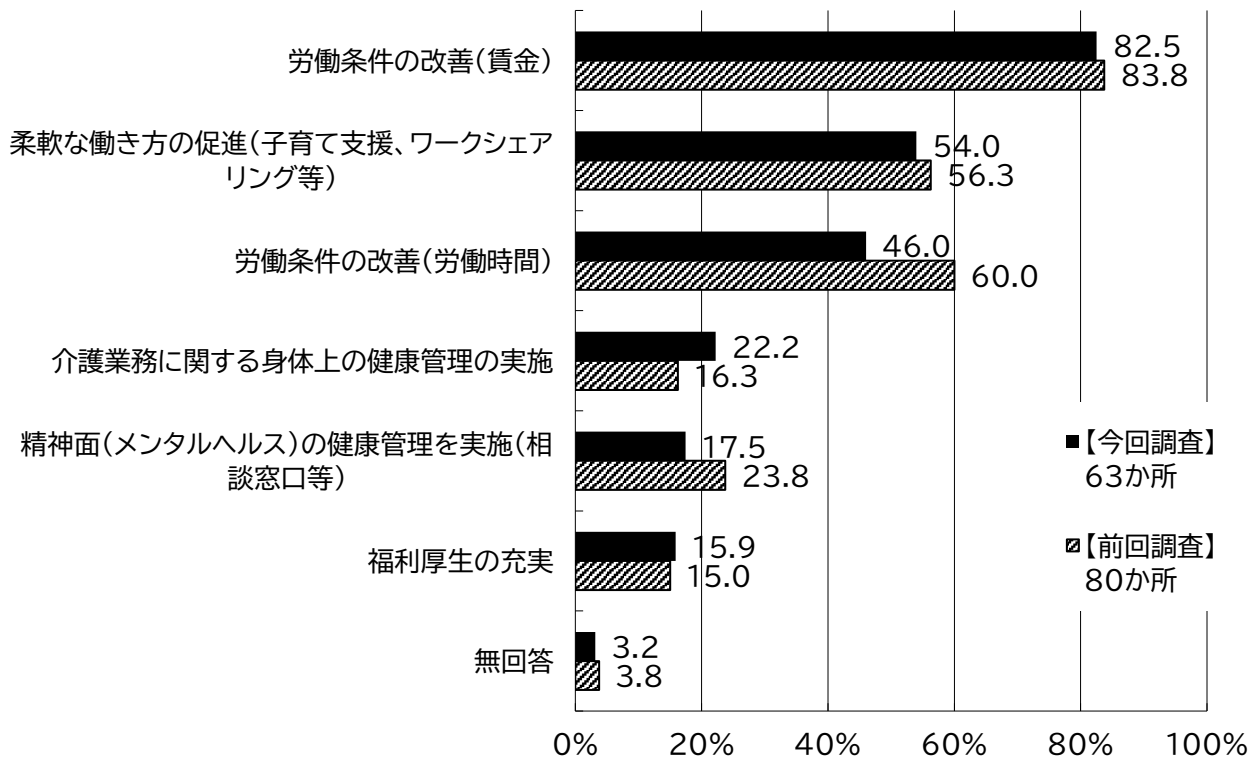
問 11 貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るためにどのような方策を取っていますか。(該当するものすべてに○)

- 「残業の減少、有給休暇の取得促進等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 71.4%、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている」が 68.3%とこれらが上位2つで、次いで「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 66.7%、「能力や仕事を評価し、賃金等の処遇に反映している」が 47.6%と続いています。



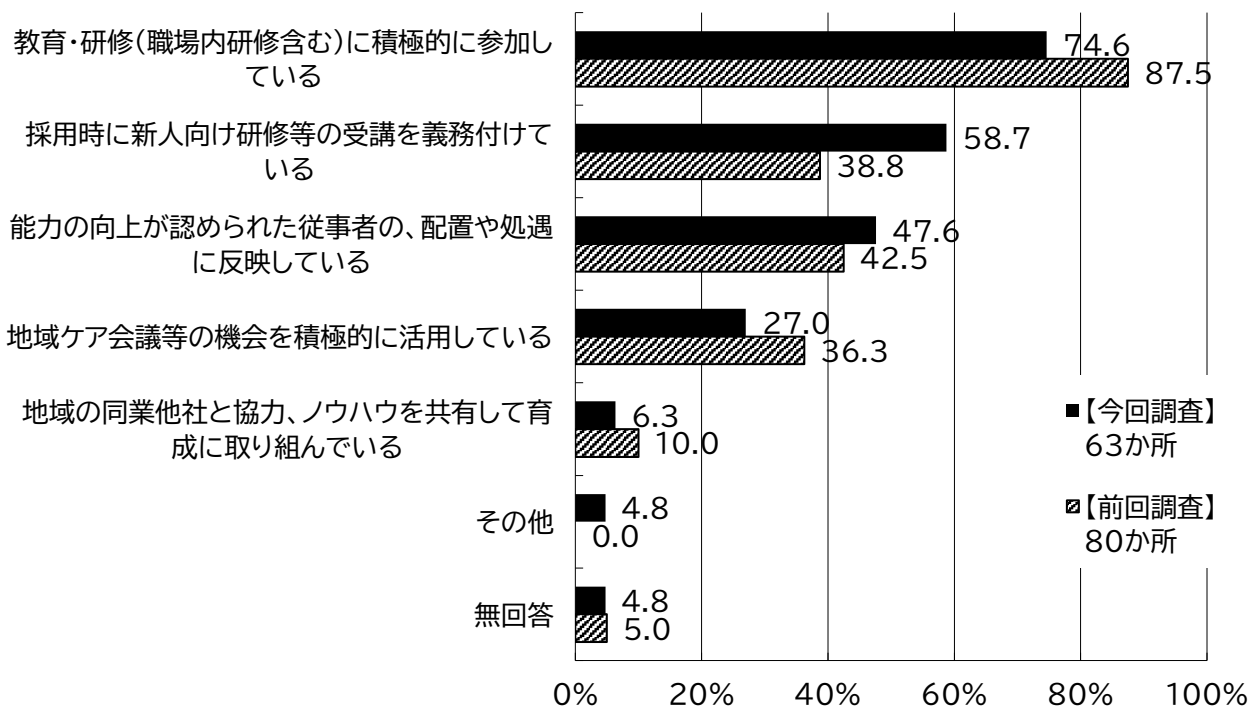
問12 労働環境整備・改善のために必要な取組みは、どちらだと思いますか。(3つまで○)

- 「労働条件の改善(賃金)」が 82.5%と最も高く、次いで「柔軟な働き方の促進(子育て支援、ワークシェアリング等)」が 54.0%、「労働条件の改善(労働時間)」が 46.0%、「介護業務に関する身体上の健康管理の実施」が 22.2%と続いています。



問13 人材育成のためにどのようなことを行っていますか。(該当するものすべてに○)

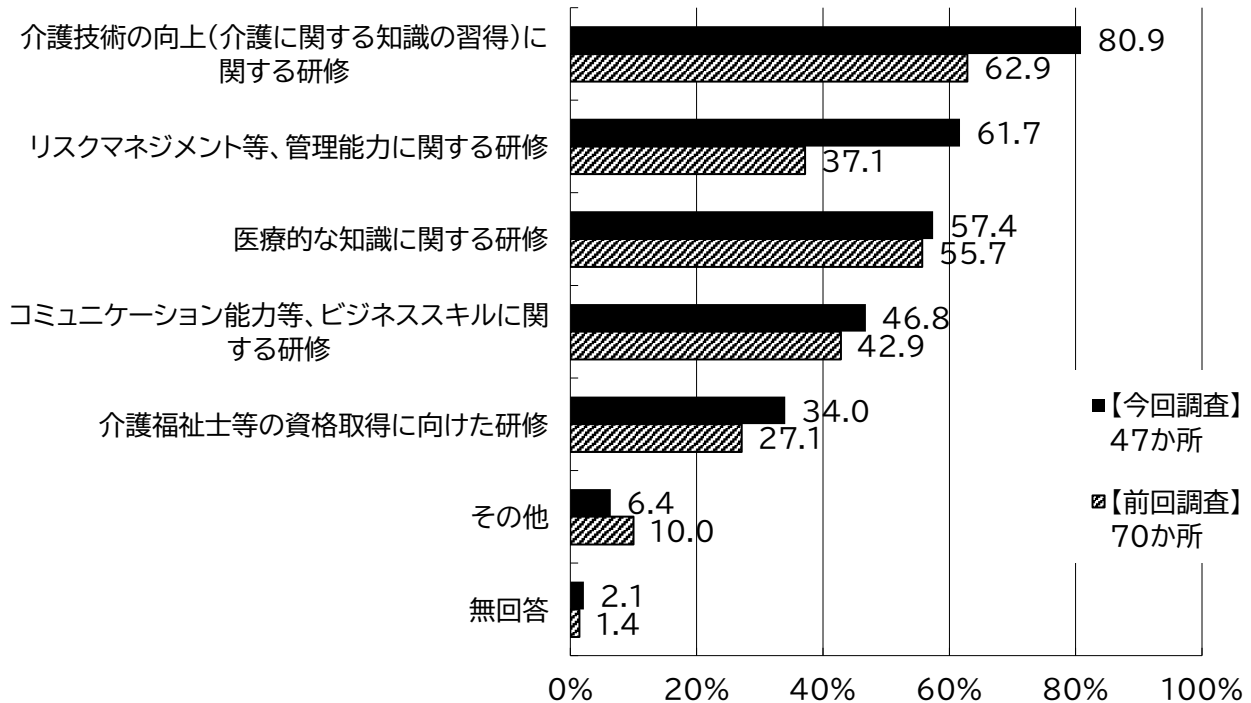
- 「教育・研修(職場内研修含む)に積極的に参加している」が 74.6%と最も高く、次いで「採用時に新人向け研修等の受講を義務付けている」が 58.7%、「能力の向上が認められた従事者の、配置や処遇に反映している」が 47.6%、「地域ケア会議等の機会を積極的に活用している」が 27.0%と続いています。



問13-1【問13で「1. 教育・研修(職場内研修含む)に積極的に参加している」と回答した貴事業所にお聞きします。】

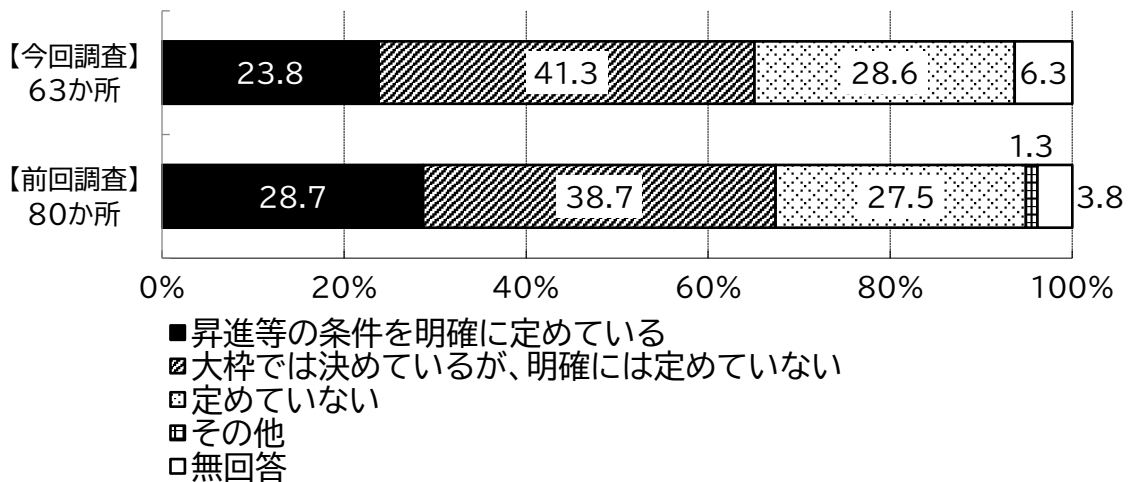
従事者にはどのような研修を実施していますか。(該当するものすべてに○)

- 「介護技術の向上(介護に関する知識の習得)に関する研修」が 80.9%と最も高く、次いで「リスクマネジメント等、管理能力に関する研修」が 61.7%、「医療的な知識に関する研修」が 57.4%、「コミュニケーション能力等、ビジネススキルに関する研修」が 46.8%と続いています。



問14 職場でのキャリアアップに関する整備状況はいかがですか。(○は1つ)

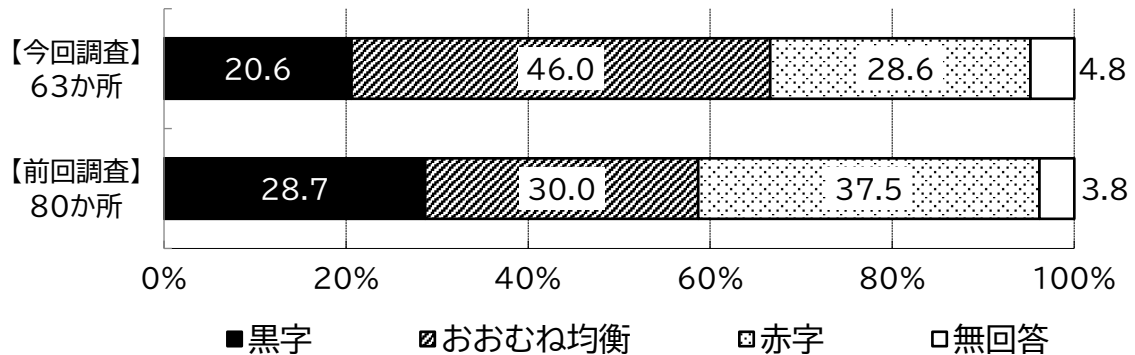
- 「大枠では決めているが、明確には定めていない」が 41.3%と最も高く、次いで「定めていない」が 28.6%、「昇進等の条件を明確に定めている」が 23.8%と続いています。



3 経営状態や課題等について

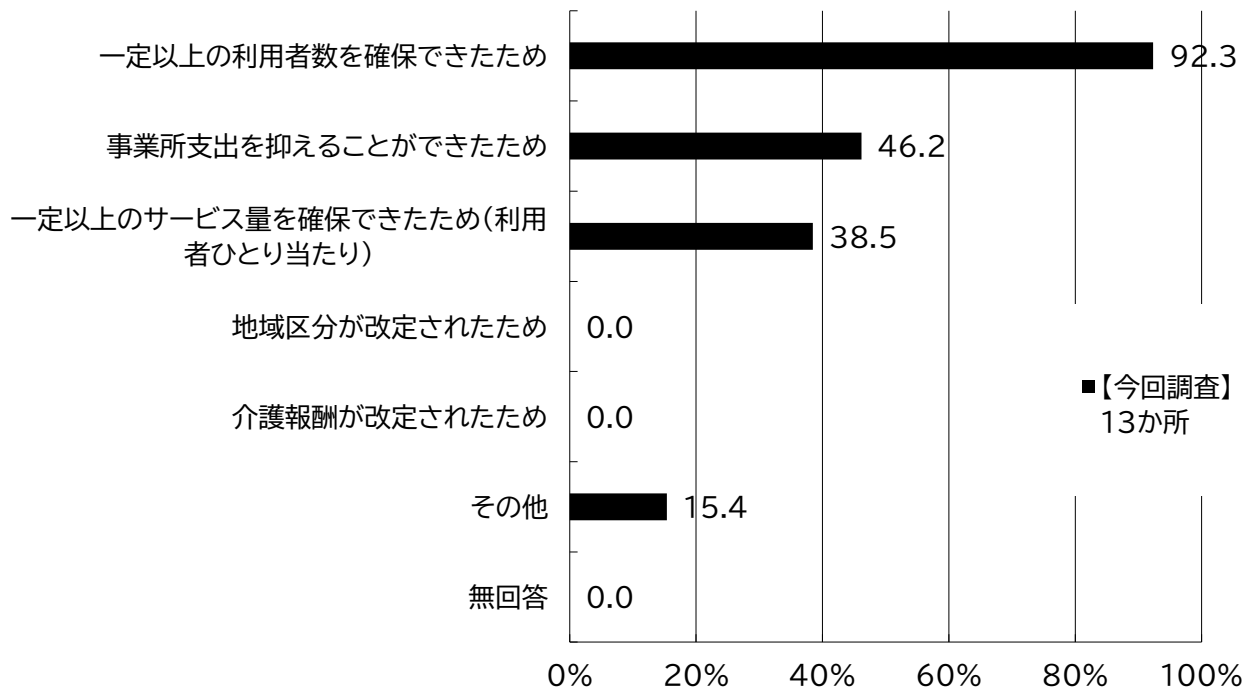
問15 令和3年度の貴事業所の経営状態はどちらですか。(〇は1つ)

- 「おおむね均衡」が 46.0%と最も高く、次いで「赤字」が 28.6%、「黒字」が 20.6%と続いています。



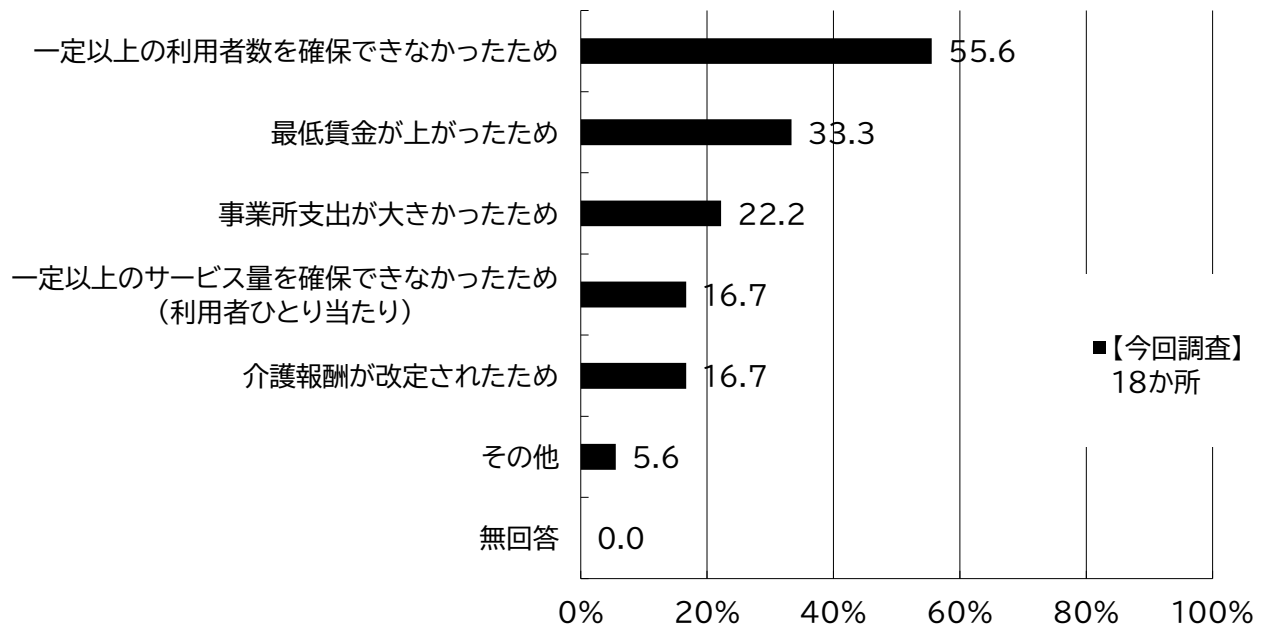
問15-1【問15で「1. 黒字」と回答された貴事業所にお聞きします。】 その理由として該当するものは、どちらですか。(2つまで〇)

- 「一定以上の利用者数を確保できたため」が92.3%と最も高く、次いで「事業所支出を抑えることができたため」が 46.2%、「一定以上のサービス量を確保できたため(利用者ひとり当たり)」が 38.5%、「その他」が 15.4%と続いています。



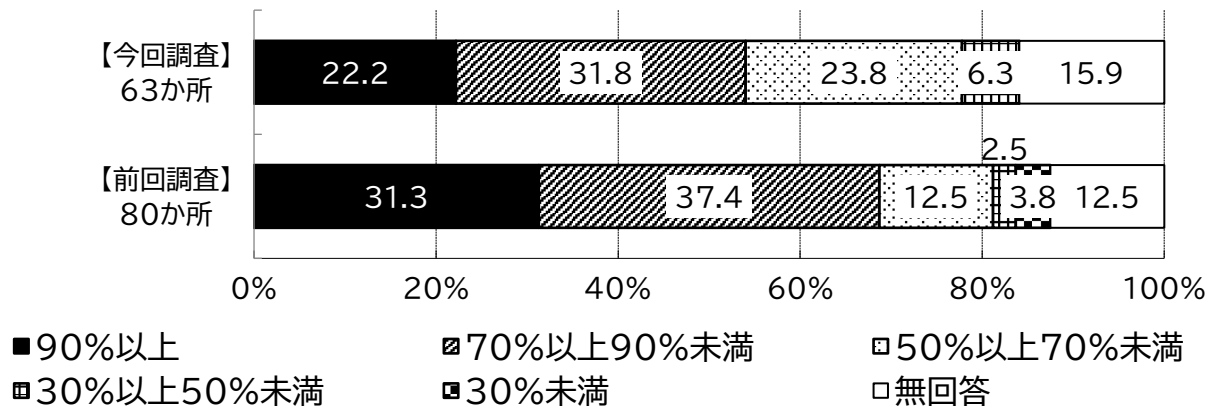
**問15-2【問15で「3.赤字」と回答された貴事業所にお聞きします。】
その理由として該当するものは、どちらですか。(2つまで○)**

- 「一定以上の利用者数を確保できなかったため」が55.6%と最も高く、次いで「最低賃金が上がったため」が33.3%、「事業所支出が大きかったため」が22.2%、「一定以上のサービス量を確保できなかったため(利用者ひとり当たり)」が16.7%と続いています。



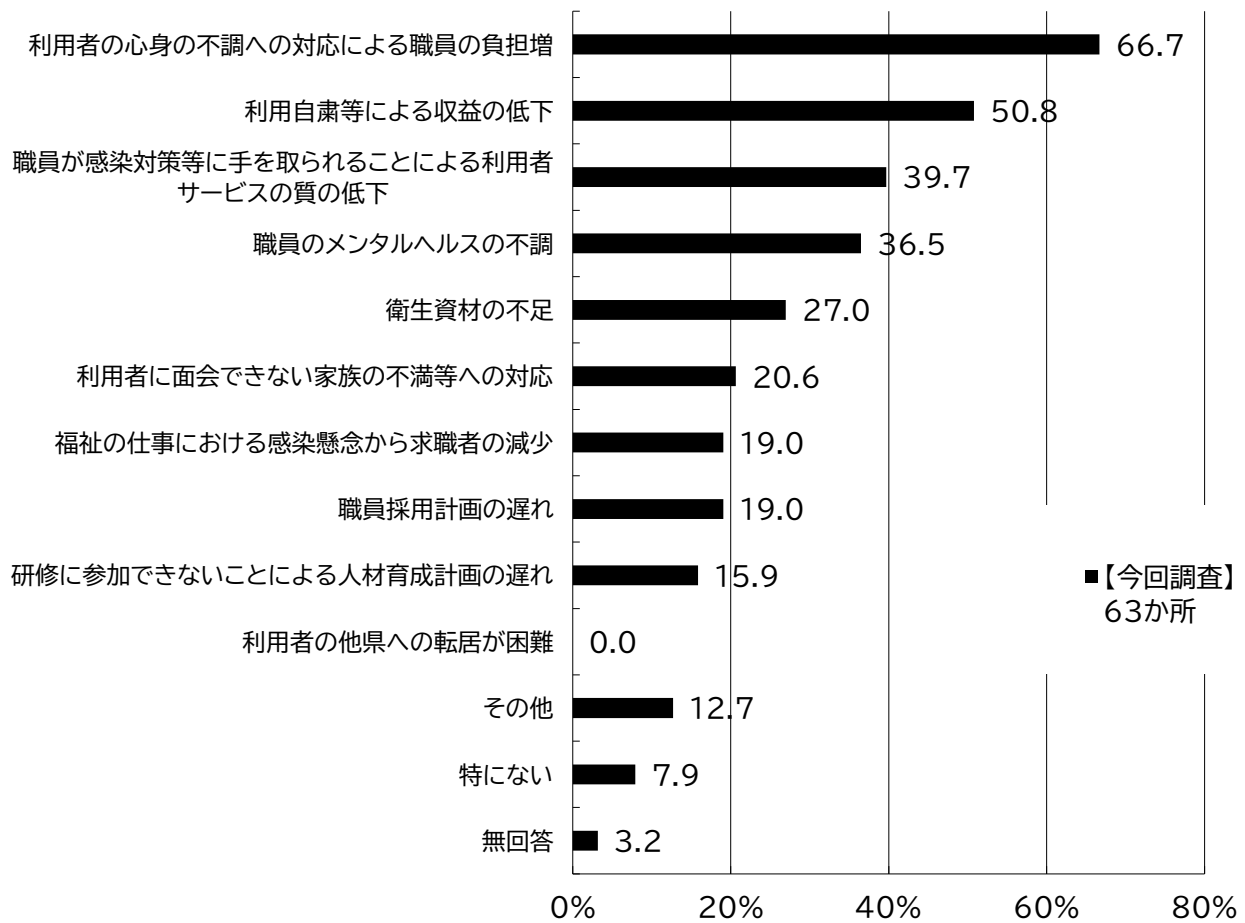
問16 令和4年度現在、貴事業所での定員に対する稼働状況(月の稼働率)は、以下のうちどちらですか。(○は1つ)

- 「70%以上90%未満」が31.8%と最も高く、次いで「50%以上70%未満」が23.8%、「90%以上」が22.2%、「30%以上50%未満」が6.3%と続いています。



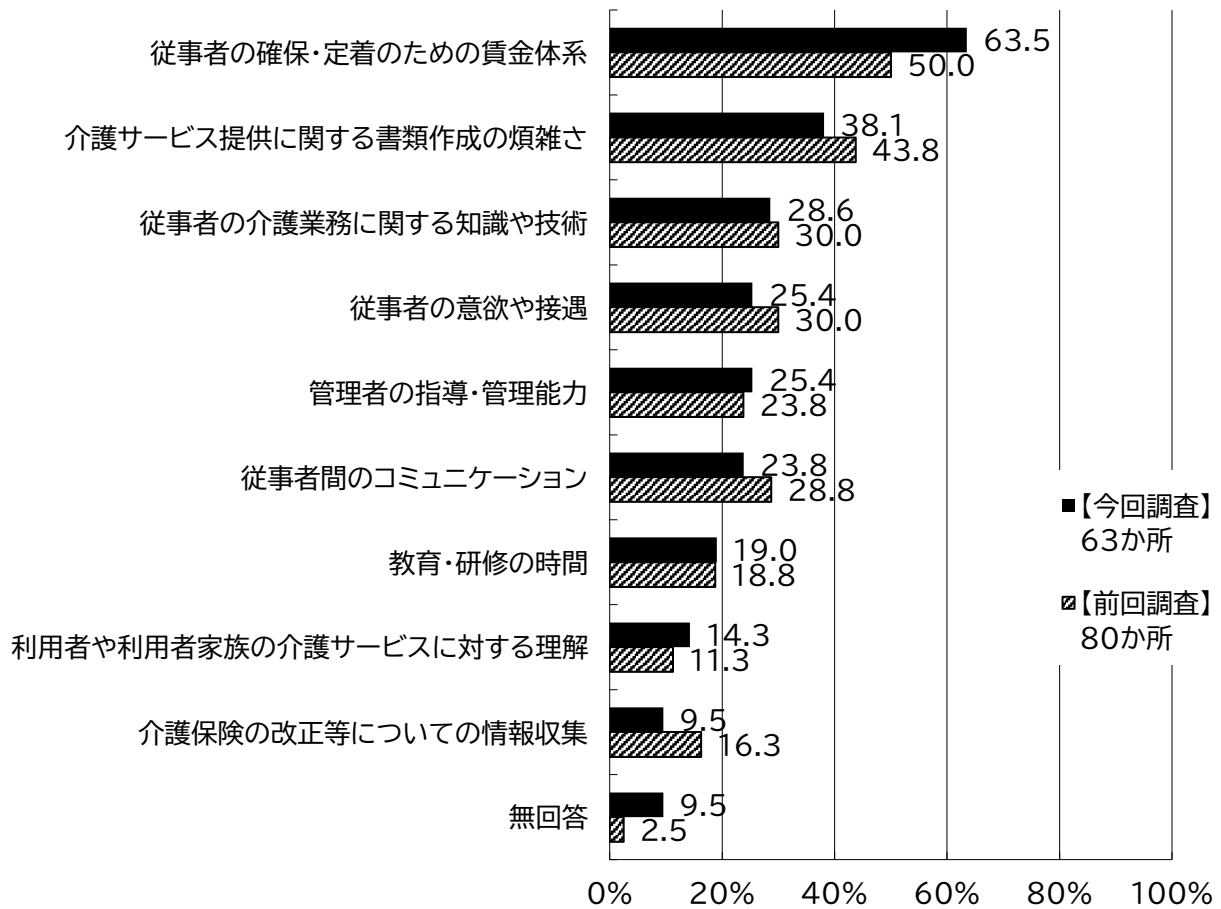
問17 令和4年度現在、新型コロナウイルス感染症による経営への影響や課題は何ですか。
(該当するものすべてに○)

- 「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が 66.7%と最も高く、次いで「利用自粛等による収益の低下」が 50.8%、「職員が感染対策等に手を取られることによる利用者サービスの質の低下」が 39.7%、「職員のメンタルヘルスの不調」が 36.5%と続いています。



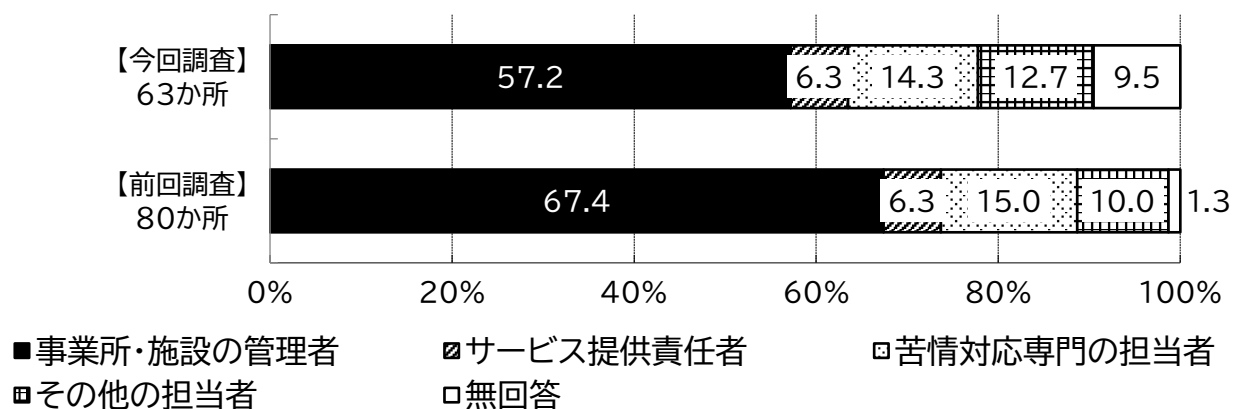
問18 貴事業所を運営する上での課題は、どちらですか。(3つまで○)

- 「従事者の確保・定着のための賃金体系」が 63.5%と最も高く、次いで「介護サービス提供に関する書類作成の煩雑さ」が 38.1%、「従事者の介護業務に関する知識や技術」が 28.6%、「従事者の意欲や接遇」と「管理者の指導・能力管理」がいずれも 25.4%と続いています。



問19 利用者からの苦情や要望、意見等を受け付ける窓口となっている方は、どちらですか。(○は1つ)

- 「事業所・施設の管理者」が 57.2%と最も高く、次いで「苦情対応専門の担当者」が 14.3%、「その他の担当者」が 12.7%、「サービス提供責任者」が 6.3%と続いています。



【サービス種別】

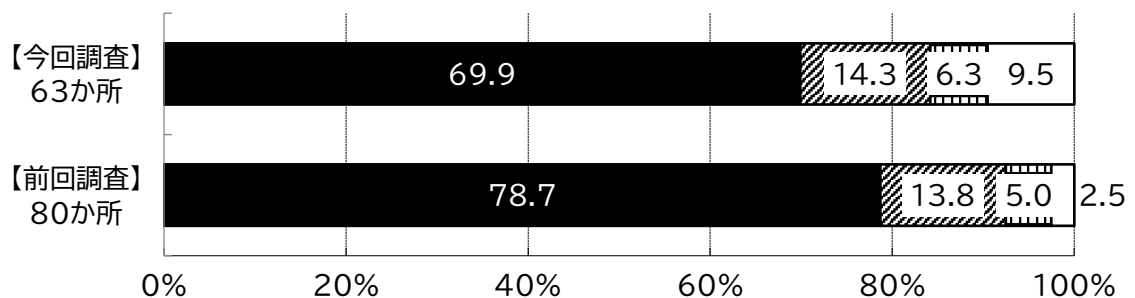
- サービス種別で見ると、いずれも「事業所・施設の管理者」が最も高くなっています。

(単位：%)

		事業所・施設の管理者	サービス提供責任者	苦情対応専門の担当者	その他の担当者	無回答
	全体 63 か所	57.2	6.3	14.3	12.7	9.5
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援、地域包括支援センター 14 か所	64.3	0.0	0.0	14.3	21.4
	居宅サービス 38 か所	52.6	10.5	15.8	15.8	5.3
	福祉用具 貸与・販売 2 か所	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	居住系・施設サービス 9 か所	66.7	0.0	22.2	0.0	11.1

問 20 サービス提供中の事故、災害時の対応方法について、文書やマニュアルは整備されていますか。(○は1つ)

- 「事故・災害の両方とも文書やマニュアルを整備している」が 69.9%と最も高く、次いで「事故の文書やマニュアルは整備できているが、災害時は整備できていない」が 14.3%、「どちらの整備もこれからである」が 6.3%と続いています。



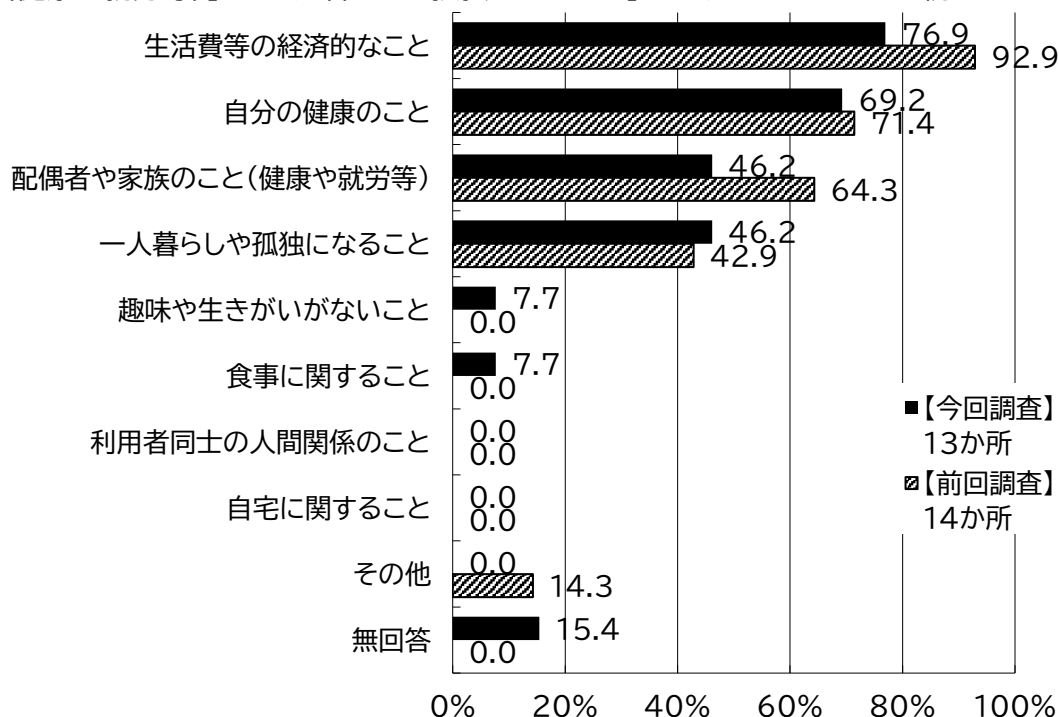
- 事故・災害の両方とも文書やマニュアルを整備している
- ▣ 事故の文書やマニュアルは整備できているが、災害時は整備できていない
- 事故の文書やマニュアルは整備できていないが、災害時は整備できている
- ▤ どちらの整備もこれからである
- 無回答

4 利用者のニーズ等について

【問 21～問 23 は、介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】

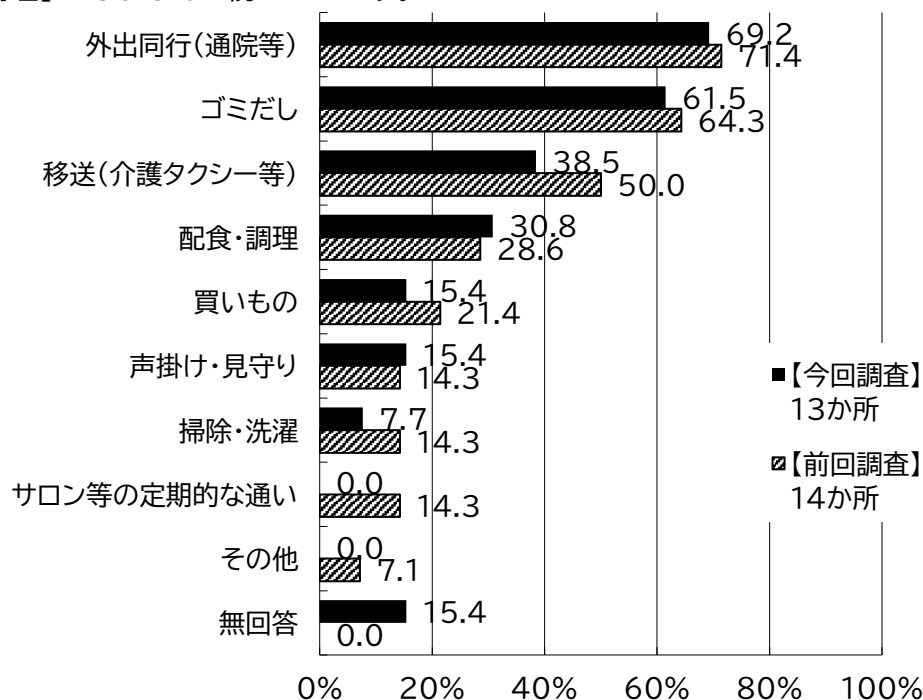
問 21 貴事業所からみた利用者の心配ごとや悩みごとは、どちらですか。(特に該当するもののうち3つに○)

- 「生活費等の経済的なこと」が 76.9%と最も高く、次いで「自分の健康のこと」が 69.2%、「配偶者や家族のこと(健康や就労等)」と「一人暮らしや孤独になること」がいずれも 46.2%と続いています。



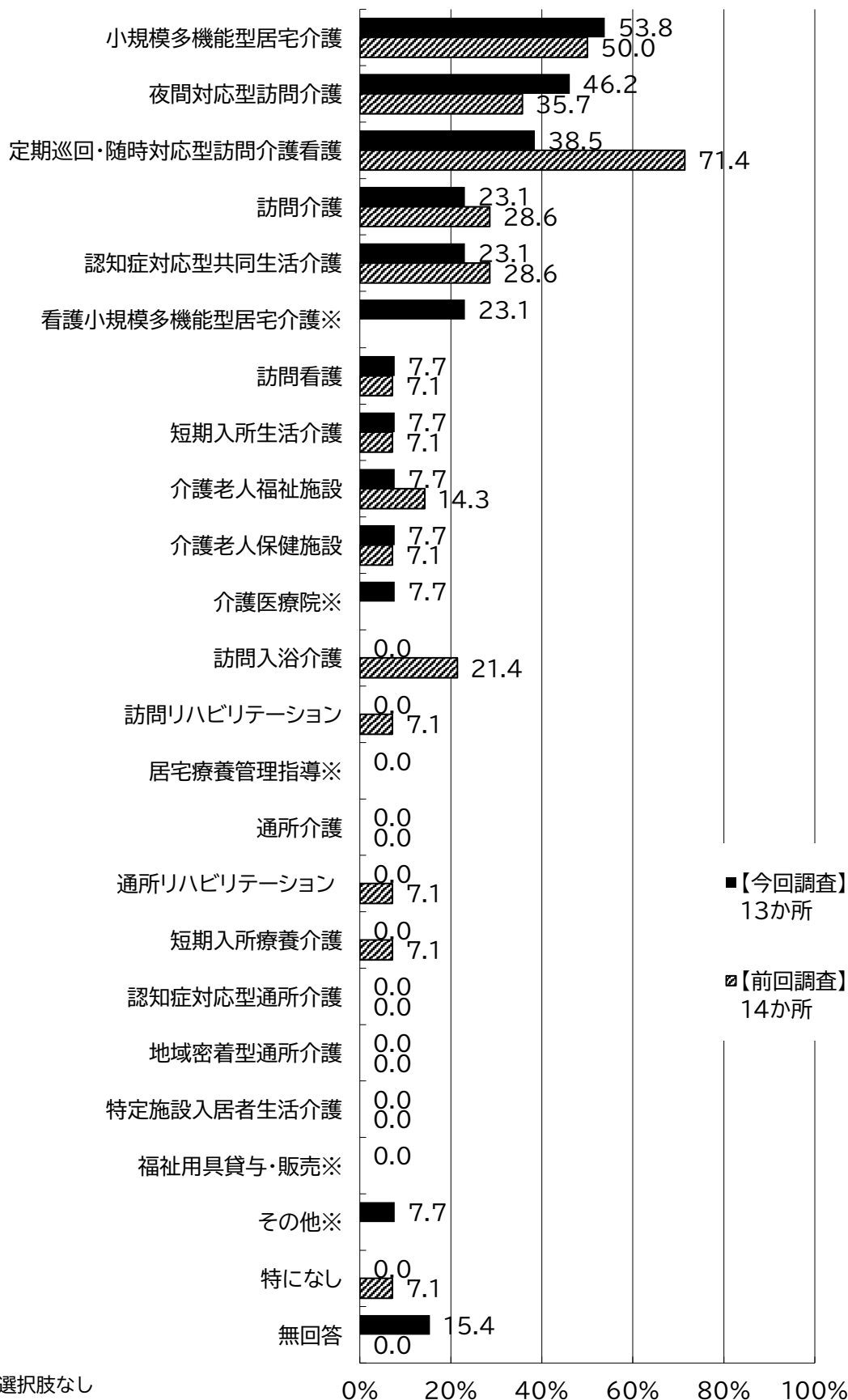
問22 介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、どちらですか。(特に該当するもののうち3つに○)

- 「外出同行(通院等)」が 69.2%と最も高く、次いで「ゴミだし」が 61.5%、「移送(介護タクシー等)」が 38.5%、「配食・調理」が 30.8%と続いています。



問23 貴事業所からみて不足しているサービスは、どちらだと思いますか。(3つまで○)

- 「小規模多機能型居宅介護」が 53.8%と最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 46.2%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 38.5%、「訪問介護」が 23.1%と続いています。



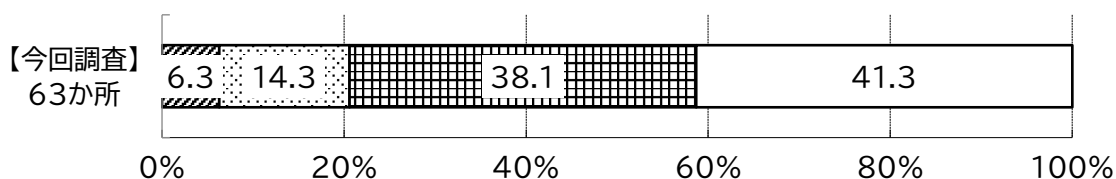
※前回調査には選択肢なし

5 共生型サービスについて

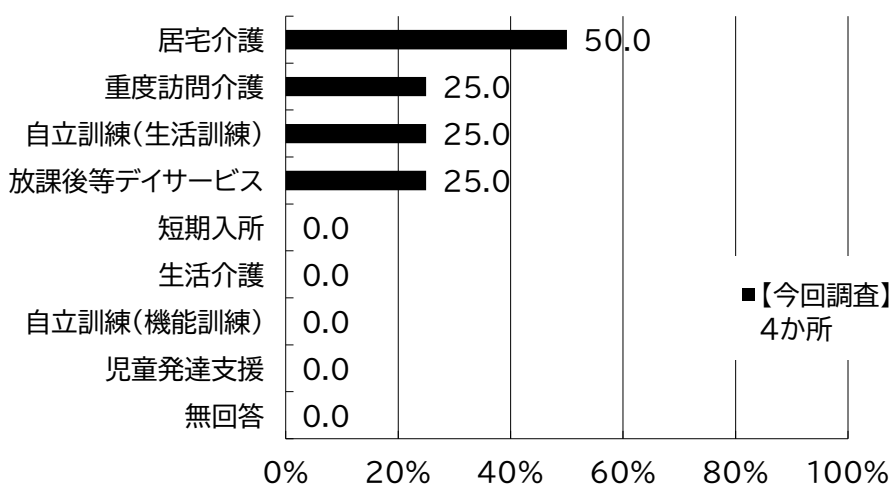
【問 24・問 25 は、訪問介護事業所、通所介護事業所(地域密着型含む)、短期入所生活介護事業所(介護予防含む)、小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)にお聞きします。】

問 24 貴法人では、東大和市内で今後共生型サービスの指定を受ける意向はありますか。指定を受ける予定もしくは検討中の方は、事業種に○を付けてください。(該当するものすべてに○)

- 「指定を受けるつもりはない」が38.1%と最も高く、次いで「その他」が14.3%、「指定を受けるか検討中」が6.3%と続いています。
- 「居宅介護」が50.0%と最も高く、次いで「重度訪問介護」、「自立訓練(生活訓練)」、「放課後等デイサービス」がいずれも25.0%と続いています。

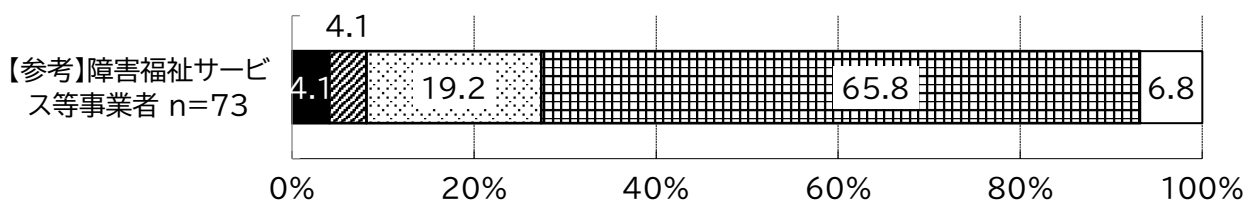


■ 指定を受ける予定 ■ 指定を受けるか検討中 □ その他 ■ 指定を受けるつもりはない □ 無回答
【検討中の事業種】



【参考】障害福祉サービス等事業者向け調査

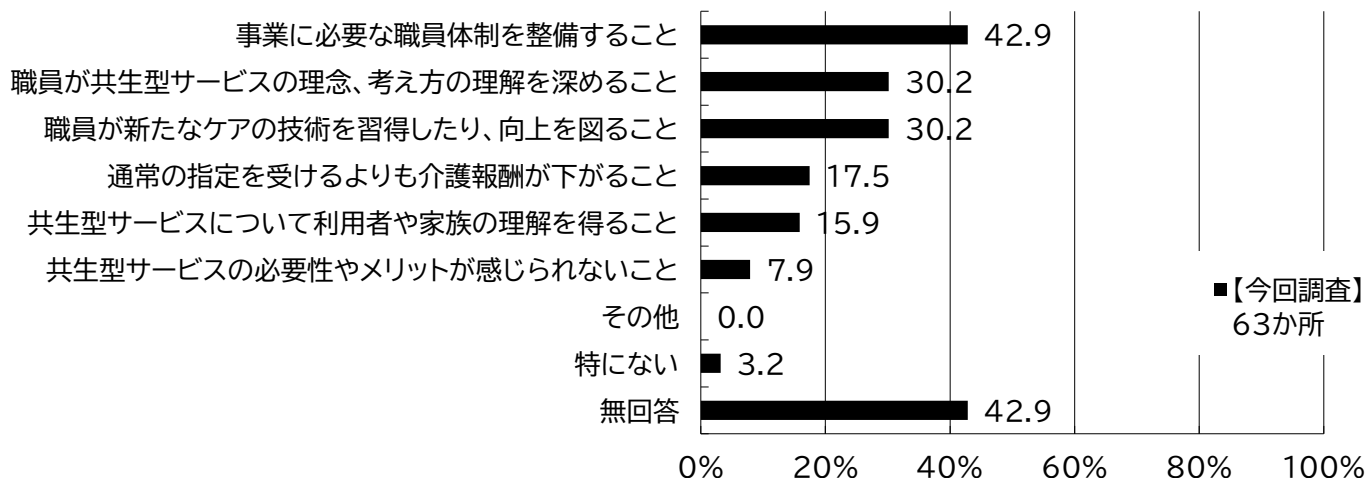
(第3次東大和市障害者総合プラン策定のためのアンケート調査報告書 令和5年3月)



■ すでに指定を受けている □ その他 ■ 指定を受ける予定 ■ 指定を受けるつもりはない ■ 指定を受けるか検討中 □ 無回答

問 25 共生型サービスを推進するにあたってどのような課題を感じますか。(該当するものすべてに○)

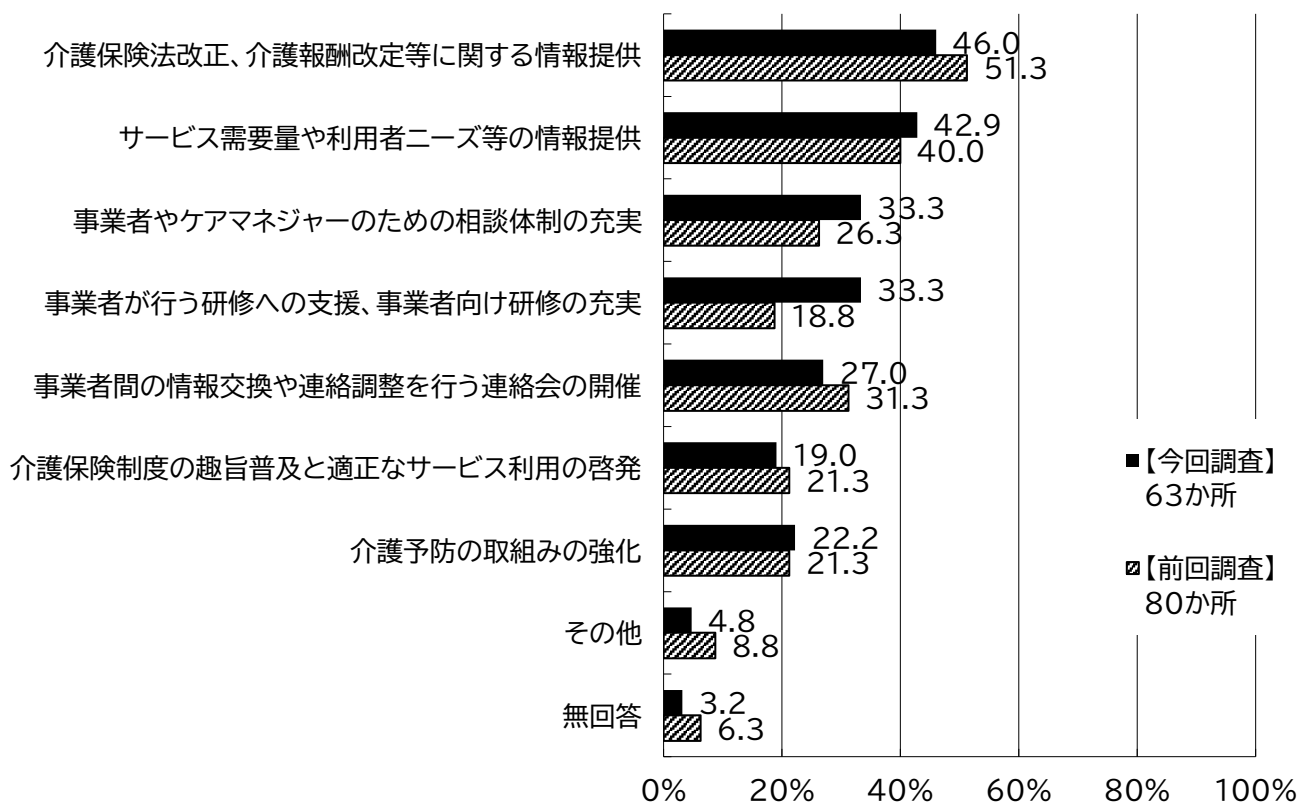
- 「事業に必要な職員体制を整備すること」が 42.9%と最も高く、次いで「職員が共生型サービスの理念、考え方の理解を深めること」と「職員が新たなケアの技術を習得したり、向上を図ること」がいずれも 30.2%、「通常の指定を受けるよりも介護報酬が下がること」が 17.5%と続いています。



6 市に望むこと

問26 今後、保険者としての市に対し、貴事業者として特に望むことは、どちらですか。(3つまで○)

- 「介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供」が 46.0%、「サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供」が 42.9%とこれらが上位2つで、次いで「事業者やケアマネジャーのための相談体制の充実」と「事業者が行う研修への支援、事業者向け研修の充実」がいずれも 33.3%と続いています。



自由回答

(回答数が多くないため、全意見を掲載)

- 本当にサービスが必要な方に支援ができるようにしていきたいと考えています。適正なサービス利用の考え方は、特に重要だと思います。
- 他市に比べて東大和市の介護保険課の職員がとても利用者、事業者に親身になって下さり相談がしやすいです。情報の提供もこまめで助かっております。コロナ検査の費用助成のおかげで、発熱無しの方の発症も見つけることができました。いつもありがとうございます。
- 介護認定の認定の方法について、認知症に対する評価が身体に比べると低い気がしています。認定の基準がわかると良いのですが…。
- 他県で福祉人材確保のため、母子世帯など支援を必要とする人たちの住居、保育園、仕事を市で保証する条件で、市内の福祉施設で働き、その仕事を続けて、資格を取得する際もサポート(金銭的)し、市内の福祉施設で働いてもらう→人材育成という取組をしているというものを数年前に TV で見ました。東大和市もそのような形で、人材を確保するとか初任者研修や認定ヘルパー研修を市で開催し、市内の福祉施設に貢献するというものがあったらよいのでは？
- 在宅時間、移動時間、考慮してほしい。実態と合わない。ケアプランのパターン化でサービスが求められる時間が重複する。そこへの指導を行政がしてほしい。

第6章

調査結果のまとめ

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のまとめ

- “外出を控えていますか”という問に対して、「はい(控えている)」という方は 43.8%で、前回調査(29.7%)から大幅に上昇しています。また、“外出を控えている理由”は、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛」が 66.3%を占めており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による身体活動への影響が見てとれます。【25 ページ参照】
- “自分で食事の用意をしていますか”という問に対して、「できない」という方は回答者全体で 14.6%となっており、現在治療中、又は後遺症のある病気について、脳卒中(脳出血・脳梗塞等)、腎臓・前立腺の病気、パーキンソン病がある方などは、同回答が比較的高い回答率となっています。【38・39 ページ参照】
- 生きがいがあるという方は回答者全体で 77.3%となっており、趣味を持っている人ほど生きがいありの割合が高い傾向が見られます。【46 ページ参照】
- 地域での活動の「週1回」以上の参加率を見ると、介護認定なしの方の場合は、ボランティアグループが 2.7%(前回調査 5.3%)、スポーツ関係のグループやクラブが 13.7%(前回調査 21.9%)、趣味関係のグループが 9.0%(前回調査 14.3%)、学習・教養サークルが 1.9%(前回調査 3.5%)、老人クラブが 1.1%(前回調査 1.3%)、自治会が 0.7%(前回調査 1.2%)、収入のある仕事が 13.5%(前回調査 17.5%)となっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域活動への影響がうかがえます。【49・50 ページ参照】
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を聞いたところ、「そのような人はいない」という割合が回答者全体では 36.0%と、前回調査(30.7%)からの上昇が見られます。「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」との回答は 30.4%と、前回調査(30.0%)と概ね同水準です。1人暮らしの方に限定すると、「そのような人はいない」という回答は 31.4%と比較的低くなっており、1人暮らしの方は、介護保険の要支援認定者が約半数を占めていることから、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が 34.9%と比較的高くなっています。【60・61 ページ参照】
- “一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか”という問に対して、「週に4~5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」という方は、1人暮らしで 16.3%、夫婦2人暮らしで 7.6%、息子・娘との2世帯で 4.4%となっています。【64・65 ページ参照】
- 幸福度(「とても不幸」が 0 点、「とても幸せ」が 10 点)は、回答者全体(無回答の方を除く)の平均点が 7.0 点となっており、誰かと会う頻度で「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」という場合(5.4 点)、生きがいの有無で「思いつかない」という場合(5.5 点)、趣味の有無で「思いつかない」という場合(6.1 点)、暮らしの経済的な状況で「大変苦しい・やや苦しい」という場合(6.2 点)などで比較的低くなっています。【66・67 ページ参照】
- 認知症の相談窓口については、知っているという割合が、回答者全体では 23.9%(前回調査 27.2%)、家族(本人含む)に認知症の症状がある人がいる場合では 47.7%(前回調査 56.9%)となっており、窓口の認知度について前回調査からの上昇は見られません。【73・74 ページ参照】
- 生活機能評価による各リスクの該当者は、運動器機能低下が 26.2%(前回調査 27.7%)、転倒リスクが 33.9%(前回調査 34.3%)、閉じこもり傾向が 21.1%(前回調査 20.5%)、低栄養状態が 1.9%(前回調査 2.2%)、口腔機能低下が 33.0%(前回調査 29.2%)、認知機能低下が 44.5%(前回調査 44.1%)、うつ傾向が 48.2%(前回調査 45.5%)という状況で、前回調査からの大きな変化は見られません【78~83 ページ参照】
- 老研式活動能力指標による評価は、知的能動性評価、社会的役割評価、活動能力指数評価のいずれも、「高い」との評価が前回調査の割合を下回っており、生活機能の評価に変化が見られます。【85・86 ページ参照】

2 介護保険事業計画準備調査結果のまとめ

- “同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなたが自宅で一人になることがどのくらいありますか”という問に対して、「週4日以上」という回答が回答者全体では 11.3%、家族構成がその他(2世代世帯や3世代世帯等)の場合は同回答が 17.4%となっています。【91 ページ参照】
- 身体の状態が悪くならないように取り組んでいることは、「三食きちんととる」が 75.3%、「食事のバランスに気をつける」が 70.7%と、食生活に関する取組が上位となっています。【92 ページ参照】
- 社会的な活動の状況は、「自治会、町内会などの自治組織の活動」が 11.9%、「趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動」が 10.9%となっています。活動をしていないという方は 65.8%で、同回答は国の調査(平成 28 年 高齢者の経済・生活環境に関する調査)の値(69.9%)と大きな差は見られません。【94 ページ参照】
- 収入のある仕事の状況は、「収入のある仕事をしている」が 29.6%となっており、同回答は国の調査(令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査)の値(30.2%)と大きな差は見られません。【94 ページ参照】
- 今後、介護が必要になった場合の生活場所の希望は、「自宅」が 49.2%(前回調査 47.8%)と最も高く、介護施設等への希望を含め、前回調査からの大きいな変化は見られません。【96 ページ参照】
- 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)に関する問では、自分が将来も大切にしたいこと等を家族等と共有している割合は 41.3%と、前回調査(51.3%)から低下しています。また、どのような医療・ケアを受けたいかを家族等と共有している割合は 31.7%と、こちらも前回調査(39.6%)から低下している状況です。【98・99 ページ参照】
- 自宅で暮らし続けていくことができる条件は、前回調査と同様に「何かの時に緊急でも対応してくれるサービス」や「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制」といった、緊急時を含めた体制が上位にあがっており、特に「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制」は 58.0%(前回調査 51.7%)と回答率が上昇しています。【101 ページ参照】
- かかりつけ医の有無は、「市内にいる」という方が 69.3%となっており、いもくぼ圏域は同回答が 74.8%と比較的高くなっています。【103 ページ参照】
- 今後、市内で導入されたら利用したいと思う移動手段は、「病院を巡回するバス」と「地域の乗り合い交通(ワゴン車などのコミュニティタクシー)」が上位2つです。【105 ページ参照】
- 市内の高齢者福祉サービス等の周知の状況を見ると、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 43.9%と、前回調査(37.0%)から認知度の上昇が見られる一方、「東大和元気ゆうゆう体操」は 48.5%(前回調査 54.3%)、「東大和元気ゆうゆう体操普及推進員養成講座」は 16.9%(前回調査 23.3%)と、ゆうゆう体操に係る取組の認知度が低下しています。【106 ページ参照】

3 在宅介護実態調査結果のまとめ

- 主な介護者の年齢が40・50歳代の現役世代の場合は、要介護者本人は85歳以上が63.7%、75～84歳が31.8%となっています。【112ページ参照】
- 同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、要介護者本人が自宅で一人になることについて、「週4日以上」という回答が全体では13.9%、主な介護者がフルタイムで働いている場合は「週4日以上」が34.3%となっています。【114ページ参照】
- 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を聞いたところ、要介護3～5の場合は入所・入居の希望率(検討中又は申込済みの割合)が32.9%となっています。【116ページ参照】
- 居宅介護支援事業者を選んだ方法は、「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」という方が51.9%(前回調査53.2%)で約半数を占めています。【120ページ参照】
- 介護保険サービスを利用した総合的な満足度は81.7%の方(無回答の方を除く)が「満足」、「おおむね満足」と回答しています。なお、総合的な満足度と個別の項目との関連度を分析(CS分析)したところ、介護保険サービスの「総合的な満足度」との関連度は、高い順から「介護の仕方」、「費用の負担」、「利用できるサービスの量」、「サービスの説明」の順となっています。【122ページ参照】
- 単身世帯の場合は、総合的な満足率が74.2%と比較的低くなっています。回答者全体と単身世帯で満足度の最も差が大きい個別の項目は「介護の仕方」や「利用できるサービスの種類」などです。【123ページ参照】
- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、全体では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「入浴サービス」、「外出同行(通院、買い物など)」が上位3つです。単身世帯の場合は「見守り、声かけ」が24.1%、「掃除・洗濯」が23.1%とこれらが上位2つです。【129ページ参照】
- 訪問診療の利用率は、回答者全体で9.2%(前回調査11.4%)、要介護3～5の場合は20.0%(前回調査26.9%)となっています。介護サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)と訪問診療を併用している割合は回答者全体で12.5%(前回調査15.4%)です。【130ページ参照】
- 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)に関する問では、自分が将来も大切にしたいこと等を家族等と共有している割合は47.9%(介護保険事業計画準備調査41.3%)、どのような医療・ケアを受けたいかを家族等と共有している割合は43.1%(介護保険事業計画準備調査31.7%)という状況で、前回調査からの割合の上昇は見られません。【133ページ参照】
- 主な介護者の方が40・50歳代の現役世代の場合は、過去1年の間に「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が10.2%(前回調査11.0%)となっています。【137ページ参照】
- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等は、「認知症状への対応」が38.1%と最も高く、同回答は前回調査(31.3%)から上昇しています。要介護3～5の場合は、「認知症状への対応」が31.3%、「夜間の排泄」が28.4%とこれらが上位2つで、次いで「入浴・洗身」が20.9%と続いています。【140・141ページ参照】
- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が30.8%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.9%とこれらが上位2つで、特に「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」は前回調査(18.4%)から大幅に上昇しています。【144ページ参照】
- 働いている主な介護者に、今後も働きながら介護を続けていけそうか聞いたところ、「問題はありますが、何とか続けていける」が65.5%と、前回調査(54.0%)から大幅に上昇しています。【144ページ参照】

4 事業者に対する調査結果のまとめ

- 正規職員(男女計)の年齢構成は、「40 歳代」と「50 歳代」が半数以上(56.1%)を占めています。非正規職員(男女計)の年齢構成は、「50 歳代」と「60 歳代」が半数近く(49.8%)を占めており、「70 歳以上」が 14.0%となっています。【149・150 ページ参照】
- 過去1年間の採用者は、正規職員の場合は「40 歳代」が 30.0%と最も高く、非正規職員の場合は「50 歳代」が 31.1%と最も高くなっています。一方、離職者は正規職員の場合は「50 歳代」が 37.1%と最も高く、非正規職員の場合は「40 歳代」、「50 歳代」、「60 歳代」がいずれも 20%強となっています。なお、離職者は正規職員の場合は「20 歳代」も 22.6%と比較的高くなっています。【153・154 ページ参照】
- 前年度と比べた「介護職員」の離職率は、「改善された」との回答が 9.5%と、前回調査(23.2%)と比べて大幅に低下しているほか、「介護職員」の人材確保の状況は、「確保できている」との回答が 6.3%と、前回調査(14.5%)と比べて大幅に低下しています。【155 ページ参照】
- どのような方策が「介護職員」の人材確保につながっているのか聞いたところ、「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」と「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」が上位2つで、次いで「賃金を高めに設定している」と「人材紹介会社を活用している」が続いています。【156 ページ参照】
- 外国介護人材の受入れは、回答事業所全体では「実際に雇用している」が 19.0%(前回調査 15.0%)という状況です。居住系・施設サービスに限って見ると、「実際に雇用している」が 55.6%となっています。【157 ページ参照】
- 雇用することが難しいと思う職種は、「介護職員(介護福祉士)」が 52.4%(前回調査 61.3%)、「看護職員」が 42.9%(前回調査 47.5%)と、これらが前回調査と同様に上位2つです。【158 ページ参照】
- 新型コロナウイルス感染症による経営への影響や課題は、「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が 66.7%と最上位です。【164 ページ参照】
- 事業所を運営する上での課題は、前回調査と同様に「従事者の確保・定着のための賃金体系」が 63.5%と最上位で、同回答は前回調査(50.0%)から上昇しています。【164 ページ参照】
- 介護予防支援・居宅介護支援事業所からみて、介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、前回調査と同様に「外出同行(通院等)」、「ゴミだし」、「移送(介護タクシー等)」が上位3つです。【167 ページ参照】
- 介護予防支援・居宅介護支援事業所からみた、不足しているサービスは、「小規模多機能型居宅介護」、「夜間対応型訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」といった夜間対応や 24 時間対応型のサービスが上位にあがっています。【168 ページ参照】
- 共生型サービスの指定についての検討状況は、「指定を受けるか検討中」が 6.3%(4事業所)となっています。【169 ページ】
- 保険者としての市に対し、事業者として特に望むことは、前回調査と同様に「介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供」や「サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供」といった情報提供が上位にあがっています。また、「事業者やケアマネジャーのための相談体制の充実」と「事業者が行う研修への支援、事業者向け研修の充実」との回答は、いずれも前回調査と比べて上昇しています。【170 ページ参照】

東大和市
第9期介護保険事業計画準備調査
報告書

令和5年3月

発行 東大和市
東京都東大和市中心 3-930
編集 東大和市健康いきいき部 地域包括ケア推進課 介護保険課